

# 紀 鷹 110

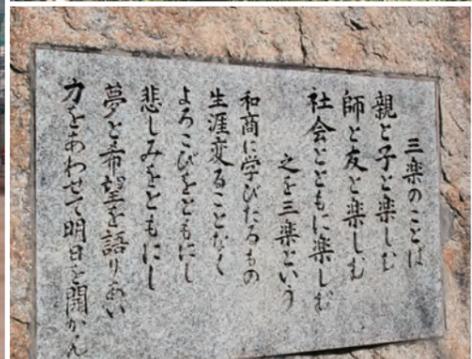
2014

和商創立 110 周年記念誌

和歌山県立和歌山商業高等学校

# 紀 瀧 110





# 紀鷹110 目次

和商創立110周年記念誌

## 1 校歌・校章

## 2 写真で見る「創立101年から10年間」

「紀鷹110年」発刊にむけて・・・・・・・・・・・・・・・・校長 稲生 淳	1
「創立110周年記念誌」の発刊に際し・・・・・・・・PTA会長 瀬田 博也	2
「和商創立110周年に寄せて」・・公益社団法人和商同窓会理事長 小川 武	3

## 3 歴史・沿革

## 4 和商創立101年から10年間の歩み

### (1) 元教職員

「伝統の意気」・・・・・・・・元校長 田井 伸幸	7
「新たな時代へ」・・・・・・・・元校長 宮下 和己	8
「和歌山県の商業教育を支える和商教育への思い」・・元教頭 上野 和久	9
「創立110周年を迎えて」・・・・・・・・前教頭 坂中 俊之	10
「私と体育館」・・・・・・・・前事務長 笠井 正治	13
「県和商と私」・・・・・・・・元体育科教諭 高橋 恭代	14
「県和商での勤務を振り返って」・・・・・・・・元商業科教諭 楠見 勝	15
「紀鷹110」・・・・・・・・元社会科教諭 藤城 和明	16
「和商での10年間」・・・・・・・・元数学科教諭 九鬼 寛行	17

### (2) 卒業生

「母校和歌山商業高校に赴任して」・・商業科教諭 松本 透 (新制第23期)	18
「今、振り返って思うこと」・・商業科教諭 田村 泰造 (新制第24期)	19
「県立和歌山商業高校110周年を祝して」 県商研理事長 吉川 好司 (新制第31期)	20
「創立110周年をむかえて」・・商業科主任 真珠 雅之 (新制第31期)	21
「創立110周年を迎えて」・・生徒会長 藤田 達也 (新制第59期)	24
「和商創立110周年に寄せて」・・バトン部元主将 小嶋 沙希 (新制第59期)	25

### (3) クラブ活動の紹介

#### 体育クラブ

①硬式野球部・②テニス部・③ソフトテニス部・④男子ハンドボール部・⑤女子ハンドボール部・⑥男子バレーボール部・⑦女子バレーボール部・⑧男子バスケットボール部・⑨女子バスケットボール部・⑩ソフトボール部・⑪陸上競技部・⑫バトン部・⑬卓球部・⑭剣道部・⑮水泳部・⑯女子ホッケー部・⑰柔道部・⑱サッカー部・⑲相撲部

## 文化クラブ

①合唱部・②吹奏楽部・③演劇部・④写真部・⑤美術部・⑥ワープロ部・⑦書道部・⑧珠算部・⑨簿記部・⑩E S S部・⑪家庭部・⑫茶道部・⑬華道部・⑭図書部・⑮邦楽部・⑯コンピュータ部・⑰商業研究部

### (4) 新体育館竣工記念講演

「一つ、一つの経験から学び、育つ」

・・・・・・・・株式会社オークワ 代表取締役社長兼COO 神吉 康成 ————— 48

### (5) クラブ活動の写真

## 5 和商の「今」

(1) 「教育課程について」・・・・・・・・・・・・・・・・ 教務部長 丹下 善夫 ————— 51

資料：平成26年度入学生用教育課程表

(2) 「紀鷹110」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 図書館 ————— 53

(3) 「本校の進路動向について」・・・・・・・・・・・・ 進路指導部長 杖村 由浩 ————— 54

資料：過去25年間の進路状況

(4) インターンシップ・・・・・・・・・・・・・・・・ インターンシップ担当 中本 富基 ————— 58

(5) 総合的な学習の時間「キャリアデザイン」・キャリアデザイン担当 柏田 倍男 ————— 59

(6) クラブ活動の記録 ————— 60

## 体育クラブ

①硬式野球部・②テニス部・③ソフトテニス部・④男子ハンドボール部・⑤女子ハンドボール部・⑥男子バレーボール部・⑦女子バレーボール部・⑧男子バスケットボール部・⑨女子バスケットボール部・⑩ソフトボール部・⑪陸上競技部・⑫バトン部・⑬卓球部・⑭剣道部・⑮水泳部・⑯女子ホッケー部・⑰柔道部・⑱サッカー部・⑲相撲部

## 文化クラブ

①合唱部・②吹奏楽部・③演劇部・④写真部・⑤美術部・⑥ワープロ部・⑦書道部・⑧珠算部・⑨簿記部・⑩E S S部・⑪家庭部・⑫茶道部・⑬華道部・⑭放送部・⑮図書部・⑯邦楽部・⑰コンピュータ部・⑱商業研究部

# 1 校歌・校章



## 校歌

太田英佑作詞  
片山頼太郎作曲

一 想い出は かおる風

かおるみどりの風にのせて

柑子の葉と照り映ゆるもの

あゝ母校 瞳けうらむ

青春自由 あつめてこゝに

若人我等のほろろにいまん

二 あゝかかれ たまなる星潮

たまなるうゝおのしづかにのせて

息吹く鯨とまがけりゆゑの

あゝ母校 いのち高鳴る

青春自由 あつめてこゝに

若人我等の理想はもろん

三 まるくは 偲ゆる雲

わくむらさきの雲にのせて

招く商神と天かけゆくもの

あゝ母校 世征は微笑む

青春自由 あつめてこゝに

若人我等の歴史とあらん

## 2 写真で見る「創立 101 年から 10 年間」



野球応援団



文化祭



選抜旗

マラソン女子スタート



雪の旧体育館



航空写真



パソコン講座



中学生体験学習



中国山東省の学校訪問



体育祭宣誓



新体育館竣工式



中庭

全体集合写真



盲導犬 (ボランティア)

体育祭



第 18 回全国駅伝  
(陸上部)



第 79 回選抜高等学校野球大会



スキー実習開校式



## 「紀鷹 110 年」 発刊にむけて

和歌山商業高等学校 校長 稲生 淳

本校は、明治 37 年 4 月 9 日、和歌山市九番丁に、和歌山市立和歌山商業学校として創立され、以来幾多の変遷をかさねながらも本県商業教育の象徴的存在として発展してまいりました。この間、3 万 3 千人にも及ぶ卒業生は、県内外の様々な分野で活躍されています。

平成 16 年には、創立 100 周年を迎え様々な記念行事が盛大に執り行われました。また、本校の輝かしい歩みは『和商百年史』としてすでに上梓されています。今回の記念誌は百年史の続編としての位置づけで、百周年後の 10 年間を振り返り、未来に語り継いでいくための礎としての役割を果たすものと考えております。

伝統を重んじつつも、時代の変化に対応した教育を推進すべく改革を重ねてきた本校は、より専門性を高め進路目標の実現を図るため、平成 20 年度には、それまでの情報処理科、会計科、国際経済科の 3 学科を統合し、「ビジネス創造科」を新しくスタートさせました。その成果は、検定合格率の向上等に着実に現れてきています。

また、スポーツ・文化活動においては、文武両道の伝統が受け継がれ、複数のクラブが毎年全国大会出場を果たすなど輝かしい実績をあげております。

さて、長く停滞していた日本経済も、緩やかながら復調の兆しが見え始め、全国的には高校生の就職内定率も改善してきています。しかしながら、地方においては、まだまだ実感が薄いというのが実情です。少子高齢化が進み、若者の勤労観の希薄化や職業観の変化も顕在化する中、本校には将来の地域の産業・社会を担う人材を育成し、地域経済の発展や地域の活性化を支える役割が期待されています。

本校の校訓には「真理、正義、勤労、礼節を重んじ、よき社会人、力強い職業人を育成する」とあります。生徒たちに、「力強い職業人」として、将来の職業や生き方についての自覚を促すとともに、社会的、職業的自立に向けての基盤となる能力や態度を身につけさせることが、本校教育に課せられた使命であると考えます。

県内で「商業」を冠する唯一の専門高校として、今後も「和商」の伝統を守りつつ、全人教育を目標としながら、「知・徳・体」の調和の取れた人格の完成を目指して、教職員、P T A、同窓会、地域がその連携・交流を密にして、商業教育を通じた人づくりに邁進していく所存です。

最後になりましたが、発刊にあたり、玉稿を賜りました皆様方に深甚なる感謝を申し上げます。



## 「創立 110 周年記念誌」の発刊に際し

PTA会長 瀬田博也

このたび、和歌山県立和歌山商業高等学校が創立 110 周年を迎えられ、記念誌を発刊されますことに心からお祝い申し上げます。

本校は明治 37 年の創立以来、商業教育を通して社会に貢献する力強い職業人の育成を目指してきました。その教育理念は校訓となり、時代の変遷にも変わることはありませんでした。110 年の長きにわたる教育活動は本校に、誇るべき歴史と伝統をもたらしてくれました。これも本校教育に献身的に携わっていただいた教職員の方々をはじめ、同窓会、PTA など歴代の関係各位のご尽力の賜物と深謝申し上げます。

さて、この 10 年間はどのような 10 年間でしたでしょうか。私には激動の 10 年間であったと感じられました。現代社会は加速度的に発達する高度情報化社会であり、津波のごとく氾濫してくる情報、多種多様なゲーム機器、日進月歩のソーシャルネットワークサービスの提供などがすでに日常となっています。このような社会で育つ子どもたちには、対人関係を円滑にするコミュニケーション能力の向上が求められています。これはインターネットや SNS などへの没頭からくる社会性の欠如、そこから派生する規範意識の低下が主たる要因でしょう。これから先、情報化の名の下、世界に開かれたグローバル社会を生きていかなければならない子どもたちを取り巻く環境は、我々大人の経験した環境とは大きく変化している上に、その変化の波は想像以上に急速です。

このような社会であるからこそ「学校」が重要になってくるのではないのでしょうか。仲間とのコミュニケーションを通し、自分自身の人間的な幅を広げながら人間性を向上させることは小さな仲間内のコミュニティーでもできることです。しかし、社会は小さくありません。同じ価値観をもつ人は少数であり、違う価値観をもつ人のほうが圧倒的に多数です。そんな中でも同じコミュニティーを形成していくことが大切なのです。和商という大きなコミュニティーを形成しながら、勉学や学校行事を通し、社会に貢献できる人間へと成長していく。和歌山商業高校はこれが実現できる学校であると思います。110 年の歴史と全国で活躍する諸先輩方の存在、地域社会からの変わらぬ信頼がそれを証明しています。

100 周年から今回の 110 周年までの 10 年間でも、時代の変化が大きなものと感じられたと思います。これからの 10 年はますます大きな変化に感じるでしょう。今後も、本校が築いてきた歴史と伝統を継承し、更なる飛躍を目指してほしいと思います。

最後に、和歌山県立和歌山商業高等学校創立 110 周年記念誌の刊行に際し、編集に尽力された方々に心より感謝申し上げます。



## 和商創立 110 周年に寄せて

公益社団法人和商同窓会理事長 小川 武

和歌山県立和歌山商業高等学校が創立 110 周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

我が母校和商は、明治 37 年の創立以来 1 世紀を超える永きにわたり、一貫した商業教育に取り組み、平成 26 年に 110 周年の記念すべき年を迎えられました。

この間、激しく変化する時代の中で、幾度か存亡の危機があったものの、その都度関係者の方々の並々ならぬご努力によって困難を克服し、脈々と流れる歴史と伝統が今日に受け継がれておりますのは、本校の発展を願って止まなかった教職員の方々をはじめ、P T A、同窓会、そして地域の方々など関係の皆様方の熱意とこれまでのご労苦の賜物であると、ここに深く感謝し、敬意を表するものであります。

さて本校は、明治 37 年 4 月 9 日、「和歌山市立和歌山商業学校」として開校以来、校名および学校所在地とも幾多の変遷を経て昭和 26 年 5 月 16 日、現校名である「和歌山県立和歌山商業高等学校」と改称、再出発し、これまでに約 33,000 人を超える卒業生を輩出してまいりました。

本校は、その教育方針に「広く社会の福祉に貢献し得る有能な産業人の育成」を掲げ、通常の商業教育に加え、全国に先駆けた独創的な教育を実践してまいりました。その結果、本校の卒業生は、方針の言葉どおり、各方面、各分野において、有為の人材としてご活躍され、郷土和歌山の発展に大いに寄与されております。

かく言う私も母校和商に生まれ、和商とともに歩んできた 1 人であります。昭和 26 年に本校に入学、3 年間、商業のいろはから社会人として何を為すべきかを学びました。また平成 7 年に現職であります同窓会理事長を拝命し、以来 20 年間、歴代校長先生はもとより、教職員の方々、P T A、同窓生の皆様と親しく交流させていただきました。その中で、同窓会のあるべき姿を求め、より良い運営とは何かを常に考えてまいりました。この 20 年間においてたくさんの出来事に関わってまいりましたが、特に、和歌山県議会議長に就任させていただいた平成 16 年は本校創立 100 周年の年に当たり、種々の記念事業に携わらせていただきました。大変忙しい時ではありましたが、この聖期の巡り合わせに強い運命を感じたものです。

現代の社会は人口が減少し、少子高齢化が進展しています。こうした時代においては、今後、ますます厳しい社会を生き抜く若い力が必要になってまいります。和商におかれましては引き続き、和歌山の、ひいては我が国の将来を支える「力強い職業人」の育成に努めていただきますよう心よりお願いいたします。私達同窓会も全力で支援してまいることをお誓い申し上げる次第です。

結びに、本校同窓生並びに関係者の皆様のご多幸、ご活躍を祈念するとともに、母校和商が今後 150 年、200 年と素晴らしい伝統を維持し、発展しつづけること切に願ひ、祝詞といたします。

### 3 歴史・沿革

- 明治37年 4月 9日 開校 和歌山市立和歌山商業学校と称す。  
和歌山市九番丁 和歌山県立德義中学校旧校舎を仮校舎とす。  
2年制予科37名 3年制本科41名入学（生徒定員200名）
- 38年 8月16日 第1回韓国行商隊大阪を出帆す。
- 40年 3月28日 第1回卒業証書授与式举行。卒業生16名。
- 43年 3月10日 校舎を現雄湊小学校地へ移転す。
- 大正11年 4月 1日 設置者を和歌山県とし、校名を和歌山県立商業学校とす。  
予科・本科を廃止し、修業年限5年とす。（生徒定員750名）
- 15年12月 1日 校舎を現星林高等学校地へ移転す。
- 昭和 2年 1月21日 校名を和歌山県立和歌山商業学校に変更す。
- 11年 3月31日 生徒定員1,000名に増員される。
- 16年 5月20日 生徒定員1,250名に増員される。
- 19年 4月 1日 生徒定員600名に削減される。
- 19年～20年 学徒勤労働員により、住金和歌山工場・播磨造船所・由良精工に出動す。
- 23年 3月 2日 第43回卒業証書授与式举行。卒業生200名。  
3月31日 学制改革により廃校。  
校舎は新設 和歌山県立星林高等学校へ引き継ぐ。  
在校生は星林・桐蔭・海南高等学校へ分散移籍。
- 24年 3月19日 星林高等学校へ移籍生徒のうち、希望者22名に旧制和商第44回生として卒業証書授与。（旧制和商卒業生数4,362名）
- 26年 2月 8日 和歌山県立商業高等学校(仮称)新設を含む教育予算県議会に上程可決される。  
4月 1日 内藤俊彦 校長に就任。  
4月 9日 開校式を举行。（星林高校より編入131名、海南高校より編入34名、桐蔭高校より編入243名、新入生279名 合計687名）  
5月16日 校名を和歌山県立和歌山商業高等学校と決定さる。開校記念日とする。  
10月20日 開講記念式典を举行。講堂移築落成。
- 27年 4月 1日 専用運動場（6,782坪）設定される。  
5月 1日 産業教育研究指定校に指定される。
- 28年 7月10日 日本職業指導協会指定の職業指導研究校となる。
- 29年 1月30日 産業教育研究指定校成果発表会を開催。  
1月31日 職業指導指定校成果発表会を開催。  
11月 3日 和商創立50周年、実業教育振興70周年記念式を举行。
- 30年 4月10日 図書館落成。
- 32年11月 8日 鉄筋3階建21教室落成。
- 35年 2月10日 商業実践教室、特別格技教室落成。  
4月26日 鉄筋3階建9教室落成  
10月 7日 新制創立10周年並びに旧制和商創立55周年記念式典を举行
- 36年 4月 1日 小林貞雄 校長に就任。（内藤俊彦 退職）
- 37年 7月20日 プール落成。
- 38年 4月 1日 福井栄一 校長に就任。（小林貞雄 転出）
- 39年11月 5日 鉄筋4階建本館落成。

- 40年 1月11日 35. 2.10落成の格技教室漏電による火災のため焼失。  
8月 7日 火災焼失の格技教室再建落成。
- 41年 3月31日 普通教室（プレハブ）5教室完成。  
9月 5日 美術、音楽教室（プレハブ）完成。
- 42年 1月19日 講堂兼体育館・体育部室完成。  
8月25日 講堂兼体育館「国政に関する公聴会」の会場となる。
- 44年 2月22日 生徒ホール・文化部室落成。  
4月 1日 北野平三 校長に就任。（福井栄一 退職）
- 45年 8月31日 普通教室（プレハブ）1教室完成。
- 46年 4月 1日 寺本 正 校長に就任。（北野平三 退職）
- 49年11月10日 創立70周年記念式典を挙げる。
- 50年12月17日 校長 寺本 正 死亡退職。
- 51年 2月 1日 教頭 小倉 勳 校長に昇任。
- 53年 3月31日 商品実験室、簿記実習室、文書事務室完成。
- 54年 3月31日 美術室、被服室、情報処理実習室、簿記実習室完成。
- 55年 8月11日 普通教室、音楽教室完成。
- 57年 1月13日 更衣室完成。  
4月 1日 三宅秀彦 校長に就任。（小倉 勳 退職）
- 59年10月31日 和商会館完成。  
11月 9日 創立80周年記念式典を挙げる。
- 62年 4月 1日 谷口治美 校長に就任。（三宅秀彦 退職）
- 63年 9月 7日 南館大改修工事完了。
- 平成元年 1月20日 図書館、視聴覚教室棟完成。  
3年 3月30日 非常放送設備整備工事完成。  
8月31日 東館屋上・外壁改修工事完了。  
10月24日 商品実験教室（新館3階）を情報処理実習室に内部改修完了。
- 4年 3月31日 プール落成。  
4月 1日 海野正起 校長に就任。（谷口治美 退職）  
4月 1日 4類型制（商業・情報処理・会計・進学）を実施。（平成4年度2年生から）  
10月 7日 東館内部改修完了。
- 5年 4月 1日 星林・和工・県和商3校間連携授業開始。  
11月 9日 情報処理実習室内部改修完了。
- 6年 3月31日 格技場新築工事完成。  
4月 1日 3学科（情報処理・会計・国際経済科）に学科改変。（平成6年度1年生から）  
11月18日 創立90周年記念式典を挙げる。  
12月 7日 本館外部改修工事完了。
- 7年 1月17日 便所棟改造工事完了。  
4月 1日 中尾憲市 校長に就任。（海野正起 退職）  
12月25日 本館内部改修（第1期）工事完了。
- 8年 4月 1日 和歌山ろう学校との2校間連携授業開始。（特殊教育諸学校との連携は全国初）  
12月 2日 本館内部改修（第2期）工事完了。
- 9年 4月 1日 高等学校生徒指導研究推進校文部省指定（9・10年度）  
4月 1日 スクールカウンセラー活用調査研究委託校文部省指定（9・10年度）
- 10年 3月24日 課外活動棟新築工事完成。  
4月 1日 専門高校生と地域との連携推進事業文部省指定（10・11年度）

- 9月24日 東館耐震改修工事完了。
- 平成11年 4月 1日 數見之男 校長に就任。（中尾憲市 退職）
- 12月 1日 球技コート整備工事完成。
- 12年 4月 1日 三宅 豊 校長に就任。（數見之男 退職）
- 9月 5日 南館耐震改修工事（第1期）完了。
- 9月 8日 自転車置き場（8棟）完成。
- 13年 8月31日 新館情報処理教室改修工事完了。
- 8月31日 南館耐震改修工事（第2期）完了。
- 14年 9月 3日 南通用門改修工事完了。
- 15年 4月 1日 林 桂石 校長に就任。（三宅 豊 退職）
- 10月 1日 本館4階情報処理設備（パソコンシステム）更新。
- 12月 5日 管理・特別教室棟耐震補強工事完成。
- 12月24日 本館耐震改修工事完成。
- 16年 2月27日 新館1階情報処理設備（パソコンシステム）更新。
- 3月31日 東館階段新築工事・東館渡り廊下改築工事完成。
- 9月12～15日 中華人民共和国山東省 済南商業高等学校訪問。
- 11月21日 創立100周年記念式典挙行。
- 17年 4月 1日 田井伸幸 校長就任。（林 桂石 退職）
- 10月 1日 本館4階情報処理設備（パソコンシステム）更新。
- 10月24日 中国教育訪問団（済南省済南商業高等学校）来校。
- 18年 3月16日 第1回和商フォーラム開催。
- 3月31日 プール塗装工事完成。
- 10月 1日 本館4階 総合実践・LL設備（パソコンシステム）更新。
- 11月 1～ 4日 中華人民共和国山東省国家級重点技術学院済南技術学院商貿分院（元済南商業高等学校）へ学校訪問。
- 12月21日 新館大規模改修（第1期）工事完了。
- 19年 2月 8日 普通教室空調設備整備工事完成。
- 3月23日 第79回選抜高校野球大会70年ぶり3回目出場。
- 11月12日 新館大規模改修（第2期）工事完了。
- 20年 4月 1日 3学科をビジネス創造科に学科改編。（平成20年度1年生から）
- 21年 2月20日 体育館耐震補強工事完成。
- 10月 1日 新館3階情報処理設備（パソコンシステム）更新。
- 22年 2月26日 テニスコート改修工事完成。
- 4月 1日 宮下和己 校長に就任。（田井伸幸 退職）
- 10月 1日 本館4階情報処理設備（パソコンシステム）更新。
- 10月 4日 防災型太陽光発電設備工事完成。
- 23年10月 1日 新館1階情報処理設備（パソコンシステム）更新。
- 24年 3月16日 体育館解体完了。
- 4月 1日 稲生 淳 校長に就任。（宮下和己 転出）
- 10月 1日 本館4階情報処理設備（パソコンシステム）更新。
- 25年 6月28日 体育館新築工事完成。
- 10月 1日 新館3階情報処理設備（パソコンシステム）更新。
- 11月 6日 新体育館竣工式挙行。
- 25年10月 1日 新館3階情報処理設備（パソコンシステム）更新。
- 27年 3月31日 稲生 淳校長退職。

## 4 和商創立 101 年から 10 年間の歩み

- (1) 元教職員
- (2) 卒業生
- (3) クラブ活動の紹介
- (4) 新体育館竣工記念講演
- (5) クラブ活動の写真



## 「伝統の意気」

元校長 田井 伸 幸

教師生活の最後の5年を和商で過ごさせていただいた。退職と同時に、自分自身の思い出にしようと一念発起して生徒へ話してきた挨拶文などをまとめて一冊上梓した。その本のタイトルを「意気に感ず」としたのも、今思えばごく自然の発想であったように、和商では生徒諸君の意気をたくさんいただいたことを振り返る。

今その本を久し振りに読み返すと、その時々感動がよみがえってくるものがある。赴任後初めての始業式の日「四色の組み分けを僕らに任せて欲しい」と半年先の体育祭の要望を受けた。果たしてその体育祭のマスゲームの2年生総踊りで驚いたのと同時に半年前の謎が解けた。360人の最後の一人まで退場門をくぐり抜けるまで踊りを止めなかったのである。他にもあった。ムカデ競争のビリチーム、相撲部アンカーの力走も最後まで気を抜くことがなかった。これぞ全員参加の体育祭だ。

挙げればきりが無い。ある日勤務が遅くなり暗闇を帰ろうとしたとき、一人の女性生徒が全速力で帰宅しようとしているのに出くわした。最寄り駅まで送ってやろうと車に乗せたが、その子は何と私（通勤に車で1時間かけていた）より遠くから通学していた。宿題をいつやるのかという問いに、電車の行き帰りにやりますと答えた。この子が2年後、全国高校女子駅伝で都大路を駆けたのである。素直で粘り強い生徒の多さに驚いた。

100年の歴史のなかで存続の危機もあった。昭和23年に学制が変わり、在校生が一旦星林、桐蔭、海南に編入させられた時である。にもかかわらず、復活運動が起こって三校から生徒が舞い戻り、まさしく不死鳥のごとく復活したのであった（昭和26年）。今にその「意気」が伝わっている気がしてならない。いつだったか明治大学の指定校推薦に応募がないので困った年があった。十分叶う成績の生徒がいるのに不思議にさえ感じた。進路指導部の答えは、もともと3年後の就職狙いで和商を選んで進学してきている生徒が圧倒的とのことだ。恐らく親御さん達も和商出身なのだろうと納得せざるを得なかった。

正門右手に「三楽」の碑があって、その奥の芝生の中に顕彰碑が建てられている。平成19年度に、選抜としては実に70年振りの甲子園出場を記念して建てられたのがきっかけとなり、相撲部は高校総体個人10連覇、団体8連覇を顕彰し、卓球部も男女とも総体出場を35年連続したことを顕彰した。もう一つは、全国女子駅伝の19年連続出場の功績を讃える陸上部の碑である。いずれも長い歴史の間にも、途切れることなく受け継がれてきている「和商の意気」の結晶の一つである。



## 「新たな時代へ」

元校長 宮下 和己

私が在職した平成22年度、23年度の2年間、記憶に深く残る出来事は数知れずありました。平成23年3月の東日本大震災、9月の台風12号による紀伊半島大水害があり、本校では、生徒会を中心に義援金を募るとともに、東北の商業高校の仲間が開発した商品販売にも取り組みました。今もなお困難な状況にある被災地の一日も早い復旧・復興を祈念申し上げるとともに、私たちが得た教訓は忘れることなく大切にしていかなければなりません。

さて、学校としては、平成20年度「ビジネス創造科」がスタートし、その最初の卒業生を送り出す時期でした。また、平成25年度からの新学習指導要領実施を前に、新たな教育課程を編成すること、さらには、旧来の校務分掌等の組織体制や内規などを大きく見直しました。本校の将来像を描き、今日ある姿としたのは、その時の先生方の英知と努力の賜です。

そして、念願かなって体育館の新築が、創立110年にあわすかのように認められました。和商百年史を紐解きますと、旧体育館は昭和42年完成とあり、学校の教育活動だけでなく、いわゆる「一日内閣」が開催されるなど、県内有数の建物としてその役割を果たしてきました。新体育館には、本校の新しい時代を築き、和商生の夢と希望をはぐくむ場となってくれるものと大いに期待しています。

本校は県内唯一の商業単独校であり、県商業教育研究会の事務局を常置しています。本県商業教育の更なる充実・発展のため、本研究会をNPO(特定非営利活動法人)としました。県レベルの教員研究団体が取得するのは全国初であったと思います。商業教育の社会的信用を高め、それに携わる教員の育成、本県の未来を担う人材育成のため、地域活性化の牽引役として寄与していくものと確信しています。私も一会員として今も加わっています。

もう一つ本校に事務局を常置しているものに、県高等学校野球連盟があります。私が会長である時期に、時代に即応していくため一般財団法人として衣替えをし、今も関わることができるのも巡り合わせでありました。

数え上げればきりがありませんが、校内外の多くの皆様方、何よりも生徒とともに取り組んできたことが、一つ一つ思い出深いことばかりです。校長室に「和風」と書かれたとても立派な、風格のある額がかかっています。私が本校に着任したとき、この「和風」を、勝手ながら「和商の風」と受け取ることにしました。一つには、校内に吹く風は、子どもたちにとって温かくもあり厳しくもある、ということではなりません。そして二つ目には、進取の気性に富む和商生が、県内そして全国へと「和商の風」を吹かせてほしい、また吹かせたいと願ってのことです。輝かしい未来へと、我が和商の新しい風が吹き渡ることを願い、お祝いの挨拶といたします。

長年にわたって、和商の教育、県商業教育の充実・発展に情熱を傾けてこられた、故坂中俊之教頭先生のご冥福をお祈りするとともに、その思いを多くの方々が引き継がれることを願っています。



## 「和歌山県の商業教育を支える和商教育への思い」

元教頭 上野和久（新制第21期）

和商での「思い出」はたくさんありますが、特に印象的なのは、多くの同僚とともに「和商ならではの商業教育」を造っていったことです。代表的な出来事として思い出すのは、次の3つのことです。

まず、平成15年（2002年）に、商業科目「総合実践」の授業に使用するため「商業高校生のためのビジネスゲーム教具」（2002年）を作成（笠松勝美・現教頭、黒土真寛教諭、上野）したことです。これは、高校生の総合実践をビジネスゲームという形で体験学習するための道具を開発し、新しい角度からの学習プログラムとして授業に活用した。この成果は実教出版「商業教育資料」に紹介し、全国商業高校等に2万部配布されました。

次に、新しいカリキュラムにおいて学校設定科目の中に「商業教育の中の特色ある英語教育」をする必要が出てきました。そこで、平成16年（2003年）には、英語科教員と商業科教員で学校設定科目副教材「Creative COMMUNICATION」（英語を通して、自分の意見や考えを表現できる教材をコンセプトに作成全60頁）を作成しました。この副教材は三つの視点である英語教育・ビジネス教育・コミュニケーション技能から、身体を動かして英語のコミュニケーションをする「体験学習型の英語教材」を目指して作成しました。

最後に、平成15年に総合学習教材「On the job training」（インターンシップトレーニング教材 全149頁）として作成（田中俊行教諭 當山裕子講師 上野）したことです。この副教材を作成するに至ったのは、平成15年に「総合的な学習の時間」がカリキュラムの中に位置づけられ、「インターンシップ」と事前学習と事後学習をスムーズにガイドするためでした。その内容は、コミュニケーション訓練やマナー訓練を「体験学習形式」で学習していくプロセスです。そこには、人間関係の育成と「自ら学び、自ら考える」力の育成を目的とした授業実践を目指したものでした。

当時の高校商業教育の流れは、平成7年に県立田辺商業高校が商業科クラスを減少し、平成14年県立串本高校の商業科、平成15年から御坊商工高校（現在の紀央館高校）商業科が募集停止、平成17年より田辺商業高校が神島高校に校名変更、平成20年より新宮商業高校が新翔高校に校名変更し総合学科となり、平成21年より和歌山市立和歌山商業高校が和歌山市立和歌山高校に校名変更し、商業科クラスが減り、普通科2クラス設置されるという状況でした。県内の商業高校3校が商業高校の名称がなくなり和商のみが、商業高校として残ったわけです。

このような教育・社会的な流れの中で、和商の先生方は、高校商業教育の素晴らしさを生徒に伝えるために、教材開発や授業方法を考えて、頑張ってくれたことを思い出します。

素晴らしい先生方と仕事が出来たことは、私の財産でもあります。今、三つの大学の教職課程（非常勤講師）で、教員の育成にあたっていますが、この財産が生かされています。



## 創立 110 周年を迎えて（創立 101 年からの 10 年史）

和歌山県立粉河高等学校定時制 教頭 坂 中 俊 之  
(前 本校教頭)

創立 110 周年おめでとうございます。

私は、商業科教員として 1999(平成 11)年 4 月に和商(当時は、「市」立「和」歌山「商」業高校と区別し、県和商)に着任し、2014(平成 26)年 3 月までの 15 年間勤務させていただいた。

ここでは、2004(平成 16)年の創立 100 周年以降に和商が中心となって商業教育振興にかかわる取組の一部であるが、学校要覧では伝えきれない内容を紹介してみる。

### 1 2004(平成 16)年

- (1) 創立記念事業の一環で当時、サッカーのワールドカップの試合会場として話題となった中国山東省済南市の市商業専門学校(市商業技工学校)を竹本興次教頭・山本光義卓球部監督と通訳の方の 4 名で訪問し、熱烈な歓迎の中交流をはかり、その内容を創立記念式典で報告された。
- (2) 本県最後となる第 11 回和歌山県産業教育フェアの商業教育部の運営にあたる。  
(創立記念式典には、同時期実施で出席できなかった。)
- (3) 近畿生徒商業研究発表和歌山大会を開催する。
- (4) 職場体験を実施する。

### 2 2005(平成 17)年

- (1) 和歌山県商業教育研究会(現 NPO 法人和歌山県商業教育研究会。以下、県商研)関西商業教育研究会校長会和歌山大会の運営を行う。
- (2) 全国的にも県内においても商業教育の置かれている環境は厳しいものがあり、「ピンチをチャンスに」を掲げて、「見せて・魅せる商業教育」を提示する。
  - ① 県内商業を学ぶ生徒のアイテムづくりとして統一ブランド「なごみあきない」
  - ② 商業教育の取組の点と点を線で結び、面づくりする「商業教育フェスタ」
  - ③ 商業科教員の個人または集団の研究・研修・課題の共有
  - ④ 産官学との連携の推進
- (3) 職場体験を実施する。

### 3 2006(平成 18)年

- (1) 第 1 回和歌山県商業教育フェスタを開催する。
  - ① アーケード活用学習(販売実習・市場調査)
  - ② 商業美術展
  - ③ 生徒商業研究発表大会
  - ④ 英語スピーチコンテスト
- (2) 職場体験を実施する。

### 4 2007(平成 19)年

- (1) 第 2 回和歌山県商業教育フェスタを開催する。
- (2) 第 1 回和商ふれあい祭を開催する。
- (3) 職場体験を実施する。
- (4) わかやま産品商談会 in 大阪に生徒が実習体験で参加する。
- (5) 県商研 60 周年式典を 1 年前倒しして実施する。

## 5 2008(平成20)年

- (1) 学科改編。1994(平成6)年から情報処理・会計・国際経済の3科をビジネス創造科とし、2年次から会計・情報処理・ビジネス総合・ビジネス教養の4コースとする。
- (2) 近畿ワープロ大会和歌山大会を開催する。
- (3) 総合的学習の時間としてキャリアデザインを開設する。
- (4) 全国商業高等学校校長会・全国商業高等学校協会(以下、全商)秋季校長会和歌山大会を開催する。
- (5) 第3回和歌山県商業教育フェスタを開催する。
- (6) 第2回和商ふれあい祭を開催する。
- (7) わかやま産品商談会 in 大阪に生徒が実習体験で参加する。
- (8) 職場体験2000(平成12)年から2年次実施を1年次に移行する。

## 6 2009(平成21)年。

- (1) 第4回和歌山県商業教育フェスタを開催する。
- (2) 第3回和商ふれあい祭を開催する。
- (3) わかやま産品商談会 in 大阪に生徒が実習体験で参加する。
- (4) 県とコンビニ企業と連携し、「なごみあきない弁当」発売する。
- (5) 和歌山市と中心市街地活性化と連携し、「みんなの学校」を開設する。
- (6) 和歌山市と市物産振興協会と連携し、商品開発を行う。
- (7) NHK全国放送「プロジェクトX」学習教材活用を紹介する。
- (8) 職場体験を実施する。

## 7 2010(平成22)年

- (1) 和歌山市と中心市街地活性化と連携し、「みんなの学校」を活用する。
- (2) 和歌山市と市物産振興協会と連携し、商品開発を行う。
- (3) 関西商業教育研究大会和歌山大会を開催する。
- (4) 近畿生徒商業研究発表和歌山大会を開催する。
- (5) 第5回和歌山県商業教育フェスタを開催する。
- (6) 第4回和商ふれあい祭を開催する。
- (7) わかやま産品商談会 in 大阪に生徒が実習体験で参加する。
- (8) 修学旅行にて商業体験(長野県)を行う。
- (9) 職場体験を実施する。

## 8 2011(平成23)年

- (1) 校務分掌を9分掌(教務・生指・進路・生徒会(特活)・総務・事務・図書情報・保健・人権教育)から6分掌(教務・生指・進路・特活・総務・事務)に精選する。
- (2) 和歌山市と中心市街地活性化と連携し、「みんなの学校」を活用する。
- (3) 和歌山市と市物産振興協会と連携し、商品開発を行う。
- (4) LOHAS FAIRに生徒が実習体験で参加する。
- (5) 第6回和歌山県商業教育フェスタを開催する。
- (6) 第5回和商ふれあい祭を開催する。
- (7) わかやま産品商談会 in 大阪に生徒が実習体験で参加する。
- (8) 修学旅行にて商業体験(長野県)を行う。
- (9) 職場体験を実施する。
- (10) NPO法人和歌山県商業教育研究会を設立する。

## 9 2012(平成24)年

- (1) コースを3コース(会計・情報処理・ビジネス総合)に改変する。
- (2) 和歌山市と中心市街地活性化と連携し、「みんなの学校」を活用する。
- (3) 和歌山市と市物産振興協会と連携し、商品開発を行う。
- (4) 長期職場体験実習(アバローム紀の国・幼稚園・保育園・病院)を開始する。
- (5) 全国高等学校PTA和歌山大会に生徒が実習体験で参加する。
- (6) LOHAS FAIRに生徒が実習体験で参加する。
- (7) 第7回和歌山県商業教育フェスタを開催する。
- (8) 第6回和商ふれあい祭を開催する。
- (9) 修学旅行にて商業体験(長野県)を行う。
- (10) 職場体験を実施する。
- (11) 「なごみあきない」の商標を登録する。

## 10 2013(平成25)年

- (1) 和歌山市と中心市街地活性化と連携し、「みんなの学校」を活用する。
- (2) 和歌山市と市物産振興協会と連携し、商品開発を行う。
- (3) 長期職場体験実習(アバローム紀の国・幼稚園・保育園・病院)を実施する。
- (4) 全国産業教育フェア(愛知県)に生徒が参加する。
- (5) LOHAS FAIRに生徒が実習体験で参加する。
- (6) 県内スーパー店頭で販売実習を行う。
- (7) 第8回和歌山県商業教育フェスタを開催する。
- (8) 第7回和商ふれあい祭を開催する。
- (9) 修学旅行にて商業体験(長野県)を行う。
- (10) 職場体験を実施する。

限られた紙面で、それぞれの経緯や経過、人的・物的かかわりを伝えることは困難なため箇条書きとしている。しかし、商業教育のあり方を追求し、普段の多岐にわたる業務をかかえながらも参画されてきた個々の教員と集団の取組であり、敬意を表するとともにどうかこれからも商業を学ぶ生徒の進路保障のために校内外と連携し、和歌山県商業教育の発展を担っていただきたい。

生徒たちの活躍とその成果(1級検定9種合格。全国スピーチコンテストスピーチ部門奨励賞・レシテーション部門優秀賞。大学主催高校生メッセージグランプリ賞受賞など多くあげられる。)は、次世代の担い手として必ずや反映される。



## 「私と体育館」

前事務長 笠井 正治（新制第19期）

私は、昭和45年3月（新制19期生）に本校を卒業しました。同年6月より学校事務職員として主に県立学校で勤務して平成24年3月に母校で定年退職しました。その42年の在籍期間の中で、昭和62年4月から平成3年3月までの4年間と平成20年4月から平成24年3月までの4年間の8年間、そして生徒の3年間を併せると11年間、和商でお世話になりました。その中で私にとって、平成20年4月に事務長として2回目に勤務した時から体育館に関わったことが印象に残り良き思い出となっています。

最初の体育館は、昭和42年3月に建物が完成しています。私が昭和42年4月に本校へ入学した時で初めて体育館を使用した一期生です。当時の建物は、木造やプレハブ校舎が並んでいる中で、体育館は一際風格があり床コンクリート造りの立派な建物と印象に残っています。

そして、平成20年4月、校内の主な建物は大規模改修工事等も終っており、前回の平成3年当時よりすっかり校舎は見違えて美しくなっていました。しかし、体育館だけは変わってなく、耐震補強工事（平成20年度）がありましたが抜本的な大改修工事の計画の見通しはありませんでした。築後40年以上経過し建物全体の老朽化が進み雨漏り、床フロー（コンクリート造り）によるケガ・膝を痛める事故、鉄製の窓枠の腐食等、放置できない状況でした。天候に左右されず安全・安心して教育活動ができるための屋根補修・内部改造・窓枠補修等含めた大規模改修工事、または新体育館の建設が和商として最大の懸案事項となっており早期に実現できることを教職員一同待ち望んでいました。ところが平成23年3月、和商として積年の夢だった新体育館建設が県教育委員会の格段の御配慮を賜り、平成23年度中に既存体育館解体撤去工事・新体育館建替設計を、平成24年・25年度の2ヶ年工事で新体育館建設を行い、平成25年7月頃完成予定にすることが決まりました。このことで、私にとっては最終年度を向かえる和商で、新体育館建築するための工事・設計等に関わるようになったことが大変光栄であり大きな喜びでした。

主な取り組みは、式典（卒業式・入学式等）の会場確保・日程調整に関する事、卒業式（和歌山市民会館）の会場準備等に関する事、体育館椅子（1,200脚）・グランドピアノの一時保管場所（有田川町岩野河の峯口小学校跡地）の確保に関する事、運動クラブ（男女バレーボール・バスケットボール部）の練習会場（和歌山ろう学校他）の確保に関する事、クラブ部室・備品等の空き部屋確保や引っ越し作業に関する事、既存体育館解体撤去工事全般に渡る関係者との打合せや準備等に関する事、新体育館建替計画の施設設備や付帯設備の要望と関係機関との協議に関する事、本校の将来像に向けた体育施設5棟（運動場部室・更衣室・倉庫・物置）建替要望に関する事など行い、多忙な毎日でしたが充実した年となりました。

旧体育館は、平成24年3月に撤去工事が完了しました。私が高校生になって本校に入学した年の出会いから45年間の長きに渡る体育館の役目も終わり、和商は新しい時代を迎えました。そして、新体育館で新しい和商の歴史を皆様で刻んで行って下さい。

## 「県和商と私」



第 18 回全国高校女子駅伝第 8 位入賞

元体育科教諭 高橋 恭代

県和商創立 110 周年をお祝い申し上げます。  
私が県立和歌山商業高校の教員として辞令を受け赴任したのは、昭和 47 年 4 月 1 日でした。その間、37 年体育教員、陸上競技部監督として生徒と共に過ごしてきました。その時の思い出が今でも走馬灯のように脳裏に浮かんできます。

昭和 47 年 4 月に校門をくぐった時を思い返してみると、生徒たちが生き生きして学校全体に活気があるなど感じました。こんな素晴らしい学校で働けるのだと胸の高鳴りと喜びを覚えました。

ここから県和商での教員生活が始まっていきます。

授業、クラブ活動と毎日忙しい生活でしたが、生徒たちから得る素晴らしい出来事がたくさんあり充実した生活を送ることが出来ました。

県和商の生徒たちは何事にも一所懸命で、学校行事等には積極的に参加し前向きに取り組みました。特に私は体育担当をしていたので、体育祭が思い出されます。和商高音頭、フォークダンス、和商高体操など、大きな集団が心一つにして演技をする生徒たちの姿は輝いていました。先輩たちが築いてくれた素晴らしい伝統を受け継ぎ、よく頑張りました。今も思い出の一つとして心の中に鮮明に残っています。

クラブ活動では、陸上競技部監督として早朝練習、放課後練習にと生徒と共にグラウンドで汗を流しました。

クラブ指導の中で、特に重点を置いて指導していたことが幾つかあるので述べてみたいと思います。

陸上の選手である前に高校生であることを忘れずに、勉学と基本的な生活習慣を身につけ、何事もまじめに取り組む姿勢を大事にすること。また、校則を守ろうと常に話しながらクラブ指導をしていました。幸いにも、県和商の生徒は素直に私の指導を聞き入れ、まじめに何事も取り組んでくれました。そのおかげで各種競技大会、駅伝等で活躍してくれました。

特に忘れられない思い出は、第 18 回全国高校駅伝競走大会で悲願の 8 位入賞したことです。その時の感動を今でも忘れることができません。その裏には、部員自身のたゆまぬ日々の努力と不屈の精神力があったからです。また、周りの方々の協力と応援のおかげだと支えてくれた人々に感謝しております。

県和商での教師生活 37 年間で数々の思い出は、私の宝物です。

私は県和商が大好きです。私の母校だと思っております。

これからも県和商の益々の発展を祈っております。

私の現在は、悠々自適に残されたわが人生を自由奔放に謳歌しています。楽しみの走りと、退職後に始めたゴルフに汗を流しております。

最後になりますが、「紀鷹 110」の発刊にあたり、執筆の機会を与えていただきました学校、同窓会に感謝申し上げ、これからも社会に貢献する生徒たちの人材育成と、県和商の益々のご発展を祈念いたしております。

## 「県和商での勤務を振り返って」



本校体育館での森下洋子バレエ公演(筆者撮影)

元商業科教諭 楠見 勝

私は昭和49年から昭和59年の10年間と平成10年から平成20年の定年までの10年間、合計20年間県和商で勤務させていただきました。前半の10年は好景気で毎年数多くの求人を頂き商業高校の黄金時代と言っても過言でない状況でした。求人票を一通り見るのに3日かか

ると言われていました。今は10分もあれば終了するのではないのでしょうか。後半の10年は就職学校というイメージは消え、どちらかというに進学校に変貌していました。全国的にも商業教育不要論がささやかれる中、県内でもどんどん単一の商業高校が無くなり県和商だけが残りました。私も商業科主任、教育課程検討委員長、進路指導部長等の重い役を引き受ける中で、伝統ある県和商を如何に再生し、生徒にとって「入学して良かった」と言える学校にするにはどうしたら良いか数多くの学校訪問を行いながら教科を超えて議論を重ねました。名案は出ませんでした。

しかし、卒業後の2年先、4年先の就職を前提に、「商業高校として認められる」ぎりぎりの単位数を確保しつつ技能検定のメリットも有効利用することで当面取り組むと言うことで大方の一致を見ました。要は普通科卒業生が学んでいない会計、情報、経済といった教科をしっかりと学び、教えこむ事で「世の中を生き抜く力量を持った生徒」が育っていくのではないかと今も思っています。ただ、情報教育の分野はかなり先を読んだ動き、体制を組まないと「今後まったく使用されないであろう古い機器を使うクラス」と「最新の機器を使うクラス」が併存するという問題が起こっていました。又、数多くの技能検定については多すぎるのではという批判もあるようです。

しかし一つでも技能検定に合格する事で自信にも繋がり、又、次のステップにチャレンジする意欲の喚起に結びつくと考えます。好景気の頃の生徒と比較すると、若干、勉強の苦手な生徒が増えている事も事実だと思われます。この程度のことは理解していると思って授業を進めても予想に反して理解できていない。かなり手前で落ちこぼれているわけです。県和商の入学生の学力幅は以前に比べて確かに広がっていると思います。しかし、「理解度を確認して行くこと」で、もっとレベルを高めることができるのではないのでしょうか。

退職後、和歌山大学経済学部の大学院に入学。学内の経済学部や教育学部に入学した卒業生に何度も会い、「先生、単位は一つも落としていません。頑張ってますよ」と笑顔で親しく話してくれ、前向きに取り組んでいる様子に「県和商の教育は間違っていなかった」と心を熱くしました。私も40年以上続けている合気道、写真をのんびりと続けながら、外野席から県和商の発展を見守っていきたいと思っています。



## 「紀鷹 110」

元社会科教諭 藤城和明

私は昭和61年から9年間、そして平成7年から4年間の2度にわたり、県和商高の教壇に立たせて頂きました。また、クラブ顧問としてまわりの先生方にご迷惑をかけながらも好きなクラブ指導に専念できたことに深く感謝しております。県和商高で無事定年退職を迎えることが出来、現在も非常勤講師としてお世話になっております。

私の父親も、その教員生活のほとんどを県和商高の社会科教員として、また高校野球連盟の役員として過ごさせて頂きました。このように親子2代にわたりお世話になった深いご縁を感じる学校であります。

私が小学生のころ、夏の高校野球の応援に旧県営球場にて聞いた、県和商高の校歌の「青春自由あつめてここに・・・」のフレーズに、試合に勝ち興奮した状態で聞いたこともあり、子ども心ながら深い感銘を受けたのを今も忘れることが出来ません。在職時の思い出として最も記憶に残っているのは、やはりクラブ指導での生徒達との関わりでした。男子バスケットボール部の顧問として、なるべく生徒達と共有できる時間を長く持ちたいと考えていました。5時以降の来客の多い進路指導部に在籍した時でも、4時から7時までは体育館に座りに行きました。進路指導部の先生方には随分迷惑をかけたと思います。

現在もそうですが、その当時はもっと男子生徒が少なかったのです。だいたい40名のクラスに男子生徒は8人くらい、12クラスのうち2クラスが「女クラ」とよばれる女子クラスでした。だから、まず選手集めからです。6月の県総体がおわり新チームになると部員数はたいてい10人未満でした。それでも、なんとかメンバー不足で大会を棄権することもなく、9年間のクラブとの関わりにおいて、6年目に県代表になれたことは楽しかった思い出として残っています。

経験も浅く拙い指導でしたが、なんとか私を信じてついてきてくれた生徒達と、チームと関わってくれた先生方、それと学校の伝統ある環境のお陰だと思っています。

私の35年間の教員生活のうち13年間は県和商高で過ごさせて頂き、生徒達と接するなかで感じたのは、素直で明るく何事にも真摯に取り組む姿勢です。伝統の力でしょうか、与えられた役割に真面目に取り組めること、学習、クラブ活動等にも熱心に取り組めることでした。

社会に出て先ず求められるのは明るく素直なこと、それが出発点となって人と人との信頼関係を結ぶことです。それには誰とも明るく挨拶をかわせることと約束を守れること。これが県和商高の伝統的な教育の方針となってきたのだと思います。

勉学に励むことは当然ですが、県和商高にはそんな立派な社会人となる素養を持った生徒達が沢山集まっています。それを3年間の高校生活を通し、さらに磨きをかけて社会に旅立って行って欲しいと思います。時代は変わっても常に人として求められることに大きな変化はありません。熱心な先生方の指導のもと、この良き伝統を守り、生徒達の明るく素直で真摯な努力により県和商高が今後も一層発展することを期待しております。



## 「和商での10年間」

元数学科教諭 九鬼寛行

私は2003年4月から2013年3月までの10年間、数学科の教員として和歌山商業高校に勤務しました。この間、若者らしい生徒達に元気をもらい、仕事熱心な先生達に支えられて楽しく働くことができました。35年の教員生活の最後を和歌山商業高校で送れたことは、私の誇りであり、良い思い出です。初めて赴任して驚いたのは元気な生徒が多く、休憩時間に屋外で遊んでいたことです。挨拶をしてくれる生徒の比率も他校に比べてずば抜けて高く感じました。

前任校が総合学科でしたので、科目数の多いことには慣れていましたが、当時は3学科それぞれに選択科目があり、同じ科目でも学科や学年ごとに別の授業でした。授業数が多くなり、時間割も複雑なので、「増改築を繰り返した老舗旅館の建物」を連想しました。

2006年度に、それまでは教務部が担当していた入試事務を別の「入試事務委員会」が行うことになり、最初の委員長を務めました。この年に県の入試制度も前期・後期制に変わったので、内外共に新しい制度を理解し、実施するのに腐心しました。前期選抜では大量の不合格者を出し、後期選抜では定員を満たせず、二次募集を実施しましたが、教職員の皆さんの協力で無事に終わることができ、安堵しました。野球部が選抜大会に出場し、入試事務の最中に甲子園へ応援に行ったことも強く印象に残っています。

この不合理な入試制度が2年間だけで廃止されたのは良かったと思います。

2007年度は3学科から1学科への改変に関わりました。1学年は全員同じ科目を履修し、2年次に3つのコースに分かれる仕組みです。学校からの学科改変要求が承認を得られた例は少ないそうですが、幸いにも（特に予算がかからないのが良かったのでしょう）認められ、翌年からの実施になりました。約5ヶ月で、教科会議、教育課程委員会、職員会議を繰り返し、現在の「ビジネス創造学科」ができました。学科ごとに3年間で専門性を高める利点は無くなりましたが、商業科目を全く知らない中学3年の段階で学科を選ぶことの無理、その結果としての入学後の不適應、前述した時間割の複雑さなどが解消できたと思います。

2008年に新しい学科の1期生を迎え、コース選択を考えさせるための科目「キャリアデザイン」の担当者の一人になりました。教科書がないので、毎週担当教員が集まって、内容を相談しながら進めましたが、年度末には、「この授業がなければコースを決められなかった」という感想の生徒が多く、報われました。「派遣切り」や「過労死」なども取り上げ、働く者の権利について関心を持たせることもできました。

和歌山商業高校は多方面で成果を挙げていますが、教職員の皆さんのオーバーワークに支えられているのが心配です。どうぞ、持続可能な働き方で、伝統を守りつつ、時代に即した商業高校を常に模索してください。

## 「母校和歌山商業高校に赴任して」

商業科教諭 松本 透  
(新制第 23 期)

私は昭和 62 年に本校に赴任しました。

卒業してから 13 年経っていましたが懐かしい思いでいっぱいでした。同時に母校に勤務できる喜びと責任を痛切に感じました。

校庭に入ると自然に足は相撲場に向かっていました。高校時代毎日汗を流して自分を育ててくれた道場です。ところが相撲場はなくなり土俵があった跡地だけが残っていました。

何とかもう一度相撲部を復活したいという気持ちが沸いてきた記憶があります。しかし、部員は無く相撲部の活動のめどなどまったくありませんでした。何人かの生徒に声をかけましたが相撲部に入部してくれる生徒はありませんでした。

入学してくる生徒を待っていたのではだめだと思いました。そこで、少年相撲教室を開き子供達を指導して本校に来てもらうことを考えました。時間はかかりますが 3 年から 5 年我慢すれば必ず相撲部は復活できると考えました。幸運にもその頃には部員も 3 名あり、私と一緒に子供達を指導してくれました。また、大学の先輩たちも快く子供達の指導のお手伝いをしてくれました。

平成 8 年に待望の相撲教室出身の生徒が入部し、平成 10 年には近畿大会・県高校総体とも個人優勝、その後も教室出身の生徒たちの活躍により、平成 12 年には全国県新人選手権大会団体 3 位、近畿大会は団体・個人とも優勝することが出来ました。その後も県の大会ではほとんど優勝し、県高校総体個人戦では 10 連覇、団体戦では 8 連覇することが出来ました。また、相撲部を卒業した生徒たちのほとんどが大学に進学し、大学の相撲部でも活躍してくれています。各大学においても主将を務めるなど中心的な役割を担ってくれているのはうれしい限りです。

このように相撲部の復活を果たすことができたのは、自分の力では無く相撲を愛する色々な方々の協力があったお陰であり、また同時に素晴らしい部員たちに恵まれたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

本校での教育活動は 26 年度末で 28 年を迎えます。同一校でこんなにも長く働かせていただけることは本当に幸せなことです。また、平成 23 年度には「きのくに教育賞」及び「文部科学大臣優秀教員表彰」の授賞までしていただき、自分は先輩方や同僚の先生方、そして素晴らしい生徒に恵まれたことだと感謝しています。

私の教員生活は残り少ないものになりましたが、今後も皆様からお受けした御恩を忘れることなく何事にも精一杯努力し、本校の発展に寄与できるように頑張りたいと思います。

## 「今、振り返って思うこと」

商業科教諭 田村泰造  
(新制第24期)

私は、1971年（昭和46年）和歌山県で行われた第26回黒潮国体の年に、貴志川中学校で全国中学バレーボール大会に出場したのがきっかけで、当時の県和商監督、松下博馥先生の誘いを受け、県和商に入学しました。

県和商の男子バレー部はこの国体で3位に入賞し、全国総体連続出場など県内の強豪校として知られていました。しかし、入学前から参加した練習はとてつもなく厳しく、体力がなかった私は練習についていくのが精一杯の状態でした。特に、夏休みは一日練習がほとんどで、暑さと疲労で嘔吐しながら毎日の練習を耐えていました。

また、体育館のフロアは木の床ではなくコンクリートの床にリノリュームというゴム製の塗料を塗ったフロアでした。床が堅い上に冬は床からの冷気で寒く、梅雨時には湿気でフロアが濡れて、滑りやすくなり、その都度、床を雑巾で拭きながら練習するといった状態でした。

バレー部に入部した同級生は4人、2年生は2人、3年生は4人の10人でしたが、同級生の1人が退部し、3年生が引退して部員が5人になりました。そこで、軟式野球部に在籍していた兒玉典久さん（2年）に急遽、助っ人として掛け持ち入部してもらい1月の県新人大会（全国選抜大会県予選）で優勝、そして2月の全国大会南近畿予選で奈良県の添上高校に勝ち、6人のチームで見事、全国大会の出場を決めました。この6人での出場は、全国大会では初めてのことで新聞等に掲載され話題になったことを覚えています。

結局、入学してから引退するまで県内の大会はすべて優勝、インターハイ3回、国体2回、全国選抜大会（春高バレー）1回とすばらしい経験をさせていただきました。3年間で何度もクラブを辞めたいと思いましたが、振り返って思うと、バレーボールと出会ったおかげで精神力、忍耐力、協調性等が身につき、今の自分を支えている源になっていると思います。

現在は、本校教諭として女子バレーボール部を担当し、今年、久しぶりにベスト4に入りました。私の教訓は「苦しいことの後には必ず楽しいことがある」です。優勝を目指しているクラブですから、日々の練習は決して楽なものではありません。苦しい練習を強いて、生徒は泣きながら毎日の練習に耐えてきているのに、ここ数年間は結果を出させてやることはできませんでした。自分の指導力の未熟さを痛感するとともに、生徒に対し申し訳ない気持ちで一杯です。

今、まだベスト4というステップを一つだけ昇った所です。優勝を目指して、生徒の喜ぶ笑顔を見るために頑張っていきたいと思います。バレーボール部の卒業生のみんな、今までありがとう。

## 「県立和歌山商業高校 110 周年を祝して」

県商研理事長 吉川好司  
(新制第 31 期)

私は昭和 54 年に本校に入学し、57 年に卒業しました。新制 31 期の卒業になります。今から思うと約 35 年前に和商の制服を着て、電車と自転車で通学し、3 年間吹奏楽部で楽しくトロンボーンを吹いていました。

自分の人生で道が開いたのもこの和商であり、簿記を角野先生から学んだことが一因であるように思います。和商を卒業し大学に進学し、商業科の教員として、市立和歌山商業高校（現市立和歌山高校）に採用され、10 年間勤務し、箕島高校で 11 年。本校には平成 19 年に転勤してきて、110 周年を迎える今年で 8 年目の勤務になります。クラブでは吹奏楽部顧問として指導し、部員の頑張りもあり、コンクール金賞・県代表や定期演奏会での楽しい思い出を生徒と共有することができました。これ以外にも、体育館の竣工式での演奏や学校行事の入学式・卒業式・体育祭・文化祭での演奏も、その時代の部員のカラーが出ていたように思います。

商業科の教員として本校での勤務は、現在本校が和歌山県の唯一の商業高校であり、和歌山県の商業教育の中心校であるという責任感と、本校に入学し卒業後は就職や進学して商業の分野で活躍する生徒の進路をサポートしていくという使命感を常に感じて仕事をしています。

平成 23 年度より和歌山県商業教育研究会の理事長として、県内商業教育を実施している学校が参加する商業各分野の競技大会や商業教育フェスタ、商業科教員の研究大会などの運営に関わり、また、全国の商業教育研究大会に参加していつも感じることは、他府県の商業教育は、和歌山県に比べ、レベルの高いところがたくさんあるという事実を知り、何とかして、和歌山県の商業教育や本校の商業教育を改善していかないか、新たな取り組みができないか、などを考える機会が最近多くなりました。

最後に本校の 110 周年もこれまでの伝統や諸先輩方が築いてきた商業教育を衰退させることなく、発展させていきたいと感じています。和歌山商業高校の創立 110 周年を祝して、県内唯一の商業高校の看板を守っていき、本校の伝統をつなげていきたいと思えます。

## 「創立 110 周年をむかえて」

商業科主任 真 珠 雅 之  
(新制第 31 期)

私が本校に入学した年は、学区制初年度ということもあり、和歌山市内の高校入試は混乱し、本校では 100 名を超える定員割れを起こしていました。募集定員は、12 学級 45 名 (540 名) であり、2 次募集で定員となったこともあり、私たちの学年は、前後の学年にくらべて、男子生徒がとても多い学年でした。また、現在でも継続されている「3 ない運動」の初年度でもありました。それまで 16 歳になれば原付免許を取得できましたが、全国的に高校生の死亡事故が多発したことにより保護者からの要望で始まったとされています。校内では、硬式野球部が春季近畿高校野球大会で初優勝するなどクラブ活動も大変盛り上がりを見せていました。この年、新館が建設され 2 学期から新校舎で学習したことがとても印象に残っています。

卒業して 32 年経ち、まさか母校に勤務し、100 周年、110 周年の取り組みに携わることになるとは思っていませんでした。10 年前に赴任した当時は、創立 100 周年記念行事を秋に控えてさまざまな取り組みが行われていました。私も本校卒業生として、展示準備の作業に携わることができました。それは、古い卒業アルバムや文献をスキャナで取り込みデジタル化し、展示に使用する資料を作成するというものでした。その作業の中で、あらためて和商が歩んできた 100 年という歴史の重みや伝統に触れる機会がありました。中庭中央にそびえ立つフェニックス (不死鳥の意)、本校は戦後しばらく学制改革のため学校自体なくなっている状態にあったようです。それを、他校へ編入していた生徒や元和商の教職員の方々の熱心な働きかけもあり、新制和商として復活したということを知りました。“和商魂”とはこのことを指しているのかと勝手に解釈しています。さらに校歌の作成秘話や歌詞の中にも当時の思いが込められているなどなどさまざまな発見や驚きがありました。

また、和商の歴史＝商業教育の歴史でもあります。ここ数年で和歌山県下でも「商業高校」が姿を消して寂しくなりましたが、歩みを止めるわけにはいきません。平成 26 年度より新学習指導要領の実施にともない、教科では最多の 20 科目となり、内容が細分化、新設や再編成されてより専門的なものになってきています。

本校の教育課程は、平成 25 年度より段階的に実施されており、各コースは、それぞれ専門に特化した科目を配置しています。情報コースでは、全商ビジネス文書検定 1 級・全商情報処理検定 1 級プログラミング部門・1 級ビジネス情報部門取得、さらに I T パスポート試験・基本情報技術者試験取得まで高度 I T 人材の育成を目標にしています。会計コースでは、全商簿記検定 1 級・全商会計実務検定、さらに日商簿記実務検定 2 級を目標にしています。キャリア教育・職業教育に一貫性を持たせるため、2 年次で「ビジネス実務」(商業：総合的科目)をすべてのコースに設定し、インターンシップを実施しています。1 年次「キャリアデザイン」(学校設定科目：総合的な学習の時間)→2 年次「ビジネス実務」(商業：総合的科目)→3 年次「課題研究」(商業：総合的な学習の時間を代替)というキャリア教育の一連の流れができあがります。今後の成果が期待できます。

【教科の組織】（平成 25 年高等学校指導要領）

分野	科目	基礎的科目	総合的科目
マーケティング分野	マーケティング 商品開発 広告と販売促進	ビジネス基礎	課題研究 総合実践 ビジネス実務
ビジネス経済分野	ビジネス経済 ビジネス経済応用 経済活動と法		
会計分野	簿記 財務会計Ⅰ 財務会計Ⅱ 原価計算 管理会計		
ビジネス情報分野	情報処理 ビジネス情報 電子商取引 プログラミング ビジネス情報管理		

本校の教育課程（商業科目）

単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1年	ビジネス基礎		簿記			情報処理				

◇ビジネス総合コース（一般）

単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
2年	ビジネス実務		マーケティング		商品開発		ビジネス情報			財務会計Ⅰ		
3年	課題研究		総合実践		経済活動と法			電子商取引			広告と販売促進	

◇ビジネス総合コース（スポーツ）

単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
2年	ビジネス実務		基礎スポーツ		商品開発		ビジネス情報			財務会計Ⅰ		
3年	課題研究		総合スポーツ		総合実践		経済活動と法			電子商取引		

◇情報コース

単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
2年	ビジネス実務		プログラミング			ビジネス情報			財務会計Ⅰ			
3年	課題研究		総合実践		プログラミングⅡ		ビジネス情報管理		電子商取引			

◇会計コース

単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
2年	ビジネス実務		財務会計Ⅰ					原価計算				
3年	課題研究		総合実践		財務会計Ⅱ			経済活動と法			ビジネス情報 マーケティング 管理会計	

「商業教育」は「人と人をつなぐ教育」であるとよく言われます。本校には校訓のほかに「三樂のことば」というものがあります。

親と子と楽しむ

師と友と楽しむ

社会とともに楽しむ これを三樂という

和商に学びたるもの 生涯変わることなく

よろこびをともにし 悲しみをともにし

夢と希望を語り合い 力を合わせて 明日を開かん

わたしたちが、日々の忙しさに忘れがちになっていることばではないでしょうか。この「楽しむ」のなかには、楽しいことはもちろんのこと、苦しいことも楽しんでやろうとする心が必要であると語りかけられているように思います。

和商の伝統は、この言葉に集約されていると思っています。今一度、この言葉を受け止めながら、みなさんとともに和商の新たな歩みを進めていきたいと思っています。

# 「創立 110 周年を迎えて」

生徒会長 藤田 達也  
(新制第 59 期)

和商創立 110 周年を心よりお慶び申し上げます。私はまだ卒業して 4 年程しか経っていないのに、もかかわらず、このように寄稿させて頂き、大変嬉しく思います。

今、振り返ってみますと、約 7 年前の 4 月の少し前に中学校を卒業し、右も左もわからないまま、和商の門をくぐり入学式を迎えました。当時はまだ、3 学科制で 1・2 組が情報処理科、3～7 組が会計科、8・9 組が国際経済科と分れておりました。私はその内の会計科に入学しました。出身中学校の人数が大変少なかった為、9 クラスもあり、1 クラス 40 人なんて、正直驚きました。

「こんなに人数が多い中でやっていけるかなあ」という思いで頭がいっぱいでした。

最初のうちはクラスのみならず地元の同じ友達や同じクラブ活動の仲間同士としかしゃべらず、とつてもよそよそしい雰囲気の中、授業を受けたのを覚えています。

私は、人と話をするのが好きなほうで、比較的早い内に友達もでき、その友達とは現在も連絡を取っています。高校時代に知り合った友達は、一生の友達になると親から言われたことを本当にそうだなと身にしみて感じている次第です。最近、私事ですが結婚をし、式を挙げるにあたり高校時代からの付き合いがある 3 人に声をかけ、式にきて頂きました。忙しいながらも、一声かければ、きてくれる友達を持てたのも和商に入学したからこそだと思っています。

私は在学中に生徒会長をさせて頂きました。久しぶりの男性による生徒会長でした。和商は、女子生徒の数と男子生徒の数が大きく違います。私も 3 年間通して、クラスには 10 人程しか男子がいませんでした。

諸先輩方のお話を伺っていると、昔は逆で女子よりも男子の方が多かったと聞いたことがあります。私の感覚では人数では男子よりも女子の方が多かったですが、男子は女子に負けず元気がありました。その中でも硬式野球部の男子達は、他の男子とは違い人一倍元気があり、わが校の自慢と誇りでもありました。わたしは応援団として夏の県予選の試合に応援をさせてもらいに行ったことがありました。それまで高校野球に興味はなかったのですが、初めて間近に応援団として観させて頂き、自分の友達や先輩、後輩が優勝という 2 文字に向かって一生懸命に汗をかいてプレーしている姿を見て印象が変わりました。その年の夏、わが校は夏の県予選ではベスト 8 に入ることができました。戦っていた選手達と同様にスタンドで一緒に応援していた後輩部員やバトン部、そして観客の皆さんをみていると、和商は凄い団結力を持っているのだなと改めて感じました。

そして、刻一刻と時が過ぎ、仲間、友達と一緒に居る時間は過ぎていきます。入学した時は右も左もわからず学校の門をくぐった私ですが、次第に学校生活に慣れていき、「早く学校を卒業したいなあ」などと思っていたのに残り時間が短くなっていくにつれて、「まだ卒業したくない」と思うようになっていきました。今、一緒に居る時間がもう少しあればいいのにと、思うことが増えました。学校生活の中で知り合えた先生方やクラスメイト、先輩、後輩は私の中ではかけがえのない存在であり宝物です。今思えばあの時ああしていればよかったなとかこうやっていればとか、いっぱいあります。これから入学される方、卒業される方、いろいろな方がいらっしゃいますが、悔いの残らない学生生活を送ってください。和商はそれができる学校です。思ったことをつらつら書かせていただきましたが、ひと言で締めくくると「和商の卒業生で良かった」に尽きると思います。

これからもこのすばらしいわが母校がいつまでもすばらしいままであってください。

## 「和商創立 110 周年に寄せて」

バトン部元主将 小嶋 沙希  
(新制第 59 期)

和歌山県立和歌山商業高等学校創立 110 周年記念おめでとうございます。

私は和商に入学して本当に良かったと心から感じています。勉強以外にもとても良い経験をする事が出来ました。バトン部の仲間と一緒に何事にも積極的に一生懸命活動して過ごした時間、周りの人達から笑顔をいただけた演技の達成感、また商業高校ならではの行事である商業教育フェスタなどにたくさん参加させていただけたことなど本当に感謝しています。あの時、何気なく過ごした学校生活 3 年間を宝物のように思っています。

私は卒業後サービス業を選び、社会へ出ました。初めは戸惑うことも多く、悩んだこともありましたが、一番強く感じたことは和商で経験させていただいたことが活きているということでした。商業高校では商業教育フェスタや和歌山産品商談会 in 大阪などの行事を通じて、商品を企画・制作する大変さ、その商品をどのように販売するか、またその時に必要となる接客態度、それぞれの想いが詰まった状態で初めて販売と繋がり利益となる意味、人と人が助け合っているからこそ今があること、そういう深い意味を学生時代に知ることができました。だから今、サービス業では第一にお客様の立場になって接客することを楽しみながらできていると思います。

仕事以外のプライベートでも、第一に相手のことを考えられるようになったと思います。

在校生の皆さん、いつも授業中に先生方が伝えてくれていたこと、学生当時は理解出来なかったことが多いけれど今ならなぜ言われていたかを理解できるようになりました。学生時代は先生方が注意すると反発している生徒もいたけれど、先生方は「私達生徒を思って厳しく接してくれているのだ」と考え、素直に受け入れる和商生でこれからもあってほしいと思います。

和商の先生方、本当に有難うございます。今の私がいるのは和商で出逢えた全ての出来事のおかげです。



わかやま産品商談会 in 大阪で仁坂知事と撮影



## クラブ活動の紹介



## ①硬式野球部

和歌山商業硬式野球部には伝統があります。それは、「礼儀・マナー」の徹底です。「礼儀・マナー」は社会における普遍的な価値観であり、立派な職業人になるためには欠くことのできない最も重要な人間的資質であると考えます。思い起こせば10年前、和歌山商業が100周年を迎えた時、先人達から受け継がれてきたこの伝統の重さを実感し、これから先の100年を見据えると、必ず引き継いでいかなければならない伝統であると心に誓い、今でもその決意は少しも色褪せてはいません。日々の練習において、またグラウンドを離れた学校生活においても、我々指導者は部員とともにこの伝統を引き継いでいく所存です。

さて、なぜ高校野球は多くの国民に指示されているのでしょうか。高校野球の良さを考えたとき、その答えが「人間形成を目指す教育の一環」というところにあるのは間違いないのですが、私は「チームのベンチ」にあると考えています。出場できない選手がベンチでどのような行動をとっているか。エラーした選手を、三振した選手を、ノックアウトされた投手をベンチにいる者がどう迎えているか。また、試合前のノックを受ける選手だけでなく、その手伝いをする選手もどれだけ自分の役割を理解し、それを果たそうとする強い意志をもっているか。先発メンバーだけでなく控えの選手も一丸となって勝利を目指す。そんな姿が見る者の心を打ち、感動させるのだと思います。私が野球部に求めているのはまさにこのことなのです。勝利ももちろん大切ですが、勝利がもたらす歓喜の瞬間だけではなく、負けというものをチーム全体でどのように受け止め自分の糧とするか。勝利するためにチームとして取り組んだ結果がもたらす硬い友情。これなのです。しかし、これらは特に目新しい指導方法が必要ではありません。「当たり前のことを、当たり前のように、当たり前にする」だけです。

各先輩方に負けずとも劣らない和商球児を、また未来に羽ばたく人材を育成するべく、和商野球部の伝統を継承し、日々尽力していきたいと思います。

### 【10年間の主な成績】

- ・ 第79回選抜高等学校野球大会  
(70年ぶり出場、平成19年3月)
- ・ 春季近畿地区高校野球大会  
(2回出場、うち平成19年度準優勝)
- ・ 秋季近畿地区高校野球大会  
(5回出場)
- ・ 第91回全国高等学校野球選手権和歌山大会 (28年ぶり4強、平成21年度)
- ・ 第96回全国高等学校野球選手権和歌山大会 (5年ぶり4強、平成26年度)
- ・ 県下高校野球新人戦  
(37年ぶり優勝、平成24年度)

## ②テニス部

現在テニス部は、男子 11 名・女子 7 名（平成 25 年 12 月）で活動しています。男子は、インターハイ 15 回、全国選抜大会 2 回出場し、第 3 回大会（大正 11 年）に準優勝を記録している。女子はインターハイに 16 回、最高位ベスト 8、全国選抜大会に 4 回出場の成績を残している古豪である。

私が赴任した 10 年前は、創立百周年を迎える年でした。顧問を引き受けることになった背景は、この仕事のスタートである講師時代（昭和 63 年・平成元年）の 2 年にわたり、競技経験がまったくない私にテニス部顧問を経験させていただきました。その際、たくさんの方々にお世話になり、貴重な体験や数え切れないほどのアドバイスをいただいたことで、現在の私があるものと感謝しています。その時の思いもあり、少しでも恩返しになればと引き受けることにしました。

しかし、その当時の印象とは異なっていました。使用できる 3 面のテニスコートに男女 56 名の部員がひしめいている状態で、部員の名前を覚えるのも大変だったと記憶しています。部員数が多く、部内でもさまざまな問題を抱えていたようでした。早く立て直す必要があると考え、就任から 2～3 年は厳しく指導しました。競技のことよりも、練習環境の整備、普段の生活態度や学習に取り組む姿勢、身だしなみなどについて話すことが多かった。競技経験がないため、専門書やビデオを購入し、練習内容やトレーニング方法等を考えたりしました。幸いなことに、さまざまな競技の顧問を経験してきたことで、たくさん役に立つことができました。また、高校生活では、勉強・部活・家事手伝いの 3 つのことは最低でも同時にできるようになりなさいと伝え続けました。クラブ活動は、その競技を通しての人づくりでなければならない。人生を生き抜いていくうえで必要なことや大切なことを学ばせる場でなければとの思いがありました。

最近では、平成 24 年に男子ダブルスで 25 年ぶりにインターハイに出場し、翌 25 年に男子団体で 26 年ぶりに全国選抜大会に出場する活躍をみせています。古豪復活に向けて、より一層精進したいと思います。今後とも諸先輩方をはじめ皆様方の温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## ③ソフトテニス部

ソフトテニス部は、現在 2 年生 7 人・1 年生 1 人の計 8 名です。学校の人工芝テニスコート 2 面で毎日放課後、土日祝日は朝から夕方まで一生懸命練習をしています。乱打やサーブレシーブなどの基本練習が中心で、大会が近くなれば試合をします。平成 27 年の和歌山国体から、団体戦にシングルスが採用されるため、今年度から高校生のシングルスの大会も行われることになり、ダブルス・シングルス両方の練習を行っています。

ソフトテニスでは、基本的な技術や体力と戦術を考える能力、そして試合で自分の

力を発揮するための強い精神力が大切です。そのため、目標を設定し、日々の反復練習に加え自分の課題を明確にし、解決する訓練をしています。また、精神面を鍛えるためには練習はもちろん勉強や挨拶など、日々の生活全てにおいて高いレベルを要求しています。

継続して練習をすることは、決して容易ではありませんが、少しずつ着実に成果は出ています。その結果、平成 25 年度和歌山県高等学校総合体育大会では、女子団体戦で準優勝をし、近畿高等学校選手権大会でも団体戦で 1 勝することができました。また、新チームになった後の平成 25 年度和歌山県ソフトテニス新人選手権大会では、団体戦準優勝、個人戦でも 2 組がベスト 16 に入り、団体・個人とも近畿高等学校ソフトテニスインドア大会に出場することができました。残念ながら、近畿大会で勝つことはできませんでしたが、選手にとっては大変良い経験となりました。

クラブ活動は厳しく辛いこともあります。人間関係を築く絶好の機会でもあります。休憩時にはチームメイトと楽しく話をしたり、OBの方々が教えに来てくれたりしています。また、厳しい練習を乗り越えて試合に勝った時の喜びは大きな財産になります。ソフトテニスを通じて、多くのことを学び、一回りも二回りも大きな人間に成長してもらいたいと思います。今後も、クラブ活動を通じて心身を鍛え、和歌山商業高校の卒業生として、素晴らしい社会人・職業人を社会に数多く送りだしていきたいと考えています。

#### ④男子ハンドボール部

男子ハンドボール部は、一瞬一秒を大切に活動しています。そのなかで和歌山商業高校のハンドボール部員はハンドボールをしたくて入学した生徒は、ほぼいません。ハンドボールがどんな競技なのかも知らずに入部した生徒ばかりです。それでも、毎日決まった時間に集合して厳しい練習に耐えながらも活動を続けています。部員数は、現在 12 人と少ない人数ですが、挨拶や礼儀はもちろんのこと、日々の生活に目標を持ち、何をしなければいけないのか、何がチームに足りないのかを考えながら学校生活を送っています。ただ数年前は、試合に出場するのに人数が足りない、生徒が来たり来なかったりと自由奔放なチームでした。しかし、現在の生徒が辛い練習でも耐えることができているのは、目に見えない希望に想いを馳せ仲間を信じあっているからです。コート上では生徒同士厳しい言葉を投げかけるように指導しています。それは、仲間が強くなって欲しい気持ちや仲間を大切にしたい気持ちがあるからこそ言葉だと伝えていきます。なぜならば、優しさと厳しさは本質的には同じだからです。厳しさの含まれる環境だからこそ、試合に対する思い入れも強くなり、チームを勝たせたいという仲間に対する思いやりも生まれます。ただ、結果を出すことに固着するのではなく、それまでのプロセスを大切にしています。生徒が成長し続けているのは、勝負する相手がい、練習できる仲間がい、活動できる環境があり、そして応援して下さる方々がいるからです。男子ハンドボール部は、人間性を高め、挨拶や礼儀、そし

て感謝の気持ちをもてるチームへと成長し続けています。

最後に、今の男子ハンドボールがあるのは、皆様方の深いご理解と温かいご援助があったことです。男子ハンドボール部は「一瞬一秒を大切に」を胸に精進して参りますので、今後ともよろしくお願い致します。

## ⑤女子ハンドボール部

女子ハンドボール部は現在インターハイに4年連続出場しており、全国大会での勝利を目標に活動に取り組んでいます。また、紀の国わかやま国体に向け、少年女子の強化拠点校として様々なご支援を頂きながら活動を行っています。これまでの活動を振り返れば、今でこそ全国の舞台での勝負が出来るようなチームになりましたが部員数の減少により、試合に出るための人数を集めることに苦労をした時期もありました。しかし、逆境にめげずその時期を乗り越えて活動を続けてきた生徒達が礎となり現在の状況があることは言うまでもありません。

私たちの取り組みは「人間力を高めること」が最大のテーマであり、常に生徒自身が自立し自主的な判断をして行動できるようになることを目指しています。その過程の中で、目標を「インターハイ優勝」、理想のチーム像を「全員でまとまり粘りのあるチーム」「皆が応援したくなるチーム」として活動をしています。生徒は日々高い目標を持ちながら意識高く練習に取り組んでいます。困難な状況でも決して諦めず粘り強い取り組みを行うため、生徒は成長し続けることができます。それはプレーの面においても、数ヶ月前試合で大敗した相手に勝利することができたというような結果にも表れています。内面の変化も顕著であり成長を間近で実感できる事が指導者にとっての最大の喜びです。

ハンドボール部は伝統が息づいた歴史あるクラブです。その伝統を重んじながら、常に変化しチャレンジしていきながらこれからも活動していきたいと考えています。また、和歌山を代表するチームとして何十年と続くクラブにすることが夢であり、そのための組織作り、取り組みをこれからも続けていきたいと思えます。

## ⑥男子バレーボール部

ここ数年、男子バレーボール部は部員数がぎりぎりという状態が続いています。3年生が引退した後の新人大会は2年連続（平成24年及び平成25年）試合に出場できていません。ただ、そんな状況ですが、平成23年では選手権大会ベスト8に入ることができました。このチームは中学からバレーボールを経験している生徒2名、高校でバレーボールを始めた生徒4名マネージャー1名というメンバーでした。予選グループ戦で敗退したチームに翌日の決勝トーナメントではフルセットの末勝利することができました。生徒の中には試合直後涙を流す生徒もいました。20年近くバレーボール部の顧問をしていますが、試合に勝った後に涙を流す光景に出会えたことは感

動的で、生徒とともに汗を流してきてよかったと思えた一瞬でした。涙を流した生徒は私が顧問になった時に2年生でした。部員不足の状態でバレーボールを続けてきて、3年生最後の公式戦（選手権大会）でベスト8に入ることができたということ、また前日に負けたチームに翌日接戦の末、勝利することができたことがその涙につながったのだと思います。現在の部の状況ですが、平成25年から待望の新体育館で練習をすることができています。試合に出場するためには、部員を集めることから始めなければならない状況ですが、生徒達と全国大会出場を目指して汗を流したいと思います。

## ⑦女子バレーボール部

本校、女子バレーボール部の歴代顧問として、昭和60年～平成4年までの8年間は、大城健次先生、平成5年～平成19年までの15年間は松尾忠廣先生と、全国大会出場等、数々の優秀な成績を残して来られました。

私が松尾先生の後、平成20年より顧問を担当し、優勝を目標に指導を続けてきましたがベスト8という、結果に終わってしまったことが残念に思います。

指導の基本理念は、「バレーを通じて何を学ぶか」です。毎日の練習や試合で学んだことを、いかに日常の学校生活に繋げていくか。バレーを通じて人間形成を行うことが、最も大事なことだと思います。

現在、3年生2名、2年生6名、1年生4名と12名の少数チームですが、平成23年には近畿大会出場を果たすなど、上位を狙える力をつけてきています。

近年、和歌山商業でバレーがしたいという生徒が増えてきています。これは今までの卒業生が、色々な所で努力してきた成果だと思います。これからも、バレー以外にも輝ける生徒育成に一生懸命努力していきたいと思っています。

## ⑧男子バスケットボール部

男子バスケットボール部は、現在2年生6名、1年生14名で活動しています。私はチーム作りの基本として「応援されるチーム」を目指しています。他クラブの部員やクラスの生徒、教職員、保護者、また卒業されたOBの方々に応援してもらえそうなチームをつくりたいと思っています。そのためには、チームとして成績を修めることはもちろんですが、挨拶や礼儀、日頃の振る舞いなどで自分だけでなく、チームの評価をさげるような行動は厳に慎むように部員には言い聞かせています。

和歌山商業高校男子バスケットボール部員であるという帰属意識を強め、プライドをもって物事にチャレンジしてほしいと部員には思っています。

さて、和歌山商業高校男子バスケットボール部は過去に総合体育大会、ウィンターカップ予選を制覇し、全国大会へと出場した歴史があります。

現在のチームは、このような成績を残すに至っておりませんが、日々練習に打ち込み、上位を目指し努力をしています。卒業生の方々も練習に参加して下さり、現役

生を叱咤激励してくれます。

多くの方々の支えがあって今現在の部員たちはのびのびとプレーできることに感謝の気持ちを忘れずにいてほしいと願います。

## ⑨女子バスケットボール部

女子バスケットボール部は現在2年生7名、1年生7名で活動しています。私は、バスケットボールを通じてルールの順守や時間厳守などの常識ある社会人を育てるために、楽しく部活動をしますが、その中にも厳しさをもち、切り替えがしっかりできるようにしています。また、それらを身につけることによって、高校生活が終わって就職した際に必要とされる人材を育てようと思っています。和歌山商業女子バスケットボール部は、過去ベスト4常連チームでしたが現在はこのような成績を残すに至ってはいません。

しかし、日々練習、自己を見つめ自主練習等を繰り返す生徒が多いため、今後、多くの人から応援されるようなチームになるためにも文武両道、心体技で成長してほしいと願っています。

## ⑩ソフトボール部

3年生2名、2年生7名、1年生2名（平成25年度）で活動しています。高体連ソフトボール専門部に加盟している高校は11校と少なく、さらに各校とも少数の部員での活動となっています。その中で、本校においては県大会で2回戦に進出するのがやっとの状況であり、上位進出を目標として日々練習に取り組んでいます。練習内容は、キャッチボールやティーバッティングなど、基礎的・基本的な練習の反復を続けています。

現在、ソフトボールを経験しているにも関わらず高校ではクラブ活動さえ行わない生徒もおり、部員を確保することが大変な状況です。少ない部員数で、できる練習も限られていますが、今はしっかりと土台をつくることを大切にしたいと考えています。

私たちがクラブ指導をする際に心がけていることは、高校を卒業し、社会に出たときに、いかに対応（応用）できる力を身につけさせるかということです。ここ一番のチャンスで信用できる部員とは、普段の学校生活をきちんと送ることのできる生徒だと確信しております。その考えから、学校生活をきちんと送ることを重要視しています。また、ソフトボールという競技の中で、合同練習・練習試合・合宿などを通じ、他人との関わり合いの中で、個々が「人」としてのレベルアップができるよう、これからも指導していきたいと思えます。

## ⑪陸上競技部

私たち陸上競技部は、学校生活の充実や基本的な生活習慣の確立をさせるとともに、インターハイや国体、全国高校駅伝大会へ出場し活躍することを目的として厳しい練習に励んでいます。

陸上競技部の過去10年間で一番の競技結果は、私の高校時代の恩師である元顧問の高橋恭代先生が平成19年に全国高校女子駅伝8位に入賞されたことです。全国高校駅伝の入賞校のほとんどが私立高校が占め、公立高校が入ることは非常に厳しいことが現状です。そんな状況のなかで高橋先生は、強豪校との合宿の実施・徹底した生活指導と厳しい練習を続けられました。高橋先生の絶対に全国で勝負したいという願いと、生徒たちの頑張りで、全国駅伝8位入賞という素晴らしい成績を修めたのです。

全国入賞から7年が経過し、高橋先生は5年前に退職されました。5年前の部員が5名今では35名を超える大所帯となりました。今年度は久しぶりに大分インターハイに出場しましたが、未だに全国駅伝には出場していません。

高橋先生が昔から言われていた、「練習は嘘をつかない」「一所懸命」の言葉を信じ練習に励み、もう一度全国で和商陸上競技部を全国の舞台へ送り出すことを目標にこれからも頑張っていきたいと思います。

## ⑫バトン部

バトン部は、3年生7名、2年生12名、1年生10名で活動しています。バトンやリングバトン、フラッグ、ポンポンなどを使用したり、ダンスと組み合わせたりと、創意工夫を加えた作品を校内外で発表しています。

かつて週4日間だった練習は、今では土日も含め、ほぼ毎日行われるようになりました。これは、部員達の希望によるものであり、より完成度の高い作品を目指して、意欲的に活動に取り組んでいます。

長年、バトンを専門とする指導者がおらず、先輩から受け継いだ技術や伝統を守ることで、クラブを支えています。そのため、伝統を重んじる気持ちや先輩と後輩の絆が強く、卒業後も大会などに応援に駆け付けたり、日頃の練習の様子を見に来たりする卒業生の姿をよく目にします。厳しい声が飛ぶこともありますが、厳しさが優しさであり、思いやりであることを知っていることが、バトン部の力であると感じています。

また、今年度からは、数か月に1回程度ではありますが、日本バトン協会より講師を派遣していただき、演技指導を受けています。伝統を守りつつ、技術向上とバトン部の更なる発展を目指しています。

応援してくださる方々への感謝の気持ちを忘れず、これからも意欲的に活動していきたいと思います。

## —主な活動内容—

- 4月 新入生歓迎会（発表）
- 5月 和歌山音楽大行進（パレード）
- 7月 全国高等学校夏期野球大会県予選開会式（入場行進の先導）  
野球応援
- 8月 黒潮夏祭り開会セレモニー
- 9月 体育祭開会式（入場行進の先導）
- 10月 文化祭（発表）  
商業教育フェスタ開会セレモニー
- 11月 マーチングバンド・バトントワリングフェスティバル（発表）
- 12月 ふれあい祭（発表）

## ⑬卓球部

卓球部は新館南側の2階卓球場にて5面を使用し練習に励んでいます。男女とも少数精鋭で県大会では常に上位に入賞し、先輩方が築かれた伝統を守っています。百周年からの十年間でインターハイには7回出場しました。また全国選抜大会には2名が個人出場を果たしました。特に指導者では山本光義監督が39年目の指導を行っていただいています。本校の歴史を知り、常に今後の行く末を案じて下さる同監督にはただ頭が下がる思いです。この十年間、誠にありがとうございました。

この十年間でもルールが変わり、ボールがセルロイド製からプラスチックに、ラバーの接着剤も使用禁止になりました。日々変化が激しい卓球界に取り残されることなく、常に研鑽に努め、技術の向上を目指すのはもちろん、礼儀や挨拶などいつの時代にも必要なスポーツマンシップを忘れることなく指導し続けることが私たち指導者の責務であります。和商卓球部のますますの発展に少しでも寄与できるよう、精一杯任務を全ういたします。最後に、先輩方や諸先生方の御理解と御協力を今後ともお願いいたしまして、紹介の言葉とさせていただきます。

## ⑭剣道部

剣道部は昭和28年に旧制和歌山商業高等学校からの伝統を引き継いで創部され平成25年には60周年を迎えました。諸先輩方の輝かしい戦績の残る伝統あるクラブです。

ここ20数年ほぼ近畿大会に連続出場といった女子の活躍が目立ち、総体、新人戦等の県大会でもこの10年で決勝に進むこと5回と目覚ましい実績を残しています。

特筆すべきは平成24年度の和歌山県高等学校新人剣道大会において女子団体に初優勝、愛知県春日井市で開催された第22回全国高等学校剣道選抜大会に初出場を果たしたことです。全国の大舞台で強豪校の白河高校（福島）、宇都宮文星女子高校（栃木）と予選リーグで対戦、1勝1分と健闘したものの本数差で決勝トーナメントに進

めず涙を呑むという結果でしたが、大変貴重な経験になりました。またインターハイ（女子個人）にも平成21年度に谷口明日香、平成25年度に福永歩紗が出場するなど、全国レベルの実績を残しており、現部員たちの目標にもなっています。

またここ数年で男子部員も増えてきて、男子団体戦もメンバーが揃い、各部門にフル出場できるようになってきました。男子も女子に負けじと県大会のシード権とともに近畿大会出場を目標に頑張っています。平成25年度の県総体では予選リーグで善戦しながら後一步のところで惜敗しましたが、個々にも力をつけてきており明るい展望が持てるところです。

現在部員数は1,2年生12名、（平成26年3月時）とさほど多くはありませんが、男女ともに目標を持って日々稽古に励んでいます。剣道場は一試合場ぎりぎりのスペースの中、稽古方法や内容を工夫し、それぞれが自分の目指す剣道に集中して取り組んでいます。和商生としての自覚と誇りを持ち、厳しい中にも「和」を大切に、明るくチームワークが良いところが受け継がれています。

高体連の大会（県総体、近畿大会、段級別選手権大会改め学年別選手権大会、新人大会）を始め年間を通して各大会に出場し、県内外の遠征や各錬成大会に参加させて頂き、部員は試合経験を重ねながら力をつけていきます。

中でも毎年夏休み中に実施する校内合宿は、部員が成長するためにひととき大切な行事です。ここでは多くの和商剣友会（OB会）の先輩方のご指導とご支援を頂いて部員の力になっております。また恒例の正月三日の初稽古も多数の先輩方が来校され直接ご指導いただける機会、和商剣道部の伝統と繋がりを強く感じられる一年の始まりです。

平成27年に開催される「わかやま国体」に向けて各競技とも盛り上がっているところですが、和商剣道部も新たな「和商の風」を起こすべく、頑張っていきたいと思えます。今後とも諸先輩方をはじめ皆様方の温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## ⑮水泳部

我々水泳部は、夏場は学校のプールにて6000mから8000mの練習をくり返し行い、冬場の練習は陸上トレーニングやランニングなどを行っています。もうすぐ秋葉山プールが改修され新規オープンされるため、冬場でもトレーニングができると思い楽しみに待っています。

主としての大会は、5月末にある「高校選手権大会」、6月中旬にある「県高校総体」、7月末にある「近畿高校選手権大会」を軸に考えトレーニング計画を立てています。現段階で全国大会に出場できる選手というのは、いませんがしっかりとトレーニングを行うことによって夢ではないと考えています。今いる生徒のベストタイムを向上させることはもちろんのこと、人間的に成長させることが重要だと考えています。礼儀、言葉使い、時間厳守等々、社会に出ても即戦力となる人間味がある人間になれ

るような指導を心がけています。その一つとして毎年ゴールデンウィークと夏場（7月末から8月上旬）に強化合宿を行っています。いろいろな高校の生徒と共同生活を行うことによって、協調性や規範意識を向上させる良い機会と思って続けています。それから、プール掃除やプール周辺の草引きや清掃活動も人間的な成長の意味も含めて行っています。

今は人数も少なく、競技レベルは低いですが、いろいろなことを生徒に学ばせ、先輩方から受け継がれてきた良き伝統を後輩に伝え、水泳部に入部して良かったと思われる部活動にしていきたいと思えます。

## ⑩女子ホッケー部

黒潮国体ホッケー競技は1971年（昭和46年）、有田市箕島で開催されました。来るべき黒潮国体に向けての準備の一環として、本校女子ホッケー部は1968年（昭和43年）女子部としては県下初めて創部されました。3年後には本校卒業生が中心となり紀陽銀行にもホッケーチームが誕生、国体に向けてのチームづくりの活動がきっかけとなり、県和商女子ホッケー部は現在に至っています。

## ⑪柔道部

平成25年度柔道部員は、3年生男子2名、2年生男子4名、1年生男子2名と少数ながら、一生懸命に日々の稽古に取り組んでおります。しかしながら、和歌山県全体の柔道部員の減少は、本校柔道部にも影響を及ぼし、女子部員が平成24年度卒業生を最後に在籍していない状況となってしまいました。本校の女子柔道部は過去には、素晴らしい結果を残しているにもかかわらず、無念であります。

そのような中でも、現在の部員達は、素晴らしい結果を残した先輩達に負けじと前向きに、厳しい稽古に向かい合っております。また、「文武両道」を目指し、学校生活においても、生徒の模範となるよう、勉学にも一生懸命取り組んでおります。

しかしながら、このように現部員達が、学校生活において、勉学に部活に前向きに取り組む姿勢を持っているのも、110周年をむかえる和商柔道部の良き伝統のおかげだと強く感じます。平成23年度には、素晴らしい和商柔道部の名札を、平成25年度には、和商柔道部「道場訓」を第3期生の冷水澄夫様より贈呈していただき、より一層心身を引き締め、稽古に取り組むことができしております。

最後に、和商柔道部の伝統を次の120周年にむけ、より良い形で、受け継いでいけるよう、部員と共に精進していきます。

## ⑱ サッカー部

和歌山商業サッカー部は今まで特定の顧問がおらず、サッカーがしたくて入学入部した生徒もほとんどいません。26年度は3年生10名、2年生11名、1年生13名、マネージャー5名で活動してきました。昨年からは基礎技術、体力強化を重視し、楽しむためにやるべきことをやろう。ということで1年間やってきました。今までは総体や選手権といった大きな大会ではなかなか結果も出せず、3年生は夏で引退していましたが26年度は総体で3回戦まで進み、(海南高校に惜敗)悔し涙を流す生徒も多く、冬まで残ることを自分たちで決断しました。

そして県内ベスト4という目標を掲げ日々トレーニングに励み、残念ながら結果はベスト16と目標には届きませんでしたでしたが最後はやってよかったと3年生全員が口にしていました。チームスポーツであるサッカーを通じて技術面はもちろんですが、仲間との人間関係や思いやり、協調性なども少しずつ自分たちの力で学べる場になってきたと感じています。3年生が引退し、1, 2年生の新人戦では思うような結果は出ませんでした、そこまでの過程が重要であることをしっかりと伝えながらステップアップしていけるようなチームにしていきたいと思いますので今後ともよろしくお願い致します。

## ⑲ 相撲部

私が相撲部員を指導するにあたり自分に言い聞かせていることは、生徒の競技活動のピークを高校3年間だけに固執せずにもっと上の段階を目指さすことにあります。常々生徒たちに大学や実業団で長く相撲を続けてもらいたいと思っています。高校の指導者のなかには高校時代を全てと考へ無茶な体重増加やオーバーワークを強要する指導者も少なくありません。そのため生徒は体を壊したり、燃え尽き症候群に陥ったりして競技生活を終えてしまう例もあります。そのような結果にならないよう私は生徒に対して日ごろから「高校時代に勝つことだけにこだわらなくてもいい、今後の大学や実業団での競技生活で一つでも多く勝てるようになればいいじゃないか、そのために今は基礎を作る努力をしっかりと行い心技体を磨くようにしなさい。」と良く言い聞かせました。

生徒たちは私の考えを良く理解し各自で目標を持って稽古に励んでくれたと思います。その結果大半の生徒は大学に進学しました。東日本の強豪校では日本大学・中央大学・明治大学、西日本では同志社大学・立命館大学など各大学で主将・副主将を任せられレギュラーとして活躍しています。

特に平成17年度卒業の富田元輝は平成21年度の日本大学主将として全日本大学相撲選手権大会の団体優勝の原動力になり、その年の12月に行われた全日本相撲選手権大会にも個人優勝し第58代アマチュア横綱の称号を得ました。

大学卒業後も教え子のほとんどが実業団選手として活躍しています。平成24年の

岐阜国体相撲競技成年の部団体戦（3人制）では、卒業生の3人が準優勝に輝きました。これは国体の選手構成から考えると同一出身高校・同一事業所（和歌山県庁）の選手だけというのは大変珍しいことでした。他にも日本通運や、県内の株式会社松源の選手として多数の教え子が頑張っています。

私は相撲を通じての鍛錬が生徒一人一人の人間的な成長につながればそれが一番だと考えています。相撲に勝つために努力することは当然ですがその努力が相撲で報われなくても必ず何らかの形でその人にとってプラスになってあらわれるように思います。相撲の競技生活は短いものです。相撲で養った全てのものを人生の糧にしてほしいと思います。

最後に、ここまで私についてきてくれた教え子たちにとってこれからの人生が幸多いことを祈念して寄稿とします。



## ①合唱部

歌が大好きな部員が集まり、放課後ほぼ毎日練習しています。合唱が盛んだった時期もありましたが、部員数の増減に伴い練習する場所がなく階段の踊り場で歌ったりしていた時期もありました。数年前からは、東棟3階普通教室にピアノを入れてもらってそこで練習しています。

部員募集をしてもなかなか集まりませんが、部員一同学年をこえて仲がよく、勉強とクラブの両立を目指しています。

年間を通しての活動は、校内では新入生歓迎会・文化祭・ふれあい祭・クリスマスコンサート。校外では県高等学校総合文化祭・高等学校文化連盟主催の発声研修会などがあり、他校の合唱部員と一緒に外部の先生に指導していただける機会があります。部員数が少ないなりに選曲を工夫したり、歌う場所（野外や広すぎる場所などでは声が聞こえない）を考慮したりしながら活動しています。ここ2、3年前から合唱部の活動を知ってもらおうと始めたクリスマスコンサート。図書館をお借りしてのクリスマスコンサートは、昼休みの短い時間ですが聴いてくれる生徒のみなさんや先生方との距離が近く感じる分、一体感が生まれとても楽しいです。また図書館の天井が高いため声がよく響き、まるでどこかのコンサートホールで歌っているように気持ち良く歌えます。

近年で大きな大会といえば平成23年11月に近畿高等学校総合文化祭滋賀大会、平成24年11月には和歌山県において近畿高等学校総合文化祭和歌山大会が開催され、それに参加したことです。

とくに和歌山大会では、約1年前から総合開会式の企画・運営に関わり準備を始め、大会当日は総合開会式・式典に合唱参加はもちろん、他府県の参加生徒誘導・案内等の大役をこなしました。また部門演奏では和歌山市合同合唱団として総勢40名で日頃の練習の成果を発表しました。合唱部門最後に10府県91校660名の歌声がホールいっぱい響き渡り、すべてが終わったときはとても感動しました。また、次に和歌山県に近畿大会が開催されるのは11年後だと聞き、そんな大会に企画・運営から参加でき他府県の高校生と交流できて本当によかったと思いました。

県和商は地域の方々と触れあう機会が多いので、これから合唱部も歌を通じて地域の方々と交流する活動ができれば良いと思います。

## ②吹奏楽部

平成19年に本校に赴任し、前任の田代先生から引継ぎ顧問に就任しました。年間行事は4月の入学式の演奏から3月の卒業式の演奏まで、パレード・定期演奏会・野球応援・コンクール・体育祭・文化祭・高文連発表会・ふれあい祭・アンサンブルコンテスト・ミニコンサートなど含めると本番の演奏がたくさんあり、幅広く活動しています。毎年4月当初は、約60人の部員がおり、部長を中心にまとまり、生徒中心

に熱心に練習に励み、休日も少なく、練習時間も体育クラブと同じくらい取り組んでいます。

吹奏楽コンクールでは平成元年より25年連続金賞を受賞し、この10年間で、4回県代表になり関西大会に出場しています。また、伝統のあるクラブで、定期演奏会は平成26年度で第39回となり、平成20年度にビジネス創造科に学科改編を契機に、吹奏楽部生徒の企画力も高まり、演奏会の中で、紅白歌合戦やイントロ当てクイズ、ダンスや芝居等を取り入れ、来客にも年々期待されています。平成25年度は、3年生17名、2年生14名、1年生22名の53名で、「気配り・目配り・耳配り」をモットーに毎日、明るく・楽しく練習しています。また、第39回定期演奏会を和商創立110周年記念演奏会になるように考えています。今後とも吹奏楽部の発展のため、ご支援・ご協力をお願いいたします。

### ③演劇部

体育館が建て替えられ、真新しい舞台で劇創りに励んでいます。創作活動の発表の場として、県高等学校総合文化祭演劇部門（県大会）や、校内文化祭、春季高校演劇祭があります。また、今年度は新人公演を県立図書館メディアアートホールで行いました。

近年は、部員数は少ないながらも県大会において優秀賞をいただいております。今年度は近畿総合文化祭演劇部門（福井大会）にも、県代表として選出され芝居を打ってきたところです。

表現能力の学習の場として、夏期演劇講習会や県演劇連盟紀北支部合宿などがあり、県下の演劇部の高校生と積極的な交流を図り切磋琢磨しています。

また、自ら執筆した脚本について県劇作研究会を通して上位大会を狙うこともでき執筆活動が好きな部員は応募しています。

演劇は、瞬間芸術とも言われます。高校生という一瞬の時間を大切にし、舞台創りを通して人間的な成長も図っていけるクラブを大切にしていきたいと思います。

### ④写真部

私たち写真部は現在3年生6名、2年生9名、1年生4名の19名で活動しています。普段、普通に見ているモノをレンズを通して見てみると、何か違うものがあります。眼で見るのではなく、レンズを通して世界を見る楽しさをクラブを通して体験しています。

通常は定期的集まるのではなく、部員一人一人が撮りたい時に撮り、現像したい時に現像するというスタイルをとっており、文化祭やコンテストに出品する中で、互いの技術を高めています。その甲斐あってか、ここ数年はコンスタントに県代表として近畿大会や全国大会へ出品できています。

最近では、デジタルカメラで撮影し、プリンターで印刷するのが大半となっています。フィルムを気にせず何枚も撮ったり、すぐに写真を確認できたりと、デジタルカメラには良いところもたくさんありますが、フィルムカメラのように、一瞬の緊迫感や現像した時に初めて作品の出来が分かるという楽しさを求め、年に数回ですが伝達講習会を校内で開き、先輩から後輩へと技術を受け継いでいます。

今後は先輩から受け継がれた良き伝統を引継ぎながらも、新しいことにもどんどんチャレンジし、クラブを通じて個人の感性を磨いていきたいと考えています。

## ⑤美術部

美術部は各学年5～10名程度が在部しており、毎年度安定した人数で活動しています。

主な活動内容は、ポスターコンクールへの出品、校内文化祭での展示作品制作、県内商業高校（商業科がある高校を含む）が協同で開催する商業フェスタで催される商業美術展への参加、毎年秋に開催される和歌山県高等学校総合文化祭への出品作品制作です。

現在の活動形態としては、平日の放課後、部員がそれぞれの活動可能日に活動するといったものです。部員個々に合った活動時間で自由に制作できるのは魅力の一つです。コンクールや展覧会への出品期限が近くなると、毎日部活に通い、遅くまで制作に励みます。それが終われば、次の目標に向けてゆっくりとアイデアを練ります。そういったリズムで部活動に臨む生徒が大半です。

部員のほとんどは油彩画、水彩画などの平面作品を手がけています。B全サイズの大きなものから、ハガキサイズまで多様です。また、その合間に陶芸制作に挑戦する部員もいます。本校美術室には陶芸用電気窯、電動ろくろなどの設備が一式揃っており、日々練習を積んで陶芸制作の技術を磨くことも可能です。秋の校内文化祭や総合文化祭に出品することもあります。

部員は、それぞれに描きたいもの、創りたいもののイメージを持っているため、顧問が指示するということはありません。こんなものを描きたい、創りたいという思いが定まった時の、制作に向かう熱意には高校生らしいエネルギー感を感じます。一昔前と今時の高校生とでは、表現したいものやスタイルには変化がありますが、美術が好きで集まってくる生徒たちの根本にあるものは変わらないだろうと思っています。

## ⑥ワープロ部

本校ワープロ部の歴史は古く、部が出来た当初は「タイプ・ライター部」として活動していました。和文、カナ、英文タイプの3種類からワープロ専用機、ウィンドウズ機に移り変わり現在に至っています。

現在のワープロ部は各種競技会での勝利を目指し日々練習し、上級の検定の合格を目指し、技能を磨いています。これには速さも必要になりますが、技能・体裁・美しさが要求されます。競技大会では10分間、問題どおりに入力し文字数で競います。

長い間、県大会で優勝できない時期が続きましたが、ここ近年実力が付いてきて平成24年度県選手権大会で優勝（7年ぶり）、西日本大会団体3位（5,050文字）、平成25年度近畿大会団体2位 個人3位、県競技大会優勝（9年ぶり）、全商全国大会で個人正確賞受賞（1,616文字ノーエラー）、日検全国大会日本語ワープロ部門2位など受賞しています。これからも他府県の学校との練習合宿や合同練習する機会を増やし、さらに好成績を上げられるよう頑張っていきたいと思っています。

ワープロ部にも素晴らしい歴史と伝統があり、先輩方が残して下さった素晴らしい伝統を受け継ぐべく努力を積み重ね、より発展させていきたいと思っています。

## ⑦書道部

書を楽しみたい人、もっと上手になりたい人、展覧会に出品し入賞したい人など様々な目的を持った部員が集まり、日々楽しく活動をしています。部員数はここ数年10～20名で、男女を交え学年を超え大変仲が良く、お互いの作品にアドバイスをしたり、テストや検定の勉強を教え合ったりしています。

主な活動に、校内文化祭や県高等学校総合文化祭があります。個人の作品は勿論のこと、最近では部内でグループを作り大作の合作を出品しようと取り組んでいます。グループ内でどういう作品にするのか意見をまとめ、詩文の選定から作品の構成まで個人練習は勿論グループ練習を何度も重ね仕上げていきます。県高等学校総合文化祭では各学校書道部の趣向を凝らした作品が見られ大変刺激を受けます。又、昨年平成24年11月には和歌山県において近畿高等学校総合文化祭和歌山大会が開催されました。私たち県和商書道部は展示部門を担当し部長を中心に他校の書道部員達と協力しながら近畿代表作品64点と県内作品176点合計240点の作品を和歌山ビッグホールに展示しました。迫力のある素晴らしい作品に接すると共に、他府県の高校生との交流もあり大変感動しました。又この大会を通じて準備・運営に携わることができ大変貴重な経験も出来ました。

その他全日本高校・大学生書道展や高校生国際美術展（書の部）など毎年様々な公募展にも出品しています。作品サイズは半紙から2×8尺・全紙（縦135cm×横70cm）と様々で部員それぞれが目標を持って挑戦しています。

私達書道部は、書を親しむことを目標に部員一人ひとりがそれぞれの目標を持って、「書」で自己を表現し感性を働かせて楽しく作品作りに取り組んでいます。

## ⑧珠算部

珠算部は、3学年2名、2学年4名1学年1名の合計7名です。活動は、月・水・

金曜日の放課後から 5 時まで行っています。

大会の数も多く、6 月には全国高等学校珠算競技大会和歌山県予選があり、毎年全国大会へ出場しています。目標は、入賞です。何をやるべきかがわかってきているので、全力で取り組んでいます。10 月は全日本通信珠算競技大会があります。今年は、高等学校の部で優勝することができました。11 月には、和歌山県高校生珠算・電卓競技大会があり、珠算の部・電卓の部共に優勝できました。12 月には、全日本電卓競技大会西日本大会があり、2 月には高等学校簿記・電卓対抗戦関西中央大会がありました。ほぼ、毎月のように大会と自らの力を試す検定があり、それに向けて練習を重ねています。大会を経験することにより、自分たちの力が伸びていることを実感でき、次はこれをやろうとがんばれるようになります。集中力、暗算力が鍛えられています。

小さいころから珠算の練習を重ねてきましたが、まだまだ足りません。珠算もでき、電卓もでき、また普通計算も応用計算もできるようになりたいと考え、学年の隔たりなく、教えあって進みたいと考えています。

## ⑨簿記部

県和商創立とほとんど同時期に作られた簿記部は、同好会から現在に至るまで、クラブ記録表からもわかるように、その足跡は素晴らしく、県内はもちろんのこと全国大会への常連校として毎年多くの優秀な先輩を輩出しています。

大会としては、全国商業高等学校協会主催の簿記コンクールと大原学園主催の高等学校簿記・電卓対抗戦を目標に、また検定では全国商業高等学校簿記実務検定をはじめ、日本商工会議所簿記検定の学習に取り組んでいます。上級生（上級者）が下級生を指導したり、同級者同士が教え合い、お互いが高められるような活動を基本として日々練習し努力しています。

また、今後高度情報化社会に対応したコンピュータ会計能力を身に付け、経理事務処理から財務諸表を自らがデータ入力でき、財務分析や経営計画が作成できる、時代に対応した実践的な取り組みも視野に入れて活動をしていきたいと考えています。

## ⑩ESS部

平成 25 年度現在の部員数は 3 年生 3 名、2 年生 1 名で合計 4 名です。長い歴史と伝統を誇るクラブですが、近年入部者が減少しています。

活動日は週 1 回で、FLT が学校に来る日に設定していますが、9 月以降はほぼ毎日スピーチ・コンテストのための練習をします。

活動内容は FLT との日常会話やテーマを決めての討論、そして英語スピーチ・コンテストの練習が中心です。FLT との会話では、部員数が少ないメリットを生かしマンツーマンで英会話を楽しむことができます。コンテストに向けては、FLT に協力して

もらい発音、アクセント、イントネーション、リズムなどスピーチに必要なこれらの基本練習をします。文化祭最終日の全体会で、度胸試しを兼ねてこれまでの練習の成果を発表します。

コンテストは毎年10月末に県大会の予選が行われます。自分で英文を作り発表するスピーチ部門と用意された原稿を暗唱し発表するレシテーション部門の2部門があります。各部門の優勝者は全国大会で出場することができます。長い歴史の中で、数多くの和商生たちが県大会で優勝し全国大会へ出場してきました。過去5年間を見ますと、レシテーション部門で3名、スピーチ部門で2名の生徒が全国大会へ出場しています。中でも特筆すべきことは、平成25年度第30回記念全国大会で、本校生徒がレシテーション部門で優秀賞（第2位）、スピーチ部門で奨励賞（第3位）を受賞しました。各県2名の代表者が同時に入賞するのは全国でも例がなく、本校生徒が見事にその偉業を達成してくれました。

今日、国際化社会の中で英語能力やコミュニケーション能力がますます重要になってきました。ESS部の生徒にはクラブ活動を通してこれらの英語力を身につけ活躍することを願っています。また、これまでの輝かしい実績を継承し、さらに新しい歴史を刻むことができるよう取り組んでいきたいと思えます。

## ⑪家庭部

家庭部の平成25年度部員数は、3年生13名、2年生19名、1年生14名の46名です。ここ数年は約45～50名での活動が続いています。活動は、菓子作り等を主にしています。季節感が感じられるように旬の材料を使い、部員で様々な意見やアイデアを出し合ってメニューを決めたり、教員おすすめレシピで作ったりしています。日が短くなってくる冬季は、調理時間が長くないように気をつけていますが、限られた時間内でいかに良いものをつくるかというのも一つのテーマとなっています。また、安全や衛生に十分注意しつつ、先輩が後輩に作り方のコツを教えながら、楽しく和気あいあいと取り組んでいます。

家庭部二大行事として、近隣保育園との交流、文化祭でのクッキー販売が恒例となっています。近隣保育園との交流は、平成17年から続いている行事で、毎年5月にむつみ保育園の園児の皆さんを学校に招待して、クッキー作りを通しての交流を行っています。むつみ保育園では、3年生の「児童文化」という授業で絵本の読み聞かせの実習をさせていただいているため、そのお礼の気持ちを込めて行っています。交流の当日に、クッキーの生地を途中まで作ってから、保育園へ年長さん20数名を迎えに行きます。一緒に小麦粉を混ぜ入れ、スプーン2本を使って生地をオープン皿に置く作業を通じての子どもたちとのふれあいは、とても楽しく、学ぶことの多い貴重な機会となっています。今後もずっと続けていきたいと考えています。

そしてもう一つ、文化祭では手作りクッキーを焼いて販売しています。試作品を何度も作っては味のバリエーションや材料の配合を検討し、本番に臨みます。大量に焼

くのは大変ですが、食べてくださった皆さんの笑顔を思い浮かべながら一生懸命作業に取り組みます。毎年好評をいただいております、私たちクラブ員の励みになっています。

## ⑫茶道部

私たち茶道部は、4月に新入生11名を迎え、総勢26名で活動しています。

社会に出た時に少しでも役に立つ作法、心構えを身につけられるよう、普段のお稽古では挨拶や歩き方に気をつけ、片付けやお掃除も必ずしています。上級生が後輩に裏方の準備を教え、週1日練習に励んでいます。

昨年度、立礼のお道具を購入していただき、大勢の方にお茶を楽しんでいただこうと、お茶席の場所を和商会館から第2会議室に変更しました。今年も文化祭では170名のお客さまをお迎えし、浴衣姿でのお点前を緊張しながらも一生懸命披露しました。

7月には着付の先生にお越しいたいただき、文化祭に向けて浴衣の着付を教えていただき何度も練習しました。

8月には、岡公園の茶室での研修会に参加し、他校の生徒との交流を深めました。

10月の文化祭では、普段のお稽古の成果を披露することができ良い経験になりました。3年生はこれで引退することになりますので、少し寂しい気持ちになりました。

12月には県高校総合文化祭書道展の場所で茶席を持つことになり、県内の高校茶道部の生徒さんと協力して、お客様にお茶を振舞いました。おいしいお菓子とお茶、そして書道の作品を鑑賞し、喜んでいただけました。

卒業式前の3年生を送る茶会では、3年生のために一生懸命おいしいお茶を点てました。

このように、学内の活動だけではなく、機会があれば学外の茶会にも参加させていただき、少しでも多く貴重な体験ができればと考えています。そして、長年の歴史の積み重ねの中で揃えていただいたお道具を大事に使わせていただき、日本の伝統とおもてなしの心を伝えていきたいと思っております。

## ⑬華道部

私たち華道部11名（3年3名、2年7名、1年1名）は、「嵯峨御流」という御流儀で、講師の高木美代子先生、利彦先生にご指導いただき活動しています。活動自体は月に2回程度と少ないのですが、毎回違う花材のいきいきとした美しさが表現できるようにと考えながら、練習に励んでいます。練習を重ねていくと、「入門」を始めとする御免状も取得することができます。

「嵯峨御流」では、針のついた「剣山」ではなく、鉄製の三つの輪が少しずつ重なってつながっている「七宝」という道具を使って花を生けます。こうしたところにも花に対する心配りが感じられます。上手に生けるのはとても難しいですが、それだけに、先生のお手本を見ながら苦心して自分のイメージ通りに生けられたときは、とてもう

れしいです。

花を生けていると心が穏やかになり、また、季節の変化にも敏感になります。高木先生はその季節ごとの花の名前はもちろん、その由来や季節と結びついている伝統行事などについても、いろいろと教えてくださるので、そのお話をうかがうのも活動の楽しみの一つになっています。

そして、こうした日頃の練習の成果を皆さんに見ていただけるように、毎年、文化祭において展示を行っていますので、機会がありましたらどうぞご覧ください。

## ⑭図書部

図書部は、現在 33 名で活動を行っています。私たちの主な活動は、生徒を対象とした読書活動の推進です。グループを作り、毎月交代でPOPや展示のコーナーを設けています。POPコーナーは、お勧め本を選び葉書サイズの紙にお勧めポイントの文章や本のイメージに合った絵を書くなど、利用者が「読んでみたい!」と思えるように印象的なPOP作成を行います。展示コーナーは、季節や行事などテーマを決めて本の展示を行います。様々な資料を使いテーマに沿って調べ、各グループで意見交換しながら調べたことを分かりやすく紙に書き表して資料と共に展示します。またテーマに合った絵や飾り付けを行うことで、本と利用者の距離を近づけられるような工夫を心掛けています。その他にも、本の貸出・返却業務、選本会、古雑誌市、東日本大震災で被害に遭った学校図書館への募金活動、ミニコンサートやPOPコンテスト等の企画・設営など、図書館や本を通して多くの人に喜んでもらえるような活動を行っています。このようにというコンセプトで活動を行っています。

今年度は、高校生読み語りボランティア養成講座にも参加し、その研修成果を文化祭の「紙芝居読み語り会～おはなしの部屋～」で披露しました。当日、近隣の保育園児が突然来館し、小さなお客様に緊張しながらも物語の想いを伝えようと一生懸命に読み語りを行いました。来年度は、校外へ読み語りボランティアに行くことを目標としています。

図書部員は、まだまだ消極的な一面もありますが、図書館や本を通してひとりでも多くの人に喜んでもらいたいという気持ちをもっています。その気持ちを行動に表していけるよう一歩ずつ努力をしていきたいと思えます。

## ⑮邦楽部

本校邦楽部は、昭和 40 年に同好会「むらさき会」として発足し、昭和 43 年に「邦楽部」としてクラブ昇格を認められ、現在に至っています。

平成 26 年 1 月現在、部員は 10 名で毎日和商会館をお借りして練習しています。また、毎週月曜日には箏曲・三絃教授 菊豊伊津子先生にご指導に来ていただいています。

和歌山県下の高等学校の邦楽活動は、昭和 40 年に和歌山大学邦楽部を中心として

県下の各高校が加盟し、和歌山市のみさき和楽器株式会社社長 御前昌一氏のご助力をいただいて発足した和歌山県学生邦楽連盟（和邦連）に始まります。

順調なスタートを切った和邦連ですが、当時世の中には、いわゆる大学紛争の嵐が吹き荒れ、和邦連の中心的な存在であった和歌山大学邦楽部もその嵐に巻き込まれ、和邦連から脱退しました。残された各高校邦楽部が名称も新たに「和歌山県高等学校邦楽部連盟（高邦連）」を結成し、昭和44年9月23日に第1回の定期演奏会を和歌山市民会館大ホールで開催しています。

以来、毎年定期演奏会を開催し、今年で48回を迎えました。本校邦楽部も毎年コンクール形式で行われる定期演奏会に出演し、本年度も積み重ねた練習の成果を披露しました。

「邦楽」それは日本人の心のふるさとです。西洋的な物質文明に流され、精神的なもの、伝統文化を見失いがちな今こそ、生徒達には日本の伝統音楽を守り続けることに誇りを持ち、ますます頑張ってもらいたいと思います。

## ⑩コンピュータ部

手元には昭和52年度以降の記録がありますが、コンピュータが家庭に普及していないこの時代から、星占いやマイコンゲームを文化祭で展示しています。商業高校のコンピュータ部として、諸先輩方の先進的な取組と、長い歴史と伝統を感じております。

さて、現在のコンピュータ部の主な活動は、競技会への出場です。全国高等学校情報処理競技大会和歌山県大会に出場し、上位入賞を果たせば7月に行われる全国大会に出場できます。この大会では、コンピュータやアルゴリズムに関する知識を競います。全国大会へは数多く出場させていただいていますが、全国の壁は相当厚く、上位への入賞は難しい状況です。今後は、全国大会での順位を上げることを目標に、練習に励んでいきます。平成25年度から、全国パソコン技能競技大会にも出場しています。これは、表計算ソフトの技能を競うものです。生徒自ら出場を希望した大会で、表計算の大会は珍しいこともあり、今後とも出場できるよう表計算の技能も高めていきます。

競技会以外の取組では、夏休み中に全商情報処理検定1級やITパスポート試験の対策講座を開催しています。専門学校から先生をお招きし、クラブ生のみならず、全校生徒から希望者を募り、学校全体のレベルアップを目標に開催しています。また、中学生体験学習では、コンピュータの体験授業のサブティーチャーとしてお手伝いをしています。文化祭では、以前から行っているゲーム展示から、部員が企画・進行を行うゲーム大会に進化させ、コンピュータ部の活動を広く知っていただく機会にしています。

平成25年度は、中心的な部員である角和季（3年）が、県下初の全商9種目1級合格に加え、全商商業経済検定全科目合格を達成しました。今後とも競技大会や資格取得等を通じて、専門知識や技能の習得を目指していきます。今後ともよろしく願いいたします。

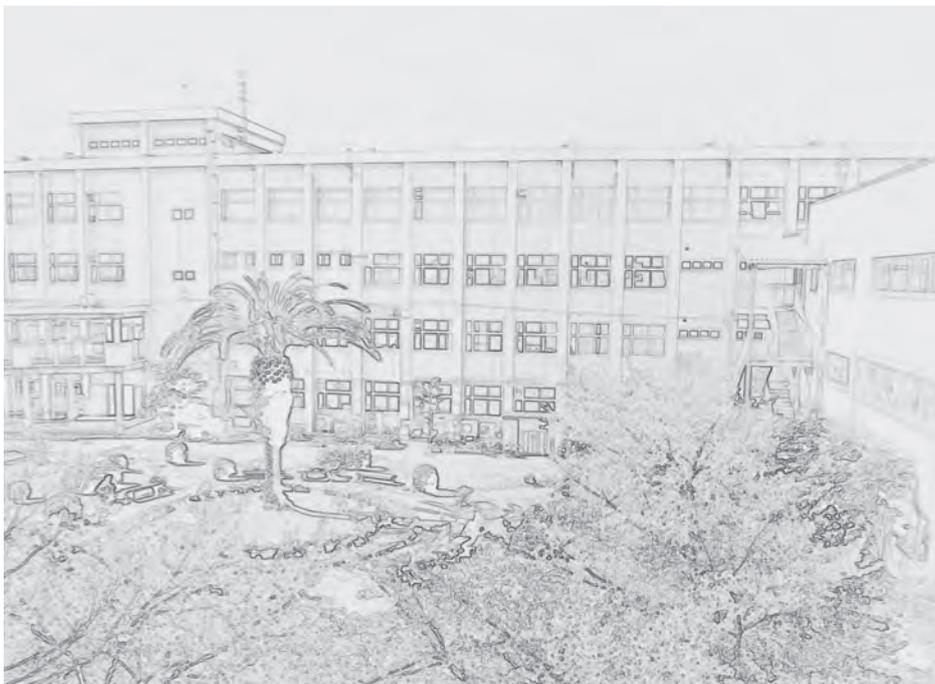
## ⑰商業研究部

ここ数年の商業研究部は、和歌山県商業教育研究会主催の生徒商業研究発表大会で発表するために、生徒が集まり、研究発表をするという活動を行っています。

平成25年度はゆるキャラならぬ、「和歌山広報見習きりっとキャラうめじろう」を作成しました。和歌山の花の梅と、県の鳥のメジロからネーミングしました。単にキャラクターを作成するだけでは商業研究の発表とはいえませんが、ビジネスとつなげることも研究テーマとしました。そのためには、これまでにないキャラクターを作成しようと考えました。3Dのテレビ、3Dプリンターなど昨今のIT関連のニュースでは3Dという言葉がよく聞かれます。そこで、「動く3Dキャラクター」を作成することになりました。生徒たちは、梅とメジロをモチーフに原画を描き、それを3Dモデリングソフトに描画しました。夏休み、専門学校の先生に3日間教えてもらい、CGに関節を入れることができました。コンピュータ上ではうめじろうを動かすことができました。3Dデータのため、ペーパークラフトを作成することもできました。

この研究を通して、生徒達は、最先端の3D技術の初歩を感じることができました。自由自在に動かすためにはまだまだ超えなければならないハードルがあることも知りました。またできあがったキャラクターをどうビジネスに生かすかという今後に向けた課題も見つかりました。

まずは近畿大会出場を目指して、研究活動を続けたいと思います。



## 新体育館竣工記念講演



### 「一つ、一つの経験から学び、育つ」

株式会社オークワ

代表取締役社長兼COO 神吉康成

この度は新体育館が完成されましたこと、本当におめでとうございます。そして竣工式が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

私は和歌山市内の高松小学校を卒業しました。そして西浜中学校に進み、この和歌山県立和歌山商業高校に入学しました。高校卒業と同時に和歌山県内の建設会社に入社し、1年ほど頑張った訳ですけれども、やはりどうも私の肌にはあわないと感じ、きっぱり退職をして、翌年、株式会社オークワに入社しました。卒業後1年のブランクがあった訳ですけれども、オークワで勤め、現在、57才になります。その間にいろいろな経験をしました。それが「バネ」となって今の私自身があると思います。

今回、生徒のみなさんに向けて私の経験をお話ししようとおもいます。

第1の経験は家庭での経験です。皆さんには家庭があります。お父さんお母さん、あるいはお兄さんお姉さん、妹・弟等です。家庭で生活していればいろいろなもめ事や出来事があると思います。これらは皆さんの家庭の中での経験です。毎日の生活の慌ただしさの中でもとすれば見過ごしてしまうかもしれませんが、1つ1つ経験をしているのです。その出来事の中から1番正しいことは何かということをも身につけてほしいです。

第2の経験は学生時代の経験です。この時期、私は大きな経験をしました。それは県和商の高校1年生だった時のことです。和歌山県で国体が開催されて、その開会式に和歌山県内の高校生が全員参加し、式典を盛り上げるマスゲームをするということがありました。4月から開会式の10月まで、毎日のように開会式に向けての練習をこの県和商でしました。また、紀三井寺競技場で月に1回は県内の高校生が全員参加して練習をしました。そこで私が感じたことは、全員一丸になることの大切さです。学校で練習をし、紀三井寺競技場でも和歌山県全体の高校生が集合して練習をしても、1人あるいは1学級でも欠ければできないということになります。皆さんも経験すると思いますが、学校でも社会でも  $100-1=99$  にはなりません。計算では99にはなるのですが、目標の達成を考えると、みんなで頑張っている時に1人がおかしな方向に行くと、その目標は50%の達成はおろか、0になります。また、大きな考え方が違った方がいると結果はマイナスになってしまう。そのことをこの国体の練習の時に痛感しました。幸い我々県和商の生徒にはふざけた人、あるいはサボった人はいませんでした。ただ、紀三井寺競技場に集まったとき、県内の他の生徒の中でそのようなメンバーがいました。そのマスゲームの練習がスムーズにできない、そういうこ

とがありました。この経験がとても大きかったのです。学校には校則・ルールがあります。これらは最低限、学校を運営していくために生徒と教師が守らなければならないものです。繰り返しになります、100-1=99にはなりません。全員のチームワークがなければその目標は達成できません。

第3に会社に入社してからの経験があります。皆さんにとって、社会に出てからの経験は未知数だと思いますので私の経験談を参考にいただければと思います。

38年前、私は株式会社オークワに入社しました。当時は、魚屋、八百屋、果物屋、あるいは酒屋・たばこ屋などいろいろな個人商店の商売がほとんどで、オークワのようなスーパーはまだ一般的ではありませんでした。そういった環境の中、入社してすぐにスイカの販売をせよという指示を受けました。しかし、他の社員の売姿を見よう見まねで販売しても全く売れない、商品知識がなかったからです。商品知識を全く持っていない者が販売するのですから、お客さんに「このスイカは甘いですか？どれ位甘いですか？」と聞かれても簡単に答えられません。その時に、何事もまず商品知識が必要だということを知りました。その後私は水産部門に移りました。私は毎日責任者の方と一緒に和歌山市の中央市場に朝5時には行かなければなりません。責任者とともに商品を仕入れて店に戻り、販売をし、毎日売り切る。そういう日々が続きます。多くの上司が言うことは「俺の背中を見て覚えよ」それだけです。魚の販売というのは調理技術・包丁技術も必要です。覚えたくても教えてもらえないというジレンマがありました。その時に思ったことは「人のふり見て我がふり直せ」でした。自分自身が責任者になった時、この教え方では今後学校を卒業して入社してくる若い人は育たない。育てるためにはスケジュールをたて、半年間で目標に到達するために、何をすべきかということを確認にしなければならないと考えるようになりました。そして私が店の責任者となった時には実行しました。そのおかげで、毎年入社してくる50人以上の部下とともに私自身も成長し、それに伴って業績がアップするという嬉しい経験をしました。皆さんもきちんとした目標スケジュールを組むということを意識し、その目標に向かって邁進していただきたいと思います。

次に、企業に入社したら自分なりの目標を立てるということをお願いいたします。私自身は先に述べた水産部門の責任者の時に、オークワの全体の営業本部の責任者になるという目標がありました。当時、オークワはどんどん店舗数が増えていき、各店舗で仕入れをして販売していたシステムから、本部で全てを仕入れて店に配送するというシステムに変わりました。その水産部門の仕入れ責任者となり、約20年間働きました。アメリカをはじめヨーロッパ・東南アジア等々の国にも仕入れに行きました。その努力を認められたからか、私は大型店・紀伊田辺の店長を命ぜられ、就職して初めての単身赴任を経験しました。皆さんが就職したのち、もし単身赴任を命ぜられた時はまずチャレンジして下さい。私はこの時の単身赴任において、家族のありがたみを痛感しました。朝起きて店舗に出、部下に教えながら店を運営し、帰宅して自分で食事・洗濯をする。そういう経験はやはり人生の中でも大きかったのです。その後、大阪17店舗の販売部長を命ぜられ、ここでもさまざまな経験をしました。お客様か

らの店舗に対する商品クレームや接客クレームについて、その一つ一つの対応と解決、これも大きな経験の一つになりました。それから食品全体の事業部長になり、農作物をはじめ全ての責任者（当時1,500億円規模の食品のボリュームがあったと思いますが）として自分のチャレンジしたい事を会社に提案していきました。現在のスーパーは販売している商品全てにバーコードが付いていてレジでスキャンされます。これを全てデータとして本社の方で管理しています。オークワは現在173店舗約3,000億円規模であり、和歌山県内では約55店舗あります。今や他府県の方が店舗数は多いわけですが、その販売データを取引先でも見ることができる。こういうことにもチャレンジして取引先との太いパイプを作ってきました。その後オークワの常務取締役になり、4年前に愛知県名古屋市にあるスーパー、株式会社パレの社長に任ぜられ再び名古屋への単身赴任となりました。約2年2ヶ月、この社長としての経験がまた今までにないものでした。

それは「一つ一つの経験から学び・育つ」ということそのものでした。人間が育っていく中でいろいろなセクションの長、あるいは会社の長になるにつれて全ての責任が降りかかってきます。この責任について正しい考え方で解決していくことが1番重要です。私もいろいろな問題を経験しました。皆さんもこれからさまざまなピンチやチャンスがあると思いますが、必ずピンチの後にはチャンスがきます。社会人となって経験を積み重ねていく中で、必ず何度かはチャンスが到来します。例えば、オークワで来年店長になってくれるかと私がある社員に言ったとき「喜んでチャレンジします」と返事する社員と、「いや、私はまだ経験不足なので少し早いです」と断る社員がいたとします。喜んでチャレンジをすると断った社員は必ず伸びます。経験不足なのでと断った方は、その後永遠に店長にはなれないでしょう。次のチャンスが来ないからです。ですから、皆さんもチャンスがきたときには必ずチャレンジすることです。失敗するか成功するか、そんなことはやってみなければわかりません。まずは「やるということ」これが非常に大事だと思います。そして名古屋での2年2ヶ月の社長経験を経て、オークワに専務という形で戻り、社長に就任し今に至ります。これは私の挑戦と努力のみならず、従業員全員の協力で私を押し上げてくれた結果だと思っています。

最後に繰り返しになると思いますが、進学する方、就職する方と進路はさまざまでしょう。その先にはいろいろな困難がありますが、そこには必ずピンチとチャンスがあります。そのチャンスの時に失敗を恐れず、逃げずにチャレンジをして一步一步ものにしていく。それが社会に出て更に向上していく人のステップだと思います。

私はこの和歌山商業高校の卒業生であることを誇りに思っています。どうぞ、在校生の皆さんも頑張ってください。



硬式野球部



テニス部



ソフトテニス部



女子ハンドボール部



男子ハンドボール部



女子バレーボール部



男子バレーボール部



男子バスケットボール部



女子バスケットボール部



ソフトボール部



陸上競技部



バトン部



剣道部





水泳部



女子ホッケー部



柔道部



相撲部



全国高校総体 相撲競技 個人 第5位



吹奏楽部



第49回 和歌山県吹奏楽コンクール  
2013年8月2～4日 和歌山県民文化会館



ワープロ部

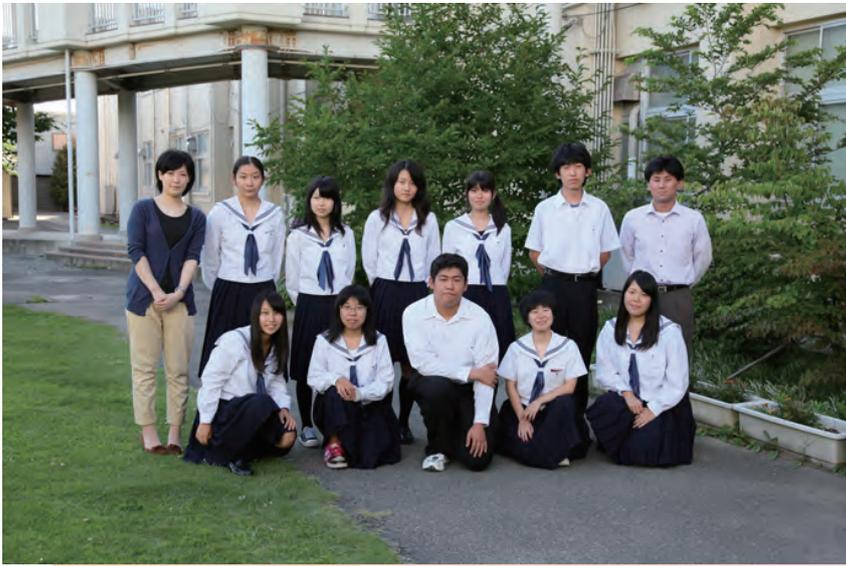


写真部



書道部





珠算部



簿記部



ESS部



コンピュータ部





美術部



邦楽部



放送部



合唱部



演劇部



生徒会



茶道部



華道部



商業研究部



図書部



## 5 和商の「今」

- (1) 「教育課程について」
- (2) 「紀鷹 110」
- (3) 「本校の進路動向について」
- (4) インターンシップ
- (5) 総合的な学習の時間
- (6) クラブ活動の記録

## 「教育課程について」

教務部長 丹下善夫

会計科、情報処理科、国際経済科の3つの学科に分かれていたものが、平成20年度入学生よりビジネス創造科の1学科になりコース制を敷いている。コース制により、学科制の時のようなそれぞれの定員はなくなり、生徒の興味・関心に柔軟に対応できるようになっている。

また、コース制をとることにより、それぞれのコースの専門性を高めている。

商業科目を幅広く学び、総合的な知識や技術の習得を目指す「ビジネス総合コース」。

簿記会計の知識を中心に幅広い知識と技術の取得を目指す「会計コース」。

経営情報分野を中心に学習し、様々な情報の活用方法やコンピュータの活用に関する正しい知識と確かな技術の習得を目指す「情報コース」。

さらに、「ビジネス総合コース」の中に運動クラブ員を対象にした「スポーツクラス」を設けている。

別表、平成26年度入学生用教育課程表を参照すれば、「ビジネス総合コース」では、「マーケティング」、「商品開発」、「広告と販売促進」、「経済活動と法」が特色ある科目となる。「会計コース」は、「財務会計Ⅰ」、「原価計算」、「財務会計Ⅱ」、「管理会計」が特色ある科目となっている。「情報コース」は、「ビジネス情報」、「プログラミング」、「プログラミングⅡ」、「ビジネス情報管理」、「電子商取引」が特色ある科目となっている。

さらに、3年間を通してキャリア教育を行うことで、自分で進路選択を積極的に行えるよう働きかけている。1年生の「総合的な学習の時間」（キャリアデザイン）で職業調べ、適性検査、将来の見通しを立て、その上で上記のコースを選択する。2年生になれば、「ビジネス実務」でビジネスマナーをはじめ、ビジネスで必要とされることを学び、インターンシップを行い、体験を積ませる。3年生の「課題研究」でさらに企業実習、医療ビジネス、保育園実習、秘書ビジネスなど専門的な分野に踏み込んでいく。

この間、学習指導要領が改訂され、平成22年度入学生より「総合的な学習の時間」で先行実施、平成24年度入学生より「数学」と「理科」で先行実施され、平成25年度入学生より年度進行で実施されている。現行の教育課程表は、平成25年度入学生より適用され、現在に至っている。

商業高校は、経済社会の様々な情勢の変化に対応し、職業人として必要とされる力を身に付けた人材を育成し、地域や産業社会の発展に貢献するために役割を果たしていくことが求められる。そのため、専門分野の基礎的・基本的な知識、技術及び技能を身に付けることはもちろん、職業人としての規範意識や倫理観等を身に付けさせ、豊かな人間性を育てていくための教育課程を、今後、整備していかなければならない。

# 平成26年度入学生用教育課程表

和歌山県立和歌山商業高等学校

学 科	標準 単位 数	ビジネス創造科									履 単 位 数	備 考		
		共通	ビジネス総合コース				会計コース		情報コース			教科別履 修単位数	選択上の留意点	
学 年		1年	2年 (一般)	3年 (一般)	2年 (スポーツ)	3年 (スポーツ)	2年	3年	2年	3年				
教 育 科	国語	国語総合	4	3								3	10~12	
		現代文A	2		3		3		3			3		
		現代文B	4			4			4		4	4		
		古典A	2			*2			*2		*2	2		
		国語表現	3			*2			*2		*2	2		
	地理歴史	世界史A	2			3			3		3	3	5	
		日本史A	2		○2		○2		○2		○2	2		
		地理A	2		○2		○2		○2		○2	2		
	公民	現代社会	2	2								2	2~4	
		政治・経済	2			*2		*2		*2		2		
	数 学	数学I	3	3								3	3~7	
		数学A	2		△2			2		2		2		
		数学活用	2			*2		*2		*2		2		
		数学総合※				*2		*2		*2		2		
	理 科	科学と人間生活	2	2								2	4~6	
生物基礎		2		2		2		2		2	2			
化学基礎		2			*2			*2		*2	2			
生物総合※					*2		*2		*2		2			
保 健 体 育	体育	7~8	3	2	2	2	2	2	2	2	7	9~13		
	保健	2	1	1		1		1		1	2			
	基礎スポーツ※			△2		2					2			
	総合スポーツ※				*2		2		*2		2			
芸 術	音楽I	2	□2				*2				2	2~6		
	美術I	2	□2				*2				2			
	書道I	2	□2				*2				2			
	音楽II	2		△2							2			
	美術II	2		△2							2			
	書道II	2		△2							2			
	芸術表現(音楽)※				*2			*2		*2	2			
	芸術表現(美術)※				*2			*2		*2	2			
芸術表現(書道)※				*2			*2		*2	2				
英 語	コミュニケーション英語I	3	3			4		4			3	10~12		
	コミュニケーション英語II	4		4		4		4		4	4			
	コミュニケーション英語III	4			3		3		3		3			
	英語総合※				*2			*2		*2	2			
家 庭	家庭総合	4		2	2	2	2	2	2	2	4	4~6		
	フード※				*2		*2		*2		2			
	児童文化※				*2			*2		*2	2			
普通科目計			19	18	18	18	18	18	18	18				
目 的	商 業	ビジネス基礎	2~4	2								2	34	
		課題研究	2~4			2			2		2	2		
		総合実践	2~4			2			2		2	2		
		ビジネス実務	2~4		2		2		2		2	2		
		マーケティング	2~4		2		2		◆2			2		
		商品開発	2~4		2		2					2		
		広告と販売促進	2~4			2		2				2		
		経済活動と法	2~4			3		3		3		3		
		簿記	2~4	4								4		
		財務会計I	2~4		3		3		6		3	3~6		
		財務会計II	2~4							3		3		
		管理会計	2~4							◆2		2		
		原価計算	2~4						4			4		
		情報処理	2~4	4								4		
		ビジネス情報	2~4		3		3		◆2		3	2~3		
		電子商取引	2~4			3		3			2	2~3		
		プログラミング	2~4								4	4		
ビジネス情報管理	2~4									3				
プログラミングII※										3				
専門科目計			10	12	12	12	12	12	12	12				
合 計			29	30	30	30	30	30	30	30				
ホームルーム活動			1	1	1	1	1	1	1	1				
総合的な学習の時間			1		[2]		[2]		[2]					
総 合 計			31	31	31	31	31	31	31	31				

1年次の芸術選択(□2)は、「音楽I」、「美術I」、「書道I」から1科目を選ぶ。  
 ビジネス総合コース2年次の普通科目の選択(△2)は「数学A」、「芸術II」、「基礎スポーツ」から1科目を選ぶ。  
 ビジネス総合コース2年次の普通科目の選択(△2)のうち、「芸術II」は1年次に選択した同一科目から選ぶ。  
 2年次の地理歴史の選択(○2)は「日本史A」、「地理A」から1科目を選ぶ。選択必修科目である。  
 3年次の2単位選択(\*2)は1科目を選ぶ。希望者が少ない科目は開講できない場合がある。  
 会計コースの3年次の選択(◆2)はマーケティングと管理会計とビジネス情報のいずれかである。  
 「科目名※」の科目は学校設定科目である。  
 ※ 各コースごとの選択科目は、諸般の事情により開講しないこともある。  
 ※ 普通教科「社会と情報」は、1年次の「情報処理」(4単位)で代替する。  
 ※ 「総合的な学習の時間」は、3年次の「課題研究」(2単位)で代替する。

## 「紀鷹 110」

### 図 書 館

和商創立 110 年を迎えるにあたり、図書館も和商の伝統ある輝かしい歴史とともに、今日を迎えたことをあらためて感じます。本校の図書館は、本当に素晴らしい図書館です。明るく、広く、静かで、蔵書は現在 37,500 冊を超え、新刊書籍数や雑誌数・新聞数ともに県立学校の図書館の中でも有数の図書館だと思います。

1 年間の生徒貸し出し冊数は毎年 6,000 冊を遥かに超え、年間に一人で 100 冊以上の本を読破する生徒もたくさんいます。現在の蔵書は誰もが一度は親しむ文学書から、その時代を代表するものまで、さまざまな書籍が所蔵されています。また、商業高校らしく商業の専門書をはじめ、進学・就職・資格試験等に役立つ書籍、今話題の新刊書など驚くほど多岐にわたるジャンルの書籍があります。今日までの和商の素晴らしい教育活動のなかで、図書館は商業高校の専門的な学習を支えるとともに高校生としての幅広い知識や見識の形成、そして高校生としての豊かな人間性を育む教育活動の一翼を担ってきたと思います。しかし、和商の長い歴史の流れとともに高校生の読書活動の傾向が少しずつ変化してきました。純文学書や哲学書・専門書などを中心とした読書活動から、現代ではその年のベストセラーやメディア化された小説を中心とした単行本が生徒に支持される傾向にあり、時には自分の好きな本を中心とした読書傾向があります。しかし、これからも生徒の心身の成長にあつた多様なジャンルの書籍を提供し、幅広い視野を形成するために図書館本来の役割を大切にしていきたいと考えています。

さらに、現在の図書館の活動は書籍と読書の場所を提供するだけでなく、年間を通じて各学校の図書部や図書委員会の生徒との交流を図るため生徒図書充実委員会に参加したり、校内では文化祭での図書部の活動をはじめ、校内読書感想コンクール、書籍の紹介のための POP コンテスト、中学生職業体験の受け入れ、クリスマスコンサート、読み語り講習会開催など図書部員を中心に全校生徒と一緒に図書館でさまざまな行事に取り組んでいます。これからも図書館は書籍の情報を発信するだけでなく、校内をはじめさまざまな情報を発信する場所として活動の幅を広げていきたいと考えています。

あらためて和商創立 110 年にあたり、これからも時代や生徒の変化に応じながら、和商のさらなる発展とともに、いつも新しい図書館の役割を考えより素晴らしい図書館を築いていきたいと考えます。

## 「本校の進路動向について」

進路指導部長 杖 村 由 浩

### 《本校の進路の現状》

かつては本校から地元の有力企業へ多くの生徒を送り出してきたが、高校卒の職種が、また本校の多くの生徒が希望する事務系の職種が短大卒、大学卒採用にシフトしており、その上、人件費削減のため派遣やパートなどの非正規社員を採用する企業が増えているため、高校卒正社員の求人そのものが減少している。

一方進学は、4年制大学を希望する生徒が、平成14年度に4年制大学進学者が短期大学進学者の数を上回って以来、増え続けている。今では進学希望者の半数近くが4年制に進学している。全国的な傾向としては、一部の難関大学などを除いては厳しい競争もなく入学できる状態である。そのため、本校は推薦入試で進学する生徒が大半であることから、とりあえず今の成績で入れるところに進学するといった安易な考えで進学先を決める生徒が多いのが現状である。

### 《就職状況》

アベノミクスの成果によって大企業を中心として明るい兆しはあるが、他方、地域経済を支えている中小企業については、景気回復の実感が無いという声があるのも事実である。厚生労働省和歌山労働局が平成26年10月31日に発表した「平成26年度高等学校卒業者の就職内定等状況について（9月末現在）」では、県内の平成27年3月新規高等学校卒業予定者（平成26年度）の就職内定率は53.0%で、前年度の40.7%を大きく上回り、平成20年度が51.6%であったことをみると、リーマンショック前の水準を上回る結果となっている。また、求人倍率の推移についても、今年度の求人倍率は0.91倍で、前年度の0.70倍から0.21ポイントの大幅な上昇となり、リーマンショック（平成20年度）以降最高の水準となっている。景気回復に伴い、企業の採用活動が活発化しているようである。

本校への10月末時点での求人件数は、県内73社（144名）〔昨年71社（128名）〕、県外21社（33名）〔昨年17社（26名）〕と少し増加している。

新日鐵住金(株)和歌山製鉄所、(株)島精機製作所、和歌山農業協同組合などの継続して求人をいただいている企業については、生徒の頑張りで内定を得ることができた。

一方、公務員関係では、和歌山県警察官の合格者が近年続いている。学科試験から最終面接まで長丁場の試験ではあるが、是非とも後に続いてほしい。

### 《進学状況》

本校生徒が出願する入試形式は指定校推薦、商業科推薦、一般推薦、AO入試が大半を占めている。

四年制大学については、国公立大学では、特に和歌山大学経済学部推薦入試に対応するため、早くから面接（討論）と小論文の練習に取り組ませている。また、国公立大学へ挑戦させるため、センター試験受験を促している。

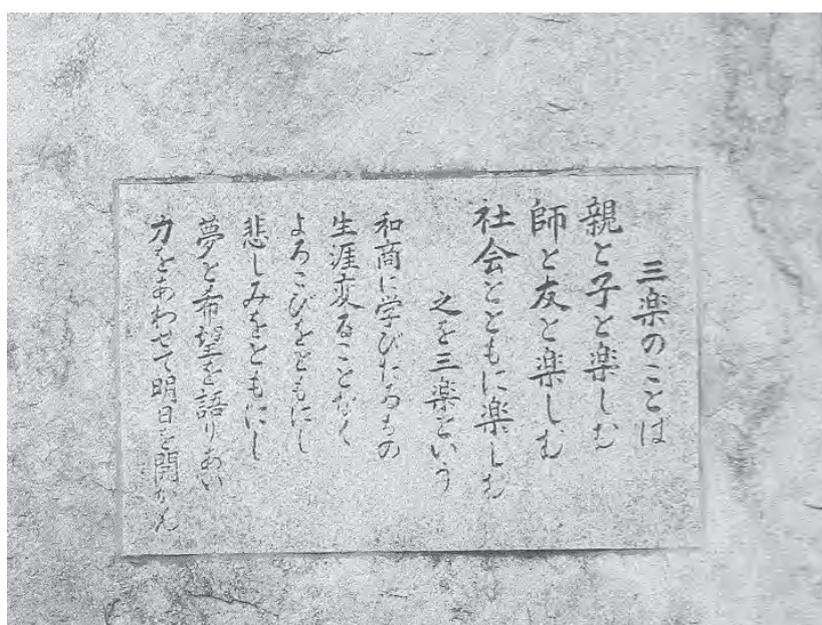
私立大学ではここ数年、京都産業大学（商業科推薦入試）、龍谷大学（商業科推薦入試・公募推薦入試）、大阪経済大学（商業科推薦入試・公募推薦入試）、近畿大学（公募推薦入試・商業科推薦入試）で合格者がでており、いずれも指定校推薦に頼らない積極的なチャレンジが実を結んできている。

また、各大学により条件は違うが、全商各種検定の上級に合格している者で、全商協会推薦入試を利用しての進学者も増えている。そのため、一年次から検定用の問題集などに取り組ませ、積極的に検定を受検させるようにしている。

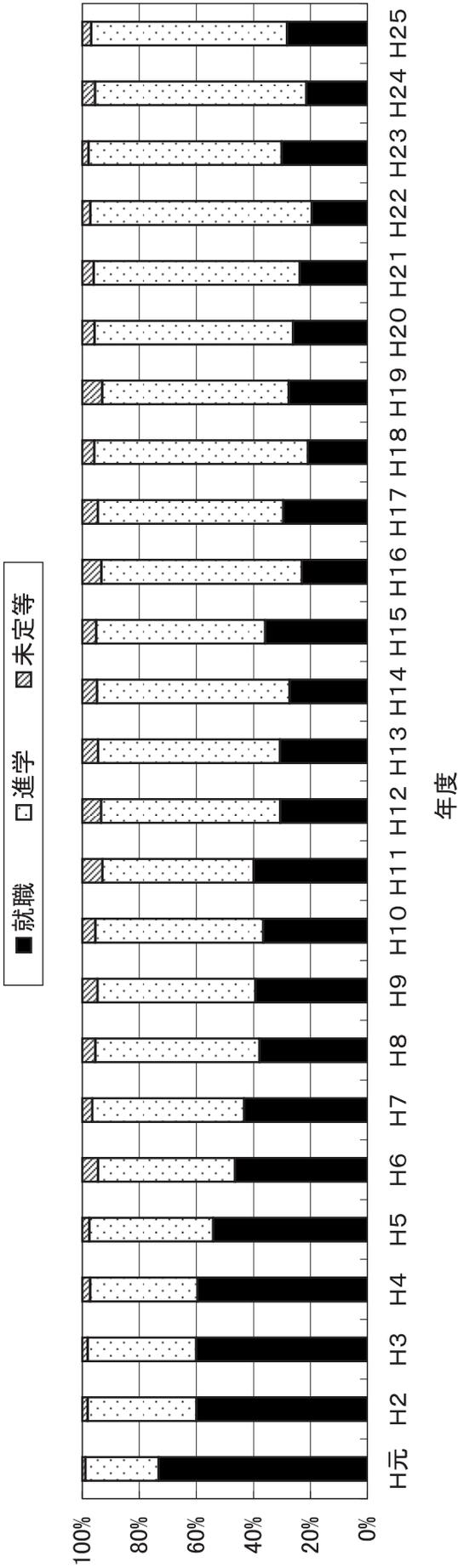
短期大学に関して、幼児教育系や食物栄養系の分野については、職業に直結しており安定した人気を維持している。地元の和歌山信愛女子短期大学が全短大合格者の7割近くを占めており、本校では人気がある。

看護系は、看護師不足の現状や、職業面での評価が高いこともあり、社会人の志望者も多く、県内外とも入試の難易度が上がっている。本校では、商業科の「課題研究」の授業でも準備と対策をしている。

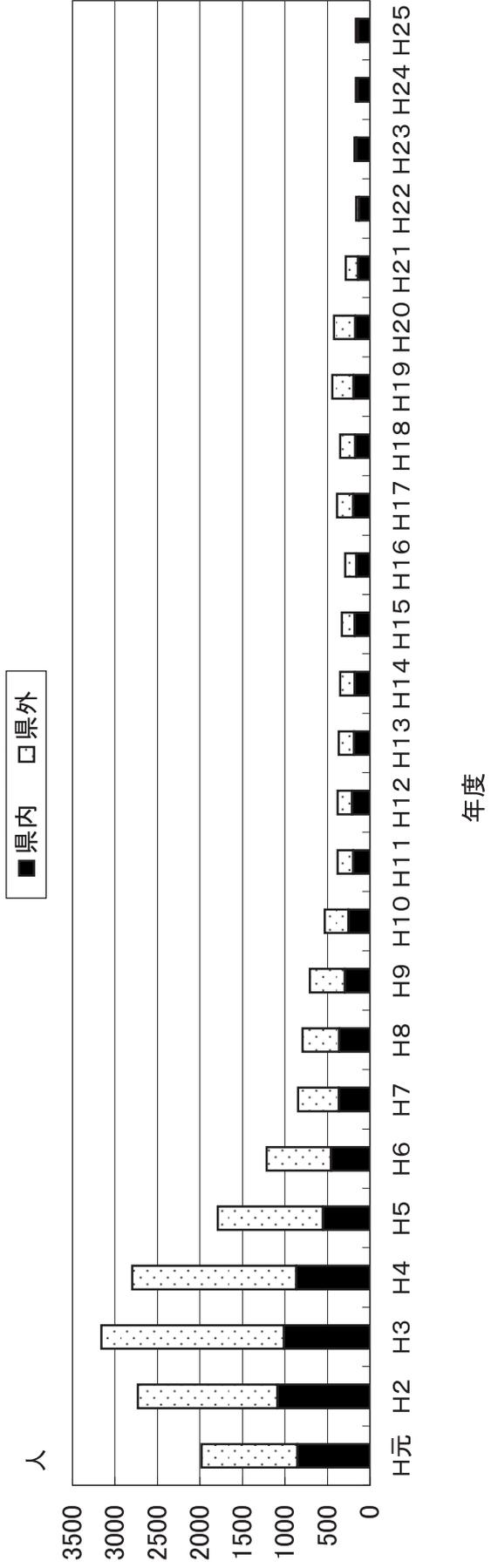
景気低迷が続いてきた中で、特に国家資格等、手に職を付けることを目指す学部、学科の人気上がり、入試の難易度が上がっている。人生の目標設定やその達成までのキャリアステップを自分で早期に計画し、それを実現するために「入学したい大学」をめざしてより一層の勉学と努力を継続するよう指導をしていきたい。



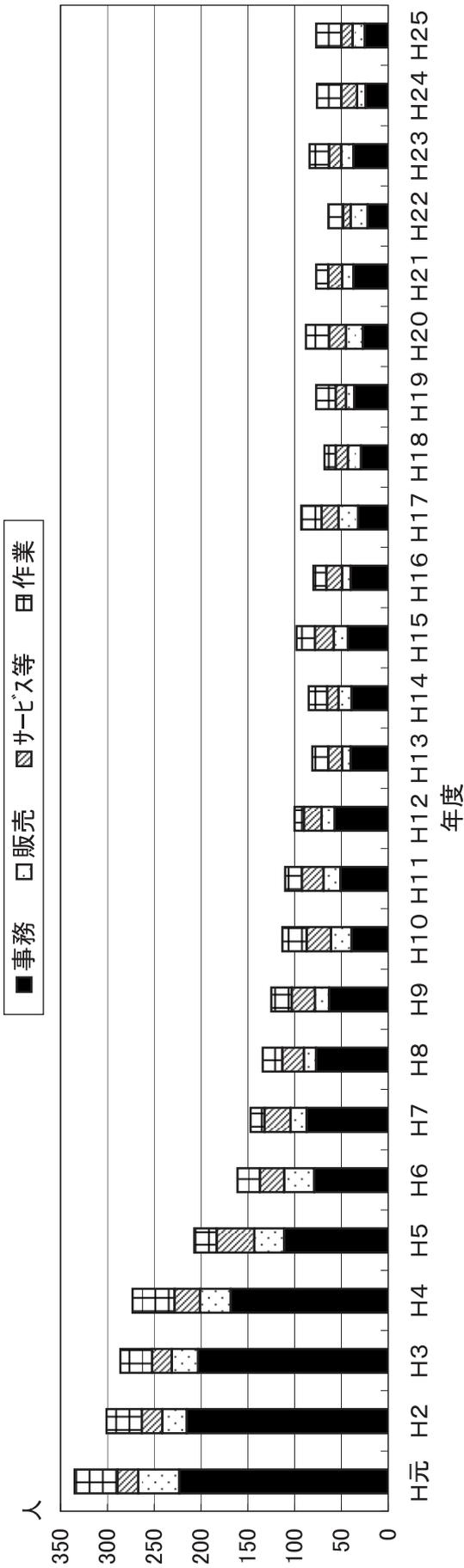
### 卒業生進路構成



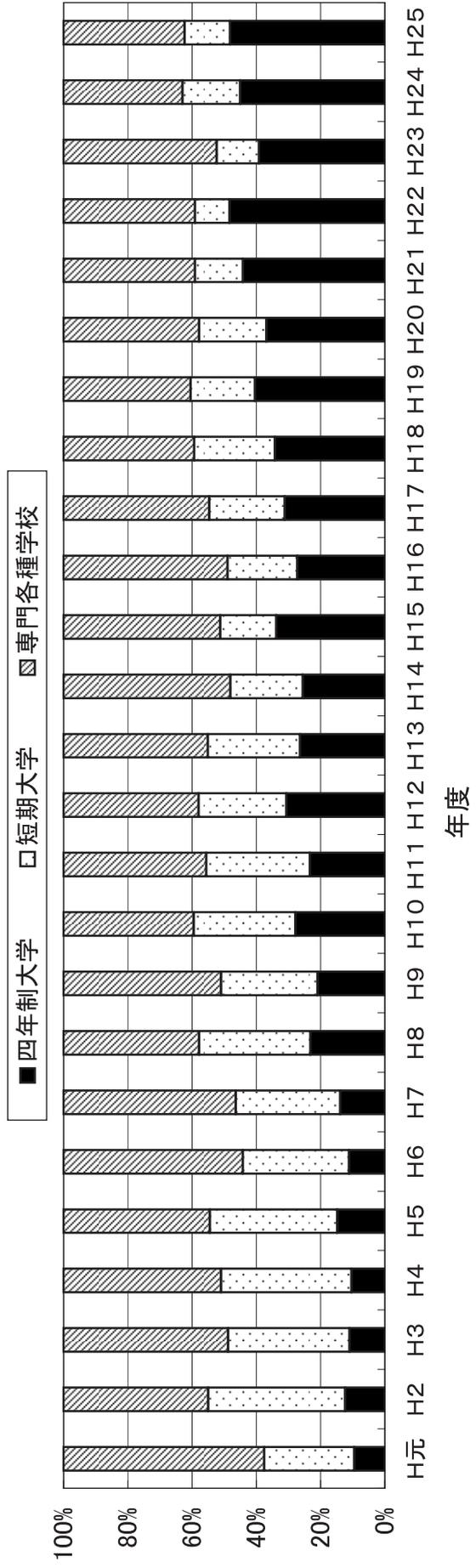
### 求人数



### 職種別就職者数



### 進学先推移



## 「インターンシップについて」

中 本 富 基

本校では、平成 11 年度より地域の連携推進事業の指定を受け、2 学年を中心にインターンシップを実施しています。

期間は 3 日間で、近年は和歌山市内を中心に 150 社以上の事業所に協力していただいています。320 名以上の生徒が 1 度の実習するため、事業所の割り振りや事前指導や事前準備など大変な面もありますが、自分自身の適性を知ることができ、会社の雰囲気や味を味わえ、自分の抱いていたイメージとのギャップを知ることができます。社会人になるまでにやらなければいけないことを見つけることができるなどメリットが多く、生徒一人一人の勤労観、職業観を養う上で今後も継続していくことが望ましいと思われまます。

また、平成 24 年度より 3 学年課題研究の選択で長期インターンシップを実施しています。

平成 25 年度からの新学習指導要領の重点項目である『将来の進路希望などに即した教育活動』『生徒一人一人の勤労観、職業観を育てるキャリア教育』に先行して、保育園実習やホテル・販売実習（公立学校共済施設アバローム紀の国）・医療ビジネス（病院実習）を開講・拡充しました。

実習の目的は、実習を通して地域と連携し、保育士・幼稚園教諭・看護師として夢や希望を持って将来の生き方や生活を考え、社会の現実を踏まえながら、学ぶこと・働くことの意義や役割を考察できる生徒を育てることにあります。

この実習は長期実習型（通年）のインターンシップであり、100 名程度の受講希望者を火曜日の 5・6 限と木曜日の 5・6 限の 2 グループに分け、3 ヶ所の保育園（むつみ保育園・新堀保育園・砂山保育所）と市内を中心とする約 10 カ所の病院の協力のもと実習を行っています。長期実習型（通年）とした理由は、生徒に実践的な知識と技術を身につけさせ、将来の職業選択に生かしてもらい、卒業後の進路に生かすことです。おかげさまで今年度 4 名の卒業生が長期実習先の保育園に就職が決まり、数名が保育園・幼稚園に就職が決まったと報告を受けました。今後も長期実習先にも就職が決まってほしいと願っています。

# 総合的な学習の時間「キャリアデザイン」

平成 26 年度担当 柏 田 倍 男

本校は平成 20 年にそれまでの 3 学科を「ビジネス創造科」に学科改編した。その目標と特色は、1 年次で同一科目を学習することでビジネス教育の基礎基本を学び、2 年次からはコース選択し「総合コース」「会計コース」「情報コース」に分かれる。そして、発展した専門知識・技術の習得を図り、関連の上級資格や検定の取得および普通教科の学習を進め、それぞれのコースの特徴を生かした進路を実現するための能力と態度を養うことである。

総合的な学習の時間「キャリアデザイン」は、学習指導要領における総合的な学習の時間の目標はもとより、本校における「キャリア教育」の一環として位置づけられている。

「キャリア教育」は、自分の興味関心や進路に応じた職業や進路を調査研究し、それを実現させるための知識や技術を習得しようとする能力や態度を育て、望ましい職業観・勤労観を育てることを目標としている。

そして、この目標を実現し、2 年次からのコース選択をスムーズに進めるために年間指導計画をたて、授業を実施している。その概略を以下に記す。

## 1 学期

- ①オリエンテーションで「キャリアデザイン」の内容、年間計画、意義を知る。
- ②自分の適性を知る。
- ③職業について研究する。
- ④進路について研究する。
- ⑤2 学期のコース選択について考える。

## 2 学期

- ①進路とコース選択を考える。
  - ・コースの特徴を知る。
  - ・進路実現とコース選択の関係を知る。
  - ・選択科目の特徴を知る。
  - ・個別面談で担任、保護者、本人による相談を通じて選択を決定する。
- ②「私のキャリアデザイン」を作成する。

## 3 学期

- ①進路と検定取得について調べる。
- ②コミュニケーション能力を向上する。
- ③1 年間の学習を振り返り、自分の将来について考える。

おわりに、「キャリア教育」は、生徒が「生きる力」を身につけ、社会の激しい変化に流されることなく、それぞれが直面するであろう様々な課題に柔軟、かつ、たくましく対応し、職業人として自立していくことができるようにする教育である。

今後、ますますその必要性が求められており、本校においても、より一層の充実・推進が必要である。



クラブ活動の記録



日 程	大 会 名	種 目	成 績
<b>①硬式野球部</b>			
<b>平成25(2013)年度</b>			
4月14日 ～4月28日	春季近畿地区高校野球大会和歌山県予選		3回戦
7月18日 ～7月22日	第95回全国高等学校野球選手権記念和歌山大会		3回戦
8月28日	県下高校野球新人戦		初戦
9月17日	秋季近畿地区高校野球大会県予選		初戦
<b>平成24(2012)年度</b>			
4月15日 ～5月13日	春季近畿地区高校野球大会和歌山県予選		準優勝
7月17日 ～8月5日	第94回全国高等学校野球選手権和歌山大会		準々決勝
8月23日 ～9月9日	県下高校野球新人戦		優勝 (37年ぶり2回目)
9月30日 ～10月7日	秋季近畿地区高校野球大会県予選		準決勝
<b>平成23(2011)年度</b>			
4月24日 ～4月30日	春季近畿地区高校野球大会和歌山県予選		3回戦
7月17日 ～7月21日	第93回全国高等学校野球選手権和歌山大会		3回戦
8月28日	県下高校野球新人戦		初戦
9月19日 ～10月2日	秋季近畿地区高校野球大会和歌山県予選		準々決勝
<b>平成22(2010)年度</b>			
4月18日 ～4月25日	春季近畿地区高校野球大会和歌山県予選		3回戦
7月11日 ～7月21日	第92回全国高等学校野球選手権和歌山大会		3回戦
8月27日 ～9月4日	県下高校野球新人戦		3回戦
9月19日 ～9月27日	秋季近畿地区高校野球大会和歌山県予選		準決勝 (3位校として近畿大会出場)
10月30日	秋季近畿地区高等学校野球大会		初戦
<b>平成21(2009)年度</b>			
4月19日	春季近畿地区高校野球大会和歌山県予選		2回戦
7月19日 ～7月27日	第91回全国高等学校野球選手権和歌山大会		準決勝 (28年ぶり4強)
8月29日	県下高校野球新人戦		準々決勝
9月18日 ～9月23日	秋季近畿地区高校野球大会和歌山県予選		3回戦
<b>平成20(2008)年度</b>			
4月12日	春季近畿地区高校野球大会和歌山県予選		初戦
7月11日 ～7月21日	第90回全国高等学校野球選手権和歌山大会		3回戦
8月26日 ～9月2日	県下高校野球新人戦		準々決勝
9月27日 ～10月5日	秋季近畿地区高校野球大会和歌山県予選		準優勝
10月18日	秋季近畿地区高等学校野球大会		初戦

日 程	大 会 名	種 目	成 績
<b>平成19(2007)年度</b>			
4月21日 ～5月13日	春季近畿地区高校野球大会和歌山県予選		優 勝
5月27日 ～6月3日	春季近畿地区高等学校野球大会		準優勝
7月21日	第89回全国高等学校野球選手権和歌山大会		初 戦
8月25日 ～9月2日	県下高校野球新人戦		準々決勝
9月17日 ～10月7日	秋季近畿地区高校野球大会和歌山県予選		準優勝
10月21日	秋季近畿地区高等学校野球大会		初 戦
<b>平成18(2006)年度</b>			
4月25日 ～5月15日	春季近畿地区高校野球大会和歌山県予選		準決勝
5月28日 ～6月3日	春季近畿地区高等学校野球大会		準決勝
7月22日 ～7月24日	第88回全国高等学校野球選手権和歌山大会		3回戦
8月24日 ～9月2日	県下高校野球新人戦		3回戦
9月16日 ～10月10日	秋季近畿地区高校野球大会和歌山県予選		優 勝
10月21日	秋季近畿地区高等学校野球大会		初 戦
3月24日	第79回選抜高等学校野球大会		初 戦 (70年ぶり出場)
<b>平成17(2005)年度</b>			
4月19日 ～5月1日	春季近畿地区高校野球大会和歌山県予選		準々決勝
7月13日 ～7月18日	第87回全国高等学校野球選手権和歌山大会		2回戦
8月27日 ～9月11日	県下高校野球新人戦		準優勝
10月2日 ～10月12日	秋季近畿地区高校野球大会和歌山県予選		準優勝
10月23日	秋季近畿地区高等学校野球大会		初 戦
<b>平成16(2004)年度</b>			
4月18日	春季近畿地区高校野球大会和歌山県予選		初 戦
7月19日 ～7月27日	第86回全国高等学校野球選手権和歌山大会		準々決勝
8月30日 ～9月4日	県下高校野球新人戦		3回戦
9月18日 ～9月23日	秋季近畿地区高校野球大会和歌山県予選		3回戦

<b>②テニス部</b>			
<b>平成25(2013)年度</b>			
2月2日	第2回近畿公立高等学校テニス大会個人の部 (マリンテニスパーク北村：大阪市)	男子単	優 勝 (楠部 佑真)
1月15日 ～1月16日	和歌山県高等学校室内テニス大会 (和歌山ビッグホエール)	男子単	優 勝 (楠部 佑真) 準優勝 (仁坂 拓未)
		男子複	優 勝 (仁坂 拓未・楠部 佑真)
		女子単	ベスト8 (石井 万琴)
		女子複	第3位 (石井 万琴・山路 加奈枝)

日 程	大 会 名	種 目	成 績
1月5日 ～1月6日	第11回近畿公立高等学校テニス大会 (神戸総合運動公園：神戸市)	男子団体	準優勝 (仁坂 拓未・楠部 佑真・藤田 慧・ 谷口 剛・呑海 竜成・小櫻 翔・ 林 一輝・白塚 裕之・丸山 啓)
		女子団体	第8位 (山本 実佳・石井 万琴・橋本 理紗子・ 山路 加奈枝・古川 万里乃・松本 渚・ 淡井 祐花)
11月16日 ～11月17日	第36回全国選抜高校テニス大会近畿地区大会 (神戸総合運動公園：神戸市)	男子団体	第11位 (仁坂 拓未・楠部 佑真・藤田 慧・ 谷口 剛・呑海 竜成・小櫻 翔・ 林 一輝・白塚 裕之・丸山 啓)
10月27日 ～10月28日	第36回全国選抜高校テニス大会和歌山県大会 (紀三井寺公園)	男子団体 (2年連続 3度目)	優 勝 (仁坂 拓未・楠部 佑真・藤田 慧・ 谷口 剛・呑海 竜成・小櫻 翔・ 林 一輝・白塚 裕之・丸山 啓)
		女子団体	第3位 (山本 実佳・石井 万琴・橋本 理紗子・ 山路 加奈枝・古川 万里乃・松本 渚・ 淡井 祐花)
9月29日 ～10月2日	第68回国民体育大会 スポーツ祭東京2013 (世田谷区立総合運動場庭球場：東京都)	成年男子	2回戦 (岡本 竜門)
		少年男子	1回戦 (楠部 佑真)
9月14日 ～9月16日	近畿高等学校テニス大会 (山城総合運動公園：宇治市)	男子単	2回戦 (楠部 佑真) (仁坂 拓未)
		男子複	2回戦 (楠部 佑真・仁坂 拓未)
		女子単	1回戦 (山本 実佳) (石井 万琴) (山路 加奈枝)
		女子複	1回戦 (山本 実佳・橋本 理紗子) (石井 万琴・山路 加奈枝)
9月7日	第2回和歌山県公立高等学校テニス大会 (紀三井寺公園・和歌山商業)	男子団体	優 勝 (仁坂 拓未・楠部 佑真・藤田 慧・ 谷口 剛・呑海 竜成・小櫻 翔・ 林 一輝・白塚 裕之・丸山 啓)
		女子団体	準優勝 (山本 実佳・石井 万琴・橋本 理紗子・ 山路 加奈枝・古川 万里乃・松本 渚・ 淡井 祐花)
8月17日 ～8月18日	和歌山県高等学校新人テニス大会 (かわべテニス公園)	男子単	優 勝 (楠部 佑真) 準優勝 (仁坂 拓未)
		男子複	優 勝 (仁坂 拓未・楠部 佑真)
		女子単	第3位 (石井 万琴) ベスト16 (山本 実佳・山路 加奈枝・ 橋本 理紗子)
		女子複	第3位 (石井 万琴・山路 加奈枝) ベスト8 (山本 実佳・橋本 理紗子)
6月17日	近畿高等学校選抜テニス大会新人の部 (滋賀県立長浜ドーム：長浜市)	男子単	ベスト8 (楠部 佑真) ベスト16 (仁坂 拓未)
		女子単	1回戦 (山本 実佳)
6月9日	第68回国民体育大会和歌山県最終予選 (紀三井寺公園)	男子単	第2位 (楠部 佑真)
		女子単	第3位 (大谷 茉莉子)
5月31日 ～6月2日	和歌山県高等学校総合体育大会テニス競技の部 (市立市民・紀三井寺公園)	男子団体	第3位 (仁坂 拓未・楠部 佑真・岡本 竜門・ 和田 透馬・金原 隆利)

日程	大会名	種目	成績
5月31日 ～6月2日	和歌山県高等学校総合体育大会テニス競技の部 (市立市民・紀三井寺公園)	女子団体	準優勝 (大谷 茉莉子・森本 綾華・高野 早紀・ 藤崎 光莉・山本 実佳)
		男子単	第3位 (仁坂 拓未) ベスト8 (岡本 竜門・楠部 佑真)
		男子複	第3位 (岡本 竜門・楠部 佑真) ベスト8 (金原 隆利・仁坂 拓未)
		女子単	第3位 (大谷 茉莉子) ベスト8 (森本 綾華) ベスト16 (高野 早紀・藤崎 光莉・ 山本 実佳)
		女子複	準優勝 (大谷 茉莉子・森本 綾華) ベスト8 (高野 早紀・山本 実佳) ベスト16 (藤崎 光莉・橋本 理紗子) (石井 万琴・山路 加奈枝)
<b>平成24(2012)年度</b>			
3月21日 ～3月23日	第35回全国選抜高校テニス大会 US Open Jr予選 (九州国際テニスクラブ:福岡県粕屋郡志免町)	男子単	2回戦 (楠部 佑真)
	第35回全国選抜高校テニス大会 (博多の森庭球場:福岡市)	男子団体 (26年ぶり 2度目)	2回戦 (楠部 佑真・仁坂 拓未・岡本 竜門・ 和田 透馬・山田 和輝・金原 隆利・ 江川 浩太郎・百々卓・中村 駿)
2月3日	第1回近畿公立高等学校テニス大会個人の部 (シーサイドガーデン舞洲:大阪市)	男子単	優勝 (楠部 佑真) 準優勝 (仁坂 拓未) 第3位 (岡本 竜門)
		女子単	第3位 (大谷 茉莉子)
1月16日 ～1月17日	和歌山県高等学校室内テニス大会 (和歌山ビッグホール)	男子単	優勝 (岡本 竜門) 第3位 (仁坂 拓未) ベスト8 (楠部 佑真)
		男子複	準優勝 (岡本 竜門・楠部 佑真) 第3位 (金原 隆利・仁坂 拓未)
		女子単	第3位 (大谷 茉莉子) ベスト8 (森本 綾華)
		女子複	第3位 (大谷 茉莉子・森本 綾華)
1月5日 ～1月6日	第10回近畿公立高等学校テニス大会 (マリンテニスパーク北村:大阪市)	男子団体	優勝 (楠部 佑真・仁坂 拓未・岡本 竜門・ 和田 透馬・山田 和輝・金原 隆利・ 江川 浩太郎・百々卓・中村 駿)
		女子団体	準優勝 (大谷 茉莉子・森本 綾華・高野 早紀・ 藤崎 光莉・江平 夕奈・石井 万琴・ 山本 実佳・山路 加奈枝・ 橋本 理紗子)
11月17日 ～11月18日	第35回全国選抜高校テニス大会近畿地区大会 (神戸総合運動公園:神戸市)	男子団体	第8位 (楠部 佑真・仁坂 拓未・岡本 竜門・ 和田 透馬・山田 和輝・金原 隆利・ 江川 浩太郎・百々卓・中村 駿)
		女子団体	第8位 (大谷 茉莉子・森本 綾華・高野 早紀・ 藤崎 光莉・江平 夕奈・石井 万琴・ 山本 実佳・山路 加奈枝・ 橋本 理紗子)
10月27日 ～10月28日	第35回全国選抜高校テニス大会和歌山県大会 (紀三井寺公園)	男子団体 (26年ぶり 2度目)	優勝 (楠部 佑真・仁坂 拓未・岡本 竜門・ 和田 透馬・山田 和輝・金原 隆利・ 江川 浩太郎・百々卓・中村 駿)
		女子団体 (2年ぶり 6度目)	優勝 (大谷 茉莉子・森本 綾華・高野 早紀・ 藤崎 光莉・江平 夕奈・石井 万琴・ 山本 実佳・山路 加奈枝・ 橋本 理紗子)

日 程	大 会 名	種 目	成 績
9月30日 ～10月2日	第67回国民体育大会 ぎふ清流国体 (長良川テニスプラザ：岐阜市)	少年男子	2回戦 (岡本 竜門)
		少年女子	2回戦 (大谷 茉莉子)
9月14日 ～9月16日	近畿高等学校テニス大会 (神戸総合運動公園：神戸市)	男子単	ベスト16 (楠部 佑真) 2回戦 (岡本 竜門) (仁坂 拓未) 1回戦 (和田 透馬)
		男子複	2回戦 (江川 浩太郎・中村 駿) 1回戦 (金原 隆利・仁坂 拓未) (百々 卓・和田 透馬)
		女子単	2回戦 (森本 綾華) 1回戦 (大谷 茉莉子) (藤崎 光莉)
		女子複	1回戦 (大谷 茉莉子・森本 綾華) (高野 早紀・橋本 理紗子)
9月8日	第1回和歌山県公立高等学校テニス大会 (紀三井寺公園・和歌山商業)	男子団体	優 勝 (仁坂・楠部・岡本・和田・江川・山田・金原)
		女子団体	優 勝 (大谷・森本・高野・藤崎・江平・石井・山本・山路・橋本)
8月17日 ～8月19日	和歌山県高等学校新人テニス大会 (白浜町営日置川)	男子単	第3位 (仁坂 拓未) ベスト8 (岡本 竜門・楠部 佑真) ベスト16 (和田 透馬)
		男子複	準優勝 (金原 隆利・仁坂 拓未) ベスト8 (江川 浩太郎・中村 駿) (百々 卓・和田 透馬)
		女子単	第3位 (大谷 茉莉子) ベスト16 (森本 綾華・高野 早紀、 藤崎 光莉)
		女子複	準優勝 (大谷 茉莉子・森本 綾華) ベスト8 (高野 早紀・橋本 理紗子)
8月14日	北信越かがやき総体 (25年ぶり) 第102回全国高等学校テニス選手権大会 (希望が丘テニス場：長岡市)	男子複	1回戦 (澤 和慶・仁坂 拓未)
6月15日 ～6月17日	近畿高等学校選抜テニス大会 (滋賀県立長浜ドーム：長浜市)	男子複	2回戦 (澤 和慶・仁坂 拓未)
6月9日	第67回国民体育大会和歌山県最終予選 (紀三井寺公園)	男子単	優 勝 (岡本 竜門) 第3位 (仁坂 拓未)
		女子単	優 勝 (大谷 茉莉子)
6月4日 ～6月6日	和歌山県高等学校総合体育大会テニス競技の部 (市立市民・紀三井寺公園)	男子団体	第3位 (澤 和慶・楠部 佑真・岡本 竜門・ 仁坂 拓未・雑賀 達也)
		女子団体	準優勝 (大谷 茉莉子・土井 春菜・水野 稚菜・ 増田 那菜・松下 まこ)
		男子単	第3位 (澤 和慶) ベスト8 (楠部 佑真)
		男子複	優 勝 (澤 和慶・仁坂 拓未) 第3位 (岡本 竜門・楠部 佑真)
		女子単	ベスト8 (土井 春菜) ベスト16 (水野 稚菜・大谷 茉莉子)
		女子複	ベスト8 (土井 春菜・松下 まこ) (大谷 茉莉子・高野 早紀)
<b>平成23(2011)年度</b>			
1月11日 ～1月12日	和歌山県高等学校室内テニス大会 (和歌山ビッグホール)	男子単	準優勝 (澤 竜門)
		女子単	第3位 (大谷 茉莉子)
1月5日 ～1月6日	第9回近畿公立高等学校テニス大会 (神戸総合運動公園：神戸市)	女子団体	優 勝 (大谷・土井・増田・高野・水野・松下・ 森本・江平・坂口)
11月12日 ～11月13日	第34回全国選抜高校テニス大会近畿地区大会 (蜻蛉池公園：岸和田市)	女子団体	第9位 (大谷・土井・増田・高野・水野・松下・ 森本・江平・坂口)

日 程	大 会 名	種 目	成 績
10月29日 ～10月30日	第34回全国選抜高校テニス大会和歌山県大会 (紀三井寺公園)	男子団体	1回戦 (澤・杉田・雑賀・坂本・西本・江川・金原・ 大野・池田)
		女子団体	準優勝 (大谷・土井・増田・高野・水野・松下・ 森本・江平・坂口)
9月16日 ～9月18日	近畿高等学校テニス大会 (蜻蛉池公園：岸和田市)	男子単	1回戦 (澤 和慶)
		男子複	1回戦 (澤 和慶・西本 雄太) (江川 浩太郎・金原 隆利)
		女子単	1回戦 (土井 春菜・増田 那菜・ 大谷 茉莉子)
		女子複	1回戦 (土井 春菜・大谷 茉莉子)
8月17日 ～8月19日	和歌山県高等学校新人テニス大会 (白浜町営日置川)	男子単	第3位 (澤 和慶)
		男子複	ベスト8 (澤 和慶・西本 雄太) (江川 浩太郎・金原 隆利)
		女子単	ベスト8 (土井 春菜・大谷 茉莉子) ベスト16 (増田 那菜)
		女子複	ベスト8 (土井 春菜・大谷 茉莉子)
6月4日 ～6月6日	和歌山県高等学校総合体育大会テニス競技の部 (市立市民・紀三井寺公園)	男子団体	第3位 (西川 和杜・古森 大地・澤 和慶・ 杉田 有司・雑賀 達也)
		女子団体	準優勝 (谷口 はるか・和中 星香・山本 杏奈・ 土井 春菜・大谷 茉莉子)
		男子複	ベスト16 (西川 和杜・古森 大地)
		女子単	ベスト16 (和中 星香・土井 春菜 大谷 茉莉子)
		女子複	第3位 (谷口 はるか・和中 星香) ベスト8 (土井 春菜・谷 茉莉子) (松下 まこ・増田 那菜)
<b>平成22(2010)年度</b>			
1月12日 ～1月13日	和歌山県高等学校室内テニス大会 (和歌山ビッグホエール)	男子単	ベスト8 (岡本 竜門) ベスト16 (澤 和慶)
		男子複	ベスト8 (岡本 竜門・澤 和慶) (古森 大地・西川 和杜)
		女子単	ベスト8 (谷口 はるか・土井 春菜) ベスト16 (和中 星香)
		女子複	第3位 (谷口 はるか・和中 星香)
1月5日 ～1月6日	第8回近畿公立高等学校テニス大会 (神戸総合運動公園：神戸市)	男子団体	第11位 (岡本・澤・西川・古森・杉田 加藤・池田・坂本・阪口)
		女子団体	第5位 (谷口・土井・和中・串野・山本 濱田・増田・松下・水野)
11月27日 ～11月28日	第33回全国選抜高校テニス大会近畿地区大会 (蜻蛉池公園：岸和田市)	女子団体	第11位 (谷口・土井・和中・串野・山本・ 濱田・増田・松下・水野)
10月27日 ～10月28日	第33回全国選抜高校テニス大会和歌山県大会 (紀三井寺公園)	男子団体	第3位 (岡本・澤・西川・古森・杉田・加藤・ 池田・坂本・阪口)
		女子団体 (5年ぶり 5度目)	優 勝 (谷口・土井・和中・串野・山本・濱田・ 増田・松下・水野)
9月11日 ～9月14日	近畿高等学校テニス大会 (白浜町営日置川)	男子単	2回戦 (岡本 竜門) 1回戦 (澤 和慶・西川 和杜)
		男子複	1回戦 (岡本 竜門・澤 和慶)
		女子単	2回戦 (土井 春菜) 1回戦 (谷口 はるか・和中 星香)
		女子複	1回戦 (谷口 はるか・和中 星香)

日 程	大 会 名	種 目	成 績
8月17日 ～8月19日	和歌山県高等学校新人テニス大会 (白浜町営日置川)	男子単	ベスト8 (岡本 竜門) ベスト16 (澤 和慶・西川 和杜)
		男子複	ベスト8 (岡本 竜門・澤 和慶) ベスト16 (古森 大地・西川 和杜)
		女子単	ベスト8 (谷口 はるか) ベスト16 (土井 春菜・和中 星香)
		女子複	準優勝 (谷口 はるか・和中 星香) ベスト16 (串野 史奈・井 春菜) (松下 まこ・坂口 真実)
6月20日	近畿高等学校選抜テニス大会新人の部 (滋賀県立長浜ドーム：長浜市)	女子単	1回戦 (山本 実佳)
6月4日 ～6月6日	和歌山県高等学校総合体育大会テニス競技の部 (市立市民・紀三井寺公園)	男子団体	2回戦 (岡本 竜門・古森 大地 西川 和杜・澤 和慶・辻 宅真)
		女子団体	準優勝 (谷口 はるか・江平 千枝・和中 星香・ 土井 春菜・西村 梨乃)
		男子単	ベスト8 (岡本 竜門)
		男子複	1回戦 (岡本 竜門・澤 和慶) (辻 宅真・西川 和杜)
		女子単	ベスト8 (谷口 はるか) ベスト16 (和中 星香・土井 春菜)
		女子複	第3位 (谷口 はるか・和中 星香) ベスト8 (西村 梨乃・江平 千枝) ベスト16 (伊賀 千夏・金森 志乃)
<b>平成21(2009)年度</b>			
1月14日 ～1月15日	和歌山県高等学校室内テニス大会	女子単	ベスト8 (谷口 はるか)
		女子複	第3位 (谷口 はるか・和中 星香)
10月24日 ～10月25日	第32回全国選抜高校テニス大会和歌山県大会 (紀三井寺公園)	男子団体	2回戦 (辻・小林・出水・古森・池田・ 西川・阪口・抜井・志賀)
		女子団体	2回戦 (西村・江平・伊賀・金森・谷口 和中・串野・竹田・濱田)
9月11日 ～9月13日	近畿高等学校テニス大会 (滋賀県立長浜ドーム：長浜市)	女子単	1回戦 (谷口 はるか・和中 星香 西村 梨乃)
		女子複	1回戦 (谷口 はるか・和中 星香) (西村 梨乃・江平 千枝)
8月17日 ～8月19日	和歌山県高等学校新人テニス大会 (白浜町営日置川)	女子単	第3位 (谷口 はるか) ベスト16 (西村 梨乃・和中 星香 江平 千枝)
		女子複	第3位 (谷口 はるか・和中 星香) ベスト16 (西村 梨乃・江平 千枝)
5月29日 ～5月31日	和歌山県高等学校総合体育大会テニス競技の部 (市立市民・紀三井寺公園)	男子団体	2回戦 (石井 裕貴・木村 誠悟 喜多 弘隆・弓中 豪大・古森 大地)
		女子団体	準優勝 (松尾 実季・福井 晴香・西村 梨乃・ 谷口 はるか・和中 星香)
		女子単	第3位 (松尾 実季)
		女子複	ベスト8 (松尾 実季・谷口 はるか) (福井 晴香・和中 星香)
<b>平成20(2008)年度</b>			
1月14日 ～1月15日	和歌山県高等学校室内テニス大会 (和歌山ビッグホエール)	男子単	ベスト16 (石井 裕貴)
		女子単	優 勝 (松尾 実季) ベスト16 (福井 晴香・中西 美樹)
		女子複	準優勝 (松尾 実季・福井 晴香)
10月25日 ～10月26日	第31回全国選抜高校テニス大会和歌山県大会 (紀三井寺公園)	男子団体	1回戦 (石井・津田・木村・喜多・弓中・名高・ 岡畑・若林・辻)
		女子団体	第3位 (松尾・福井・中西・中西・西村・江平・ 大畑・伊賀・金森)

日程	大会名	種目	成績
10月3日 ～10月4日	第63回国民体育大会(チャレンジ!おおいた国体)	少年女子	ベスト32(小山 紗世)
9月11日 ～9月13日	近畿高等学校テニス大会 (明日香庭球場:奈良県高市郡明日香村)	女子単	ベスト16(松尾 実季)
		女子複	2回戦(松尾 実季・福井 晴香)
8月16日 ～8月18日	和歌山県高等学校新人テニス大会 (白浜町営日置川)	女子単	優勝(松尾 実季)
		女子複	優勝(松尾 実季・福井 晴香)
6月8日	第63回国民体育大会和歌山県最終予選 (紀三井寺公園)	女子単	準優勝(小山 紗世)
5月30日 ～6月1日	和歌山県高等学校総合体育大会テニス競技の部 (市立市民・紀三井寺公園)	男子団体	ベスト8(伊賀 誠・畑下 善哉・ 岡田 佑士・山崎 高明・ 山谷 裕也)
		女子団体	準優勝(小山 紗世・松尾 実季・ 串野 由依・福井 晴香・ 三浦 理恵)
		女子単	第3位(小山 紗世)
		女子複	準優勝(小山 紗世・松尾 実季)
<b>平成19(2007)年度</b>			
1月16日 ～1月17日	和歌山県高等学校室内テニス大会	女子単	準優勝(小山 紗世) 第3位(松尾 実季)
		女子複	準優勝(松尾 実季・福井 晴香) ベスト8(串野 由依・三浦 理恵)
1月5日 ～1月6日	第5回近畿公立高等学校テニス大会 (神戸総合運動公園:神戸市)	女子団体	第7位 (小山・松尾・串野・福井・三浦・ 中西美樹・中西美有)
11月24日 ～11月25日	第30回全国選抜高校テニス大会近畿地区大会 (蜻蛉池公園:岸和田市)	女子団体	第12位 (小山・松尾・串野・福井・三浦・ 中西美樹・中西美有)
10月27日 ～10月28日	第30回全国選抜高校テニス大会和歌山県大会 (紀三井寺公園)	男子団体	ベスト8 (伊賀・山谷・山崎・岡田・木村・喜多・ 石井・弓中・名高)
		女子団体	準優勝 (小山・松尾・串野・福井・三浦・ 中西美樹・中西美有)
10月3日 ～10月4日	第62回国民体育大会(秋田わか杉国体) (秋田県立中央公園県営庭球場:秋田市)	少年女子	第4位(木下 真緒)
9月15日 ～9月16日	近畿高等学校テニス大会 (山城総合運動公園:宇治市)	女子単	ベスト32(小山 紗世) 2回戦(松尾 実季)
		女子複	ベスト8(小山 紗世・松尾 実季) 1回戦(串野 由依・三浦 理恵)
8月21日 ～8月22日	和歌山県高等学校新人テニス大会 (白浜町営日置川)	女子単	優勝(小山 紗世) 第3位(松尾 実季)
		女子複	準優勝(小山 紗世・松尾 実季) ベスト8(串野 由依・三浦 理恵)
8月2日	2007青春・佐賀総体(2年連続) 第97回全国高等学校テニス選手権大会 (佐賀県総合運動場:佐賀市)	女子単	ベスト32(木下 真緒)
8月4日	第69回全日本ジュニアテニス選手権大会'07 18歳以下 (靱テニスセンター:大阪市)	女子単	1回戦(木下 真緒)
6月8日	第62回国民体育大会和歌山県最終予選 (紀三井寺公園)	女子単	準優勝(木下 真緒) 第3位(松尾 実季)
6月2日 ～6月4日	和歌山県高等学校総合体育大会テニス競技の部 (市立市民・紀三井寺公園)	男子団体	ベスト8 (福井 健介・山本 将也・畑下 善哉・ 伊賀 誠・山崎 高明)
		女子団体	準優勝 (木下 真緒・小山 紗世 田中 奈緒・松尾 実季・岡本 悠)
		女子単	準優勝(木下 真緒)

日程	大会名	種目	成績
6月2日 ～6月4日	和歌山県高等学校総合体育大会テニス競技の部 (市立市民・紀三井寺公園)	女子複	準優勝 (小山 紗世・松尾 実季) 第3位 (木下 真緒・田中 奈緒) (岡本 悠・串野 由依)
<b>平成18(2006)年度</b>			
3月21日 ～3月25日	第29回全国選抜高校テニス大会 USOpen Jr予選 (九州国際テニスクラブ：福岡県粕屋郡志免町)	女子単	ベスト16 (木下 真緒)
		女子団体 (2年連続 4回目)	2回戦 (木下・小山・田中・岡本・大原・ 串野・三浦)
1月13日 ～1月14日	和歌山県高等学校室内テニス大会 (和歌山ビッグホエール)	女子単	準優勝 (木下 真緒) 第3位 (小山 紗世) ベスト8 (田中 奈緒・岡本 悠)
		女子複	準優勝 (岡本 悠・小山 紗世) 第3位 (木下 真緒・田中 奈緒)
11月18日 ～11月19日	第29回全国選抜高校テニス大会近畿地区大会 (マリンテニスパーク北村：大阪市)	女子団体	第7位 (木下・小山・田中・岡本・大原・ 串野・三浦)
10月28日 ～10月29日	第29回全国選抜高校テニス大会和歌山県大会 (紀三井寺公園)	男子団体	ベスト8 (福井・山本・辻垣内・中西・畑下・ 松原・伊賀・岡田)
		女子団体 (12年ぶり 4回目)	優勝 (木下・小山・田中・岡本・大原・串野・ 三浦)
10月6日	第61回国民体育大会 (のじぎく兵庫国体) (神戸総合運動公園：神戸市)	少年女子	2回戦 (木下 真緒)
9月16日 ～9月17日	近畿高等学校テニス大会 (泉北アクア：堺市・マリンテニスパーク北村：大 阪市)	女子単	ベスト16 (小山 紗世) ベスト32 (木下 真緒) 2回戦 (田中 奈緒) 1回戦 (岡本 悠)
		女子複	ベスト16 (木下 真緒・田中 奈緒) (岡本 悠・小山 紗世)
8月18日 ～8月19日	和歌山県高等学校新人テニス大会 (白浜町営日置川)	女子単	準優勝 (木下 真緒) 第3位 (田中 奈緒) ベスト8 (岡本 悠・小山 紗世)
		女子複	優勝 (木下 真緒・田中 奈緒) 準優勝 (岡本 悠・小山 紗世)
8月4日	第70回全日本ジュニアテニス選手権大会'06 16歳以下 (靱テニスセンター：大阪市)	女子単	1回戦 (木下 真緒)
8月5日 ～8月6日	06総体THE近畿 第96回全国高等学校テニス選手権大会 (神戸総合運動公園：神戸市)	女子単 (11年ぶり出 場)	ベスト32 (木下 真緒)
		女子複 (9年ぶり出 場)	ベスト32 (岡本 悠・小山 紗世) 1回戦 (木下 真緒・田中 奈緒)
7月10日	第61回国民体育大会和歌山県最終予選 (紀三井寺公園)	女子単	準優勝 (木下 真緒)
6月2日 ～6月4日	和歌山県高等学校総合体育大会テニス競技の部 (市立市民・紀三井寺公園)	男子団体	ベスト8 (谷口 智哉・田村 直嗣・小林 祐介・ 福井 健介・川端 晃)
		女子団体	準優勝 (木下 真緒・田中 奈緒・小山 紗世・ 岡本 悠・堂脇 麻里)
		女子単	準優勝 (木下 真緒)
		女子複	優勝 (木下 真緒・田中 奈緒) 準優勝 (岡本 悠・小山 紗世)
<b>平成17(2005)年度</b>			
3月21日 ～3月24日	第28回全国選抜高校テニス大会 USOpen Jr予選 (九州国際テニスクラブ：福岡県粕屋郡志免町)	女子単	1回戦 (木下 真緒)
		女子団体 (14年ぶり 3回目)	2回戦 (木下・田中・岡本・和田・堂脇・中西・ 上野・大原・下)
1月14日 ～1月15日	和歌山県高等学校室内テニス大会 (和歌山ビッグホエール)	女子単	優勝 (木下 真緒) 第3位 (田中 奈緒)

日程	大会名	種目	成績
1月14日 ～1月15日	和歌山県高等学校室内テニス大会 (和歌山ビッグホエール)	女子複	優勝 (木下 真緒・田中 奈緒)
1月5日 ～1月6日	第3回6府県公立高等学校テニス対抗戦 (マリンテニスパーク北村：大阪市)	女子団体	第6位 (木下・田中・岡本・和田・堂脇・ 中西・上野・大原・下)
11月18日 ～11月19日	第28回全国選抜高校テニス大会近畿地区大会 (神戸総合運動公園：神戸市)	女子団体	第8位 (木下・田中・岡本・和田・堂脇・ 中西・上野・大原・下)
10月29日 ～10月30日	第28回全国選抜高校テニス大会和歌山県大会 (紀三井寺公園)	男子団体	ベスト8 (谷口・小林・田村・川端・南方・ 栄・福井・出口・山本)
		女子団体	準優勝 (木下・田中・岡本・和田・堂脇・ 中西・上野・大原・下)
9月17日 ～9月18日	近畿高等学校テニス大会 (神戸総合運動公園：神戸市)	女子単	2回戦 (木下 真緒 田中 奈緒) 1回戦 (岡本 悠)
		女子複	ベスト16 (木下 真緒・田中 奈緒)
8月19日 ～8月20日	和歌山県高等学校新人テニス大会 (白浜町営日置川)	女子単	準優勝 (木下 真緒) 第3位 (田中 奈緒)
		女子複	優勝 (木下 真緒・田中 奈緒)
6月3日 ～6月5日	和歌山県高等学校総合体育大会テニス競技の部 (市立市民・紀三井寺公園)	男子団体	1回戦 (岡本 翔・小林 祐介・ 田村 直嗣・川端 晃・栄 龍太)
		女子団体	第3位 (松原 由美子・木下 真緒・有田 祐子・ 田中 奈緒・岡本 悠)
		女子単	第3位 (木下 真緒)
		女子複	第3位 (松原 由美子・阪本 良枝)
<b>平成16(2004)年度</b>			
1月5日 ～1月6日	第2回6府県公立高等学校テニス対抗戦 (マリンテニスパーク北村：大阪市)	女子団体	第6位 (松原・鎌田・高松・阪本・有田・山本・ 且来・川端・大北)
11月20日 ～11月21日	第27回全国選抜高校テニス大会近畿地区大会 (神戸総合運動公園：神戸市)	女子団体	第11位 (松原・鎌田・高松・阪本・有田・山本・ 且来・川端・大北)
10月29日 ～10月30日	第27回全国選抜高校テニス大会和歌山県大会 (紀三井寺公園)	男子団体	1回戦 (岡本・竹田・小畑・東山・田村・ 川端・小林・谷口・大野)
		女子団体	準優勝 (松原・鎌田・高松・阪本・有田・山本・ 且来・川端・大北)
9月18日 ～9月19日	近畿高等学校テニス大会 (日置川町営・いこいの村：西牟婁郡日置川町)	女子単	1回戦 (松原 由美子) (鎌田 玲菜)
		女子複	1回戦 (松原 由美子・阪本 良枝) (高松 友香里・鎌田 玲奈)
8月16日 ～8月17日	和歌山県高等学校新人テニス大会 (日置川町営)	男子単	ベスト16 (岡本 翔)
		女子単	ベスト16 (松原 由美子) (鎌田 玲菜)
		女子複	ベスト8 (松原 由美子・阪本 良枝) (高松 友香理・鎌田 玲奈)
6月3日 ～6月5日	和歌山県高等学校総合体育大会テニス競技の部 (市立市民・紀三井寺公園)	男子団体	1回戦 (中尾 信喜・神崎 和広・ 田中 貴雄・梶本 大貴・ 山本 大輔)
		女子団体	ベスト8 (竹垣 志帆子・鎌田 彩菜・ 松原 由美子・阪本 良枝・ 鎌田 玲奈)
		女子単	ベスト8 (竹垣 志帆子)
		女子複	ベスト8 (竹垣 志帆子・高松 友香理) (鎌田 彩菜・鎌田 玲奈)

日程	大会名	種目	成績
<b>③ソフトテニス部</b>			
<b>平成25(2013)年度</b>			
6月2日 ～6月3日	和歌山県総合体育大会ソフトテニス競技の部 (かわベテニスコート)	女子団体	準優勝
		女子個人	ベスト32 野口な・野口ち組、 上西・金岡組、 西・井本組
7月22日	近畿高等学校ソフトテニス選手権大会 (長浜ドーム：滋賀県長浜市)	女子団体	ベスト32
8月21日	夏季大会（紀三井寺庭球場）	女子個人	ベスト16 西・井本組 ベスト32 山本・水落組
		女子個人	ベスト16 西・井本組、 山本・水落組
11月1日 ～11月2日	和歌山県高等学校ソフトテニス新人選手権大会 (かわベテニスコート)	女子団体	準優勝
		女子個人	ベスト16 西・井本組、 山本・水落組
12月21日	和歌山県高等学校新人インドア大会 (新宮高等学校)	女子個人	ベスト16 西・井本組 出場 山本・水落組
1月12日 ～1月13日	近畿高等学校選抜インドア大会 (長浜ドーム：滋賀県長浜市)	女子団体	出場
		女子個人	出場 西・井本組、 山本・水落組
<b>平成24(2012)年度</b>			
6月3日 ～6月4日	和歌山県総合体育大会ソフトテニス競技の部 (かわベテニスコート)	女子団体	ベスト4
		女子個人	ベスト16 上西・山本組 ベスト32 野口な・吉田組、 高岡・中出組
7月21日 ～7月22日	近畿高等学校ソフトテニス選手権大会 (丹波自然運動公園：京都府)	女子団体	出場
		女子個人	出場 上西・山本組
8月30日	夏季大会（紀三井寺庭球場）	女子個人	ベスト16 野口な・野口ち組、 上西・金岡組、 西あ・井本組
11月4日 ～11月5日	和歌山県高等学校ソフトテニス新人選手権大会 (日置テニスコート)	女子団体	準優勝
		女子個人	ベスト16 野口な・野口ち組 ベスト32 上西・金岡組、 木地・川畑組、 玉井・西え組、 西あ・井本組
12月16日	和歌山県高等学校新人インドア大会 (県立橋本体育館)	女子個人	ベスト16 野口な・野口ち組
1月12日 ～1月13日	近畿高等学校選抜インドア大会 (長浜ドーム：滋賀県長浜市)	女子団体	出場
		女子個人	出場 野口な・野口ち組
<b>平成23(2011)年度</b>			
6月5日 ～6月6日	和歌山県総合体育大会ソフトテニス競技の部 (かわベテニスコート)	女子団体	ベスト8
	和歌山県総合体育大会ソフトテニス競技の部 (かわベテニスコート)	女子個人	ベスト32 宮崎・平田組、 杉本・土橋組、 小川・東組、 上西・吉田組、 高岡・中出組
7月21日	近畿高等学校ソフトテニス選手権大会 (三木市吉川総合公園：兵庫県)	女子団体	出場
8月24日	夏季大会（紀三井寺庭球場）	女子個人	ベスト32 野口・吉田組、 上西・山本組
11月4日 ～11月5日	和歌山県高等学校ソフトテニス新人選手権大会 (日置テニスコート)	女子団体	ベスト8
		女子個人	ベスト8 野口・吉田組 ベスト16 上西・山本組 ベスト32 高岡・中出組

日程	大会名	種目	成績
12月23日	和歌山県高等学校新人インドア大会 (新宮高等学校)	女子個人	ベスト8 野口・吉田組
1月8日	近畿高等学校選抜インドア大会 (長浜ドーム：滋賀県長浜市)	女子個人	出場 野口・吉田組、 上西・山本組
<b>平成22(2010)年度</b>			
6月6日 ～6月7日	和歌山県総合体育大会ソフトテニス競技の部 (かわべテニスコート)	女子団体	2回戦敗退
		女子個人	ベスト16 浦・堀川組 ベスト32 杉本・土橋
7月21日	近畿高等学校ソフトテニス選手権大会 (舞洲テニスコート：大阪府)	女子個人	出場 浦・堀川組
8月26日	夏季大会(紀三井寺庭球場)	女子個人	ベスト16 杉本・土橋組 ベスト32 宮崎・平田組
11月4日 ～11月5日	和歌山県高等学校ソフトテニス新人選手権大会 (日置テニスコート)	女子団体	ベスト4
		女子個人	ベスト16 杉本・土橋組 ベスト32 宮崎・平田組、 小浦・山本組
1月9日	近畿高等学校選抜インドア大会 (長浜ドーム：滋賀県長浜市)	女子個人	出場 杉本・土橋組
<b>平成21(2009)年度</b>			
5月31日 ～6月1日	和歌山県総合体育大会ソフトテニス競技の部 (かわべテニスコート)	女子団体	ベスト16
		女子個人	ベスト32 岡崎・前岡組、 堀川・小笠原組
10月30日 ～10月31日	和歌山県高等学校ソフトテニス新人選手権大会 (日置テニスコート)	女子団体	ベスト16
		女子個人	ベスト16 堀川・浦組、 南里・平田組
12月19日	和歌山県高等学校新人インドア大会 (新宮高等学校)	女子個人	ベスト16 堀川・浦組、 南里・平田組
1月10日	近畿高等学校選抜インドア大会 (長浜ドーム：滋賀県長浜市)	女子個人	出場 堀川・浦組、 南里・平田組
<b>平成20(2008)年度</b>			
6月1日 ～6月2日	和歌山県総合体育大会ソフトテニス競技の部 (かわべテニスコート)	女子団体	準優勝
		女子個人	ベスト16 岡崎・四之宮組
7月21日 ～7月22日	近畿高等学校ソフトテニス選手権大会 (明日香テニスコート：奈良県)	女子個人	出場 岡崎・四之宮組
		女子団体	出場
11月2日 ～11月3日	和歌山県高等学校ソフトテニス新人選手権大会 (日置テニスコート)	女子団体	準優勝
		女子個人	ベスト16 岡崎・前岡組
1月11日	近畿高等学校選抜インドア大会 (長浜ドーム：滋賀県長浜市)	女子個人	出場 岡崎・四之宮組
<b>平成19(2007)年度</b>			
6月3日	和歌山県総合体育大会ソフトテニス競技の部 (かわべテニスコート)	女子団体	ベスト16
11月2日 ～11月3日	和歌山県高等学校ソフトテニス新人選手権大会 (日置テニスコート)	女子団体	準優勝
		女子個人	ベスト16 岡崎・四之宮組
12月22日	和歌山県高等学校新人インドア大会 (新宮高等学校)	女子個人	ベスト16 岡崎・四之宮組
1月12日 ～1月13日	近畿高等学校選抜インドア大会 (長浜ドーム：滋賀県長浜市)	女子団体	出場
		女子個人	出場 岡崎・四之宮組

日程	大会名	種目	成績
<b>平成18(2006)年度</b>			
6月4日 ～6月5日	和歌山県総合体育大会ソフトテニス競技の部 (かわべテニスコート)	女子団体	ベスト8
		女子個人	ベスト16 福地・四之宮組、 馬場・阿部組
7月21日 ～7月22日	近畿高等学校ソフトテニス選手権大会 (丹波自然運動公園：京都府)	女子個人	出場 福地・四之宮組、 馬場・阿部組
		女子団体	出場
11月4日 ～11月5日	和歌山県高等学校ソフトテニス新人選手権大会 (日置テニスコート)	女子団体	準優勝
		女子個人	ベスト16 東・四之宮組 ベスト32 尾崎・前西組
1月6日 ～1月7日	近畿高等学校選抜インドア大会 (長浜ドーム：滋賀県長浜市)	女子団体	出場
		女子個人	ベスト32 東・四之宮組
<b>平成17(2005)年度</b>			
6月5日	和歌山県総合体育大会ソフトテニス競技の部 (かわべテニスコート)	女子団体	ベスト4
7月22日	近畿高等学校ソフトテニス選手権大会 (吉川町中央活動センターテニスコート：兵庫県)	女子団体	出場
11月4日 ～11月5日	和歌山県高等学校ソフトテニス新人選手権大会 (日置テニスコート)	女子団体	ベスト4
		女子個人	ベスト16 福地・四之宮組 ベスト32 馬場・阿部組、 宮尾・木村組
1月9日	近畿高等学校選抜インドア大会 (長浜ドーム：滋賀県長浜市)	女子個人	出場 福地・四之宮組
<b>平成16(2004)年度</b>			
5月30日	和歌山県総合体育大会ソフトテニス競技の部 (かわべテニスコート)	女子団体	ベスト8
7月22日	近畿高等学校ソフトテニス選手権大会 (マリンパーク北村：大阪府)	女子団体	出場
11月7日 ～11月8日	和歌山県高等学校ソフトテニス新人選手権大会 (日置テニスコート)	女子団体	ベスト4
		女子個人	ベスト32 田中・四之宮組

#### ④男子ハンドボール部

<b>平成25(2013)年度</b>			
4月27日	和歌山県高等学校ハンドボール春季選手権大会		1回戦 県和商12-16向陽
5月30日 ～6月02日	和歌山県高等学校ハンドボール総合体育大会		1回戦 県和商35-21和工 2回戦 県和商13-24那賀 敗者2回戦 県和商15-14向陽 敗者3回戦 県和商31-17海南 敗者4回戦 県和商20-11新宮 順位決定戦 県和商13-32那賀
7月13日	近畿高等学校ハンドボール選手権大会		1回戦 県和商10-35大阪偕成高校
11月8日 ～11月10日	和歌山県高等学校ハンドボール新人大会		1回戦 県和商23-1 海南 2回戦 県和商23-14新宮 3回戦 県和商15-32農芸 順位決定戦 県和商10-24粉河
<b>平成24(2012)年度</b>			
4月30日	和歌山県高等学校ハンドボール春季選手権大会		1回戦 県和商36-9 市和歌山 2回戦 県和商12-35紀北農芸

日程	大会名	種目	成績
6月2日 ～6月4日	和歌山県高等学校ハンドボール総合体育大会		1回戦 県和商26-19貴志川 2回戦 県和商12-27粉河 敗者1回戦 県和商32-6新翔 敗者2回戦 県和商14-19向陽
11月10日 ～11月11日	和歌山県高等学校ハンドボール新人大会		1回戦 県和商27-14海南 2回戦 県和商13-29紀北農芸
<b>平成23(2011)年度</b>			
4月29日	和歌山県高等学校ハンドボール春季選手権大会		1回戦 県和商3-28耐久
6月2日 ～6月5日	和歌山県高等学校ハンドボール総合体育大会		1回戦 県和商10-36粉河 敗者1回戦 県和商15-32新翔
11月10日 ～11月11日	和歌山県高等学校ハンドボール新人大会		1回戦 県和商18-10向陽 2回戦 県和商12-30粉河
<b>平成22(2010)年度</b>			
4月24日	和歌山県高等学校ハンドボール春季選手権大会		1回戦 県和商14-15向陽
6月3日 ～6月7日	和歌山県高等学校ハンドボール総合体育大会		1回戦 県和商14-34貴志川 敗者1回戦 県和商24-17海南 敗者2回戦 県和商14-16桐蔭
11月12日 ～11月14日	和歌山県高等学校ハンドボール新人大会		1回戦 県和商5-22粉河
<b>平成21(2009)年度</b>			
4月25日 ～4月28日	和歌山県高等学校ハンドボール春季選手権大会		2回戦 県和商27-14貴志川 準決勝 県和商11-21粉河 シード決勝戦 県和商12-33那賀
6月4日 ～6月7日	和歌山県高等学校ハンドボール総合体育大会		1回戦 県和商31-17耐久 2回戦 県和商25-31市和歌山
11月13日 ～11月15日	和歌山県高等学校ハンドボール新人大会		1回戦 県和商10-20粉河
<b>平成20(2008)年度</b>			
4月26日	和歌山県高等学校ハンドボール春季選手権大会		1回戦 県和商15-11和高専 2回戦 県和商13-26貴志川
5月29日 ～5月30日	和歌山県高等学校ハンドボール総合体育大会		1回戦 県和商21-18耐久 2回戦 県和商20-27粉河 3回戦 県和商11-16和工
11月14日 ～11月16日	和歌山県高等学校ハンドボール新人大会		1回戦 県和商29-15貴志川 2回戦 県和商28-18耐久 3回戦 県和商20-19那賀 決勝戦 県和商12-35紀北農芸
1月23日	近畿高等学校新人大会 全国高等学校選抜大会近畿予選		1回戦 県和商15-40法隆寺国際 2回戦 県和商18-31彦根翔陽
<b>平成19(2007)年度</b>			
4月28日	和歌山県高等学校ハンドボール春季選手権大会		1回戦 県和商26-25耐久 2回戦 県和商11-31新宮
5月31日 ～6月1日	和歌山県高等学校ハンドボール総合体育大会		1回戦 県和商13-38粉河 敗者1回戦 県和商13-21新翔
11月9日	和歌山県高等学校ハンドボール新人大会		1回戦 県和商13-22向陽
<b>平成18(2006)年度</b>			
6月1日 ～6月3日	和歌山県高等学校ハンドボール総合体育大会		1回戦 県和商21-18和高専 2回戦 県和商9-43紀北農芸 敗者2回戦 県和商21-10和工 敗者3回戦 県和商11-13向陽
11月10日 ～11月12日	和歌山県高等学校ハンドボール新人大会		1回戦敗退(対和工)
<b>平成17(2005)年度</b>			
	和歌山県高等学校ハンドボール春季選手権大会		
6月2日 ～6月5日	和歌山県高等学校ハンドボール総合体育大会		

日 程	大 会 名	種 目	成 績
11月11日 ～11月13日	和歌山県高等学校ハンドボール新人大会		
<b>平成16(2004)年度</b>			
6月3日 ～6月5日	和歌山県高等学校ハンドボール総合体育大会		1回戦 県和商31-30海南 2回戦 県和商23-27新宮 敗者2回戦 県和商16-7和工 敗者3回戦 県和商13-15粉河
11月11日 ～11月13日	和歌山県高等学校ハンドボール新人大会		予選トーナメント1回戦 県和商14-4海南

### ⑤女子ハンドボール部

#### 平成25(2013)年度

4月27日 ～4月28日	和歌山県高校ハンドボール春季選手権大会		優勝
5月30日 ～6月2日	和歌山県高等学校総合体育大会		優勝
7月13日 ～7月15日	近畿高等学校ハンドボール選手権大会		ベスト8
7月30日 ～8月4日	全国高等学校総合体育大会		1回戦敗退
11月8日 ～11月10日	和歌山県高等学校ハンドボール新人大会		優勝
1月24日 ～1月26日	近畿高等学校ハンドボール新人大会		予選リーグ敗退 決勝トーナメント 1回戦敗退

#### 平成24(2012)年度

4月30日 ～5月1日	和歌山県高校ハンドボール春季選手権大会		優勝
6月3日 ～6月5日	和歌山県高等学校総合体育大会		優勝
7月21日 ～7月24日	近畿高等学校ハンドボール選手権大会		2回戦敗退
7月29日 ～8月3日	全国高等学校総合体育大会		1回戦敗退
11月9日 ～11月11日	和歌山県高等学校ハンドボール新人大会		優勝
1月27日 ～1月29日	近畿高等学校ハンドボール新人大会		第6位

#### 平成23(2011)年度

4月29日 ～4月30日	和歌山県高校ハンドボール春季選手権大会		優勝
6月2日 ～6月5日	和歌山県高等学校総合体育大会		優勝
7月21日 ～7月24日	近畿高等学校ハンドボール選手権大会		第3位
7月28日 ～8月2日	全国高等学校総合体育大会		2回戦敗退
11月10日 ～11月11日	和歌山県高等学校ハンドボール新人大会		優勝
1月27日 ～1月29日	近畿高等学校ハンドボール新人大会		第4位
3月23日 ～3月30日	全国高等学校選抜大会		1回戦敗退

#### 平成22(2010)年度

4月24日 ～4月25日	和歌山県高校ハンドボール春季選手権大会		優勝
6月3日 ～6月7日	和歌山県高等学校総合体育大会		優勝
7月17日 ～7月19日	近畿高等学校ハンドボール選手権大会		2回戦敗退

日程	大会名	種目	成績
8月1日 ～8月6日	全国高等学校総合体育大会		1回戦敗退
11月12日 ～11月14日	和歌山県高等学校ハンドボール新人大会		優勝
1月28日 ～1月30日	近畿高等学校ハンドボール新人大会		第7位
3月25日 ～3月30日	全国高等学校選抜大会		東日本大震災により中止
<b>平成21(2009)年度</b>			
4月25日 ～4月26日	和歌山県高校ハンドボール春季選手権大会		優勝
6月4日 ～6月7日	和歌山県高等学校総合体育大会		準優勝
7月18日 ～7月20日	近畿高等学校ハンドボール選手権大会		1回戦敗退
11月13日 ～11月15日	和歌山県高等学校ハンドボール新人大会		優勝
1月23日 ～1月25日	近畿高等学校ハンドボール新人大会		予選リーグ敗退 決勝トーナメント1回戦敗退
<b>平成20(2008)年度</b>			
4月26日 ～4月27日	和歌山県高校ハンドボール春季選手権大会		2回戦敗退
5月29日 ～5月31日	和歌山県高等学校総合体育大会		第4位
7月19日 ～7月21日	近畿高等学校ハンドボール選手権大会		1回戦敗退
11月14日 ～11月16日	和歌山県高等学校ハンドボール新人大会		第4位
<b>平成19(2007)年度</b>			
4月28日 ～4月29日	和歌山県高校ハンドボール春季選手権大会		第4位
5月31日 ～6月3日	和歌山県高等学校総合体育大会		第4位
7月21日 ～7月23日	近畿高等学校ハンドボール選手権大会		1回戦敗退
11月9日 ～11月11日	和歌山県高等学校ハンドボール新人大会		1回戦敗退
<b>平成18(2006)年度</b>			
6月1日 ～6月4日	和歌山県高等学校総合体育大会		1回戦敗退
11月10日 ～11月12日	和歌山県高等学校ハンドボール新人大会		1回戦敗退
<b>平成17(2005)年度</b>			
<b>平成16(2004)年度</b>			
6月3日 ～6月5日	和歌山県高等学校ハンドボール総合体育大会		1回戦敗退
11月11日 ～11月13日	和歌山県高等学校ハンドボール新人大会		1回戦敗退

## ⑥男子バレーボール部

### 平成25(2013)年度

6月1日	県高校総体（田辺工業）予選グループ戦		県和商0-2田辺工
			県和商0-2和高専
			予選グループ戦敗退
10月28日	県高校選手権大会（有田郡民体育館）予選グループ戦		県和商2-0笠田

日 程	大 会 名	種 目	成 績
10月29日	県高校選手権大会（有田郡民体育館）決勝トーナメント		県和商0－2日高
<b>平成24(2012)年度</b>			
6月2日	県高校総体（熊野） 予選グループ戦		県和商2－0和高専
6月2日	県高校総体（熊野） 決勝トーナメント		県和商0－2耐久
10月27日	県選手権大会（紀北工業） 予選グループ戦		県和商0－2田辺
			県和商0－2耐久
			予選グループ戦敗退
	新人大会は部員不足のため出場せず		
<b>平成23(2011)年度</b>			
6月4日	県高校総体（神島）		県和商0－2田辺工
			県和商0－2市和歌山
			予選グループ戦敗退
10月22日	県選手権大会（耐久） 予選グループ戦		県和商2－1和高専
			県和商0－2貴志川
10月23日	県選手権大会（耐久） 決勝トーナメント		県和商2－1貴志川
		ベスト8	県和商0－2開智
2月12日	県新人大会（和工） 予選グループ戦	予選敗退	県和商0－2熊野
			県和商0－2桐蔭 星林
<b>平成22(2010)年度</b>			
6月5日	県高校総体（熊野） 予選グループ戦		予選グループ戦敗退
10月23日	県選手権大会（紀北工業） 予選グループ戦		予選グループ戦敗退
2月13日	県新人大会（和工） 予選グループ戦		予選グループ戦敗退
<b>平成21(2009)年度</b>			
<b>平成20(2008)年度</b>			
6月7日 ～6月8日	県高校総体（神島高校） 予選グループ戦		県和商0－2笠田
			県和商2－1新宮
		県高校総体（神島高校） 決勝トーナメント	
	県新人・選手権は部員不足のため出場せず		
<b>平成19(2007)年度</b>			
6月2日	県高校総体（熊野高校） 予選グループ戦		県和商0－2箕島
			県和商1－2市和商
			予選グループ戦敗退
	県新人・選手権は部員不足のため出場せず		

日 程	大 会 名	種 目	成 績
<b>平成18(2006)年度</b>			
6月3日	県高校総体(熊野高校)予選グループ戦		県和商0-2日高
			県和商0-2和高専
			予選グループ戦敗退
11月11日	県新人大会(向陽高校)予選グループ戦		県和商0-2和北
			県和商0-2日高 紀央館
			予選グループ戦敗退
1月13日	県選手権大会(向陽高校)予選グループ戦		県和商0-2和高専
			県和商0-2田辺
			予選グループ戦敗退
<b>平成17(2005)年度</b>			
6月4日	県高校総体(熊野高校)予選グループ戦		県和商0-2田辺
			県和商0-2日高
			予選グループ戦敗退
11月12日	県新人大会(開智高校)予選グループ戦		県和商0-2紀央館
			県和商0-2熊野
			予選グループ戦敗退
1月14日	県選手権大会(伊都高校)予選グループ戦		県和商0-2向陽
			県和商0-2新宮
			予選グループ戦敗退
<b>平成16(2004)年度</b>			
1月22日	県選手権大会(伊都高校)予選グループ戦		予選グループ戦 県和商0-2那賀
			予選グループ戦 県和商0-2耐久
			予選グループ戦敗退

<b>⑦女子バレーボール部</b>			
<b>平成25(2013)年度</b>			
6月1日 ~6月3日	平成25年度県高校総合体育大会(南部高校)		予選グループ戦 県和商2-0新宮 トーナメント 1回戦 県和商2-0那賀 2回戦 県和商2-1向陽 準々決勝 県和商0-2箕島 (ベスト8)
10月28日 ~10月30日	平成25年度県高校選手権大会(ビッグウェーブ)		予選グループ戦 県和商2-0新翔 トーナメント 1回戦 県和商2-1南部 2回戦 県和商2-0新宮 準々決勝 県和商0-2熊野 (ベスト8)

日 程	大 会 名	種 目	成 績
2月9日 ～2月11日	平成25年度県高校新人大会 (和歌山商業高校・海南拜待体育館)		予選グループ戦 県和商 2-0 新翔 トーナメント 2回戦 県和商 2-0 那賀 準々決勝 県和商 0-2 熊野 (ベスト8)
<b>平成24(2012)年度</b>			
6月2日 ～6月4日	平成24年度県高校総合体育大会(南部高校)		予選グループ戦 県和商 0-2 那賀 県和商 2-0 耐久 トーナメント 1回戦 県和商 2-0 海南 2回戦 県和商 0-2 田辺 (ベスト16)
10月27日 ～11月29日	平成24年度県高校選手権大会(粉河高校)		予選グループ戦 県和商 2-0 星林・紀央館 トーナメント 2回戦 県和商 2-0 新翔 準々決勝 県和商 0-2 信愛 (ベスト8)
2月10日 ～2月12日	平成24年度県高校新人大会(和歌山西高校)		予選グループ戦 県和商 1-2 田辺 県和商 0-2 新宮
<b>平成23(2011)年度</b>			
6月4日 ～6月6日	平成23年度県高校総合体育大会(田辺高校)		予選グループ戦 県和商 2-0 新宮 県和商 2-0 和歌山東 トーナメント 2回戦 県和商 2-0 新宮 準々決勝 県和商 0-2 箕島 (ベスト8)
7月22日 ～7月23日	平成23年度近畿高校選手権大会 (和歌山ビッグホエール)		トーナメント 1回戦 県和商 0-2 四天王寺
10月22日 ～10月24日	平成23年度県高校選手権大会(箕島高校)		予選グループ戦 県和商 2-0 新翔 トーナメント 1回戦 県和商 2-0 新宮 2回戦 県和商 2-0 和歌山東 準々決勝 県和商 0-2 箕島 (ベスト8)
2月12日 ～2月13日	平成23年度県高校新人大会 (向陽高校・ビッグホエール)		予選グループ戦 県和商 2-0 貴志川 トーナメント 2回戦 県和商 0-2 日高 (ベスト16)
<b>平成22(2010)年度</b>			
6月5日 ～6月7日	平成22年度県高校総合体育大会(田辺高校)		予選グループ戦 県和商 2-0 神島 県和商 2-0 桐蔭 トーナメント 2回戦 県和商 2-0 神島 準々決勝 県和商 0-2 箕島 (ベスト8)
11月23日 ～11月25日	平成22年度県高校選手権大会(粉河高校)		予選グループ戦 県和商 2-0 南部龍神 トーナメント 2回戦 県和商 0-2 神島 (ベスト16)

日 程	大 会 名	種 目	成 績
1月13日 ～1月15日	平成22年度県高校新人大会 (向陽高校・ビッグホエール)		予選グループ戦 県和商2-0 神島 県和商2-0 桐蔭 トーナメント 2回戦 県和商0-2 信愛 (ベスト16)
<b>平成21(2009)年度</b>			
6月6日 ～6月8日	平成21年度県高校総合体育大会(南部高校)		トーナメント 2回戦 県和商2-0 紀央館 準々決勝 県和商0-2 箕島 (ベスト8)
11月14日 ～11月16日	平成21年度県高校新人大会(那賀高校)		予選グループ戦 県和商0-2 箕島 県和商2-0 伊都・紀北工 トーナメント 2回戦 県和商0-2 開智 (ベスト16)
1月9日 ～1月11日	平成21年度県高校選手権大会 (日高高校・紀央館高校)		予選グループ戦 県和商2-0 新宮 トーナメント 1回戦 県和商2-0 海南 2回戦 県和商2-1 串本古座 準々決勝 県和商0-2 熊野 (ベスト8)
<b>平成20(2008)年度</b>			
6月7日 ～6月9日	平成20年度県高校総合体育大会 (田辺高校・田辺市勤労者体育センター)		予選グループ戦 県和商2-0 田辺 トーナメント 1回戦 県和商2-0 海南 2回戦 県和商2-0 串本 準々決勝 県和商2-0 粉河 準決勝 県和商0-2 熊野 (3位)
11月15日 ～11月17日	平成20年度県高校新人大会 (星林高校・県立体育館)		予選グループ戦 県和商2-0 南部 トーナメント 2回戦 県和商2-0 星林 準々決勝 県和商2-0 粉河 準決勝 県和商0-2 信愛 (3位)
1月10日 ～1月12日	平成20年度県高校選手権大会 (那賀高校・紀北工業高校)		トーナメント 2回戦 県和商2-0 那賀 準々決勝 県和商2-0 海南 準決勝 県和商0-2 熊野 (3位)
<b>平成19(2007)年度</b>			
6月2日 ～6月4日	平成19年度県高校総合体育大会 (田辺市勤労者体育センター)		予選グループ戦 県和商22-0 箕島 トーナメント 1回戦 県和商1-2 日高
11月10日 ～11月12日	平成19年度県高校新人大会 (和歌山商業)		予選グループ戦 県和商2-0 箕島 トーナメント 1回戦 県和商0-2 開智

日 程	大 会 名	種 目	成 績
1月12日 ～1月14日	平成19年度県高校選手権大会(伊都高校)		予選グループ戦 県和商2-0南部 トーナメント 1回戦 県和商2-0田辺 2回戦 県和商0-2熊野 (ベスト16)
<b>平成18(2006)年度</b>			
6月3日 ～6月5日	平成18年度県高校総合体育大会 (田辺市勤労者体育センター)		準決勝 県和商0-2信愛 (3位)
7月21日 ～7月23日	平成18年度近畿高校選手権大会 (和歌山ビッグホエール)		トーナメント 2回戦 県和商0-2琴ヶ丘
11月11日 ～11月13日	平成18年度県高校新人大会(県立体育館)		準々決勝 県和商0-2開智 (ベスト8)
1月13日 ～1月15日	平成18年度県高校選手権大会 (岩出町民総合体育館)		トーナメント 2回戦 県和商0-2粉河
2月25日	近畿6人制総合女子選手権大会県予選 (河南体育館)		優勝 (近畿大会出場)
<b>平成17(2005)年度</b>			
6月4日 ～6月6日	平成17年度県高校総合体育大会 (田辺市勤労者体育センター)		準決勝 県和商0-2開智 (3位)
7月23日 ～7月25日	平成17年度近畿高校選手権大会 (高砂市総合体育館)		トーナメント 2回戦 県和商0-2須磨ノ浦
11月12日 ～11月14日	平成17年度県高校新人大会(県立体育館)		準決勝 県和商0-2信愛 (3位)
1月14日 ～1月16日	平成17年度県高校選手権大会 (岩出町民総合体育館)		準決勝 県和商0-2日高 (3位)
2月26日	近畿6人制総合女子選手権大会県予選 (河南体育館)		優勝 (近畿大会出場)
4月8日 ～4月9日	近畿6人制総合女子選手権大会 (大阪府立体育館)		出場
<b>平成16(2004)年度</b>			
6月5日 ～6月7日	平成16年度県高校総合体育大会 (田辺市勤労者体育センター)		準々決勝 県和商0-2日高 (ベスト8)
11月13日 ～11月15日	平成16年度県高校新人大会(県立体育館)		準々決勝 県和商0-2開智 (ベスト8)
1月22日 ～1月24日	平成16年度県高校選手権大会 (岩出町民総合体育館)		準決勝 県和商0-2信愛 (3位)
2月27日	近畿6人制総合女子選手権大会県予選 (河南体育館)		優勝 (近畿大会出場)
4月9日 ～4月10日	近畿6人制総合女子選手権大会 (尼崎市記念公園総合体育館)		トーナメント 1回戦 県和商0-2京都橘大学

### ⑧男子バスケットボール部

#### 平成25(2013)年度

6月1日	平成25年度和歌山県高等学校総合体育大会バスケットボール競技会兼66回全国高等学校総体及び第60回近畿選手権大会和歌山県予選	男子	2回戦敗退
11月3日	平成25年度和歌山県高等学校秋季バスケットボール選手権大会兼第44回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会和歌山県予選	男子	2回戦敗退

日程	大会名	種目	成績
1月12日	平成25年度和歌山県高等学校バスケットボール新人大会	男子	2回戦敗退
<b>平成24(2012)年度</b>			
6月2日	平成24年度和歌山県高等学校総合体育大会バスケットボール競技会兼65回全国高等学校総体及び第59回近畿選手権大会和歌山県予選	男子	1回戦敗退
11月7日	平成24年度和歌山県高等学校秋季バスケットボール選手権大会兼第43回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会和歌山県予選会	男子	1回戦敗退
1月12日 ～1月13日	平成24年度和歌山県高等学校バスケットボール新人大会	男子	2回戦敗退
<b>平成23(2011)年度</b>			
6月4日 ～6月5日	平成23年度和歌山県高等学校総合体育大会バスケットボール競技会兼64回全国高等学校総体及び第58回近畿選手権大会和歌山県予選	男子	1回戦敗退
11月10日	平成23年度和歌山県高等学校秋季バスケットボール選手権大会兼第42回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会和歌山県予選会	男子	1回戦敗退
1月15日	平成23年度和歌山県高等学校バスケットボール新人大会	男子	1回戦敗退
<b>平成22(2010)年度</b>			
6月5日	県高等学校総合体育大会	男子	1回戦敗退
11月11日	県高校秋季選手権大会	男子	1回戦敗退
1月15日	県高校新人大会	男子	1回戦敗退
<b>平成21(2009)年度</b>			
5月30日 ～6月2日	県高等学校総合体育大会	男子	2回戦敗退
11月6日	県高校秋季選手権大会	男子	1回戦敗退
1月9日	県高校新人大会	男子	1回戦敗退
<b>平成20(2008)年度</b>			
5月31日 ～6月3日	県高等学校総合体育大会	男子	2回戦敗退
11月6日 ～11月7日	県高校秋季選手権大会	男子	2回戦敗退
1月11日 ～1月13日	県高校新人大会	男子	2回戦敗退
8月	和歌山市内大会	男子	予選リーグ敗退
<b>平成19(2007)年度</b>			
6月2日 ～6月5日	県高等学校総合体育大会	男子	1回戦敗退
11月9日 ～11月11日	県高校秋季選手権大会	男子	1回戦敗退
1月13日	県高校新人大会	男子	1回戦敗退
9月	和歌山市内大会	男子	予選リーグ敗退
<b>平成18(2006)年度</b>			
6月3日	県高等学校総合体育大会	男子	1回戦敗退
11月9日 ～11月12日	県高校秋季選手権大会	男子	1回戦敗退
1月13日	県高校新人大会	男子	1回戦敗退
9月	和歌山市内大会	男子	予選リーグ敗退

日 程	大 会 名	種 目	成 績
<b>平成17(2005)年度</b>			
6月4日 ～6月7日	県高等学校総合体育大会	男子	1回戦敗退
<b>平成16(2004)年度</b>			
5月29日 ～6月1日	県高等学校総合体育大会	男子	2回戦敗退
11月11日 ～11月14日	県高校秋季選手権大会	男子	2回戦敗退
1月15日 ～1月18日	県高校新人大会	男子	2回戦敗退

### ⑨女子バスケットボール部

<b>平成25(2013)年度</b>			
6月1日	平成25年度和歌山県高等学校総合体育大会バスケットボール競技会兼66回全国高等学校総体及び第60回近畿選手権大会和歌山県予選	女子	1回戦敗退
11月8日	平成25年度和歌山県高等学校秋季バスケットボール選手権大会兼第44回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会和歌山県予選会	女子	2回戦敗退
1月12日	平成25年度和歌山県高等学校バスケットボール新人大会	女子	2回戦敗退
<b>平成24(2012)年度</b>			
6月23日	平成24年度和歌山県高等学校総合体育大会バスケットボール競技会兼65回全国高等学校総体及び第59回近畿選手権大会和歌山県予選	女子	2回戦敗退
11月7日	平成24年度和歌山県高等学校秋季バスケットボール選手権大会兼第43回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会和歌山県予選会	女子	1回戦敗退
1月12日 ～1月13日	平成24年度和歌山県高等学校バスケットボール新人大会	女子	2回戦敗退
<b>平成23(2011)年度</b>			
6月4日 ～6月5日	平成23年度和歌山県高等学校総合体育大会バスケットボール競技会兼64回全国高等学校総体及び第58回近畿選手権大会和歌山県予選	女子	2回戦敗退
11月10日 ～11月11日	平成23年度和歌山県高等学校秋季バスケットボール選手権大会兼第42回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会和歌山県予選会	女子	2回戦敗退
1月15日	平成23年度和歌山県高等学校バスケットボール新人大会	女子	1回戦敗退
<b>平成22(2010)年度</b>			
6月5日 ～6月6日	県高等学校総合体育大会	女子	○県和商107-16●日高高 ●県和商53-73○田辺高
11月11日 ～11月13日	県高校秋季選手権大会	女子	○県和商98-55●海南高 ○県和商70-49●和北高 ●県和商61-72○神島高 【県ベスト8】
1月15日	県高校新人大会	女子	○県和商54-39●箕島高 ●県和商40-93○信愛高 【県ベスト8】
8月	和歌山市内大会	女子	【第4位】
<b>平成21(2009)年度</b>			
5月30日 ～6月2日	県高等学校総合体育大会	女子	○県和商92-47●新宮高 ○県和商119-24●日高高 ○県和商68-65●星林高 ●県和商37-114○信愛高 ●県和商77-86○耐久高 【県第4位】

日 程	大 会 名	種 目	成 績
11月6日	県高校秋季選手権大会	女子	●県和商66-74○和北高
1月9日	県高校新人大会	女子	○県和商64-61●橋本高 ●県和商60-74○向陽高
8月	和歌山市内大会	女子	【第6位】
<b>平成20(2008)年度</b>			
5月31日 ～6月3日	県高等学校総合体育大会	女子	○県和商97-33●南部高 ○県和商64-59●伊都高 ○県和商80-60●粉河高 ●県和商37-64○信愛高 ○県和商70-46●星林高 【第3位】
6月20日	近畿高校選手権大会	女子	●県和商47-102○芦屋大附属
11月6日 ～11月7日	県高校秋季選手権大会	女子	○県和商109-42●紀北工業高 ●県和商54-80○向陽高
1月11日 ～1月13日	県高校新人大会	女子	○県和商104-27●海南高 ○県和商97-46●粉河高 ●県和商25-98○信愛高 ●県和商61-72○田辺高 ●県和商76-81○耐久高 【^ス4】
8月	和歌山市内大会	女子	【第3位】
<b>平成19(2007)年度</b>			
6月2日 ～6月5日	県高等学校総合体育大会	女子	○県和商49-48●新宮高 ○県和商60-57●神島高 ○県和商74-50●桐蔭高 ●県和商39-111○信愛高 ○県和商74-61●向陽高 【第3位】
6月22日	近畿高校選手権大会	女子	●県和商57-113○市立尼崎
11月9日 ～11月11日	県高校秋季選手権大会	女子	○県和商109-42●箕島高 ○県和商76-69●橋本高 ●県和商74-80○和北高 ○県和商86-72●向陽高 【第3位】
1月13日	県高校新人大会	女子	○県和商86-22●紀北工業 ○県和商85-49●伊都高 ○県和商76-56●桐蔭高 ●県和商36-73○信愛高 ●県和商48-97○和北高 ●県和商56-57○星林高 【^ス4】
9月	和歌山市内大会	女子	【第4位】
<b>平成18(2006)年度</b>			
6月3日	県高等学校総合体育大会	女子	●県和商43-74○粉河高
11月9日 ～11月12日	県高校秋季選手権大会	女子	○県和商76-41●橋本高 ○県和商72-64●新宮高 ○県和商不戦勝●田辺高 ●県和商47-105○信愛高 ●県和商48-86○和北高 【^ス4】
1月13日	県高校新人大会	女子	●県和商62-64○桐蔭高
9月	和歌山市内大会	女子	【第4位】
<b>平成17(2005)年度</b>			
6月4日 ～6月7日	県高等学校総合体育大会	女子	3回戦敗退 県和商55-84田辺

日 程	大 会 名	種 目	成 績
11月10日 ～11月13日	県高校秋季選手権大会	女子	3回戦敗退 2回戦県和商48-34初橋 3回戦県和商37-128開智
1月14日 ～1月17日	県高校新人大会	女子	2回戦敗退 県和商39-85田辺高
<b>平成16(2004)年度</b>			
5月29日 ～6月1日	県高等学校総合体育大会	女子	2回戦敗退
11月11日 ～11月14日	県高校秋季選手権大会	女子	3回戦敗退 1回戦県和商55-41海南 2回戦県和商52-33初橋 3回戦県和商17-119開智
1月15日 ～1月18日	県高校新人大会	女子	1回戦県和商58-57那賀 2回戦県和商95-25新商 3回戦県和商-向陽 準決勝県和商40-119開智 ベスト4【第4位】

### ⑩ソフトボール部

#### 平成25(2013)年度

5月3日	平成25年度和歌山県高等学校春季ソフトボール大会		1回戦負け
6月1日	平成25年度和歌山県高等学校総合体育大会		2回戦負け
7月27日	第46回奈良・滋賀・和歌山三県対抗ソフトボール大会和歌山県予選		第5位
11月1日 ～11月2日	平成25年度和歌山県高等学校ソフトボール新人大会		1回戦負け

#### 平成24(2012)年度

5月3日	平成24年度和歌山県高等学校春季ソフトボール大会		1回戦負け
6月4日	平成24年度和歌山県高等学校総合体育大会		1回戦負け
7月26日 ～7月27日	第45回奈良・滋賀・和歌山三県対抗ソフトボール大会和歌山県予選		1回戦負け
11月2日 ～11月3日	平成24年度和歌山県高等学校ソフトボール新人大会		1回戦負け

#### 平成23(2011)年度

6月4日	平成23年度和歌山県高等学校総合体育大会		1回戦負け
11月4日 ～11月5日	平成23年度和歌山県高等学校ソフトボール新人大会		1回戦負け

#### 平成22(2010)年度

6月5日	平成23年度和歌山県高等学校総合体育大会		1回戦負け
------	----------------------	--	-------

#### 平成21(2009)年度

5月2日	平成21年度和歌山県高等学校春季ソフトボール大会		2回戦負け
6月6日	平成21年度和歌山県高等学校総合体育大会		2回戦負け
7月23日 ～24日	第42回奈良・滋賀・和歌山三県対抗ソフトボール大会和歌山県予選		予選リーグ敗退
10月31日 ～11月1日	平成21年度和歌山県高等学校ソフトボール新人大会		予選リーグ敗退

#### 平成20(2008)年度

5月3日	平成20年度和歌山県高等学校春季ソフトボール大会		2回戦負け
5月31日	平成20年度和歌山県高等学校総合体育大会		2回戦負け

日程	大会名	種目	成績
7月24日 ～7月25日	第41回奈良・滋賀・和歌山三県対抗ソフトボール大会和歌山県予選		予選リーグ敗退
10月31日 ～11月1日	平成20年度和歌山県高等学校ソフトボール新人大会		2回戦負け
<b>平成19(2007)年度</b>			
5月3日	平成19年度和歌山県高等学校春季ソフトボール大会		2回戦負け
6月2日	平成19年度和歌山県高等学校総合体育大会		2回戦負け
7月26日 ～7月27日	第40回奈良・滋賀・和歌山三県対抗ソフトボール大会和歌山県予選		代表決定戦敗退
11月2日 ～11月3日	平成19年度和歌山県高等学校ソフトボール新人大会		1回戦負け
<b>平成18(2006)年度</b>			
5月3日	平成18年度和歌山県高等学校春季ソフトボール大会		第3位
6月3日	平成18年度和歌山県高等学校総合体育大会		2回戦負け
7月27日 ～7月28日	第39回奈良・滋賀・和歌山三県対抗ソフトボール大会和歌山県予選		1回戦負け
11月3日 ～11月4日	平成18年度和歌山県高等学校ソフトボール新人大会		1回戦負け
<b>平成17(2005)年度</b>			
5月3日	平成17年度和歌山県高等学校春季ソフトボール大会		2回戦負け
6月4日	平成17年度和歌山県高等学校総合体育大会		1回戦負け
7月28日 ～7月29日	第38回奈良・滋賀・和歌山三県対抗ソフトボール大会和歌山県予選		代表決定戦敗退
9月17日	和歌山市高校秋季ソフトボール大会		全敗
11月3日 ～11月4日	平成17年度和歌山県高等学校ソフトボール新人大会		1回戦負け
<b>平成16(2004)年度</b>			
5月2日	平成16年度和歌山県高等学校春季ソフトボール大会		2回戦負け
5月29日	平成16年度和歌山県高等学校総合体育大会		2回戦負け
7月29日 ～7月30日	第38回奈良・滋賀・和歌山三県対抗ソフトボール大会和歌山県予選		本戦出場権獲得
8月7日 ～8月9日	第38回奈良・滋賀・和歌山三県対抗ソフトボール大会		1回戦負け
10月29日 ～10月31日	平成17年度和歌山県高等学校ソフトボール新人大会		2回戦負け

<b>⑪陸上競技部</b>			
<b>平成25(2013)年度</b>			
5月31日 ～6月2日	県高校総体(紀三井寺)	女子砲丸投 第1位	中道 沙央理
		女子円盤投 第4位	小川 奈々
		女子円盤投 第6位	中道 沙央理
		女子走高跳 第5位	大川 夏生
		女子3000m 第5位	岩崎 七虹
		女子 4×100mR 第5位	野口 春菜・小杉 亜矢・中道 沙央理・ 松本 千名美・(小松 花菜)

日 程	大 会 名	種 目	成 績
5月31日 ～6月2日	県高校総体（紀三井寺）	女子 4×400mR 第6位	野口 春菜・小杉 亜矢・岩崎 七虹・ 松本 千名美・（橋爪 千明）
6月13日 ～6月16日	近畿高校総体（奈良・鴻池）	上記選手出場	
		女子砲丸投 第4位入賞	中道 沙央理
7月31日 ～8月3日	全国高校総体（大分・大銀ドーム）	砲丸投出場	中道 沙央理
8月16日 ～8月18日	県高校ユース大会（紀三井寺）	女子総合 第2位	
		1年女子 第2位	
		1年800m 第2位	稲津 知佳
		1年走高跳 第2位	大川 夏生
		1年砲丸投 第2位	中野 憩
		1年砲丸投 第3位	堀田 小雪
8月16日 ～8月18日	県高校ユース大会（紀三井寺）	1年円盤投 第2位	小川 奈々
		2年1500m 第3位	末次 百圭
		2年3000m 第3位	福井 菜奈
9月20日 ～9月22日	近畿ユース大会（紀三井寺）	上記選手出場	
10月2日 ～10月8日	国民体育大会（東京・味の素スタジアム）	少年女子 砲丸投出場	中道 沙央理
11月3日	県高校駅伝大会（日高川町）	第5位 1時間17分09秒	
		1区	末次 百圭
		2区	福井 菜奈
		3区	西岡 颯希
		4区	稲津 知佳
		5区	岩崎 七虹
11月17日	近畿高校駅伝大会（京都・網野）	第25位/40チーム 1時間18分28秒	
		1区	末次 百圭
		2区	福井 菜奈
		3区	西岡 颯希
		4区	稲津 知佳
		5区	岩崎 七虹
<b>平成24(2012)年度</b>			
6月1日 ～6月3日	県高校総体（紀三井寺）	女子フィールド優勝	
		男子やり投 第6位	有田 順紀
		女子円盤投 第1位	山本 芽唯
		女子円盤投 第3位	中道 沙央理
		女子砲丸投 第1位	中道 沙央理

日程	大会名	種目	成績
6月1日 ～6月3日	県高校総体（紀三井寺）	女子砲丸投 第2位	山本 芽唯
		女子 4×400mR 第6位	小杉 亜矢・植村 美咲・揚戸 汐里・ 松本 千名美・（喜多 佑月）・（野満 遥 花）
6月13日 ～6月16日	近畿高校総体（滋賀・皇子山）	上記選手出場	
		女子円盤投 第7位入賞	山本 芽唯
8月18日 ～8月19日	県高校ユース大会（紀三井寺）	2年砲丸投 第1位	中道 沙央理
		2年円盤投 第2位	
		1年800m 第3位	末次 百圭
		1年3000m 第2位	福井 菜奈
		女子共通 4×400mR 第5位	小杉 亜矢・野口 春菜・米田 菜保子・ 松本 千名美・（岩崎 七虹）・（橋爪 千明）
9月14日 ～9月16日	近畿高校ユース大会（奈良・鴻池）	上記選手出場	
		2年砲丸投 第6位入賞	中道 沙央理
11月4日	県高校駅伝大会（日高川町）	第6位 1時間19分01秒	
		1区	福井 菜奈
		2区	末次 百圭
		3区	井口 紗瑛
		4区	松本 尚子
		5区	岩崎 七虹
11月25日	近畿高校駅伝大会（滋賀・東近江）	第28位/40チーム	
		1区	福井 菜奈
		2区	末次 百圭
		3区	井口 紗瑛
		4区	松本 尚子
		5区	岩崎 七虹
<b>平成23(2011)年度</b>			
6月3日 ～6月5日	県高校総体（紀三井寺）	円盤投 第2位	山本 芽唯
		砲丸投 第2位	
		砲丸投 第1位	中道 沙央理
6月16日 ～6月19日	近畿高校総体（大阪・長居）	上記選手出場	
8月13日 ～8月15日	県高校ユース大会（紀三井寺）	2年男子 やり投第3位	有田 順紀
		2年砲丸投 第1位	山本 芽唯
		2年円盤投 第1位	
		1年200m 第3位	松本 千名美
		1年砲丸投 第1位	中道 沙央理

日 程	大 会 名	種 目	成 績
8月13日 ～8月15日	県高校ユース大会（紀三井寺）	1年円盤投 第3位	中道 沙央理
		共通女子 4×100mR	揚戸 汐里・植村 美咲・松本 千名美・ 喜多 佑月
		共通女子 4×400mR 第5位	揚戸 汐里・植村 美咲・野満 遥花・ 喜多 佑月
9月19日 ～9月21日	近畿高校ユース大会（滋賀・皇子山）	上記選手出場	
		2年円盤投 第7位入賞	山本 芽唯
		1年砲丸投 第6位入賞	中道 沙央理
<b>平成22(2010)年度</b>			
6月3日 ～6月5日	県高校総体（紀三井寺）	円盤投 第6位 砲丸投 第5位	山本 芽唯
6月17日 ～6月20日	近畿高校総体（兵庫・神戸ユニバー）	上記選手出場	
8月14日 ～8月15日	県高校ユース大会（紀三井寺）	1年100m 第3位	植村 美咲
		1年円盤投 第1位	山本 芽唯
		1年砲丸投 第3位	
		共通女子 4×400mR 第6位	喜多 佑月・植村 美咲・揚戸 汐里・ 野満 遥花
9月18日 ～9月20日	近畿高校ユース大会（京都・西京極）	上記選手出場	
<b>平成21(2009)年度</b>			
5月31日 ～6月2日	県高校総体（紀三井寺）	3000mW 第3位	前田 彩花
6月17日 ～6月20日	近畿高校総体（奈良・鴻池）	3000mW 出場	前田 彩花
<b>平成20(2008)年度</b>			
5月30日 ～6月1日	県高校総体（紀三井寺）	トラックの部 総合2位	
		800m第3位	若林 有香
		800m第4位 1500m第4位 3000m第2位	宮下 亜弓
		3000mW 第1位	金川 優香
		3000mW 第3位	前田 彩花
		6月19日 ～6月22日	近畿総体（大阪・長居）
8月16日 ～8月17日	県高校ユース大会（紀三井寺）	2年女子 走高跳第3位	西出 奈央
		2年女子 3000mW第1位	前田 彩花
9月15日 ～9月18日	近畿高校ユース大会（大阪・万博）	上記選手出場	
11月2日	県高校駅伝大会（日高川町）	総合第2位	
		1区第2位	宮下 亜弓
		2区第2位	金川 優香
		3区第1位	稲葉 頼美
		4区第2位	前田 彩花

日程	大会名	種目	成績
11月2日	県高校駅伝大会（日高川町）	5区第1位	若林 有香
11月24日	近畿高校駅伝大会（上富田町）	上記選手全員出場	
1月11日	全国都道府県女子駅伝（京都）	出場	宮下 亜弓
			若林 有香
<b>平成19(2007)年度</b>			
6月1日 ～6月3日	県高校総体（紀三井寺）	女子総合2位	
		400m第2位 100m第6位	塩谷 千尋
		100mH第5位	矢田 亜由佳
		7種競技 第3位	近西 真由
		800m第2位 1500m第2位 3000m第2位	若林 有香
		800m第5位	内垣 美有紀
		800m第6位 1500m第3位 3000m第1位	宮下 亜弓
		1500m第5位 3000m第3位	寺岡 菜採
		3000mW 第2位	金川 優香
		4×100mR 第5位	矢田 亜由佳・塩谷 千尋・近西 真由・ 中東 由香里
		4×400mR 第3位	中東 由香里・塩谷 千尋・矢田 亜由佳・若 林 有香
6月14日 ～6月17日	近畿高校総体	上記選手、全員出場	
8月11日 ～8月12日	県高校ジュニア大会（紀三井寺）	1年女子 400m第2位	中東 由香里
		1年女子 走高跳第3位	西出 奈央
		2年女子 800m第1位 1500m第1位	若林 有香
		2年女子 800m第2位 3000m第2位	金川 優香
		2年女子 1500m第2位 3000m第1位	宮下 亜弓
		1年女子 4×400mR 第3位	棚野・中東 由香里・前田 彩花・ 西出 奈央
		2年女子 4×400mR 第3位	宮下 亜弓・金川 優香・稲葉 頼美・若林 有香
		少年女子 1500m出場	若林 有香
10月20日 ～10月24日	国民体育大会（秋田）	少年女子 3000m出場	宮下 亜弓
11月4日	県高校駅伝大会（日高川町）	総合優勝 1時間11分45秒	
		1区間賞	宮下 亜弓
		2区間賞	若林 有香
		3区間賞	金川 優香

日 程	大 会 名	種 目	成 績
11月4日	県高校駅伝大会（日高川町）	4区間賞	稲葉 頼美
		5区間賞	寺岡 菜採
11月25日	近畿高校駅伝大会（上富田町）	総合5位 1時間11分41秒	
		1区	宮下 亜弓
		2区	若林 有香
		3区	金川 優香
		4区	稲葉 頼美
		5区	寺岡 菜採
12月23日	全国高校駅伝大会（京都）	総合29位 1時間11分55秒	
		1区	宮下 亜弓
		2区	若林 有香
		3区	金川 優香
		4区	稲葉 頼美
		5区	寺岡 菜採
1月14日	全国都道府県駅伝大会（京都）		宮下 亜弓
			金川 優香
<b>平成18(2006)年度</b>			
10月20日	国民体育大会（兵庫）	少年女子 3000m出場	富安 恵子
		少年女子 800m出場	若林 有香
11月5日	県高校駅伝大会（日高川町）	総合優勝	
		1区間賞	富安 恵子
		2区間賞	富安 浩子
		3区間賞	若林 有香
		4区間賞	坂本 早也佳
		5区間賞	宮下 亜弓
11月27日	近畿高校駅伝大会（吉野・奈良）	総合3位 1時間09分41秒	
12月24日	全国高校駅伝大会（京都）	総合8位 1時間09分25秒	
		1区間	富安 恵子
		2区間	富安 浩子
		3区間	坂本 早也佳
		4区間	若林 有香
		5区間	宮下 亜弓

日 程	大 会 名	種 目	成 績
<b>平成17(2005)年度</b>			
6月4日 ～6月6日	県高校総体（紀三井寺）	女子総合3位	
		400m第6位 400mH第3位	山本 真祐子
		800m第3位	坂本 早也佳
		800m第4位 1500m第2位 3000m第2位	富安 恵子
		1500m第3位 3000m第3位	富安 浩子
		1500m第4位	前山 依里奈
		3000m第1位	加藤 彩乃
		3000mW第2位	井ノ上 紗弓
		3000mW第4位	桑畑 尚代
		3000mW第6位	寺岡 奈採
		男子800m 第5位	幸前 勇也
		男子400mH 第6位	今井 祐樹
		4×400mR 第2位	大淵 彩
			塩谷 千尋
富安 恵子			
山本 真祐子			
6月18日	近畿高校総体（兵庫・神戸ユニバー）	1500m第8位 3000m第6位	富安 恵子
8月1日	全国高校総体（千葉）	3000m出場	富安 恵子
8月20日 ～8月21日	県高校ジュニア大会（紀三井寺）	2年女子総合優勝	
		2年女子800m 第1位	坂本 早也佳
		2年女子 1500m第1位 3000m第2位	富安 恵子
		2年女子 1500m第3位	富安 浩子
		2年女子 3000m第3位	桑畑 尚代
		2年女子 3000mW第2位	井ノ上 紗弓
		2年女子 100mH第2位 400mH第1位	山本 真祐子
		2年男子 800m第3位	幸前 勇也
		2年女子4 ×400mR 第3位	大淵 彩・富安 恵子・坂本 早也佳・山本 真祐子
		1年女子 800m第2位 3000m第3位	内垣 美有紀
		1年女子 3000m第2位 3000mW第1位	寺岡 奈採
		1年女子 400mH第2位	矢田 亜由佳

日 程	大 会 名	種 目	成 績
8月20日 ～8月21日	県高校ジュニア大会（紀三井寺）	1年女子 砲丸投第3位	近西 真由
		1年女子 4×100mR 第3位 4×400mR 第3位	矢田 亜由佳・近西 真由・内垣 美有紀・塩 谷 千尋
10月20日	国民体育大会（岡山）	少年女子 400mH出場	山本 真祐子
		少年女子 3000m出場	富安 恵子
11月4日	県高校駅伝大会（美山村）	総合優勝 1・2・3・4 区間賞	
11月27日	近畿高校駅伝大会（奈良・吉野）	総合第5位 1時間13分19 秒	
12月25日	全国高校駅伝大会（京都）	総合21位 区間8位 坂本早也佳	
1月15日	全国都道府県女子駅伝（京都）	総合36位	富安 恵子・富安 浩子・寺岡 奈採・ 坂本 早也佳・井ノ上 紗弓
<b>平成16(2004)年度</b>			
5月29日 ～5月31日	県高校総体（紀三井寺）	女子 総合2位	
		100m第3位 200m第1位 400m第1位	岡崎 麻衣
		200m第6位 400m第2位 400mH第1位	吉住 綾子
		800m第1位 1500m第2位	青木 紀詩子
		1500m第1位 3000m第1位	木下 裕美子
		800m第2位	富安 恵子
		800m第4位	坂本 早也佳
		1500m第3位 3000m第4位	前山 依里奈
		3000m第3位	加藤 彩乃
		400mH第4位	山本 真祐子
		3000mW 第2位	谷口 麻妃呂
		3000mW 第5位	坂下 有希
		3000mW 第6位	桑畑 尚代
		走幅跳 第5位	大内 友
		4×100mR 第1位	大内 友・吉住 綾子・西本 可奈子・ 岡崎 麻衣
		4×400mR 第2位	西本 可奈子・吉住 綾子・大内 友・ 岡崎 麻衣
6月17日 ～6月20日	近畿高校総体（滋賀・皇子山）	400m第4位	岡崎 麻衣
		400mH第6位	吉住 綾子
7月30日 ～8月2日	全国高校総体（島根）	400m出場	岡崎 麻衣
		400mH出場	吉住 綾子

日 程	大 会 名	種 目	成 績
8月21日 ～8月22日	県高校ジュニア大会（紀三井寺）	女子総合優勝	
		2年女子100m 第1位	山上 夏生
		2年女子 800m第1位 1500m第1位	青木 紀詩子
		2年女子 800m第3位	浦 その美
		2年女子 1500m第2位 3000m第1位	前山 依里奈
		2年女子 3000m第2位	満岡 彩
		2年女子 3000mW 第1位	坂下 有希
		2年女子 3000mW 第2位	加藤 彩乃
		2年女子 4×400mR	前山 依里奈・坂下 有希・満岡 彩・ 井上 夏生
		1年女子 800m第1位 3000m第2位	富安 恵子
		1年女子 800m第3位 3000m第3位	坂本 早也佳
		1年女子 1500m第3位	井ノ上 紗弓
		1年女子 100mH第2位 400mH第1位	山本 真祐子
		1年女子 3000mW 第2位	桑畑 尚代
		1年女子 4×400mR 第1位	大淵 彩
			富安 恵子
			富安 浩子
山本 真祐子			
9月17日	近畿ジュニア大会（京都・西京極）	2年女子 3000m第6位	前山 依里奈
10月24日 ～10月28日	国民体育大会（埼玉）	少年女子 400m出場	岡崎 麻衣
		少年女子 1500m出場	青木 紀詩子
		少年女子 400mH出場	吉住 綾子
11月7日	県高校駅伝大会（美山村）	総合優勝	1時間14分24秒 1, 2, 4, 5 区間賞
11月28日	近畿高校駅伝大会（奈良・吉野）	第11位	1時間14分32秒
12月26日	全国高校駅伝大会（京都）	第31位	1時間12分30秒
1月16日	全国都道府県女子駅伝	総合45位	前山 依里奈
			富安 恵子
			満岡 彩

日 程	大 会 名	種 目	成 績
<b>⑫バトン部</b>			
<b>平成25(2013)年度</b>			
4月11日	新入生歓迎会（発表）		
5月5日	第41回和歌山音楽大行進 （吹奏楽部とパレード）		
7月12日	第95回全国高等学校野球選手権和歌山大会 開会式（行進先導）		
7月18日 ～7月24日	第95回全国高等学校野球選手権和歌山大会 応援		
9月14日	第35回黒潮祭り（開会セレモニー）		
9月26日	体育祭（行進先導）		
10月3日	文化祭（発表）		
10月25日	第8回商業教育フェスタ（開会セレモニー）		
11月24日	第14回マーチングバンド・バトントワリングフェ スティバル（発表）		
12月14日	ふれあい祭（発表）		
<b>平成24(2012)年度</b>			
7月13日	第94回全国高等学校野球選手権和歌山大会 開会式（行進先導）		
7月17日 23日・25日	第94回全国高等学校野球選手権和歌山大会 応援		
9月8日	第34回黒潮祭り（開会セレモニー）		
9月27日	体育祭（行進先導）		
10月4日	文化祭（発表）		
10月26日	第7回商業教育フェスタ（開会セレモニー）		
11月23日	ふれあい祭（発表）		
<b>平成23(2011)年度</b>			
4月13日	新入生歓迎会（発表）		
7月13日	第93回全国高等学校野球選手権和歌山大会 開会式（行進先導）		
7月17日 7月25日	第93回全国高等学校野球選手権和歌山大会 応援		
9月10日	第33回黒潮祭り（開会セレモニー）		
9月29日	体育祭（行進先導）		
10月6日	文化祭（発表）		
10月28日 ～10月29日	第6回商業教育フェスタ （開会セレモニー、運営補助）		
11月23日	第12回マーチングバンド・バトントワリングフェ スティバル（発表）		
11月23日	ふれあい祭（発表）		
2月9日	第6回わかやま産品商談会 （開会セレモニー、運営補助）		

日 程	大 会 名	種 目	成 績
<b>平成22(2010)年度</b>			
4月14日	新入生歓迎会（発表）		
5月26日	台湾学校交流歓迎セレモニー（招聘演技）		
7月11日	第92回全国高等学校野球選手権和歌山大会 開会式（行進先導）		
	第92回全国高等学校野球選手権和歌山大会 応援		
9月11日	第32回黒潮祭り（開会セレモニー）		
9月29日	体育祭（行進先導）		
10月7日	文化祭（発表）		
10月29日 ～10月30日	第5回商業教育フェスタ（開会セレモニー）		
11月23日	第11回マーチングバンド・バトントワリングフェ スティバル（発表）		
11月23日	ふれあい祭（発表）		
11月23日	第5回わかやま産品商談会 （開会セレモニー、運営補助）		
<b>平成21(2009)年度</b>			
4月14日	新入生歓迎会（発表）		
7月11日	第91回全国高等学校野球選手権和歌山大会 開会式（行進先導）		
7月16・23 ・26・28日	第91回全国高等学校野球選手権和歌山大会 応援		
7月26日	バトントワリング講習会参加		
8月3日 ～8月7日	全国早退新体操補助員（式伝・集票）		
8月29日	第31回黒潮夏祭り（開会セレモニー）		
9月29日	体育祭（行進先導）		
10月8日	文化祭（発表）		
10月30日 ～10月31日	第4回商業教育フェスタ （開会セレモニー、運営補助）		
11月21日	ふれあい祭（発表、運営補助）		
11月23日	第10回マーチングバンド・バトントワリングフェ スティバル（発表）		
12月19日 ～12月20日	ぶらくりスイング （空き店舗実習、啓蒙活動、地域交流）		
2月8日 ～2月16日	第4回わかやま産品商談会 （開会セレモニー、運営補助）		
3月13日	まちなか交流スペースオープニング （開会セレモニー）		
<b>平成20(2008)年度</b>			
4月11日	新入生歓迎会（発表）		
4月9日	第90回全国高等学校野球選手権和歌山大会 開会式（行進先導）		
7月11日 ・16・19日	第90回全国高等学校野球選手権和歌山大会 応援		
7月27日	バトントワリング講習会参加		
9月6日	第30回黒潮祭り（開会セレモニー）		

日 程	大 会 名	種 目	成 績
10月8日	体育祭（行進先導）		
10月28日	文化祭（発表）		
10月30日 ～10月31日	第3回商業教育フェスタ （開会セレモニー、運営補助）		
11月8日	ふれあい祭（発表）		
11月23日	第9回マーチングバンド・バトントワリングフェスティバル（発表）		
2月19日	第3回わかやま産品商談会 （開会セレモニー、運営補助）		
<b>平成19(2007)年度</b>			
4月13日	新入生歓迎会（発表）		
4月21日	日本選抜陸上和歌山大会（開会セレモニー）		
7月15日	第89回全国高等学校野球選手権和歌山大会 開会式（行進先導）		
7月21日	第89回全国高等学校野球選手権和歌山大会 応援		
7月28日	第29回黒潮祭り（開会セレモニー）		
7月31日	バトントワリング講習会参加		
9月28日	体育祭（行進先導）		
10月4日	文化祭（発表）		
10月21日	秋季近畿地区高等学校野球大会		
11月23日	第8回マーチングバンド・バトントワリングフェスティバル（発表）		
11月24日	ふれあい祭（発表）		
12月13日	第2回商業教育フェスタ（開会セレモニー）		
<b>平成18(2006)年度</b>			
4月14日	新入生歓迎会（発表）		
7月13日	第88回全国高等学校野球選手権和歌山大会 開会式（行進先導）		
7月18日	第89回全国高等学校野球選手権和歌山大会 応援		
7月29日	第28回黒潮祭り（開会セレモニー）		
7月29日 ～8月3日	インターハイ相撲競技の部（プラカード係）		
10月3日	体育祭（行進先導）		
10月12日	文化祭（発表）		
11月23日	第6回マーチングバンド・バトントワリングフェスティバル（発表）		
3月24日	第79回選抜高校野球大会応援		
<b>平成17(2005)年度</b>			
4月14日	新入生歓迎会（発表）		
7月13日	第88回全国高等学校野球選手権和歌山大会 開会式（行進先導）		
7月13日 7月18日	第88回全国高等学校野球選手権和歌山大会 応援		

日 程	大 会 名	種 目	成 績
7月30日	第27回黒潮祭り（開会セレモニー）		
10月4日	体育祭（行進先導）		
10月13日	文化祭（発表）		
11月13日	第5回マーチングバンド・バトントワリングフェスティバル（発表）		
1月13日	高体連ダンス発表会（発表）		
<b>平成16(2004)年度</b>			
4月	新入生歓迎会（発表）		
7月11日	バトントワリング講習会参加		
7月13日	第87回全国高等学校野球選手権和歌山大会 開会式（行進先導）		
7月16日 7月25日	第87回全国高等学校野球選手権和歌山大会 応援		
9月11日	第26回黒潮祭り（開会セレモニー）		
10月1日	体育祭（行進先導）		
10月13日	文化祭（発表）		
11月14日	第5回マーチングバンド・バトントワリングフェスティバル（発表）		
11月21日	県和商創立百周年記念式典（発表）		
1月15日	高体連ダンス発表会		

<b>⑬卓球部</b>			
<b>平成25(2013)年度</b>			
6月7日 ～ 6月9日	和歌山県高等学校総合体育大会 卓球競技の部 (和歌山県立体育館)	男子 学校対抗	ベスト16 (椎崎 琢海、中嶋 文哉、 中尾 柊斗、赤井 勇斗、 濱田 祐希)
		女子 学校対抗	第3位 (井口 紗瑛、高木 莉紗子、 榎谷 美優、東 知里、西山 奈妙、 井内 梨乃)
		男子 ダブルス	第5位 (椎崎 琢海、中尾 柊斗)
		女子 ダブルス	第3位 (高木 莉紗子、榎谷 美優) 第3位 (井口 紗瑛、東 知里)
		男子 シングルス	第1位 (椎崎 琢海) 第5位 (濱田 祐希)
		女子 シングルス	第2位 (高木 莉紗子)
7月20日 ～ 7月22日	第67回近畿高等学校卓球選手権大会 (奈良・橿原公苑体育館)	女子 学校対抗	ベスト16 (井口 紗瑛、高木 莉紗子、 榎谷 美優、東 知里、 西山 奈妙、井内 梨乃)
		男子 ダブルス	2回戦 (椎崎 琢海、中尾 柊斗) 1回戦 (濱田 祐希、中嶋 文哉)
		女子 ダブルス	2回戦 (高木 莉紗子、榎谷 美優) 1回戦 (井口 紗瑛、東 知里)
		男子 シングルス	2回戦 (椎崎 琢海、濱田 祐希)
		女子 シングルス	3回戦 (高木 莉紗子) 1回戦 (榎谷 美優)
		男子 シングルス	2回戦 (椎崎 琢海)
7月29日 ～ 8月2日	第82回全国高等学校卓球選手権大会 (福岡・北九州市立総合体育館)	男子 シングルス	2回戦 (椎崎 琢海)
		女子 シングルス	1回戦 (高木 莉紗子)

日 程	大 会 名	種 目	成 績
9月5日 ～9月7日	和歌山県高等学校卓球選手権大会 (那智勝浦町立体育文化会館)	男子 学校対抗	2回戦 (中嶋 文哉、中尾 柊斗、 赤井 勇斗、濱田 祐希)
		女子 学校対抗	第2位 (高木 莉紗子、槇谷 美優、 東 知里、西山 奈妙、井内 梨乃)
		男子 ダブルス	ベスト16 (椎崎 琢海、中嶋 文哉) (中尾 柊斗、濱田 祐希)
		女子 ダブルス	第2位 (高木 莉紗子、槇谷 美優)
		男子 シングルス	第1位 (椎崎 琢海) 第5位 (中尾 柊斗)
		女子 シングルス	第2位 (高木 莉紗子)
9月29日 ～10月3日	第68回国民体育大会 (東京・郷土の森総合体育館)	少年男子	予選トーナメント敗退 (椎崎 琢海)
11月15日 ～11月16日	和歌山県高等学校新人卓球大会 (白浜町立総合体育館)	男子 学校対抗	第5位 (中嶋 文哉、中尾 柊斗、 赤井 勇斗、濱田 祐希)
		女子 学校対抗	第2位 (高木 莉紗子、槇谷 美優、 東 知里、西山 奈妙、 井内 梨乃)
		男子 ダブルス	第5位 (中尾 柊斗、濱田 祐希)
		女子 ダブルス	第2位 (高木 莉紗子、槇谷 美優)
		男子 シングルス	第5位 (中尾 柊斗)
		女子 シングルス	第5位 (高木 莉紗子)
12月25日 ～12月26日	第28回近畿高等学校新人卓球大会 (兵庫・グリーンアリーナ神戸)	男子 学校対抗	2回戦 (中嶋 文哉、中尾 柊斗、 赤井 勇斗、濱田 祐希)
		女子 学校対抗	2回戦 (高木 莉紗子、槇谷 美優、 東 知里、西山 奈妙、 井内 梨乃)
		男子 ダブルス	2回戦 (中尾 柊斗、濱田 祐希)
		女子 ダブルス	2回戦 (高木 莉紗子、槇谷 美優)
		男子 シングルス	2回戦 (中尾 柊斗)
		女子 シングルス	1回戦 (高木 莉紗子)
1月14日 ～1月19日	全日本卓球選手権大会 (東京・東京体育館)	ジュニア 男子	1回戦 (中尾 柊斗)
		ジュニア 女子	1回戦 (高木 莉紗子)
<b>平成24(2012)年度</b>			
6月1日 ～6月3日	和歌山県高等学校総合体育大会 卓球競技の部 (和歌山県立体育館)	男子 学校対抗	第2位 (清水 康平、小門 和紀、 玉置 侑士、椎崎 琢海、 中尾 航)
		女子 学校対抗	第2位 (牧野 日菜、尾崎 友美、 式地 理佐、那須 久美、 井口 紗瑛、高木 莉紗子、 槇谷 美優、東 知里)
		男子 ダブルス	第2位 (小門 和紀、玉置 侑士) 第5位 (清水 康平、椎崎 琢海)
		女子 ダブルス	第2位 (牧野 日菜、高木 莉紗子) ベスト16 (尾崎 友美、槇谷 美優)
		男子 シングルス	第3位 (清水 康平) 第5位 (小門 和紀、玉置 侑士) ベスト16 (椎崎 琢海)
		女子 シングルス	第5位 (牧野 日菜、高木 莉紗子)
7月22日 ～7月24日	第66回近畿高等学校卓球選手権大会 (滋賀・滋賀県立体育館)	男子 学校対抗	2回戦 (清水 康平、小門 和紀、 玉置 侑士、椎崎 琢海、 中尾 航)

日程	大会名	種目	成績
7月22日 ～7月24日	第66回近畿高等学校卓球選手権大会 (滋賀・滋賀県立体育館)	女子 学校対抗	2回戦 (牧野 日菜、尾崎 友美、 式地 理佐、那須 久美、 井口 紗瑛、高木 莉紗子、 榎谷 美優、東 知里)
		男子 ダブルス	2回戦 (清水 康平、椎崎 琢海) (小門 和紀、玉置 侑士)
		女子 ダブルス	3回戦 (牧野 日菜、高木 莉紗子) 2回戦 (尾崎 友美、榎谷 美優)
		男子 シングルス	2回戦 (玉置 侑士) 1回戦 (小門 和紀、清水 康平、 椎崎 琢海)
		女子 シングルス	3回戦 (牧野 日菜) 2回戦 (高木 莉紗子)
7月31日 ～8月5日	第81回全国高等学校卓球選手権大会 (長野・ホワイトリング)	男子 ダブルス	1回戦 (小門 和紀、玉置 侑士)
		女子 ダブルス	1回戦 (牧野 日菜、高木 莉紗子)
		男子 シングルス	1回戦 (清水 康平)
9月6日 ～9月8日	和歌山県高等学校卓球選手権大会 (那智勝浦町立体育文化会館)	男子 学校対抗	第1位 (清水 康平、小門 和紀、 玉置 侑士、椎崎 琢海、 中尾 航)
		女子 学校対抗	第1位 (牧野 日菜、尾崎 友美、 式地 理佐、那須 久美、 井口 紗瑛、高木 莉紗子、 榎谷 美優、東 知里)
		男子 ダブルス	第2位 (小門 和紀、椎崎 琢海)
		女子 ダブルス	第1位 (高木 莉紗子、榎谷 美優)
		男子 シングルス	第1位 (小門 和紀)
		女子 シングルス	第1位 (牧野 日菜) 第2位 (高木 莉紗子)
9月30日 ～10月4日	第67回国民体育大会 (岐阜・ヒマラヤアリーナ)	少年女子	予選リーグ敗退 (牧野 日菜)
11月16日 ～11月17日	和歌山県高等学校新人卓球大会 (白浜町立総合体育館)	女子 学校対抗	第2位 (井口 紗瑛、高木 莉紗子 榎谷 美優、東 知里)
		女子 ダブルス	第1位 (高木 莉紗子、榎谷 美優) 第5位 (井口 紗瑛、東 知里)
		男子 シングルス	第5位 (椎崎 琢海)
		女子 シングルス	第1位 (高木 莉紗子) 第5位 (榎谷 美優)
12月26日 ～12月27日	第27回近畿高等学校新人卓球大会 (大阪・東大阪アリーナ)	女子 学校対抗	2回戦 (井口 紗瑛、高木 莉紗子 榎谷 美優、東 知里)
		女子 ダブルス	1回戦 (高木 莉紗子、榎谷 美優) (井口 紗瑛、東 知里)
		男子 シングルス	2回戦 (椎崎 琢海)
		女子 シングルス	2回戦 (高木 莉紗子) 1回戦 (榎谷 美優)
1月15日 ～1月20日	全日本卓球選手権大会 (東京・代々木競技場第一体育館)	ジュニア 男子	1回戦 (椎崎 琢海)
<b>平成23(2011)年度</b>			
6月10日 ～6月12日	和歌山県高等学校総合体育大会 卓球競技の部 (和歌山県立体育館)	男子 学校対抗	第2位 (溝端 雅之、清水 康平、 小門 和紀、玉置 侑士、 中川 隆太、椎崎 琢海)
		女子 学校対抗	第2位 (古田 真由、牧野 日菜、 尾崎 友美、式地 理佐、 那須 久美、井口 紗瑛)
		男子 ダブルス	第3位 (清水 康平、玉置 侑士) ベスト16 (小門 和紀、椎崎 琢海)
		女子 ダブルス	第5位 (牧野 日菜、尾崎 友美) (式地 理佐、那須 久美)
		男子 シングルス	ベスト16 (小門 和紀、玉置 侑士)

日程	大会名	種目	成績
6月10日 ～6月12日	和歌山県高等学校総合体育大会 卓球競技の部 (和歌山県立体育館)	女子 シングルス	第5位(牧野 日菜) ベスト16(尾崎 友美)
7月27日 ～7月29日	第65回近畿高等学校卓球選手権大会 (京都・京都府立体育館)	男子 学校対抗	1回戦(溝端 雅之、清水 康平、 小門 和紀、玉置 侑士、 中川 隆太、椎崎 琢海)
		女子 学校対抗	2回戦(古田 真由、牧野 日菜、 尾崎 友美、式地 理佐、 那須 久美、井口 紗瑛)
		男子 ダブルス	2回戦(清水 康平、玉置 侑士) (小門 和紀、椎崎 琢海)
		女子 ダブルス	2回戦(牧野 日菜、尾崎 友美) 1回戦(式地 理佐、那須 久美)
		男子 シングルス	2回戦(小門 和紀、玉置 侑士)
		女子 シングルス	2回戦(牧野 日菜) 1回戦(尾崎 友美)
		9月7日 ～9月9日	和歌山県高等学校卓球選手権大会 (那智勝浦町立体育文化会館)
11月18日 ～11月19日	和歌山県高等学校新人卓球大会 (白浜町立総合体育館)	男子 学校対抗	第2位(清水 康平、小門 和紀、 玉置 侑士、椎崎 琢海)
		女子 学校対抗	第2位(牧野 日菜、尾崎 友美、 式地 理佐、那須 久美、 井口 紗瑛)
		男子 ダブルス	第3位(小門 和紀、玉置 侑士) 第5位(清水 康平、椎崎 琢海)
		女子 ダブルス	第3位(牧野 日菜、尾崎 友美)
		男子 シングルス	第2位(小門 和紀) 第5位(玉置 侑士)
		女子 シングルス	第1位(牧野 日菜)
12月26日 ～12月27日	第26回近畿高等学校新人卓球大会 (和歌山・ビッグホール)	男子 学校対抗	2回戦(清水 康平、小門 和紀、 玉置 侑士、椎崎 琢海)
		女子 学校対抗	2回戦(牧野 日菜、尾崎 友美、 式地 理佐、那須 久美、 井口 紗瑛)
		男子 ダブルス	2回戦(小門 和紀、玉置 侑士) 1回戦(清水 康平、椎崎 琢海)
		女子 ダブルス	2回戦(牧野 日菜、尾崎 友美)
		男子 シングルス	2回戦(小門 和紀) 1回戦(玉置 侑士)
		女子 シングルス	第5位(牧野 日菜) ※ランキング入り
1月17日 ～1月22日	全日本卓球選手権大会 (東京・東京体育館)	ジュニア 男子	2回戦(小門 和紀)
<b>平成22(2010)年度</b>			
6月4日 ～6月6日	和歌山県高等学校総合体育大会 卓球競技の部 (和歌山県立体育館)	男子 学校対抗	1回戦(池宮 大貴、松本 和真、 新井 誠矢、前川 拓弥、 溝端 雅之、清水 康平、 小門 和紀、玉置 侑士)
		女子 学校対抗	第3位(小門 奈津実、西川 絢奈、 中村 早花、船木 璃乃、 古田 真由、牧野 日菜、 尾崎 友美、那須 久美)
		男子 ダブルス	第5位(小門 和紀、新井 誠矢) ベスト16(池宮 大貴、松本 和真)
		女子 ダブルス	ベスト16(小門 奈津実、牧野 日菜) (西川 絢奈、中村 早花)
		男子 シングルス	第5位(小門 和紀) ベスト16(玉置 侑士)
		女子 シングルス	第1位(牧野 日菜) 第5位(小門 奈津実)

日程	大会名	種目	成績
7月26日 ～7月28日	第64回近畿高等学校卓球選手権大会 (兵庫・グリーンアリーナ神戸)	女子 学校対抗	3回戦 (小門 奈津実、西川 絢奈、 中村 早花、船木 璃乃、 古田 真由、牧野 日菜、 尾崎 友美、那須 久美)
		男子 ダブルス	2回戦 (小門 和紀、新井 誠矢) 1回戦 (池宮 大貴、松本 和真)
		女子 ダブルス	2回戦 (小門 奈津実、牧野 日菜) 1回戦 (西川 絢奈、中村 早花)
		男子 シングルス	2回戦 (小門 和紀) 1回戦 (玉置 侑士)
		女子 シングルス	3回戦 (小門 奈津実、牧野 日菜)
8月7日 ～8月12日	第79回全国高等学校卓球選手権大会 (沖縄・宜野湾市立体育館)	女子 シングルス	1回戦 (牧野 日菜)
9月2日 ～9月4日	和歌山県高等学校卓球選手権大会 (那智勝浦町立体育文化会館)	男子 学校対抗	第2位 (溝端 雅之、清水 康平、 小門 和紀、玉置 侑士、 中川 隆太)
		女子 学校対抗	第3位 (古田 真由、牧野 日菜、 尾崎 友美、那須 久美、 式地 理佐)
		男子 ダブルス	第5位 (小門 和紀、中川 隆太)
		女子 ダブルス	第5位 (牧野 日菜、尾崎 友美)
		男子 シングルス	第2位 (清水 康平) ベスト16 (玉置 侑士)
9月30日 ～10月4日	第65回国民体育大会 (千葉・旭市総合体育館)	少年女子	予選トーナメント敗退 (牧野 日菜)
11月5日 ～11月6日	和歌山県高等学校新人卓球大会 (白浜町立総合体育館)	男子 学校対抗	第1位 (溝端 雅之、清水 康平、 小門 和紀、玉置 侑士、 中川 隆太)
		女子 学校対抗	第2位 (古田 真由、牧野 日菜、 尾崎 友美、那須 久美、 式地 理佐)
		男子 ダブルス	第5位 (小門 和紀、中川 隆太)
		女子 ダブルス	第5位 (牧野 日菜、古田 真由) ベスト16 (那須 久美、式地 理佐)
		男子 シングルス	第5位 (小門 和紀、玉置 侑士) ベスト16 (清水 康平)
9月30日 ～10月4日	第65回国民体育大会 (千葉・旭市総合体育館)	少年女子	予選トーナメント敗退 (牧野 日菜)
12月25日 ～12月26日	第25回近畿高等学校新人卓球大会 (奈良・奈良市中央体育館)	男子 学校対抗	3回戦 (溝端 雅之、清水 康平、 小門 和紀、玉置 侑士、 中川 隆太)
		女子 学校対抗	3回戦 (古田 真由、牧野 日菜、 尾崎 友美、那須 久美、 式地 理佐)
		男子 ダブルス	1回戦 (小門 和紀、中川 隆太)
		女子 ダブルス	1回戦 (牧野 日菜、古田 真由)
		男子 シングルス	2回戦 (小門 和紀) 1回戦 (清水 康平、玉置 侑士)
		女子 シングルス	2回戦 (牧野 日菜)
1月18日 ～1月23日	全日本卓球選手権大会 (東京・東京体育館)	ジュニア 男子	1回戦 (清水 康平)
		ジュニア 女子	3回戦 (牧野 日菜)
<b>平成21(2009)年度</b>			
6月5日 ～6月7日	和歌山県高等学校総合体育大会 卓球競技の部 (和歌山県立体育館)	男子 学校対抗	第3位 (清水 陽平、中橋 慎太郎、 大江 悠暉、横尾 茂員、 池宮 大貴、松本 和真、 新井 誠矢、前川 拓弥)

日 程	大 会 名	種 目	成 績
6月5日 ～6月7日	和歌山県高等学校総合体育大会 卓球競技の部 (和歌山県立体育館)	女子 学校対抗	第2位 (林 利紗、宮本 寛子、 小門 奈津実、西川 絢奈、 中村 早花、船木 璃乃、 古田 真由)
		男子 ダブルス	ベスト16 (清水 陽平、大江 悠暉)
		女子 ダブルス	第5位 (宮本 寛子、小門 奈津実) (林 利紗、西川 絢奈)
		男子 シングルス	ベスト16 (大江 悠暉)
		女子 シングルス	第3位 (小門 奈津実) ベスト16 (宮本 寛子、中村 早花、 林 利紗)
7月22日 ～7月24日	第63回近畿高等学校卓球選手権大会 (大阪・大阪市中央体育館)	男子	1回戦 (清水 陽平、中橋 慎太郎、 林 利紗、宮本 寛子、 小門 奈津実、西川 絢奈、 中村 早花、船木 璃乃、 古田 真由)
		女子 学校対抗	1回戦 (林 利紗、宮本 寛子、 小門 奈津実、西川 絢奈、 中村 早花、船木 璃乃、 古田 真由)
		男子 ダブルス	3回戦 (清水 陽平、大江 悠暉)
		女子 ダブルス	1回戦 (宮本 寛子、小門 奈津実) 2回戦 (林 利紗、西川 絢奈)
		男子 シングルス	1回戦 (大江 悠暉)
		女子 シングルス	2回戦 (小門 奈津実) 1回戦 (宮本 寛子、中村 早花、 林 利紗)
8月5日 ～8月10日	第78回全国高等学校卓球選手権大会 (兵庫・グリーンアリーナ神戸)	女子 シングルス	1回戦 (小門 奈津実)
9月3日 ～9月5日	和歌山県高等学校卓球選手権大会 (那智勝浦町立体育文化会館)	男子 学校対抗	第5位 (清水 陽平、中橋 慎太郎、 大江 悠暉、横尾 茂員、 池宮 大貴、松本 和真、 新井 誠矢、前川 拓弥)
		女子 学校対抗	第1位 (林 利紗、宮本 寛子、 小門 奈津実、西川 絢奈、 中村 早花、船木 璃乃、 古田 真由)
		男子 ダブルス	第3位 (池宮 大貴、松本 和真)
		女子 ダブルス	第3位 (宮本 寛子、小門 奈津実) 第5位 (林 利紗、西川 絢奈)
		男子 シングルス	ベスト16 (大江 悠暉)
		女子 シングルス	第1位 (小門 奈津実) 第5位 (中村 早花)
11月5日 ～11月6日	和歌山県高等学校新人卓球大会 (白浜町立総合体育館)	男子 学校対抗	ベスト16 (池宮 大貴、松本 和真、 新井 誠矢、前川 拓弥、 溝端 雅之)
		女子 学校対抗	第1位 (小門 奈津実、西川 絢奈、 中村 早花、船木 璃乃、 古田 真由)
		男子 ダブルス	第5位 (新井 誠矢、前川 拓弥)
		女子 ダブルス	第5位 (西川 絢奈、古田 真由)
		女子 シングルス	第2位 (小門 奈津実)
12月25日 ～12月26日	第24回近畿高等学校新人卓球大会 (滋賀・滋賀県立体育館)	女子 学校対抗	3回戦 (小門 奈津実、西川 絢奈、 中村 早花、船木 璃乃、 古田 真由)
		男子 ダブルス	1回戦 (新井 誠矢、前川 拓弥)
		女子 ダブルス	1回戦 (西川 絢奈、古田 真由)
		女子 シングルス	1回戦 (小門 奈津実)

日程	大会名	種目	成績
<b>平成20(2008)年度</b>			
6月6日 ～6月8日	和歌山県高等学校総合体育大会 卓球競技の部 (和歌山県立体育館)	男子 学校対抗	第5位 (藤後 歩、櫻葉 光季、 清水 陽平、中橋 慎太郎、 大江 悠暉、横尾 茂員、 池宮 大貴、松本 和真)
		女子 学校対抗	第3位 (林 利紗、宮本 寛子、 小門 奈津実、西川 絢奈、 中村 早花、船木 璃乃)
		女子 ダブルス	第5位 (宮本 寛子、小門 奈津実) ベスト16 (林 利紗、西川 絢奈)
		男子 シングルス	ベスト32 (大江 悠暉)
		女子 シングルス	第5位 (林 利紗) ベスト32 (小門 奈津実)
7月22日 ～7月24日	第62回近畿高等学校卓球選手権大会 (和歌山・ビッグホール)	男子 学校対抗	1回戦 (藤後 歩、櫻葉 光季、 清水 陽平、中橋 慎太郎、 大江 悠暉、横尾 茂員、 池宮 大貴、松本 和真)
		女子 学校対抗	1回戦 (林 利紗、宮本 寛子、 小門 奈津実、西川 絢奈、 中村 早花、船木 璃乃)
		女子 ダブルス	2回戦 (宮本 寛子、小門 奈津実) (林 利紗、西川 絢奈)
		男子 シングルス	1回戦 (大江 悠暉)
		女子 シングルス	1回戦 (林 利紗) 2回戦 (小門 奈津実)
9月4日 ～9月6日	和歌山県高等学校卓球選手権大会 (那智勝浦町立体育文化会館)	男子 学校対抗	第3位 (藤後 歩、櫻葉 光季、 清水 陽平、中橋 慎太郎、 大江 悠暉、横尾 茂員、 池宮 大貴、松本 和真)
		女子 学校対抗	第1位 (林 利紗、宮本 寛子、 小門 奈津実、西川 絢奈、 中村 早花、船木 璃乃)
		男子 ダブルス	ベスト16 (藤後 歩、櫻葉 光季) (清水 陽平、大江 悠暉) (中橋 慎太郎、横尾 茂員)
		女子 ダブルス	第2位 (宮本 寛子、小門 奈津実)
		男子 シングルス	第5位 (大江 悠暉) ベスト16 (清水 陽平)
		女子 シングルス	ベスト16 (林 利紗、小門 奈津実)
11月7日 ～11月8日	和歌山県高等学校新人卓球大会 (白浜町立総合体育館)	男子 学校対抗	第3位 (清水 陽平、中橋 慎太郎、 大江 悠暉、横尾 茂員、 池宮 大貴、松本 和真、 新井 誠矢、前川 拓弥)
		女子 学校対抗	第2位 (林 利紗、宮本 寛子、 小門 奈津実、西川 絢奈、 中村 早花、船木 璃乃)
		女子 ダブルス	第2位 (宮本 寛子、小門 奈津実) 第5位 (林 利紗、西川 絢奈)
		男子 シングルス	第3位 (大江 悠暉) ※全国選抜出場
		女子 シングルス	第3位 (中村 早花) 第5位 (宮本 寛子)
12月25日 ～12月26日	第23回近畿高等学校新人卓球大会 (京都・京都府立体育館)	男子 学校対抗	1回戦 (清水 陽平、中橋 慎太郎、 大江 悠暉、横尾 茂員、 池宮 大貴、松本 和真、 新井 誠矢、前川 拓弥)
		女子 学校対抗	2回戦 (林 利紗、宮本 寛子、 小門 奈津実、西川 絢奈、 中村 早花、船木 璃乃)
		女子 ダブルス	2回戦 (宮本 寛子、小門 奈津実) 1回戦 (林 利紗、西川 絢奈)
		男子 シングルス	1回戦 (大江 悠暉)

日程	大会名	種目	成績
12月25日 ～12月26日	第23回近畿高等学校新人卓球大会 (京都・京都府立体育館)	女子 シングルス	2回戦(中村 早花) 1回戦(宮本 寛子)
3月26日 ～3月28日	第36回全国高等学校選抜卓球大会 (愛媛・愛媛県武道館)	男子 シングルス	予選リーグ敗退(大江 悠暉)
<b>平成19(2007)年度</b>			
6月1日 ～6月3日	和歌山県高等学校総合体育大会 卓球競技の部 (和歌山県立体育館)	男子 学校対抗	第3位(松田 直樹、下田 紘生、 平柳 拓哉、花田 洋貴、 藤後 歩、檜葉 光季、 清水 陽平、中橋 慎太郎)
		女子 学校対抗	第5位(湯 安琪、江川 亜美、林 利紗 宮本 寛子)
		男子 ダブルス	第5位(下田 紘生、平柳 拓哉) (松田 直樹、花田 洋貴)
		女子 ダブルス	第5位(湯 安琪、宮本 寛子)
		男子 シングルス	第3位(下田 紘生、平柳 拓哉) ベスト16(松田 直樹、花田 洋貴)
		女子 シングルス	第5位(湯 安琪)
7月24日 ～7月26日	第61回近畿高等学校卓球選手権大会 (奈良・橿原公苑体育館)	男子 学校対抗	2回戦(松田 直樹、下田 紘生、 平柳 拓哉、花田 洋貴、 藤後 歩、檜葉 光季、 清水 陽平、中橋 慎太郎)
		女子 学校対抗	1回戦(湯 安琪、江川 亜美、林 利紗 宮本 寛子)
		男子 ダブルス	3回戦(下田 紘生、平柳 拓哉) 2回戦(松田 直樹、花田 洋貴)
		女子 ダブルス	第5位(湯 安琪、宮本 寛子) ※ランキング入り
		男子 シングルス	2回戦(下田 紘生、松田 直樹) 1回戦(平柳 拓哉、花田 洋貴)
		女子 シングルス	ベスト16(湯 安琪)
8月9日 ～8月14日	第76回全国高等学校卓球選手権大会 (佐賀・佐賀県立体育館)	男子 シングルス	1回戦(下田 紘生、平柳 拓哉)
9月6日 ～9月8日	和歌山県高等学校卓球選手権大会 (那智勝浦町立体育文化会館)	男子 学校対抗	第3位(松田 直樹、下田 紘生、 平柳 拓哉、花田 洋貴、 藤後 歩、檜葉 光季、 清水 陽平、中橋 慎太郎)
		女子 学校対抗	第3位(湯 安琪、江川 亜美、林 利紗 宮本 寛子)
		男子 ダブルス	第5位(平柳 拓哉、中橋 慎太郎)
		男子 シングルス	第5位(花田 洋貴)
		女子 シングルス	第3位(湯 安琪)
11月23日 ～11月24日	和歌山県高等学校新人卓球大会 (白浜町立総合体育館)	男子 学校対抗	第5位(藤後 歩、檜葉 光季、 清水 陽平、中橋 慎太郎、 大江 悠暉、横尾 茂員)
		男子 ダブルス	第5位(藤後 歩、大江 悠暉)
12月26日 ～12月27日	第22回近畿高等学校新人卓球大会 (兵庫・グリーンアリーナ神戸)	男子 学校対抗	2回戦(藤後 歩、檜葉 光季、 清水 陽平、中橋 慎太郎、 大江 悠暉、横尾 茂員)
		男子 ダブルス	2回戦(藤後 歩、大江 悠暉)
<b>平成18(2006)年度</b>			
6月9日 ～6月11日	和歌山県高等学校総合体育大会 卓球競技の部 (和歌山県立体育館)	男子 学校対抗	第1位(古谷 拓巳、津田 翔、 石川 慎也、筒井 集、 松田 直樹、下田 紘生、 平柳 拓哉、花田 洋貴)
		女子 学校対抗	第5位(和田 麻衣、内田 優衣、 湯 安琪、江川 亜美、川口 梨美)

日程	大会名	種目	成績
6月9日 ～6月11日	和歌山県高等学校総合体育大会 卓球競技の部 (和歌山県立体育館)	男子 ダブルス	第1位 (津田 翔、石川 慎也) 第2位 (古谷 拓巳、松田 直樹) 第3位 (筒井 集、花田 洋貴)
		女子 ダブルス	第3位 (湯 安琪、川口 梨美)
		男子 シングルス	第1位 (津田 翔) 第2位 (石川 慎也) 第3位 (松田 直樹)
		女子 シングルス	第1位 (湯 安琪)
7月23日 ～7月25日	第60回近畿高等学校卓球選手権大会 (滋賀・滋賀県立体育館)	男子 学校対抗	第5位 (古谷 拓巳、津田 翔、 石川 慎也、筒井 集、 松田 直樹、下田 紘生、 平柳 拓哉、花田 洋貴) ※ランク入り
		女子 学校対抗	1回戦 (和田 麻衣、内田 優衣、 湯 安琪、江川 亜美、 川口 梨美)
		男子 ダブルス	ベスト16 (津田 翔、石川 慎也) 3回戦 (筒井 集、花田 洋貴) 2回戦 (古谷 拓巳、松田 直樹)
		女子 ダブルス	2回戦 (湯 安琪、川口 梨美)
		男子 シングルス	3回戦 (津田 翔) 2回戦 (石川 慎也、筒井 集、 古谷 拓巳、花田 洋貴、 下田 紘生) 1回戦 (松田 直樹)
		女子 シングルス	2回戦 (湯 安琪)
8月7日 ～8月11日	第75回全国高等学校卓球選手権大会 (大阪・大阪市中央体育館)	男子 学校対抗	1回戦 (古谷 拓巳、津田 翔、 石川 慎也、筒井 集、 松田 直樹、下田 紘生、 平柳 拓哉、花田 洋貴) ※ランク入り
		男子 ダブルス	1回戦 (津田 翔、石川 慎也) 2回戦 (古谷 拓巳、松田 直樹)
		男子 シングルス	2回戦 (石川 慎也) 1回戦 (津田 翔、松田 直樹)
		女子 シングルス	3回戦 (湯 安琪)
9月7日 ～9月9日	和歌山県高等学校卓球選手権大会 (那智勝浦町立体育文化会館)	男子 学校対抗	第3位 (古谷 拓巳、津田 翔、 石川 慎也、筒井 集、 松田 直樹、下田 紘生、 平柳 拓哉、花田 洋貴)
		女子 学校対抗	第3位 (和田 麻衣、内田 優衣、 湯 安琪、江川 亜美、 川口 梨美)
		男子 ダブルス	第3位 (平柳 拓哉、石川 慎也) 第5位 (下田 紘生、松田 直樹)
		女子 ダブルス	第2位 (湯 安琪、川口 梨美)
		男子 シングルス	第2位 (花田 洋貴) 第5位 (石川 慎也)
		女子 シングルス	第2位 (湯 安琪)
11月10日 ～11月11日	和歌山県高等学校新人卓球大会 (白浜町立総合体育館)	男子 学校対抗	第3位 (松田 直樹、下田 紘生、 平柳 拓哉、花田 洋貴、 藤後 歩、櫻葉 光季)
		男子 ダブルス	第5位 (下田 紘生、松田 直樹)
		男子 シングルス	第5位 (下田 紘生、松田 直樹)
12月25日 ～12月26日	第21回近畿高等学校新人卓球大会 (和歌山・和歌山県立体育館)	男子 学校対抗	2回戦 (松田 直樹、下田 紘生、 平柳 拓哉、花田 洋貴、 藤後 歩、櫻葉 光季)
		男子 ダブルス	2回戦 (下田 紘生、松田 直樹)

日程	大会名	種目	成績
12月25日 ～12月26日	第21回近畿高等学校新人卓球大会 (和歌山・和歌山県立体育館)	男子 シングルス	2回戦 (松田 直樹) 1回戦 (下田 紘生)
<b>平成17(2005)年度</b>			
6月3日 ～6月5日	和歌山県高等学校総合体育大会 卓球競技の部 (和歌山県立体育館)	男子 学校対抗	第1位 (曾田 侑弥、吉田 大貴、 古谷 拓巳、津田 翔、 石川 慎也、筒井 集、 松田 直樹、下田 紘生)
		女子 学校対抗	第2位 (松本 恵理、森脇 恵菜、 田中 瑞夏、榎本 貴恵、 山下 弥生、和田 麻衣、 内田 優衣、湯 安琪)
		男子 ダブルス	第1位 (津田 翔、石川 慎也) 第5位 (古谷 拓巳、松田 直樹) (曾田 侑弥、辻本 皓昭)
		女子 ダブルス	第3位 (森脇 恵菜、田中 瑞夏) 第5位 (榎本 貴恵、湯 安琪) (松本 恵理、山下 弥生)
		男子 シングルス	第1位 (石川 慎也) 第3位 (津田 翔) 第5位 (曾田 侑弥、筒井 集)
		女子 シングルス	第3位 (森脇 恵菜) 第5位 (榎本 貴恵、田中 瑞夏)
7月23日 ～7月25日	第59回近畿高等学校卓球選手権大会 (京都・京都府立体育館)	男子 学校対抗	3回戦 (曾田 侑弥、吉田 大貴、 古谷 拓巳、津田 翔、 石川 慎也、筒井 集、 松田 直樹、下田 紘生)
		女子 学校対抗	2回戦 (松本 恵理、森脇 恵菜、 田中 瑞夏、榎本 貴恵、 山下 弥生、和田 麻衣、 内田 優衣、湯 安琪)
		男子 ダブルス	ベスト16 (津田 翔、石川 慎也) 2回戦 (曾田 侑弥、辻本 皓昭) 1回戦 (古谷 拓巳、松田 直樹)
		女子 ダブルス	2回戦 (松本 恵理、山下 弥生) 1回戦 (森脇 恵菜、田中 瑞夏) (榎本 貴恵、湯 安琪)
		男子 シングルス	3回戦 (古谷 拓巳) 2回戦 (石川 慎也、津田 翔、 曾田 侑弥、吉田 大貴) 1回戦 (筒井 集)
		女子 シングルス	1回戦 (森脇 恵菜、榎本 貴恵、 田中 瑞夏、山下 弥生)
8月7日 ～8月12日	第74回全国高等学校卓球選手権大会 (千葉・成田市体育館)	男子 学校対抗	2回戦 (曾田 侑弥、吉田 大貴、 古谷 拓巳、津田 翔、 石川 慎也、筒井 集、 松田 直樹、下田 紘生)
		男子 ダブルス	1回戦 (津田 翔、石川 慎也)
		男子 シングルス	1回戦 (石川 慎也、津田 翔)
		女子 シングルス	1回戦 (森脇 恵菜)
9月8日 ～9月10日	和歌山県高等学校卓球選手権大会 (那智勝浦町立体育文化会館)	男子 学校対抗	第1位 (曾田 侑弥、吉田 大貴、 古谷 拓巳、津田 翔、 石川 慎也、筒井 集、 松田 直樹、下田 紘生)
		女子 学校対抗	第2位 (松本 恵理、森脇 恵菜、 田中 瑞夏、榎本 貴恵、 山下 弥生、和田 麻衣、 内田 優衣、湯 安琪)
		男子 ダブルス	第1位 (津田 翔、石川 慎也) 第3位 (古谷 拓巳、松田 直樹) (辻本 皓昭、下田 紘生)
		女子 ダブルス	第3位 (榎本 貴恵、森脇 恵菜) (松本 恵理、山下 弥生)

日程	大会名	種目	成績
9月8日 ～9月10日	和歌山県高等学校卓球選手権大会 (那智勝浦町立体育文化会館)	男子 シングルス	第2位 (石川 慎也) 第3位 (津田 翔) 第5位 (古谷 拓巳、曾田 侑弥、 筒井 集)
		女子 シングルス	第5位 (森脇 恵菜、山下 弥生、 湯 安琪)
9月29日 ～10月3日	第60回国民体育大会 (岡山・きびジアリーナ)	少年男子	予選トーナメント敗退 (津田 翔、石川 慎也、筒井 集)
11月11日 ～11月12日	和歌山県高等学校新人卓球大会 (白浜町立総合体育館)	男子 学校対抗	第1位 (古谷 拓巳、津田 翔、 石川 慎也、筒井 集、 松田 直樹、下田 紘生、 平柳 拓哉、花田 洋貴)
		女子 学校対抗	第5位 (和田 麻衣、内田 優衣、 湯 安琪、久世 静香)
		男子 ダブルス	第1位 (津田 翔、石川 慎也) 第2位 (辻本 皓昭、下田 紘生) 第3位 (古谷 拓巳、松田 直樹)
		女子 ダブルス	第5位 (湯 安琪、久世 静香)
		男子 シングルス	第1位 (石川 慎也) 第2位 (津田 翔) 第3位 (古谷 拓巳、筒井 集)
		女子 シングルス	第1位 (湯 安琪)
12月26日 ～12月27日	第20回近畿高等学校新人卓球大会 (大阪・大阪市中央体育館)	男子 学校対抗	第5位 (古谷 拓巳、津田 翔、 石川 慎也、筒井 集、 松田 直樹、下田 紘生、 平柳 拓哉、花田 洋貴) ※ランク入り
		女子 学校対抗	2回戦 (和田 麻衣、内田 優衣、 湯 安琪、久世 静香)
		男子 ダブルス	2回戦 (筒井 集、花田 洋貴) 1回戦 (津田 翔、石川 慎也) (古谷 拓巳、松田 直樹) (辻本 皓昭、下田 紘生)
		女子 ダブルス	1回戦 (湯 安琪、久世 静香)
		男子 シングルス	2回戦 (石川 慎也) 1回戦 (津田 翔、古谷 拓巳、 筒井 集)
		女子 シングルス	2回戦 (湯 安琪)
1月10日 ～1月15日	全日本卓球選手権大会 (東京・東京体育館)	ジュニア 男子	2回戦 (石川 慎也、津田 翔)
3月26日 ～3月28日	第33回全国高等学校選抜卓球大会 (広島・広島県立総合体育館)	男子 学校対抗	予選リーグ敗退 (古谷 拓巳、津田 翔、石川 慎也、 筒井 集、松田 直樹、下田 紘生、 平柳 拓哉、花田 洋貴)
<b>平成16(2004)年度</b>			
6月6日 ～6月8日	和歌山県高等学校総合体育大会 卓球競技の部 (和歌山県立体育館)	男子 学校対抗	第3位 (今西 智哉、中路 富大、 曾田 侑弥、吉田 大貴、 古谷 拓巳、津田 翔、 石川 慎也、筒井 集)
		女子 学校対抗	第2位 (南方 希美子、松本 恵理、 森脇 恵菜、田中 瑞夏、 榎本 貴恵、山下 弥生、 和田 麻衣、内田 優衣)
		男子 ダブルス	第3位 (曾田 侑弥、辻本 皓昭) 第5位 (今西 智哉、石川 慎也)
		女子 ダブルス	第1位 (南方 希美子、榎本 貴恵) 第5位 (森脇 恵菜、田中 瑞夏) (松本 恵理、山下 弥生)
		男子 シングルス	第1位 (中路 富大) 第5位 (津田 翔)
		女子 シングルス	第3位 (森脇 恵菜) 第5位 (南方 希美子、田中 瑞夏)

日 程	大 会 名	種 目	成 績
7月22日 ～7月24日	第58回近畿高等学校卓球選手権大会 (兵庫・グリーンアリーナ神戸)	男子 学校対抗	第5位 (今西 智哉、中路 富大、 曾田 侑弥、吉田 大貴、 古谷 拓巳、津田 翔、 石川 慎也、筒井 集) ※ランク入り
		女子 学校対抗	2回戦 (南方 希美子、松本 恵理、 森脇 恵菜、田中 瑞夏、 榎本 貴恵、山下 弥生、 和田 麻衣、内田 優衣)
		男子 ダブルス	3回戦 (中路 富大、津田 翔) 1回戦 (今西 智哉、石川 慎也) (曾田 侑弥、辻本 皓昭) (吉田 大貴、古谷 拓巳)
		女子 ダブルス	2回戦 (南方 希美子、榎本 貴恵) 1回戦 (森脇 恵菜、田中 瑞夏) (松本 恵理、山下 弥生)
		男子 シングルス	ベスト16 (中路 富大) 3回戦 (津田 翔) 1回戦 (今西 智哉)
		女子 シングルス	2回戦 (田中 瑞夏) 1回戦 (南方 希美子、森脇 恵菜、 榎本 貴恵)
		8月7日 ～8月12日	第73回全国高等学校卓球選手権大会 (島根・島根県立産業交流会館)
男子 シングルス	2回戦 (中路 富大)		
女子 シングルス	1回戦 (森脇 恵菜)		
9月16日 ～9月18日	和歌山県高等学校卓球選手権大会 (那智勝浦町立体育文化会館)	男子 学校対抗	第1位 (今西 智哉、中路 富大、 曾田 侑弥、吉田 大貴、 古谷 拓巳、津田 翔、 石川 慎也、筒井 集)
		女子 学校対抗	第2位 (南方 希美子、松本 恵理、 森脇 恵菜、田中 瑞夏、 榎本 貴恵、山下 弥生、 和田 麻衣、内田 優衣)
		男子 ダブルス	第1位 (石川 慎也、津田 翔) 第2位 (曾田 侑弥、辻本 皓昭) 第5位 (中路 富大、吉田 大貴)
		女子 ダブルス	第2位 (森脇 恵菜、田中 瑞夏) 第3位 (松本 恵理、山下 弥生)
		男子 シングルス	第1位 (中路 富大) 第5位 (津田 翔、筒井 集)
		女子 シングルス	第5位 (榎本 貴恵、田中 瑞夏)
11月12日 ～11月13日	和歌山県高等学校新人卓球大会 (白浜町立総合体育館)	男子 学校対抗	第1位 (曾田 侑弥、吉田 大貴、 古谷 拓巳、津田 翔、 石川 慎也、筒井 集、 辻本 皓昭)
		女子 学校対抗	第2位 (松本 恵理、森脇 恵菜、 田中 瑞夏、榎本 貴恵、 山下 弥生、和田 麻衣、 内田 優衣)
		男子 ダブルス	第1位 (石川 慎也、津田 翔) 第5位 (古谷 拓巳、吉田 大貴)
		女子 ダブルス	第2位 (森脇 恵菜、田中 瑞夏) 第3位 (松本 恵理、山下 弥生)
		男子 シングルス	第1位 (津田 翔) 第3位 (吉田 大貴) 第5位 (曾田 侑弥)
		女子 シングルス	第5位 (山下 弥生、榎本 貴恵、 田中 瑞夏)
12月25日 ～12月26日	第19回近畿高等学校新人卓球大会 (奈良・奈良市中央体育館)	男子 学校対抗	第5位 (曾田 侑弥、吉田 大貴、 古谷 拓巳、津田 翔、 石川 慎也、筒井 集、 辻本 皓昭) ※ランク入り

日 程	大 会 名	種 目	成 績
12月25日 ～12月26日	第19回近畿高等学校新人卓球大会 (奈良・奈良市中央体育館)	女子 学校対抗	2回戦 (松本 恵理、森脇 恵菜、 田中 瑞夏、榎本 貴恵、 山下 弥生、和田 麻衣 内田 優衣)
		男子 ダブルス	1回戦 (石川 慎也、津田 翔) (古谷 拓巳、吉田 大貴)
		女子 ダブルス	2回戦 (森脇 恵菜、田中 瑞夏) 1回戦 (松本 恵理、山下 弥生)
		男子 シングルス	1回戦 (津田 翔、吉田 大貴、 曾田 侑弥)
		女子 シングルス	1回戦 (山下 弥生、榎本 貴恵、 田中 瑞夏)
1月11日 ～1月16日	全日本卓球選手権大会 (東京・東京体育館)	ジュニア 男子	2回戦 (石川 慎也)

⑭剣道部			
平成25(2013)年度			
6月7日 ～6月9日	和歌山県高等学校総合体育大会剣道競技の部	女子 団体A	第5位 (田首、中家、木村、新谷、 福永、三尾)
		女子 団体B	第3位 (橋本、尾崎、増田、竹橋、 浦田、林)
		女子個人	準優勝 福永 歩紗
7月13日 ～7月14日	第51回近畿高等学校剣道大会	女子団体	ベスト8 (田首、中家、木村、新谷、 福永、橋本、三尾)
		女子個人	出 場 福永 歩紗
8月7日 ～8月9日	平成25年度全国高等学校総合体育大会剣道大会	女子個人	2回戦敗退 福永 歩紗
8月18日	平成25年度国民体育大会近畿ブロック大会	少年 女子の部	第3位 福永 歩紗(中堅)
1月11日 ～1月12日	和歌山県高校剣道新人大会	女子団体	第3位 (三尾、尾崎、増田、竹橋、 浦田、林)
		女子個人	第5位 三尾 このみ
3月22日	第7回近畿高等学校剣道選抜大会	女子団体	出 場 (三尾、尾崎、増田、竹橋、 浦田、林)
平成24(2012)年度			
6月1日 ～6月3日	和歌山県高等学校総合体育大会 剣道競技の部	女子 団体B	第3位 (橋本、三尾、尾崎)
		女子個人	第3位 福永 歩紗
7月14日 ～7月15日	第50回近畿高等学校剣道大会	女子団体	出 場
		女子個人	出 場 福永 歩紗
11月17日	和歌山県高校剣道段級別選手権大会	女子二・三段 の部	第3位 福永 歩紗 中家 美帆
1月12日 ～1月13日	和歌山県高校剣道新人大会兼全国選抜・近畿選抜 大会選考会	女子団体	優 勝 (新谷、田首、中家、木村、 福永、橋本、三尾)
		女子個人	準優勝 福永 歩紗
3月17日	第6回近畿高等学校剣道選抜大会	女子団体	ベスト8 (新谷、田首、中家、木村、 福永、橋本、三尾)
3月27日 ～3月28日	第22回全国高等学校剣道選抜大会	女子団体	出 場 (新谷、田首、中家、木村、 福永、橋本、三尾)
平成23(2011)年度			
6月3日 ～6月4日	和歌山県高等学校総合体育大会 剣道競技の部	女子 団体A	第3位 (宮本、尾ノ岡、大橋、出口、 北川、新谷、木村、福永)
		女子 団体B	第3位 (北川、土井、田首、中家、 橋本)
6月18日 ～6月19日	国体最終予選会	少年 女子の部	第5位 尾ノ岡 里佳

日 程	大 会 名	種 目	成 績
7月18日 ～7月19日	近畿高等学校剣道大会	女子団体	ベスト8 (宮本、尾ノ岡、大橋、出口、 新谷、北川、木村)
9月4日	第55回県下剣道優勝大会	高校生 女子の部	第3位 (土井、新谷、田首、木村、 中家、福永、橋本)
11月3日	和歌山県高校剣道段級別選手権大会	女子 有段の部	準優勝 木村 優希
1月11日 ～1月12日	和歌山県高校剣道新人大会	女子団体	第5位
<b>平成22(2010)年度</b>			
5月28日 ～5月30日	和歌山県高等学校総合体育大会 剣道競技の部	女子 団体A	第3位 (北口、西本、石井、小杉、 宮本、尾ノ岡)
		女子 団体B	第3位 (大橋、出口、北川、土井)
7月18日 ～7月19日	近畿高等学校剣道大会	女子団体	ベスト16 (北口、西本、石井、小杉、 宮本、尾ノ岡、大橋)
11月14日	和歌山県高校剣道段級別選手権大会	女子2級 以下の部	第3位 加納 千裕
1月11日 ～1月12日	和歌山県高校剣道新人大会	女子団体	第3位 (宮本、尾ノ岡、大橋、出口、 北川、土井)
3月20日	第4回近畿高等学校剣道選抜大会	女子団体	出場
<b>平成21(2009)年度</b>			
6月5日 ～6月7日	和歌山県高等学校総合体育大会 剣道競技の部	女子 団体A	第3位 (中井、深瀬、東、北口、 谷口、安村、佐竹)
		女子 団体B	第3位 (尾ノ岡、小杉、宮本、石井、 西本、大橋、出口)
		女子個人	準優勝 谷口 明日香
7月19日 ～7月20日	近畿高等学校剣道大会	女子団体	出 場
		女子個人	ベスト16 谷口 明日香
8月3日 ～8月5日	全国高等学校総合体育大会剣道大会	女子個人	出 場 谷口 明日香
11月14日	和歌山県高校剣道段級別選手権大会	男子2級 以下の部	優 勝 島本 悠一郎
		男子2級 以下の部	第3位 上中 敬介
1月11日 ～1月12日	和歌山県高校剣道新人大会	女子団体	準優勝 (宮本、尾ノ岡、西本、北口、 石井、大橋、出口)
3月21日	第3回近畿高等学校剣道選抜大会	女子団体	出場
<b>平成20(2008)年度</b>			
5月31日 ～6月1日	和歌山県高等学校総合体育大会 剣道競技の部	女子団体	第5位
		女子個人	第3位 谷口 明日香
7月20日	近畿高等学校剣道大会	女子団体	出 場
11月14日	和歌山県高校剣道段級別選手権大会	女子二・三段 の部	準優勝 谷口 明日香
1月9日 ～1月10日	和歌山県高校剣道新人大会	女子団体	準優勝 (中井、東、安村、深瀬、 谷口、西本、北口)
		女子個人	第3位 谷口 明日香
3月20日	第2回近畿高等学校剣道選抜大会	女子団体	出 場
<b>平成19(2007)年度</b>			
5月25日 ～5月27日	和歌山県高等学校総合体育大会 剣道競技の部	女子 団体A	準優勝 (谷口ス、谷口ア、川瀬、坂本、 辻、新井、前田)
		女子 団体B	第3位 (大藪、深瀬、安村、東、島、 佐竹、中井)
7月14日 ～7月15日	近畿高等学校剣道大会	女子団体	ベスト16 (谷口ス、前田、坂本、川瀬、 辻、新井、谷口)

日程	大会名	種目	成績
1月13日 ～1月14日	和歌山県高校剣道新人大会	女子団体	第3位 (前田、深瀬、新井、東、谷口、安村、佐竹)
3月20日	第1回近畿高等学校剣道選抜大会	女子団体	出場
<b>平成18(2006)年度</b>			
6月2日 ～6月4日	和歌山県高等学校総合体育大会 剣道競技の部	女子団体A	第3位 (谷口、小林、辻、平石、村本、樋上、川瀬)
7月16日 ～7月17日	近畿高等学校剣道大会	女子団体	ベスト16 (谷口、小林、辻、平石、村本、樋上、川瀬)
9月3日	県下剣道優勝大会	高校生女子の部	第3位 (谷口、坂本、川瀬、新井、辻)
11月18日	和歌山県高校剣道段級別選手権大会	女子2級以下の部	第3位 大藪 佳奈
1月13日 ～1月14日	和歌山県高校剣道新人大会	女子団体	第3位 (谷口、前田、坂本、川瀬、辻、島、新井)
<b>平成17(2005)年度</b>			
6月3日 ～6月5日	和歌山県高等学校総合体育大会 剣道競技の部	女子団体A	第3位
		女子個人	第3位 辻 早紀子
7月18日 ～7月19日	県下優勝大会	高校生女子の部	出場
9月4日	県下優勝大会	高校生女子の部	第3位
11月9日	和歌山県高校剣道段級別選手権大会	女子有段の部	第3位 辻 美乃里
1月13日 ～1月14日	和歌山県高校剣道新人大会	女子団体	第5位
		女子個人	第5位 辻 美乃里
<b>平成16(2004)年度</b>			
6月5日 ～6月7日	和歌山県高等学校総合体育大会 剣道競技の部	女子団体A	準優勝
9月	県下剣道優勝大会	高校生女子の部	優勝
11月	和歌山県高校剣道新人大会	女子団体	第5位

<b>⑮水泳部</b>			
<b>平成25(2013)年度</b>			
6月2日 ～6月3日	和歌山県高等学校選手権水泳競技大会	50m自由形 3位	(勝丸 敦己)
		100m自由形 出場	
		100m背泳ぎ 1位 200m背泳ぎ 2位	(平 ほたる)
6月20日 ～6月21日	和歌山県高等学校総合体育大会水泳競技大会	100m背泳ぎ 3位 200m自由形 出場	(山野 麻理愛)
		100m背泳ぎ 1位 200m背泳ぎ 1位	(平 ほたる)
		200m自由形 出場 100m背泳ぎ 3位	(山野 麻理愛)

日 程	大 会 名	種 目	成 績
7月22日 ～7月24日	近畿高等学校選手権大会水泳競技大会	100m背泳ぎ 出場	(平 ほたる)
		200m背泳ぎ 出場	
		200m自由形 出場	(山野 麻理愛)
		100m背泳ぎ 出場	
		50m自由形 出場	(勝丸 敦己)
		200m自由形 出場	(池田 昇一郎)
		100m自由形 出場	
		200m平泳ぎ 出場	(宮田 恭徹)
		200m個人 メドレー出場	
100m背泳ぎ 出場	(山本 真依子)		
200m背泳ぎ 出場			
女子400m リレー出場	(山野・山出・平・山本)		
女子400m メドレーリレー出場	(山本・山出・山野・平)		
9月21日	和歌山県高等学校新人選手権水泳競技大会	50m自由形 出場	(平 ほたる)
		50m背泳ぎ 1位	
		100m背泳ぎ 1位	
		50mバタフライ 1位	(山野 麻理愛)
		200m自由形 2位	
50m平泳ぎ 2位	(勝丸 敦己)		
100m自由形 出場			
50m自由形 2位			
<b>平成24(2012)年度</b>			
6月3日 ～6月4日	和歌山県高等学校選手権水泳競技大会	100m背泳ぎ 1位	(平 ほたる)
		200m背泳ぎ 1位	
		200m自由形 2位	(中谷 理人)
		400m自由形 2位	
		男子800m リレー3位	(池田・宮田・中村・中谷)
		男子400m リレー3位	(池田・中谷・宮田・中村)
		女子200m リレー2位	(西野・平・山野・山出)
女子400m リレー2位	(山野・山本・西野・平)		
女子400m メドレーリレー2位	(山本・平・山野・西野)		
6月14日 ～6月15日	和歌山県高等学校総合体育大会水泳競技大会	100m背泳ぎ 1位	(平 ほたる)
	200m背泳ぎ 1位		

日程	大会名	種目	成績
6月14日 ～6月15日	和歌山県高等学校総合体育大会水泳競技大会	100m自由形 出場	(山野 麻理愛)
		200m自由形 3位	
		50m自由形 3位	(山出 夏稔)
		100m自由形 2位	(中谷 理人)
		200m自由形 2位	
		50m自由形 2位	(西野 真菜)
		100m自由形 出場	
		男子800m リレー3位	(宮田・池田・中谷・梶原)
男子400m リレー3位	(梶原・中村・池田・中谷)		
女子400m リレー3位	(平・山本・山野・西野)		
女子400m メドレーリレー2位	(山本・平・山野・西野)		
7月23日 ～7月25日	近畿高等学校選手権大会水泳競技大会	100m背泳ぎ 出場	(平 ほたる)
		200m背泳ぎ 出場	
		100m自由形 出場	(山野 麻理愛)
		200m自由形 出場	
		100m自由形 出場	(池田 昇一郎)
		200m自由形 出場	
		50m自由形 出場	(山出 夏稔)
		200m背泳ぎ 出場	(山本 真依子)
		100m自由形 出場	(中谷 理人)
		200m自由形 出場	
		100mハーフ クワイ 出場	(中村 眞大)
		200mハーフ クワイ 出場	
		100m平泳ぎ 出場	(梶原 聡)
		200m平泳ぎ 出場	
50m自由形 出場	(西野 真菜)		
100m自由形 出場			
男子800m リレー出場	(宮田・梶原・中村・中谷)		
男子400m リレー出場	(中村・中谷・梶原・池田)		
男子400m メドレーリレー出場	(中谷・梶原・中村・池田)		
女子400m リレー出場	(西野・山本・山野・平)		
女子400m メドレーリレー出場	(山本・平・山野・西野)		

日 程	大 会 名	種 目	成 績
9月24日	和歌山県高等学校新人選手権水泳競技大会	50m背泳ぎ 1位	(平 ほたる)
		100m背泳ぎ 1位	
		200m個人 リレー1位	(山野 麻理愛)
		100m背泳ぎ 3位	
		400m自由形 出場	(池田 昇一郎)
200m個人 リレー3位			
		100m平泳ぎ 出場	(池田 昇一郎)
		100m自由形 出場	
		400m自由形 3位	(山本・平・山野・山出)
		女子200m リレー2位	
		女子200m リレー2位	(山野・山出・山本・平)
<b>平成23(2011)年度</b>			
5月29日 ～5月30日	和歌山県高等学校選手権水泳競技大会	200m自由形 2位	(中谷 理人)
		400m自由形 1位	
6月17日 ～6月18日	和歌山県高等学校総合体育大会水泳競技大会	100m自由形 2位	(中谷 理人)
		200m自由形 出場	
7月22日 ～7月24日	近畿高等学校選手権大会水泳競技大会	50m自由形	(山出 夏稔)
		200m平泳ぎ 出場	(宮田 恭徹)
		100m背泳ぎ 出場	(山本 真依子)
		200m背泳ぎ 出場	
		100m自由形 出場	(中谷 理人)
		200m自由形 出場	
		100mバタフライ 出場	(中村 真大)
		200mバタフライ 出場	
100m平泳ぎ 出場	(梶原 聡)		
200m平泳ぎ 出場			
9月19日	和歌山県高等学校新人選手権水泳競技大会	50m自由形 3位	(山出 夏稔)
		50m平泳ぎ 1位	(梶原 聡)
		100m平泳ぎ 3位	
		200m平泳ぎ 3位	
		100m自由形 3位	(西野 真菜)
		100m背泳ぎ 1位	

日程	大会名	種目	成績
<b>平成22(2010)年度</b>			
5月28日 ～5月29日	和歌山県高等学校選手権水泳競技大会	50m自由形 1位 100m自由形 1位	(中谷 理人)
6月18日 ～6月19日	和歌山県高等学校総合体育大会水泳競技大会	200m自由形 出場 400m自由形 3位	(石井 美佳)
		50m自由形 3位 100m自由形 3位	(中谷 理人)
7月22日 ～7月24日	近畿高等学校選手権大会水泳競技大会	200m自由形 出場 400m自由形 出場	(石井 美佳)
		100m平泳ぎ 出場 200m平泳ぎ 出場	(梶原 聡)
		50m自由形 出場 100m自由形 出場	(中谷 理人)
		50m自由形 出場 100m自由形 出場	(西野 真菜)
		100m <sup>ハ</sup> タフライ 出場 200m <sup>ハ</sup> タフライ 出場	(中村 眞大)
9月1日	和歌山県高等学校新人選手権水泳競技大会	50m平泳ぎ 3位 50m自由形 3位	(梶原 聡)
		50m自由形 1位 100m自由形 3位	(中谷 理人)
<b>平成21(2009)年度</b>			
5月29日 ～5月30日	和歌山県高等学校選手権水泳競技大会	100m自由形 3位	(道端 侑莉)
6月16日 ～6月20日	和歌山県高等学校総合体育大会水泳競技大会	100m自由形 2位 200m自由形 1位	(道端 侑莉)
<b>平成20(2008)年度</b>			
5月30日 ～5月31日	和歌山県高等学校選手権水泳競技大会	100m自由形 3位	(道端 侑莉)
6月20日 ～6月21日	和歌山県高等学校総合体育大会水泳競技大会	800m自由形 2位 400m自由形 2位	(道端 侑莉)
7月22日 ～7月24日	近畿高等学校選手権大会水泳競技大会	800m自由形 出場 400m自由形 出場	(道端 侑莉)
		100m自由形 出場 200m自由形 出場	(石井 美佳)

日 程	大 会 名	種 目	成 績
9月1日	和歌山県高等学校新人選手権水泳競技大会	100m自由形 1位 200m自由形 1位	(道端 侑莉)
<b>平成19(2007)年度</b>			
5月25日 ～5月26日	和歌山県高等学校選手権水泳競技大会	100m平泳ぎ 2位 200m個人 メドレー3位	(岡本)
		50m自由形 1位 100m背泳ぎ 1位	(湯川)
		100m <sup>メ</sup> タフライ 1位 200m <sup>ハ</sup> タフライ 1位	(立石)
		50m自由形 2位 100m自由形 2位	(道端)
6月15日 ～6月16日	和歌山県高等学校総合体育大会水泳競技大会	100m平泳ぎ 2位 200m平泳ぎ 2位	(岡本)
		100m背泳ぎ 1位 200m背泳ぎ 1位	(湯川)
		100m <sup>メ</sup> タフライ 1位 200m <sup>ハ</sup> タフライ 1位	(立石)
		200m自由形 3位 400m自由形 3位	(道端)
		50m自由形 7位	(森)
7月23日 ～7月25日	近畿高等学校選手権大会水泳競技大会	100m平泳ぎ 出場 200m平泳ぎ 出場	(岡本)
		100m背泳ぎ 3位 200m背泳ぎ 出場	(湯川)
		100m <sup>ハ</sup> タフライ 出場 200m <sup>ハ</sup> タフライ 出場	(立石)
		200m自由形 出場 400m自由形 出場	(道端)
		50m自由形 出場	(森)
		女子飛板飛込 6位	(中村)
8月18日	全国高等学校総合体育大会水泳競技大会	100m背泳ぎ 4位	(湯川)
9月8日	和歌山県高等学校新人選手権水泳競技大会	100m自由形 2位 50m自由形 3位	(道端)
		100m自由形 5位	(森)

日程	大会名	種目	成績
<b>平成18(2006)年度</b>			
5月26日 ～5月27日	和歌山県高等学校選手権水泳競技大会	100m背泳ぎ 200m背泳ぎ 2位	(湯川)
		100m平泳ぎ 200m平泳ぎ 2位	(岡本)
		100m <sup>ハ</sup> タライ 200m <sup>ハ</sup> タライ 2位	(立石)
		100m <sup>ハ</sup> タライ 3位	(松原)
		50m自由形 100m自由形 1位	(椿)
6月16日 ～6月17日	和歌山県高等学校総合体育大会水泳競技大会	100m平泳ぎ 2位 200m平泳ぎ 4位	(岡本)
		100m背泳ぎ 200m背泳ぎ 2位	(湯川)
		100m <sup>ハ</sup> タライ 4位 100m自由形 5位	(松原)
		50m自由形 100m自由形 1位	(椿)
		100m <sup>ハ</sup> タライ 200m <sup>ハ</sup> タライ 2位	(立石)
7月25日 ～7月27日	近畿高等学校選手権大会水泳競技大会	100m背泳ぎ 8位	(湯川)
		出場	(松原・立石・岡本・岡本直・椿・中村)
8月17日 ～8月20日	全国高等学校総合体育大会水泳競技大会	100m背泳ぎ 出場	(湯川)
		男子400m ストレーラー出場	
10月8日 ～10月11日	国民体育大会夏季水泳競技大会	出場	(湯川・椿)
<b>平成17(2005)年度</b>			
5月27日 ～5月28日	和歌山県高等学校選手権水泳競技大会	100m背泳ぎ 200m背泳ぎ 1位	(湯川)
		100m平泳ぎ 3位 200m平泳ぎ 4位	(岡本)
		100m <sup>ハ</sup> タライ 200m <sup>ハ</sup> タライ 5位	(立石)
		100m <sup>ハ</sup> タライ 6位	(坂口)
		100m <sup>ハ</sup> タライ 8位	(松原)
		50m自由形 100m自由形 1位	(椿)
		50m自由形 4位 100m <sup>ハ</sup> タライ 1位	(岡本直)
		100m平泳ぎ 8位	(中村)

日 程	大 会 名	種 目	成 績
5月27日 ～5月28日	和歌山県高等学校選手権水泳競技大会	400mリレー 3位	(男子)
		800mリレー 3位	(男子)
		400mメドレーリレー 2位	(男子)
6月17日 ～6月18日	和歌山県高等学校総合体育大会水泳競技大会	100mバタフライ 6位	(坂口)
		200mバタフライ 4位	
		100mバタフライ 1位	(岡本直)
		50m自由形 4位	
		100mバタフライ 4位	(松原)
		200mバタフライ 7位	
		50m自由形 100m自由形 1位	(椿)
		100mバタフライ 3位	(立石)
		200mバタフライ 5位	
		100m平泳ぎ 200m平泳ぎ 3位	(岡本)
100m背泳ぎ 200m背泳ぎ 2位	(湯川)		
200m背泳ぎ 7位	(中村)		
400m メドレーリレー 2位	(男子)		
400mリレー 800mリレー 3位	(男子)		
7月25日 ～7月27日	近畿高等学校選手権大会水泳競技大会	100m背泳ぎ 4位	湯川
		200m背泳ぎ 出場	(坂口・松原・立石・岡本・岡本直・椿・中村)
8月17日 ～8月20日	全国高等学校総合体育大会水泳競技大会	背泳ぎ100m 出場	(湯川)
9月17日 ～9月20日	国民体育大会夏季水泳競技大会	少年男子 200m背泳ぎ 8位	(湯川)
		少年男子 400mメドレーリレー 出場	(岡本・立石)
		少年女子 100m自由形 出場	(椿)
10月1日	和歌山県高等学校体育連盟水泳専門部合同記録会	参加 最優秀賞受賞	(岡本・湯川・立石) (湯川)
<b>平成16(2004)年度</b>			
7月22日 ～7月24日	近畿高等学校選手権大会水泳競技大会	100m自由形 2位	(上野山 優)
8月17日 ～8月20日	全国高等学校総合体育大会水泳競技大会	200m自由形 4位	
9月18日 ～9月21日	国民体育大会夏季水泳競技大会	100m自由形 出場	(上野山 優)
		200m自由形 出場	
9月18日 ～9月21日	国民体育大会夏季水泳競技大会	参加	(上野山 優) (椿 梨沙)

日 程	大 会 名	種 目	成 績
<b>⑩女子ホッケー部</b>			
<b>平成25(2013)年度</b>			
5月31日 ～6月2日	平成25年度県高等学校総合体育大会ホッケー競技大会		第3位
7月20日 ～7月22日	平成25年度第35回近畿高等学校ホッケー選手権大会		2回戦敗退
8月9日 ～8月10日	平成25年度県高等学校ホッケー選手権大会		第2位
11月9日 16・17日	平成25年度県高等学校ホッケー新人大会		第1位
12月21日 ～12月22日	平成25年度近畿高等学校選抜ホッケー大会		代表決定戦で敗退
<b>平成24(2012)年度</b>			
6月2日 ～6月3日	平成24年度県高等学校総合体育大会ホッケー競技大会		第4位
8月6日 ～8月7日	平成24年度県高等学校ホッケー選手権大会		第3位
11月9日 ～11月11日	平成24年度県高等学校ホッケー新人大会		第3位
<b>平成23(2011)年度</b>			
6月4日 ～6月5日	平成23年度県高等学校総合体育大会ホッケー競技大会		第1位
6月20日 ～6月21日	平成23年度全国高等学校総合体育大会近畿地区予選大会		代表決定戦で敗退
7月16日 ～7月18日	平成23年度第33回近畿高等学校ホッケー選手権大会		1回戦敗退
8月6日 ～8月7日	平成23年度県高等学校ホッケー選手権大会		第1位
9月4日	平成23年度和歌山県ホッケー選手権大会		第2位
11月12日 ～11月14日	平成23年度県高等学校ホッケー新人大会		第4位
<b>平成22(2010)年度</b>			
6月5日 ～6月6日	平成22年度県高等学校総合体育大会ホッケー競技大会		第3位
6月20日 ～6月21日	平成22年度全国高等学校総合体育大会近畿地区予選大会		代表決定戦で敗退
7月17日 ～7月19日	平成22年度第32回近畿高等学校ホッケー選手権大会		2回戦敗退
8月9日 ～8月10日	平成22年度県高等学校ホッケー選手権大会		第2位
9月5日	平成22年度和歌山県ホッケー選手権大会		第1位
11月12日 ～11月14日	平成22年度県高等学校ホッケー新人大会		第1位
12月20日 ～12月21日	平成22年度近畿高等学校選抜ホッケー大会		代表決定戦で敗退
<b>平成21(2009)年度</b>			
5月30日 ～5月31日	平成21年度県高等学校総合体育大会ホッケー競技大会		第1位
6月20日 ～6月21日	平成21年度全国高等学校総合体育大会近畿地区予選大会		25年ぶり3回目の全国大会出場決定
7月28日 ～7月30日	平成21年度第31回近畿高等学校ホッケー選手権大会		第3位
8月1日 ～8月2日	平成21年度県高等学校ホッケー選手権大会		第1位
8月6日 ～8月11日	平成21年度全国高等学校総合体育大会ホッケー競技大会		2回戦敗退
9月6日	平成21年度和歌山県ホッケー選手権大会		第2位

日 程	大 会 名	種 目	成 績
11月13日 ～11月15日	平成21年度県高等学校ホッケー新人大会		第1位
12月20日 ～12月21日	平成21年度近畿高等学校選抜ホッケー大会		代表決定戦で敗退
<b>平成20(2008)年度</b>			
5月31日 ～6月1日	平成20年度県高等学校総合体育大会ホッケー競技大会		第3位
8月9日 ～8月10日	平成20年度県高等学校ホッケー選手権大会		第3位
9月7日	平成20年度和歌山県ホッケー選手権大会		第1位
11月14日 ～11月16日	平成20年度県高等学校ホッケー新人大会		第1位
12月23日 ～12月24日	平成20年度近畿高等学校選抜ホッケー大会		代表決定戦で敗退
<b>平成19(2007)年度</b>			
6月2日 ～6月3日	平成19年度県高等学校総合体育大会ホッケー競技大会		第2位
7月14日 ～7月16日	平成19年度第29回近畿高等学校ホッケー選手権大会		1回戦敗退
8月4日 ～8月5日	平成19年度県高等学校ホッケー選手権大会		第2位
11月16日 ～11月18日	平成19年度県高等学校ホッケー新人大会		第1位
12月21日 ～12月25日	平成22年度近畿高等学校選抜ホッケー大会		代表決定戦で敗退
<b>平成18(2006)年度</b>			
6月3日 ～6月4日	平成18年度県高等学校総合体育大会ホッケー競技大会		第1位
6月17日 ～6月18日	平成18年度全国高等学校総合体育大会近畿地区予選大会		代表決定戦で敗退
7月21日 ～7月23日	平成18年度第28回近畿高等学校ホッケー選手権大会		1回戦敗退
11月17日 ～11月19日	平成18年度県高等学校ホッケー新人大会		第1位
12月21日 ～12月24日	平成18年度近畿高等学校選抜ホッケー大会		代表決定戦で敗退
<b>平成17(2005)年度</b>			
6月3日 ～6月5日	平成17年度県高等学校総合体育大会ホッケー競技大会		第1位
6月17日 ～6月18日	平成17年度全国高等学校総合体育大会近畿地区予選大会		代表決定戦で敗退
7月23日 ～7月25日	平成17年度第27回近畿高等学校ホッケー選手権大会		第3位
8月11日 ～8月12日	平成17年度県高等学校ホッケー選手権大会		第1位
11月18日 ～11月20日	平成17年度県高等学校ホッケー新人大会		第1位
12月21日 ～12月24日	平成17年度近畿高等学校選抜ホッケー大会		代表決定戦で敗退
<b>平成16(2004)年度</b>			
5月29日 ～5月30日	平成16年度県高等学校総合体育大会ホッケー競技大会		第1位
6月11日 ～6月13日	平成16年度全国高等学校総合体育大会近畿地区予選大会		代表決定戦で敗退
7月23日 ～7月25日	平成16年度第26回近畿高等学校ホッケー選手権大会		1回戦敗退
8月7日 ～8月8日	平成16年度県高等学校ホッケー選手権大会		1回戦敗退
11月19日 ～11月21日	平成16年度県高等学校ホッケー新人大会		第2位

日 程	大 会 名	種 目	成 績
<b>①柔道部</b>			
<b>平成25(2013)年度</b>			
5月3日	和歌山県ジュニア体重別選手権大会	個人55kg級	第4位(渡邊 雄一郎)
6月1日 ～6月3日	平成25年度和歌山県高等学校総合体育大会 柔道競技の部	男子団体	ベスト8
9月15日	平成25年度和歌山県高等学校柔道選手権大会	男子団体	ベスト8
<b>平成24(2012)年度</b>			
5月13日	和歌山県ジュニア柔道体重別選手権大会	個人78kg超級	第1位(山本 沙羅)
6月2日 ～6月4日	平成24年度和歌山県高等学校総合体育大会 柔道競技の部	女子団体	第3位
		個人78kg超級	第1位(山本 沙羅)
6月24日	和歌山県女子柔道体重別選手権大会 兼 国体選手選考会	無差別級	第1位(山本 沙羅)
7月8日	近畿ジュニア柔道体重別選手権大会	個人78kg超級	第1位(山本 沙羅)
8月6日	全国高等学校総合体育大会 柔道競技の部	個人78kg超級	ベスト16(山本 沙羅)
9月9日	全国ジュニア柔道体重別選手権大会	個人78kg超級	1回戦敗退(山本 沙羅)
11月17日 ～11月19日	平成24年度和歌山県高等学校柔道新人大会	個人段外の部	第1位(池崎 悠)
		個人段外の部	第3位(曾和 大輝)
<b>平成23(2011)年度</b>			
5月1日	和歌山県ジュニア柔道体重別選手権大会	個人78kg超級	第1位(山本 沙羅)
6月4日 ～6月6日	平成23年度和歌山県高等学校総合体育大会 柔道競技の部	男子団体	ベスト8
		個人78kg超級	第1位(山本 沙羅)
6月19日	和歌山県女子柔道体重別選手権大会 兼 国体選手選考会	女子無差別級	第1位(山本 沙羅)
		男子 60kg級	第2位(岡本 椋介)
8月9日	全国高等学校総合体育大会 柔道競技の部	個人78kg超級	ベスト16(山本 沙羅)
11月12日 ～11月14日	平成23年度和歌山県高等学校柔道新人大会	女子団体	第5位
		個人48kg級	第1位(渡邊 麻里奈)
		個人78kg超級	第1位(山本 沙羅)
12月18日	平成23年度和歌山県高等学校柔道新人大会 (個人大会)	無差別級	第1位(山本 沙羅)
1月29日	近畿高等学校柔道体重別選手権大会	個人78kg超級	第3位(山本 沙羅)
3月20日	全国高等学校柔道選手権大会	無差別級	ベスト16(山本 沙羅)
<b>平成22(2010)年度</b>			
5月9日	和歌山県ジュニア柔道体重別選手権大会	個人78kg超級	第1位(山本 沙羅)
～6月6日	平成22年度和歌山県高等学校総合体育大会 柔道競技の部	男子団体	ベスト8
		女子団体	ベスト8
		男子個人60kg級	第1位(野田 悠司)
		女子個人78kg超級	第3位(山本 沙羅)

日 程	大 会 名	種 目	成 績
6月20日	和歌山県女子柔道体重別選手権大会 兼 国体選手選考会	女子 無差別級	第3位(山本 沙羅)
		男子 60kg級	第2位(野田 悠司)
8月9日	全国高等学校総合体育大会 柔道競技の部	男子個人 60kg級	1回戦敗退(野田 悠司)
11月20日 ～11月22日	平成22年度和歌山県高等学校柔道新人大会	男子団体	ベスト8
		女子団体	ベスト8
		男子個人 60kg級	第3位(田川 翔太)
		女子個人 48kg級	第2位(渡邊 麻里奈)
		女子個人 78kg超級	第1位(山本 沙羅)
12月20日	平成22年度和歌山県高等学校柔道新人大会 (個人大会)	無差別級	第1位(山本 沙羅)
3月20日	全国高等学校柔道選手権大会	無差別級	(山本 沙羅) ※東日本大震災のため中止
<b>平成21(2009)年度</b>			
5月6日	和歌山県ジュニア柔道体重別選手権大会	男子個人 60kg級	第3位(池田 健児)
		男子個人 100kg超級	第3位(五十嵐 匡也)
		女子個人 70kg級	第3位(岡部 江利)
5月30日 ～6月1日	平成21年度和歌山県高等学校総合体育大会 柔道競技の部	男子団体	ベスト8
		女子団体	ベスト8
		男子個人 60kg級	第1位(池田 健児)
		男子個人 60kg級	第2位(野田 悠司)
		男子個人 60kg級	第3位(田川 翔太)
6月14日	和歌山県女子柔道体重別選手権大会 兼 国体選手選考会	男子個人 60kg級	第3位(池田 健児)
8月9日	全国高等学校総合体育大会 柔道競技の部	男子個人 60kg級	1回戦敗退(池田 健児)
11月14日 ～11月16日	平成21年度和歌山県高等学校柔道新人大会	男子個人 60kg級	第3位(田川 翔太)
		女子個人 70kg級	第2位(岡部 江利)
12月20日	平成21年度和歌山県高等学校柔道新人大会 (個人大会)	男子個人 60kg級	第3位(田川 翔太)
<b>平成20(2008)年度</b>			
4月27日	和歌山県ジュニア柔道体重別選手権大会	男子個人 60kg級	第3位(池田 健児)
		男子個人 66kg級	第1位(水谷 友也)
		女子個人 48kg級	第2位(小山 絵理)
5月31日 ～6月2日	平成20年度和歌山県高等学校総合体育大会 柔道競技の部	男子団体	ベスト8
		男子個人 66kg級	第2位(水谷 友也)
		女子個人 48kg級	第3位(小山 絵理)
6月15日	和歌山県女子柔道体重別選手権大会 兼 国体選手選考会	男子個人 73kg級	第1位(水谷 友也)
11月14日 ～11月16日	平成20年度和歌山県高等学校柔道新人大会	男子団体	第5位
		女子団体	ベスト8

日 程	大 会 名	種 目	成 績
11月14日 ～11月16日	平成20年度和歌山県高等学校柔道新人大会	男子個人 60kg級	第1位(池田 健児)
		男子個人 100kg超級	第3位(五十嵐 匡也)
		男子個人 段外の部	第1位(辻川 泰伸)
		女子個人 52kg級	第3位(岡本 珠穂)
		女子個人 57kg級	第3位(佐古 亜沙美)
		女子個人 70kg級	第3位(岡部 江利)
<b>平成19(2007)年度</b>			
4月29日	和歌山県ジュニア柔道体重別選手権大会	男子個人 66kg級	第3位(水谷 友也)
		男子個人 90kg級	第2位(木村 優太)
		女子個人 63kg級	第3位(勝山 奈月)
6月2日 ～6月4日	平成19年度和歌山県高等学校総合体育大会 柔道競技の部	女子団体	第3位
		男子個人 66kg級	第3位(水谷 友也)
		男子個人 90kg級	第3位(木村 優太)
		女子個人 57kg級	第3位(高橋 綾菜)
		女子個人 57kg級	第3位(松野 瑛代)
11月18日 ～11月20日	平成19年度和歌山県高等学校柔道新人大会	男子個人 60kg級	第3位(池田 健児)
		男子個人 66kg級	第2位(水谷 友也)
		男子個人 60kg級	第1位(池田 健児)
		男子個人 段外の部	第3位(五十嵐 匡也)
		女子個人 48kg級	第3位(小山 絵理)
<b>平成18(2006)年度</b>			
4月30日	和歌山県ジュニア柔道体重別選手権大会	男子個人 81kg級	第3位(福村 一樹)
		女子個人 52kg級	第3位(崎山 彩乃)
		女子個人 57kg級	第2位(辻本 真保)
		女子個人 63kg級	第2位(勝山 奈月)
		女子個人 78kg超級	第3位(芝 似梨加)
6月3日 ～6月5日	平成18年度和歌山県高等学校総合体育大会 柔道競技の部	女子団体	第3位
		男子個人 90kg級	第3位(木村 優太)
		女子個人 57kg級	第2位(辻本 真保)
		女子個人 57kg級	第3位(松野 瑛代)
		女子個人 63kg級	第2位(勝山 奈月)
		女子個人 78kg超級	第3位(芝 似梨加)
6月25日	和歌山県柔道体重別選手権大会 兼 国体選手選考会	男子個人 無差別級	第3位(上田 雅人)
11月14日 ～11月16日	平成18年度和歌山県高等学校柔道新人大会	男子団体	第5位

日 程	大 会 名	種 目	成 績
11月14日 ～11月16日	平成18年度和歌山県高等学校柔道新人大会	女子団体	第5位
		女子個人 57kg級	第3位(松野 瑛代)
		女子個人 63kg級	第2位(勝山 奈月)
<b>平成17(2005)年度</b>			
5月8日	和歌山県ジュニア柔道体重別選手権大会	男子個人 81kg級	第3位(粉川 翔太郎)
		男子個人 90kg級	第3位(齊藤 茂雄)
		女子個人 48kg級	第2位(山八 朱里)
		女子個人 63kg級	第2位(阪本 久美)
		女子個人 78kg級	第3位(中田 麻里奈)
		女子個人 78kg超級	第3位(芝 似梨加)
6月4日 ～6月6日	平成17年度和歌山県高等学校総合体育大会 柔道競技の部	女子団体	第3位
		女子個人 48kg級	第3位(山八 朱里)
		女子個人 70kg級	第2位(加川 弥生)
		女子個人 78kg級	第3位(中田 麻里奈)
		女子個人 78kg超級	第2位(芝 似梨加)
7月13日	和歌山県柔道体重別選手権大会 兼 国体選手選考会	女子個人 52kg級	第3位(山八 朱里)
11月19日 ～11月21日	平成17年度和歌山県高等学校柔道新人大会	女子団体	第3位
		男子個人 90kg級	第3位(木村 優太)
		女子個人 52kg級	第3位(崎山 彩乃)
		女子個人 52kg級	第2位(松野 瑛代)
		女子個人 63kg級	第2位(勝山 奈月)
		女子個人 78kg超級	第3位(芝 似梨加)
<b>平成16(2004)年度</b>			
5月9日	和歌山県ジュニア柔道体重別選手権大会	男子個人 66kg級	第2位(藤原 達矢)
		男子個人 73kg級	第2位(貴志 健太郎)
		男子個人 90kg級	第2位(古川 勝基)
		男子個人 90kg級	第3位(木村 昌司)
		女子個人 70kg級	第2位(加川 弥生)
5月29日 ～5月31日	平成16年度和歌山県高等学校総合体育大会 柔道競技の部	女子団体	第3位
		男子個人 66kg級	第2位(藤原 達矢)
		男子個人 73kg級	第2位(貴志 健太郎)
		男子個人 90kg級	第1位(古川 勝基)
		女子個人 52kg級	第3位(廣井 聖)
		女子個人 70kg級	第3位(加川 弥生)

日程	大会名	種目	成績
6月23日	和歌山県柔道体重別選手権大会 兼 国体選手選考会	男子個人 73kg級	第1位(貴志 健太郎)
		男子個人 90kg級	第3位(古川 勝基)
		女子個人 70kg級	第3位(加川 弥生)
8月2日	全国高等学校総合体育大会 柔道競技の部	男子個人 90kg級	2回戦敗退 (古川 勝基)
8月8日	近畿高校女子柔道体重別選手権大会 和歌山県予選	女子個人 52kg級	第3位(廣井 聖)
		女子個人 63kg級	第3位(阪本 久美)
		女子個人 70kg級	第3位(加川 弥生)
		女子個人 78kg級	第3位(中田 麻里奈)
		女子個人 78kg超級	第3位(芝 似梨加)
11月20日 ~11月22日	平成16年度和歌山県高等学校柔道新人大会	女子団体	第2位
		女子個人 63kg級	第3位(阪本 久美)
		女子個人 70kg級	第1位(加川 弥生)
		女子個人 78kg級	第2位(中田 麻里奈)
		女子個人 78kg超級	第2位(芝 似梨加)
3月20日	全国高等学校柔道選手権大会	女子個人 70kg級	1回戦敗退(加川 弥生)

⑩サッカー部			
<b>平成25(2013)年度</b>			
10月27日	選手権大会 (和歌山大会)		敗
12月14日	新人大会 和歌山市予選		勝
12月23日	新人大会 和歌山市予選		敗
12月25日	新人大会 和歌山市予選		敗
1月11日	新人大会 和歌山市予選		勝
1月18日	新人大会 和歌山市予選		勝
2月8日	新人大会 和歌山市予選		敗
<b>平成24(2012)年度</b>			
5月26日	高校総体		1回戦敗退
10月20日	選手権大会 (和歌山大会)		1回戦敗退
12月15日	新人大会 和歌山市予選		敗
12月22日	新人大会 和歌山市予選		敗
12月24日	新人大会 和歌山市予選		敗
1月6日	新人大会 和歌山市予選		勝
1月14日	新人大会 和歌山市予選		勝
1月19日	新人大会 和歌山市予選		勝

日 程	大 会 名	種 目	成 績
1月26日	新人大会 和歌山市予選		勝
2月9日	新人大会 和歌山市予選		敗
<b>平成23(2011)年度</b>			
5月28日	高校総体		1回戦突破
5月30日	高校総体		2回戦敗退
10月22日	選手権大会 (和歌山大会)		1回戦敗退
12月17日	新人大会 和歌山市予選		敗
12月24日	新人大会 和歌山市予選		敗
1月7日	新人大会 和歌山市予選		敗
1月15日	新人大会 和歌山市予選		勝
<b>平成22(2010)年度</b>			
1月15日	県高校新人大会		勝
1月16日	県高校新人大会		敗
1月29日	県高校新人大会		敗
<b>平成21(2009)年度</b>			
5月30日	高校総体		敗
10月31日	選手権大会 (和歌山大会)		敗
12月23日	新人大会 和歌山市予選		敗
1月10日	新人大会 和歌山市予選		敗
1月11日	新人大会 和歌山市予選		敗
1月16日	新人大会 和歌山市予選		敗
1月17日	新人大会 和歌山市予選		敗
1月23日	新人大会 和歌山市予選		敗
1月24日	新人大会 和歌山市予選		勝
1月30日	新人大会 和歌山市予選		敗
2月21日	新人大会 和歌山市予選		敗
<b>平成20(2008)年度</b>			
5月	高校総体		敗
11月	選手権大会 (和歌山大会)		敗
1月	新人大会 和歌山市予選		敗
1月	新人大会 和歌山市予選		敗
1月	新人大会 和歌山市予選		敗
1月	新人大会 和歌山市予選		敗
1月	新人大会 和歌山市予選		勝

日 程	大 会 名	種 目	成 績
1 月	新人大会 和歌山市予選		勝
1 月	新人大会 和歌山市予選		分
1 月	新人大会 和歌山市予選		勝
2 月	新人大会 和歌山市予選		敗
<b>平成19(2007)年度</b>			
5月26日	高校総体		1回戦突破
5月27日	高校総体		2回戦敗退
11月1日	選手権大会 (和歌山大会)		1回戦敗退
1月12日	新人大会 和歌山市予選		敗
1月13日	新人大会 和歌山市予選		敗
1月14日	新人大会 和歌山市予選		敗
1月19日	新人大会 和歌山市予選		敗
1月20日	新人大会 和歌山市予選		敗
1月26日	新人大会 和歌山市予選		敗
1月27日	新人大会 和歌山市予選		分
<b>平成18(2006)年度</b>			
5月27日	高校総体		1回戦敗退
11月2日	選手権大会 (和歌山大会)		1回戦敗退
12月16日	新人大会 和歌山市予選		敗
12月24日	新人大会 和歌山市予選		敗
1月6日	新人大会 和歌山市予選		敗
1月7日	新人大会 和歌山市予選		敗
1月8日	新人大会 和歌山市予選		敗
1月13日	新人大会 和歌山市予選		敗
1月14日	新人大会 和歌山市予選		敗
1月21日	新人大会 和歌山市予選		敗
<b>平成17(2005)年度</b>			
5月28日	高校総体		1回戦敗退
<b>平成16(2004)年度</b>			
5月29日	高校総体		1回戦突破
5月30日	高校総体		2回戦敗退
11月4日	選手権大会 (和歌山大会)		1回戦敗退
12月18日	新人大会 和歌山市予選		敗
12月19日	新人大会 和歌山市予選		敗

日 程	大 会 名	種 目	成 績
12月20日	新人大会 和歌山市予選		敗

### ⑱相撲部

#### 平成25(2013)年度

4月29日	県高校相撲春季大会	団体戦3人制	準優勝(粉川・藤原)
5月26日	第97回高等学校相撲金沢大会	団体戦	予選敗退(粉川・藤原)
11月3日	県高校相撲新人大会	団体戦3人制	準優勝(藤原・知念・富士)
		団体戦5人制	準優勝(藤原・知念・富士)
		個人戦 80Kg未満級	第3位(藤原 明宏)

#### 平成24(2012)年度

4月29日	県高校相撲春季大会	団体戦3人制	準優勝(平野・粉川)
5月26日	第96回高等学校相撲金沢大会	団体戦	予選敗退(平野・粉川)
6月9日	和歌山県高校総体相撲競技	団体戦	準優勝(平野・粉川・新田・福井)

#### 平成23(2011)年度

4月29日	県高校相撲春季大会	団体戦	準優勝(寺本・玉置・平野・粉川)
		個人戦	優 勝(寺本 昂平)
5月15日	第58回近畿高校相撲大会	団体戦	ベスト8(寺本・玉置・平野・粉川)
		個人戦 100Kg以上級	準優勝(寺本 昂平)
5月29日	第95回高等学校相撲金沢大会	団体戦	ベスト32(寺本・玉置・平野・粉川)
		個人戦	ベスト32(寺本 昂平)
6月11日	和歌山県高校総体相撲競技	団体戦	準優勝(寺本・玉置・平野・粉川)
		個人戦	第3位(寺本 昂平)
7月29日 ～7月30日	全国高校総体相撲競技	個人戦	予選敗退(寺本 昂平)
10月2日	第72回近畿高校招待相撲大会	個人戦	第3位(寺本 昂平)
10月8日 ～10月9日	第66回国民体育大会相撲競技	団体戦	第5位(寺本 昂平)
		個人戦	個人決勝 ベスト32(寺本 昂平)
11月5日	県高校相撲新人大会	団体戦	準優勝(平野・粉川)

#### 平成22(2010)年度

4月29日	県高校相撲春季大会	団体戦	優 勝(西浦・高木・堀内・寺本・玉置・平野)
		個人戦	準優勝(高木 大幹)
5月9日	第57回近畿高校相撲大会	団体戦	ベスト8(西浦・高木・堀内・寺本・玉置・平野)
		個人戦 100Kg以下級	第3位(高木 大幹)
		個人戦 無差別級	優 勝(寺本 昂平)
5月23日	第94回高等学校相撲金沢大会	団体戦	ベスト8(西浦・高木・堀内・寺本・玉置・平野)

日 程	大 会 名	種 目	成 績
6月5日	和歌山県高校総体相撲競技	団体戦	優 勝(西浦・高木・堀内・寺本・玉置・平野)
		個人戦	第3位(高木 大幹, 寺本 昂平)
8月2日 ～8月4日	全国高校総体相撲競技	団体戦	決勝トーナメント1回戦敗退 (西浦・高木・堀内・寺本・玉置)
		個人戦	決勝トーナメント1回戦敗退 (高木 大幹)
9月26日 ～9月27日	第65回国民体育大会相撲競技	団体戦	予選敗退 (西浦・高木・堀内・寺本)
10月10日	第71回近畿高校招待相撲大会	団体戦	優 勝(西浦・高木・堀内・寺本・玉置・平野)
11月6日	県高校相撲新人大会	団体戦5人制	優 勝(寺本・玉置・平野)
		団体3人制	準優勝(寺本・玉置・平野)
		個人戦	優 勝(寺本 昂平)
3月20日	全国高等学校相撲新人相撲選手権大会	個人戦	出場者(寺本 昂平) 東日本大震災の為、中止
<b>平成21(2009)年度</b>			
4月29日	県高校相撲春季大会	団体戦	優 勝
		個人戦	第3位(柳原 清寿, 堀内 群青)
5月10日	第56回近畿高校相撲大会	団体戦	ハズレ8
		個人戦 100Kg以下級	優 勝(高木 大幹)
		個人戦 115Kg以上級	第3位(寺本 昂平)
5月27日	第93回高等学校相撲金沢大会	団体戦	予選敗退
6月7日	和歌山県高校総体相撲競技	団体戦	準優勝
		個人戦	優 勝(西浦 準樹) 準優勝(柳原 清寿) 第3位(堀内 群青)
7月31日 ～8月1日	全国高校総体相撲競技	個人戦	出場者(西浦 準樹, 柳原 清寿)
9月27日 ～9月28日	第64回国民体育大会相撲競技	団体戦	出場者(柳原・西浦・堀内・寺本・高木)
10月11日	第70回近畿高校招待相撲大会	団体戦	準優勝
		個人戦	第3位(西浦 準樹)
11月7日	県高校相撲新人大会	団体戦	優 勝
		個人戦	優 勝(寺本 昂平) 準優勝(高木 大幹) 第3位(堀内 群青, 西浦 準樹)
3月20日	全国高等学校相撲新人相撲選手権大会	団体戦	出場
<b>平成20(2008)年度</b>			
4月29日	県高校相撲春季大会	団体戦3人制	準優勝(高木・西浦・柳原)
		団体戦5人制	優 勝(柳原・西浦・堀内・本田・高木)
		個人戦	優 勝(柳原 清寿) 第3位(西浦 準樹, 堀内 群青)
5月11日	第55回近畿高校相撲大会	団体戦	ハズレ8 (柳原・西浦・堀内・高木・五十嵐)
5月26日	第92回高等学校相撲金沢大会	団体戦	予選敗退(西浦・堀内・柳原)
6月7日	和歌山県高校総体相撲競技	団体戦	準優勝(柳原・五十嵐・西浦・高木・堀内)

日 程	大 会 名	種 目	成 績
6月7日	和歌山県高校総体相撲競技	個人戦	準優勝(柳原 清寿)
7月29日 ～7月31日	全国高校総体相撲競技	個人戦	決勝トーナメント進出(柳原 清寿)
10月5日 ～10月7日	第63回国民体育大会相撲競技	団体戦	決勝トーナメント進出 (柳原・高木・西浦・堀内)
		個人戦	決勝トーナメント進出 (高木 大幹, 西浦 準樹)
10月12日	第70回近畿高校招待相撲大会	団体戦	ベスト8(堀内・柳原・西浦)
11月8日	県高校相撲新人大会	団体戦3人制	優 勝(堀内・柳原・高木)
		団体戦5人制	優 勝(柳原・西浦・堀内・本田・高木)
		個人戦	第3位(柳原 清寿, 堀内 群青)
2月8日	全国選抜高校相撲弘前大会	団体戦	決勝トーナメント進出
3月21日 ～3月22日	全国高等学校相撲新人相撲選手権大会	団体戦	決勝トーナメント進出
<b>平成19(2007)年度</b>			
4月28日	県高校相撲春季大会	団体戦3人制	優 勝(畠中・小森・橋本)
		団体戦5人制	優 勝(小森・畠中・橋本・柳原)
		個人戦	準優勝(橋本 陽平) 第3位(小森 貴裕, 畠中 正博)
5月13日	第54回近畿高校相撲大会	団体戦	準優勝(畠中・小森・柳原・橋本・木村)
5月27日	第91回高等学校相撲金沢大会	団体戦	予選敗退(小森・畠中・橋本)
6月9日	和歌山県高校総体相撲競技	団体戦	優 勝(柳原・木村・橋本・畠中・小森)
		個人戦	優 勝(小森 貴裕) 第3位(畠中 正博, 橋本陽平)
8月2日 ～8月4日	全国高校総体相撲競技	団体戦	予選敗退(柳原・木村・橋本・畠中・小森)
		個人戦	第5位 小森貴裕 決勝トーナメント進出 畠中正博
9月30日 ～10月1日	第62回国民体育大会相撲競技	団体戦	予選敗退(柳原・橋本・畠中・小森)
11月10日	県高校相撲新人大会	団体戦3人制	準優勝(泉平・高山・柳原)
		団体戦5人制	準優勝(泉平・柳原・五十嵐・高山)
		個人戦	準優勝(柳原 清寿)
<b>平成18(2006)年度</b>			
4月29日	県高校相撲春季大会	団体戦3人制	優 勝(津島・小森・兼田)
		団体戦5人制	優 勝(小森・兼田・津島・畠中・谷澤)
		個人戦	優 勝(津島 竜太) 準優勝(兼田 大士) 第3位(小森 貴裕)
5月14日	第53回近畿高校相撲大会	団体戦	第3位(小森・兼田・津島・畠中・谷澤)
		個人戦	優 勝(津島 竜太)
5月28日	第90回高等学校相撲金沢大会	団体戦	ベスト16(津島・小森・兼田)
		個人戦	ベスト16(津島 竜太)
6月10日	和歌山県高校総体相撲競技	団体戦	優 勝(小森・橋本・兼田・畠中・津島)

日 程	大 会 名	種 目	成 績
6月10日	和歌山県高校総体相撲競技	個人戦	優 勝(津島 竜太) 第3位(兼田 大土,小森 貴裕)
8月2日 ~8月4日	全国高校総体相撲競技	団体戦	ベスト32(小森・兼田・畠中・津島・ 谷澤)
		個人戦	ベスト16(津島 竜太) ベスト64(兼田 大土)
9月3日	全国選抜高校相撲宇佐大会	団体戦	ベスト16(津島・小森・兼田)
10月1日 ~10月2日	第61回国民体育大会相撲競技	団体戦	ベスト16(津島・兼田・谷澤・小森・ 畠中)
11月11日	県高校相撲新人大会	団体戦3人制	準優勝(小森・畠中・橋本)
		団体戦5人制	準優勝(小森・畠中・吉田・砂山・ 橋本)
		個人戦	準優勝(畠中 正博) 第3位(小森 貴裕)
<b>平成17(2005)年度</b>			
4月29日	県高校相撲春季大会	団体戦3人制	優 勝(津島・富田・兼田)
		団体戦5人制	優 勝(小森・兼田・橋本・富田・ 津島)
		個人戦	優 勝(富田 元輝) 第3位(津島 竜太)
5月8日	第52回近畿高校相撲大会	団体戦	ベスト8(小森・兼田・富田・津島・ 谷澤)
		個人戦 95Kg以下級	第3位(橋本 陽平)
		個人戦 115Kg以下級	準優勝(津島 竜太)
		個人戦 無差別級	優 勝(富田 元輝)
5月29日	第89回全国高校相撲金沢大会	団体戦	ベスト32(富田・兼田・津島)
6月11日	和歌山県高校総体相撲競技	団体戦	優 勝(小森・兼田・谷澤・津島・ 富田)
		個人戦	優 勝(富田 元輝) 第3位(津島 竜太)
8月2日 ~8月4日	全国高校総体相撲競技	団体戦	ベスト32(小森・兼田・宮階・津島・ 富田)
		個人戦	ベスト32(津島 竜太)
8月6日	全国高校相撲東西対抗	個人戦	3回戦敗退(富田 元輝)
9月25日	全国選抜高校相撲宇佐大会	団体戦	予選敗退(富田・兼田・津島)
10月23日 ~10月26日	第60回国民体育大会相撲競技	団体戦	決勝トーナメント進出 (富田・津島・小森)
		個人戦	ベスト16(津島 竜太)
10月16日	近畿高校招待相撲大会	団体戦	優 勝(富田・兼田・津島)
2月12日	全国選抜弘前大会	団体戦	ベスト8(津島・兼田・小森)
		個人戦	ベスト8(津島 竜太)
3月19日	全国高等学校相撲新人相撲選手権大会	団体戦	ベスト8(小森・兼田・津島)
<b>平成16(2004)年度</b>			
4月29日	県高校相撲春季大会	団体戦3人制	優 勝(田原・橋本・富田)
		団体戦5人制	優 勝(津島・宮階・田原・橋本・ 富田)
		個人戦	準優勝(津島 竜太)
5月9日	第51回近畿高校相撲大会	団体戦	ベスト8(橋本・田原・富田・津島・ 宮階)

日 程	大 会 名	種 目	成 績
5月9日	第51回近畿高校相撲大会	個人戦 75Kg以下級	準優勝(田原 健次)
		個人戦 95Kg以下級	第3位(宮階 雄大)
		個人戦 115Kg以下級	第3位(富田 元輝, 津島 竜太)
		個人戦 無差別級	第3位(富田 元輝)
5月30日	第88回全国高校相撲金沢大会	団体戦	ベスト32(橋本・田原・富田)
		個人戦	ベスト8(富田 元輝)
6月12日	和歌山県高校総体相撲競技	団体戦	優 勝(富田・田原・橋本・津島・ 宮階)
		個人戦	優 勝(田原 健次) 準優勝(富田 元輝)
8月2日 ～8月4日	全国高校総体相撲競技	団体戦	ベスト32(富田・田原・宮階・津島・ 橋本)
		個人戦	ベスト64(田原 健次・富田 元輝)
8月6日	全国高校相撲東西対抗	個人戦	出場(田原 健次)
9月26日	全国選抜高校相撲宇佐大会	団体戦	予選敗退(富田・津島・兼田・宮階)
		個人戦	ベスト32(津島 竜太)
10月23日 ～10月24日	第59回国民体育大会相撲競技	団体戦	予選敗退(田原・橋本・富田・津島)
		個人戦	ベスト32(富田 元輝)
11月13日	県高校相撲新人大会	団体戦	優 勝(津島・谷澤・富田)
		個人戦	優 勝(津島 竜太) 第3位(富田 元輝)
2月13日	全国選抜弘前大会	団体戦	予選敗退(津島・兼田・富田)
		個人戦	第3位(津島 竜太) ベスト8(富田 元輝)
3月20日	全国高等学校相撲新人相撲選手権大会	団体戦	ベスト8(富田・兼田・津島)

日 程	大 会 名	種 目	成 績
<b>①合唱部</b>			
<b>平成25(2013)年度</b>			
6月	県高等学校文化連盟 発声研修会		
10月	文化祭		
	県高等学校総合文化祭 研修会		
	県高等学校総合文化祭 発表会		
<b>平成24(2012)年度</b>			
6月	県高等学校文化連盟 発声研修会		
11月	第32回近畿高等学校総合文化祭和歌山大会 総合開会式		
	第32回近畿高等学校総合文化祭和歌山大会 合唱部門		
<b>平成23(2011)年度</b>			
4月	新入生歓迎会		
6月	県高等学校文化連盟 発声研修会		
10月	文化祭		
	県高等学校総合文化祭 研修会		
	県高等学校総合文化祭 発表会		
11月	第31回近畿高等学校総合文化祭滋賀大会 合唱部門		
	ふれあい祭		
<b>平成22(2010)年度</b>			
4月	新入生歓迎会		
8月	第77回全国学校音楽コンクール和歌山県予選		銅賞
10月	文化祭発表		
	県高等学校総合文化祭 研修会		
	県高等学校総合文化祭 発表会		
11月	和商ふれあい祭		
12月	クリスマスコンサート		
	砂山小学校交流会		
<b>平成21(2009)年度</b>			
<b>平成20(2008)年度</b>			
10月	県高等学校総合文化祭 研修会		
	県高等学校総合文化祭 発表会		
11月	和商ふれあい祭		
<b>平成19(2007)年度</b>			
<b>平成18(2006)年度</b>			
7月	発声研修会		

日 程	大 会 名	種 目	成 績
10月	県高等学校総合文化祭 研修会		
10月	県高等学校総合文化祭 発表会		
<b>平成17(2005)年度</b>			
<b>平成16(2004)年度</b>			

<b>②吹奏楽部</b>			
<b>平成25(2013)年度</b>			
8月4日	第49回和歌山県吹奏楽コンクール	A部門	金賞
12月25日	和歌山海南地区アンサンブルコンテスト	金管8重奏	金賞
		打楽器5重奏	金賞
		サククス4重奏	金賞
		クラリネット5重奏	銀賞
		木管4重奏	銀賞
		金管6重奏	銅賞
1月13日	第42回和歌山県アンサンブルコンテスト	金管8重奏	銀賞
		打楽器5重奏	銀賞
<b>平成24(2012)年度</b>			
8月5日	第48回和歌山県吹奏楽コンクール	A部門	金賞
12月24日	和歌山海南地区アンサンブルコンテスト	打楽器4重奏	金賞
		金管8重奏	銀賞
		バリチュー4重奏	銀賞
		木管8重奏	銀賞
		金管5重奏	銅賞
		木管6重奏	銅賞
<b>平成23(2011)年度</b>			
8月7日	第47回和歌山県吹奏楽コンクール	A部門	金賞
		B部門	金賞
12月24日	和歌山海南地区アンサンブルコンテスト	金管8重奏	金賞
		サククス5重奏	金賞
		打楽器6重奏	金賞
		木管3重奏	銀賞
		木管5重奏	銀賞
		金管5重奏	銀賞
		バリチュー3重奏	銅賞
1月15日	第40回和歌山県アンサンブルコンテスト	金管8重奏	銀賞

日 程	大 会 名	種 目	成 績
<b>平成22(2010)年度</b>			
8月8日	第46回和歌山県吹奏楽コンクール	A部門	金賞
		B部門	銀賞
12月27日	和歌山海南地区アンサンブルコンテスト	金管8重奏	金賞
		クラリネット 8重奏	金賞
		サククス 4重奏	金賞
		フルート 4重奏	銀賞
		打楽器5重奏	銀賞
		金管6重奏	銀賞
		木管4重奏	銅賞
		サククス 3重奏	銅賞
<b>平成21(2009)年度</b>			
8月3日	第46回和歌山県吹奏楽コンクール	A部門	金賞
12月25日	和歌山海南地区アンサンブルコンテスト	金管8重奏	金賞
		金管7重奏	金賞
		クラリネット 7重奏	金賞
		サククス 4重奏	金賞
		フルート 3重奏	銀賞
		木管3重奏	銀賞
		打楽器5重奏	銀賞
1月17日	第38回和歌山県アンサンブルコンテスト	金管8重奏	金賞
		金管7重奏	銀賞
<b>平成20(2008)年度</b>			
8月3日	第45回和歌山県吹奏楽コンクール	A部門	金賞(県代表) 県知事賞
		B部門	金賞 県教育委員会賞
8月28日	第58回関西吹奏楽コンクール	A部門	銅賞
12月26日	和歌山海南地区アンサンブルコンテスト	金管8重奏	金賞
		金管5重奏	金賞
		フルート 4重奏	金賞
		クラリネット 8重奏	金賞
		サククス 4重奏	金賞
1月18日	第37回和歌山県アンサンブルコンテスト	金管8重奏	金賞
		金管5重奏	銀賞

日 程	大 会 名	種 目	成 績
<b>平成19(2007)年度</b>			
8月5日	第44回和歌山県吹奏楽コンクール	A部門	金賞(県代表) 県知事賞
		B部門	銀賞
8月26日	第57回関西吹奏楽コンクール	A部門	銅賞
12月27日	和歌山海南地区アンサンブルコンテスト	金管8重奏	金賞
		フルート 4重奏	金賞
		クラリネット 8重奏	金賞
		サククス 4重奏	金賞
		金管6重奏	金賞
		打楽器4重奏	銀賞
1月13日	第36回和歌山県アンサンブルコンテスト	金管8重奏	金賞
<b>平成18(2006)年度</b>			
8月6日	第43回和歌山県吹奏楽コンクール	A部門	金賞(県代表) 県知事賞
		B部門	金賞 県教育委員会賞
8月25日	第56回関西吹奏楽コンクール	A部門	銅賞
12月26日	和歌山海南地区アンサンブルコンテスト	金管8重奏	金賞
		クラリネット 8重奏	金賞
		サククス 4重奏	金賞
		オーボエ 3重奏	金賞
1月14日	第35回和歌山県アンサンブルコンテスト	金管8重奏	金賞(県代表)
2月11日	第33回関西アンサンブルコンテスト	金管8重奏	銅賞
<b>平成17(2005)年度</b>			
8月7日	第42回和歌山県吹奏楽コンクール	A部門	金賞
		B部門	銀賞
12月27日	和歌山海南地区アンサンブルコンテスト	クラリネット 8重奏	金賞
		金管8重奏	金賞
		フルート 4重奏	金賞
		金管6重奏	銀賞
		サククス 4重奏	銀賞
		打楽器5重奏	銀賞
1月15日	第34回関西アンサンブルコンテスト	クラリネット 8重奏	金賞
		金管8重奏	金賞
<b>平成16(2004)年度</b>			
8月8日	第41回和歌山県吹奏楽コンクール	A部門	金賞(県代表) 県知事賞
		B部門	銀賞

日 程	大 会 名	種 目	成 績
12月26日	和歌山海南地区アンサンブルコンテスト	サククス 4重奏	金賞
		金管8重奏	金賞
		クラリネット 6重奏	金賞
12月26日	和歌山海南地区アンサンブルコンテスト	木管5重奏	銀賞
		金管8重奏	銀賞
		木管6重奏	銀賞
		打楽器4重奏	銀賞
1月16日	第33回和歌山県アンサンブルコンテスト	サククス 4重奏	銀賞

③演劇部			
<b>平成25(2013)年度</b>			
	和歌山県高等学校総合文化祭演劇部門	演劇	優秀賞
<b>平成24(2012)年度</b>			
	和歌山県高等学校総合文化祭演劇部門	演劇	
<b>平成23(2011)年度</b>			
	和歌山県高等学校総合文化祭演劇部門	演劇	
<b>平成22(2010)年度</b>			
	和歌山県高等学校総合文化祭演劇部門	演劇	
<b>平成21(2009)年度</b>			
	和歌山県高等学校総合文化祭演劇部門	演劇	
<b>平成20(2008)年度</b>			
	和歌山県高等学校総合文化祭演劇部門	演劇	
<b>平成19(2007)年度</b>			
	和歌山県高等学校総合文化祭演劇部門	演劇	
<b>平成18(2006)年度</b>			
	和歌山県高等学校総合文化祭演劇部門	演劇	
<b>平成17(2005)年度</b>			
	和歌山県高等学校総合文化祭演劇部門	演劇	
<b>平成16(2004)年度</b>			
	和歌山県高等学校総合文化祭演劇部門	演劇	

④写真部			
<b>平成25(2013)年度</b>			
11月9日 ～11月10日	第33回近畿高等学校総合文化祭写真部門		県代表として出品 辻本 航
11月15日 ～11月17日	平成25年度和歌山県高等学校文化祭写真部門		佳作 熊井 圭吾

日 程	大 会 名	種 目	成 績
<b>平成24(2013)年度</b>			
11月22日 ～11月25日	第32回近畿高等学校総合文化祭写真部門		県代表として出品 岩井 沙羅
	平成24年度和歌山県高等学校文化祭写真部門		佳作 山本 理子
<b>平成23(2011)年度</b>			
11月10日 ～11月13日	平成23年度和歌山県高等学校文化祭写真部門		奨励賞四席 抜井 彩美 佳作 山本 理子
8月3日 ～8月7日	第35回全国高等学校総合文化祭福島大会写真部門		県代表として出品 抜井 彩美
<b>平成22(2010)年度</b>			
5月16日	第8回和歌祭フォトコンテスト		優秀賞 杉 友里
11月9日 ～11月11日	平成22年度和歌山県高等学校文化祭写真部門		佳作 高瀬 優紀
<b>平成21(2009)年度</b>			
5月17日	第7回和歌祭フォトコンテスト		優秀賞 杉 友里
11月4日 ～11月8日	平成21年度和歌山県高等学校文化祭写真部門		奨励賞三席 佳作 杉 友里
<b>平成20(2008)年度</b>			
5月18日	第6回和歌祭フォトコンテスト		優秀賞 杉 友里・堀 芙実香
11月5日 ～11月9日	平成20年度和歌山県高等学校文化祭写真部門		佳作 杉 友里 今西 淳子
2月16日	第8回高校生写真コンテスト		入選 杉 友里
<b>平成19(2007)年度</b>			
<b>平成18(2006)年度</b>			
<b>平成17(2005)年度</b>			
<b>平成16(2004)年度</b>			
11月6日	第24回近畿高等学校文化祭写真部門		優秀賞 米田 里紗
11月8日	平成16年度和歌山県高等学校文化祭写真部門		特選三席 横平 恵里

### ⑤美術部

<b>平成25(2013)年度</b>			
	愛鳥週間ポスターコンクール		佳作
10月	県和商文化祭		
10月	第62回和歌山県高等学校商業美術展		
11月	和歌山県高等学校総合文化祭美術工芸展		
<b>平成24(2012)年度</b>			
10月	県和商文化祭		
10月	第61回和歌山県高等学校商業美術展		
11月	和歌山県高等学校総合文化祭美術工芸展		

日 程	大 会 名	種 目	成 績
<b>平成23(2011)年度</b>			
10月	県和商文化祭		
10月	第60回和歌山県高等学校商業美術展		
11月	和歌山県高等学校総合文化祭美術工芸展		
<b>平成22(2010)年度</b>			
9月	和歌山県高等学校総合文化祭美術工芸展		
10月	県和商文化祭		
10月	第59回和歌山県高等学校商業美術展		
<b>平成21(2009)年度</b>			
	和歌山県高等学校総合文化祭ポスター原画 コンクール		佳作
10月	県和商文化祭		
10月	第58回和歌山県高等学校商業美術展		
12月	和歌山県高等学校総合文化祭美術工芸展		
<b>平成20(2008)年度</b>			
<b>平成19(2007)年度</b>			
10月	県和商文化祭		
11月	和歌山県高等学校総合文化祭美術工芸展		
12月	第56回和歌山県高等学校商業美術展		
<b>平成18(2006)年度</b>			
	薬物乱用防止啓発ポスターコンクール		最優秀賞 入選
	国土緑化・育樹運動ポスターコンクール		特選
10月	県和商文化祭		
11月	第55回和歌山県高等学校商業美術展		
11月	ろう学校文化祭		
12月	和歌山県高等学校総合文化祭美術工芸展		
<b>平成17(2005)年度</b>			
	和歌山県高等学校総合文化祭ポスターコンクール		佳作
10月	県和商文化祭		
11月	和歌山県高等学校総合文化祭美術工芸展		
1月	第54回和歌山県高等学校商業美術展		
<b>平成16(2004)年度</b>			
8月	愛鳥週間ポスターコンクール		
10月	県和商文化祭		
11月	県和商100周年記念展		
12月	和歌山県高等学校総合文化祭美術工芸展		

日程	大会名	種目	成績
1月	第53回和歌山県高等学校商業美術展		

## ⑥ワープロ部

### 平成25(2013)年度

5月4日	第4回中日本ワープロ錬成大会	速度 団体の部	第11位(3,973字) (岩崎 喬・角井 一哉・西川 友紀子・堅 千尋)
5月6日	第31回近畿地区高等学校ワープロ競技大会	速度 団体の部	第2位(3,830字) (平田 弦・岩崎 喬・西川 友紀子)
		速度 個人の部	第3位(平田 弦 1,319字) (岩崎 喬 1,283字)
6月9日	第61回和歌山県高等学校ワープロ競技大会兼 第60回全国高等学校ワープロ競技大会県予選	速度 団体の部	優 勝(4,199字) 全国大会出場
		速度 個人の部	優 勝(平田 弦 1,482字) 第2位(岩崎 喬 1,476字) 第3位(西川 友紀子 1,241字) 第5位(角井 一哉 1,167字) 佳良賞(堅 千尋)
8月9日	第60回記念全国高等学校ワープロ競技大会	速度 団体の部	第27位(4,872字)
		速度 個人の部	正確賞(平田 弦)
8月11日	第27回全国パソコン技能競技大会	日本語 ワープロ 団体の部	第2位 (平田 弦・岩崎 喬・角井 一哉・西川 友紀子)
11月5日	第33回和歌山県高等学校ワープロ選手権大会	速度 団体の部	優 勝(4,358字)
		速度 個人の部	優 勝(岩崎 喬 1,715字) 第3位(西川 友紀子 1,462字) 第4位(平田 光 1,308字 佳良賞)
12月22日	第24回冬季新人ワープロ競技会	速度 団体の部	第13位(3,929字) (堅 千尋・西川 友紀子・橋本 梓)

### 平成24(2012)年度

5月4日	第3回中日本ワープロ錬成大会	速度 団体の部	第14位(3,928字) (川島 久徳・鈴木 あずさ・平田 弦)
5月6日	第30回近畿地区高等学校ワープロ競技大会	速度 団体の部	第8位(3,424字) (川島 久徳・鈴木 あずさ・吉川 美希)
6月9日	第60回和歌山県高等学校ワープロ競技大会兼 第59回全国高等学校ワープロ競技大会県予選	速度 団体の部	第2位(3,976字)
		個人の部	第2位(平田 弦 1,386字) 全国大会出場 第4位(川島 久徳 1,306字) 第5位(岩崎 喬 1,284字) 技能賞(平田 弦・角井 一哉) 佳良賞(吉川 美希)
8月9日	第59回全国高等学校ワープロ競技大会	速度 個人の部	第180位(平田 弦 1,283字)
8月12日	第26回全国パソコン技能競技大会	日本語 ワープロ 団体の部	第3位 (平田 弦・岩崎 喬・角井 一哉)
11月10日	第32回和歌山県高等学校ワープロ選手権大会	速度 団体の部	優 勝(3,669字)
		速度 個人の部	優 勝(岩崎 喬 1,393字) 第2位(平田 弦 1,179字) 第4位(西川 友紀子 1,097字) 第5位(角井 一哉 1,068字) 佳良賞(堅 千尋)
12月23日	第24回冬季新人ワープロ競技会	速度 団体の部	第13位(4,333字) (平田 弦・岩崎 喬・西川 友紀子)
		1年生の部 個人の部	第3位 (岩崎 喬・西川 友紀子)
3月23日	第22回西日本高等学校OA競技・湯布院大会	速度 団体の部	第3位(5,050字) (平田 弦・岩崎 喬・西川 友紀子)
		1年生 団体の部	準優勝(4,732字) (岩崎 喬・西川 友紀子・角井 一哉)
		1年生 個人の部	第3位(岩崎 喬)

日程	大会名	種目	成績
<b>平成23(2011)年度</b>			
5月4日	第2回中日本ワープロ錬成大会	速度 団体の部	第19位(3,604字) (西 永人・北山 綾己・吉川 美希)
5月8日	第29回近畿地区高等学校ワープロ競技大会	速度 団体の部	第19位(2,470字) (北山 綾己・岡本 景太・西 永人)
6月11日	第59回和歌山県高等学校ワープロ競技大会兼 第58回全国高等学校ワープロ競技大会県予選	速度 団体の部	第2位(3,811字)
		速度 個人の部	第3位(西 永人 1,436字) 全国大会出場 技能賞(鈴木 あずさ) 佳良賞(下川床 颯)
8月4日	第58回全国高等学校ワープロ競技大会	速度 個人の部	第171位(西 永人 1,253字)
8月10日	第25回全国パソコン技能競技大会	日本語 ワープロ	佳良賞(西 永人)
11月12日	第31回和歌山県高等学校ワープロ選手権大会	速度 団体の部	第2位(3,232字)
		速度 個人の部	第5位(川島 久徳 1,098字) 技能賞(鈴木 あずさ) 佳良賞(吉川 美希)
12月24日	第23回冬季新人ワープロ競技会	速度 団体の部	(3,712字) (川島 久徳・鈴木 あずさ・吉川 美希)
<b>平成22(2010)年度</b>			
5月9日	第1回中日本ワープロ錬成大会	速度 団体の部	第14位(3,436字) (西川 采沙・谷口 奈央・北山 綾己)
5月3日	第28回近畿高等学校ワープロ競技大会	速度 団体の部	第10位(3,456字) (西川 采沙・谷口 奈央・太田 和希)
6月13日	第58回和歌山県高等学校ワープロ競技大会兼 第56回全国高等学校ワープロ競技大会県予選	速度 団体の部	第2位(3,100字)
		速度 個人の部	第4位(西川 采沙 1,085字) 全国出場 佳良賞(太田 和希)
8月1日	第57回全国高等学校ワープロ競技大会	速度 個人の部	第169位(西川 采沙)
8月4日	第24回全国パソコン技能競技大会	日本語 ワープロ	第3位
11月20日	第30回和歌山県ワープロ選手権大会	速度 団体の部	第2位(2,821字)
		速度 個人の部	第7位(西 永人 1,052字) 佳良賞(北山 綾己)
12月26日	第22回冬季新人ワープロ競技会	速度 団体の部	(3,413字) (西 永人・北山 綾己・阪本 綾美)
<b>平成21(2009)年度</b>			
5月3日	第27回近畿地区高等学校ワープロ競技大会	速度 団体の部	第10位(3,655字)
6月13日	第57回和歌山県高等学校ワープロ競技大会兼 第56回全国ワープロ競技大会県予選	速度 団体の部	第2位(3,618字)
		速度 個人の部	第1位(松林 香澄 1,503字) 佳良賞(木村 裕太)
8月2日	第56回全国高等学校ワープロ競技大会	速度 個人の部	第145位(松林 香澄 1,332字)
8月7日	第23回全国パソコン技能競技大会	日本語 ワープロ 団体の部	第3位
11月14日	第29回和歌山県高等学校ワープロ選手権大会	速度 団体の部	第2位(3,238字)
		速度 個人の部	第3位(折野智也 1,288字) 佳良賞(西川 采沙)
12月26日	第20回冬季新人ワープロ競技大会	速度 団体の部	(3,638字)
<b>平成20(2008)年度</b>			
5月10日	第26回近畿地区高等学校ワープロ競技大会	速度 団体の部	第13位
6月14日	第56回和歌山県高等学校ワープロ競技大会兼 第55回全国ワープロ競技大会県予選	速度 団体の部	第4位
		速度 個人の部	第5位(西川 菜摘) 佳良賞(川崎 美郷)
11月15日	第26回和歌山県高等学校ワープロ選手権大会	速度 団体の部	第2位
		速度 個人の部	第5位(土肥 まどか) 佳良賞(木村 祐太)

日 程	大 会 名	種 目	成 績
<b>平成19(2007)年度</b>			
5月4日	第25回近畿地区高等学校ワープロ競技大会	速度 団体の部	第34位(白本 有夏音) 第51位(南方 有里) 第60位(西川 菜摘)
6月11日	第55回和歌山県高等学校ワープロ競技大会兼 第54回全国ワープロ競技大会県予選	速度 団体の部	第2位
		速度 個人の部	第6位(白本 有夏音) 佳良賞
11月17日	第27回和歌山県高等学校ワープロ選手権大会	速度 団体の部	第3位
		速度 個人の部	第7位(西川 菜摘) 佳良賞
<b>平成18(2006)年度</b>			
4月30日	第24回近畿地区高等学校ワープロ競技大会	速度 団体の部	第50位(長松 祐里) 第51位(梶本 奈央) 第52位(佐古 遥香)
6月11日	第54回和歌山県高等学校ワープロ競技大会兼 第53回全国ワープロ競技大会県予選	速度 団体の部	第2位
		速度 個人の部	第4位(白本 有香音) 第8位(梶本 奈央) 佳良賞
11月18日	第26回和歌山県高等学校ワープロ選手権大会	速度 団体の部	第2位
		速度 個人の部	第5位(白本 有香音) 技能賞 第6位(南方 有里) 技能賞 第13位(荒井 沙織) 佳良賞 第14位(太田 美那)
<b>平成17(2005)年度</b>			
5月1日	第23回近畿地区高等学校ワープロ競技大会	速度 個人の部	第49位(梶本 奈央)
6月11日	第53回和歌山県高等学校ワープロ競技大会兼 第52回全国ワープロ競技大会県予選	速度 団体の部	第3位
		速度 個人の部	第3位(梶本 奈央) 技能賞(筒井 美奈子) 技能賞(北村 早希) 佳良賞(佐古 遥香)
11月15日	第25回和歌山県高等学校ワープロ選手権大会	速度 団体の部	第1位
		速度 個人の部	第2位(梶本 奈央) 第3位(長松 祐里) 佳良賞(筒井 美奈子)
<b>平成16(2004)年度</b>			
5月2日	第22回近畿地区高等学校ワープロ競技大会	速度 団体の部	第3位 正確賞(中嶋 歩)
6月12日	第52回和歌山県高等学校ワープロ競技大会兼 第51回全国高等学校ワープロ競技大会県予選	速度 団体の部	第1位
		速度 個人の部	第1位(赤名 宏美) 第2位(中嶋 歩) 技能賞(野田 知里) 佳良賞(庄司 理香)
8月8日	第51回全国高等学校ワープロ競技大会	速度 団体の部	第45位
11月13日	第24回和歌山県高等学校ワープロ選手権大会	速度 団体の部	第4位
		速度 個人の部	(梶本 奈央) 佳良賞(筒井 美奈子)

### ⑦書道部

#### 平成25(2013)年度

8月4日	第42回四国大学全国高校書道展		準特選以下多数受賞
8月2日	第48回高野山競書大会	推薦賞 若野 綾 特 選 梅本 千穂	準特選以下多数受賞

日 程	大 会 名	種 目	成 績
8月10日	第19回和歌山県書道資料館書写・書道作品展	優秀賞 今出 幸笑 永田 真悠	特選以下多数受賞
8月20日	第18回全日本高校生・大学生書道展	準優秀賞 山下 絢未	
12月11日 ～12月15日	第61回和歌山県高等学校総合文化祭書道展		県民文化会館
2月13日	第65回県高等学校書初会	特別賞 住友 志帆 特 選 井野 利治 人見 美咲 北浦 唯依 由井 希美 永田 真悠 高橋 莉紗	
<b>平成24(2012)年度</b>			
7月8日	第13回高校生国際美術展（書の部）	佳 作 植松亜珠	
8月5日	第41回四国大学全国高校書道展	特 選 美濃田めぐみ 井野 利治	準特選以下多数受賞
8月4日	第18回和歌山県書道資料館書写・書道作品展	優秀賞 井野 利治	特選以下多数受賞
8月28日	第17回全日本高校生・大学生書道展	準優秀賞 植松 亜珠 山本 祥子 美濃田めぐみ 抜井 彩美	
12月14日 ～12月17日	第60回和歌山県高等学校総合文化祭書道展		和歌山市民会館
2月2日	第64回県高等学校書初会	特 選 山下 絢未 井野 利治 人見 美咲	準特選以下多数受賞
<b>平成23(2011)年度</b>			
8月5日	第46回高野山競書大会	特 選 北山靖子	準特選以下多数受賞
7月31日	第40回四国大学全国高校書道展	特 選 金川早紀	準特選以下多数受賞
8月6日	第17回和歌山県書道資料館書写・書道作品展	優秀賞 南出 美紀 金川 早紀	特選以下多数受賞
8月28日	第16回全日本高校生・大学生書道展	準優秀賞 有田 葵 山崎 愛美	
12月14日 ～12月17日	第59回和歌山県高等学校総合文化祭書道展		和歌山市民会館
2月2日	第63回県高等学校書初会	特 選 山下絢未	
<b>平成22(2010)年度</b>			
5月25日	2010年度第1回「毎日紙上書道展」	優秀賞 落合祐佳	
5月20日	第45回高野山競書大会	毎日賞 東 祐也	特選以下多数受賞
6月11日	第11回高校生国際美術展（書の部）	奨励賞 東 祐也	
7月25日	第39回四国大学全国高校書道展	特 選 東 祐也 伊藤 衣里	準特選以下多数受賞
7月20日	第16回和歌山県書道資料館書写・書道作品展	優秀賞 東 祐也 田中 実咲	特選以下多数受賞

日 程	大 会 名	種 目	成 績
8月8日	第9回岐阜女子大学全国書道展	優秀賞 東 祐也 山本 真生 馬止 千帆 北島 彩奈 富永 由麻 田中 実咲	秀作賞以下多数受賞
	第15回全日本高校生・大学生書道展	優秀賞 東 祐也	
10月15日	第19回国際高校生選抜書道展	大 賞 東 祐也	
10月2日	第53回全国硬筆作品展覧会	文部科学 大臣賞 富永 由麻 大阪府PTA 協議会賞 東 祐也	
2月1日	第16回全日本高等学校書道コンクール	優秀賞 東 祐也	
12月15日 ～12月20日	第58回和歌山県高等学校総合文化祭書道展		県民ギャラリー
3月1日 ～3月5日	平成22年度自殺防止啓発パネル展		和歌山市保健所多目的ホール
<b>平成21(2009)年度</b>			
7月27日	第38回四国大学全国高校書道展	特 選 東山 亜衣 橋本 夏見 田中 実咲	準特選以下多数受賞
8月1日	第10回高校生国際美術展（書の部）	奨励賞 東 祐也	佳作以下多数受賞
8月2日	第8回岐阜女子大学全国書道展	大学賞 橋本 夏見 特 賞 東 祐也	優秀賞以下多数受賞
8月7日	第44回高野山競書大会	高野山書道協 会賞 野村 有沙 特 選 東 祐也	準特選以下多数受賞
8月9日	第15回和歌山県書道資料館書写・書道作品展	市長賞 野村 有沙 優秀賞 東山 亜衣	特選以下多数受賞
8月31日	第14回全日本高校生・大学生書道展	優良賞 東山 亜衣 橋本 夏見	
10月3日	第52回全国硬筆作品展覧会	大阪府知事賞 野村 有沙 研究会賞 東 祐也	特選以下多数受賞
1月1日 ～1月3日	大阪天満宮書き初め大会	大阪府教育 委員会賞 東 祐也	
11月15日 ～11月18日	第29回近畿高等学校総合文化祭書道展	橋本 夏見 出品	京都市勧業館
12月16日 ～12月21日	第57回和歌山県高等学校総合文化祭書道展		県民ギャラリー
<b>平成20(2008)年度</b>			
7月27日	第37回四国大学全国高校書道展	特選 片山 ゆう 野村 有沙 落合 祐佳	準特選以下多数受賞
8月8日	第43回高野山競書大会	推薦賞 植松 美帆	特選以下多数受賞
8月9日	第14回和歌山県書道資料館書写・書道作品展	優秀賞 野村 有沙	特選以下多数受賞

日 程	大 会 名	種 目	成 績
8月31日	第13回全日本高校生・大学生書道展	優良賞 川畑 美穂 植松 美帆 東山 亜衣 片山 ゆう 澤 志織 橋本 夏見	
9月13日	第51回全国硬筆作品展覧会	大阪府PTA 協議会賞 川畑 美穂 日本書写教育 研究会賞 東山 亜衣 片山 ゆう 澤 志織	
2月5日	第60回県高等学校書初会		特選以下多数受賞
2月8日	第17回国際高校生選抜書道展	入選 野村 有沙	
<b>平成19(2007)年度</b>			
<b>平成18(2006)年度</b>			
5月15日	第41回高野山競書大会	特別賞 「南山賞」 木村 亜衣 特別賞 「推 薦」 木村 美紀 河野 亜依 片山 あい	特選以下多数受賞
6月	第35回四国大学全国高校書道展		準特選以下多数受賞
9月1日	第49回全国硬筆作品展	特別賞 「全日本芸術 振興学会賞」 木村 亜衣 特別賞 「研究会賞」 井尻 彩菜 福田 有紗	特選以下多数受賞
11月	第53回日本学書展		準特選以下多数受賞
12月	第54回和歌山県高等学校総合文化祭書道展		県民ギャラリー
1月	第58回県高等学校書初会		特選以下多数受賞
<b>平成17(2005)年度</b>			
5月15日	第40回高野山競書大会	特別賞 「高野山書道 協会賞」 小川 望 「推 薦」 中浦 希 紀野 利加子 木村 亜衣	特選以下多数受賞
6月10日	第34回四国大学全国高校書道展	特 薦 小川 望	準特選以下多数受賞
7月	第6回高校生国際美術展(書の部)	優秀賞 小川 望	
11月	平成17年度日本学生書道展	特賞 「日本書芸院 賞」 小川 望	
12月	第53回和歌山県高等学校総合文化祭書道展		県民ギャラリー

日 程	大 会 名	種 目	成 績
2 月	第57回県高等学校書初会	特 選 小川 望・ 木村 美紀・ 河野 亜依・ 井尻 彩菜・ 木村 亜衣・ 片山 あい	準特選以下多数受賞
<b>平成16(2004)年度</b>			
5 月15日	第39回高野山競書大会	特別賞 「高野山書道 協会賞」 河野ゆか 「推 薦」 田村恵里佳 小川 望	特選以下多数受賞
6 月10日	第33回四国大学全国高校書道展	特 選 河野ゆか 小川 望 木村美紀	
11月	第9回全日本高校生・大学生書道展	書道展賞 小川 望	
11月	第51回日本学書展	奈良市議会 議長賞 小川 望	
10月	第19回国民文化祭小中高校生書道展	優秀賞 河野 ゆか 南方 望 小川 望 中浦 希	
11月	第24回近畿総合文化祭書道展	奨励賞 河野 ゆか	
12月	第52回和歌山県高等学校総合文化祭書道展		紀南文化会館
2 月	第13回国際高校生選抜書道展	大賞 小川 望	
2 月	第56回県高等学校書初会		特選以下多数受賞

### ⑧珠算部

#### 平成25(2013)年度

6 月 5 日	第60回全国高等学校珠算競技大会和歌山県予選	珠算団体	第1位
		珠算個人	第1位(片山 良夢) 第2位(蔭地 真菜) 第3位(城村 美海) 第4位(松浦 直哉) 第7位(衣奈 由満)
		電卓団体	第1位
		電卓個人	第1位(井上 莉沙) 第2位(衣奈 由満) 第4位(西川 友紀子)
8 月 2 日	第60回全国高等学校珠算競技大会	珠算	(片山 良夢・蔭地 真菜・城村 美海・ 松浦 直哉)
		電卓	(井上 莉沙・衣奈 由満・西川 友紀子)
10月14日	全日本通信珠算競技大会和歌山県支部北部大会兼和歌山県珠算選手権大会	珠算団体	第1位 (井上 莉沙・片山 良夢・蔭地 真菜)
11月19日	第63回和歌山県高校生珠算・電卓競技大会	珠算団体	第1位
		珠算個人	第1位(蔭地 真菜) 第2位(片山 良夢) 第4位(井上 莉沙) 第7位(衣奈 由満)
11月19日	第63回和歌山県高校生珠算・電卓競技大会	電卓団体	第1位

日程	大会名	種目	成績
11月19日	第63回和歌山県高校生珠算・電卓競技大会	電卓個人	第1位(蔭地 真菜) 第2位(片山 良夢) 第3位(松浦 直哉) 第4位(井上 莉沙) 第5位(衣奈 由満)
12月1日	第17回全日本電卓競技大会西日本大会	高等学校の部団体	第2位(井上 莉沙・西川 友紀子・松浦 直哉)
2月11日	第9回高等学校簿記・電卓対抗戦関西中央大会	高等学校の部団体	第2位(松浦 直哉・蔭地 真菜・片山 良夢・西川 友紀子)
		高等学校の部個人	第2位(西川友紀子) 第4位(松浦直哉) 第9位(蔭地真菜)
<b>平成24(2012)年度</b>			
6月3日	第59回全国高等学校珠算競技大会和歌山県予選	珠算団体	第1位
		珠算個人	第1位(蔭地 真菜) 第2位(辻本 真季) 第2位(片山 良夢) 第4位(松浦 直哉)
		電卓団体	第1位
		電卓個人	第1位(井上 莉沙) 第2位(松本 春葵) 第3位(衣奈 由満)
7月31日	第59回全国高等学校珠算競技大会	珠算	(蔭地 真菜・辻本 真季・松浦 直哉・片山 良夢)
		電卓	(井上 莉沙・松本 春葵・衣奈 由満)
10月14日	全日本通信珠算競技大会和歌山県支部北部大会兼和歌山県珠算選手権大会	珠算団体	第3位 (蔭地 真菜・辻本 真季・片山 良夢)
11月20日	第62回和歌山県高校生珠算・電卓競技大会	珠算団体	第1位
		珠算個人	第1位(蔭地 真菜) 第2位(片山 良夢) 第3位(井上 莉沙) 第6位(辻本 真季)
		電卓団体	第1位
		電卓個人	第3位(松本 春葵) 第4位(井上 莉沙) 第6位(片山 良夢) 第7位(衣奈 由満) 第8位(松浦 直哉)
11月25日	第16回全日本電卓競技大会西日本大会	高等学校の部団体	第2位(井上 莉沙・衣奈 由満・松浦 直哉・中尾 理紗・西川 友紀子)
		一般の部団体	第5位(井上莉沙・中尾 理紗)
		一般の部個人	第5位(井上 莉沙)
1月20日	第16回全日本電卓競技大会西日本大会		(井上 莉沙・衣奈 由満・松浦 直哉・中尾 理紗・西川 友紀子)
<b>平成23(2011)年度</b>			
6月5日	第58回全国高等学校珠算競技大会和歌山県予選	珠算団体	第1位
		珠算個人	第1位(松浦 祐哉) 第2位(辻本 真季) 第3位(岩見 侑香)
		電卓団体	第1位
		電卓個人	第1位(西 永人) 第2位(岡本 景太) 第3位(西 正人)
8月2日	第58回全国高等学校珠算競技大会	珠算	(松浦 祐哉・辻本 真季・岩見 侑香・衣奈 由満)
		電卓団体	第12位佳良賞 (西 永人・岡本 景太・西 正人)
8月2日	第58回全国高等学校珠算競技大会	電卓個人	第13位3等7席(西 正人) 第37位佳良13席(西 永人)
10月9日	全日本通信珠算競技大会和歌山県支部北部大会兼和歌山県珠算選手権大会	高等学校の部団体	第2位(西 永人・岡本 景太・西 正人)

日 程	大 会 名	種 目	成 績
11月17日	第61回和歌山県高校生珠算・電卓競技大会	珠算 団体	第1位
		珠算 個人	第1位(岡本 景太) 第2位(西 永人) 第3位(西 正人) 第4位(井上 莉沙)
		電卓団体	第1位
		電卓個人	第1位(西 永人) 第2位(西 正人) 第3位(岡本 景太) 第4位(松浦 祐哉)
11月27日	第15回全日本電卓競技大会西日本大会	高等学校 の部団体	(西 永人・西 正人・岡本 景太・ 松浦 祐哉・井上 莉沙・衣奈 由満)
			一般の部団体4位 (西 正人・西 永人・岡本 景太)
			一般の部個人4位 (西 正人)
1月15日	第15回全日本電卓競技大会	高等学校 の部団体	第4位(西 永人・西 正人・岡本 景太・ 松浦 祐哉・井上 莉沙・衣奈 由満)
<b>平成22(2010)年度</b>			
6月6日	第57回全国高等学校珠算競技大会和歌山県予選	珠算団体	第1位
		珠算個人	第1位(谷口 奈央) 第2位(松浦 祐哉) 第3位(岩見 侑香)
		電卓団体	第1位
		電卓個人	第1位西 永人 第2位岡本 景太 第3位西 正人
7月30日	第57回全国高等学校珠算競技大会	珠算	(谷口 奈央・松浦 祐哉・ 岩見 侑香・酒井智加)
		電卓団体	第13位佳良賞
		電卓個人	(西 永人・西 正人・岡本 景太)
10月11日	全日本通信珠算競技大会和歌山県支部北部大会兼和歌山県珠算選手権大会	高等学校 の部団体	第1位
		高等学校 の部個人	(西 永人・西 正人・岡本 景太)
11月18日	第60回和歌山県高校生珠算・電卓競技大会	珠算団体	第1位
		珠算個人	第1位(西 永人) 第2位(西 正人) 第3位(岩見 侑香) 第4位(岡本 景太)
		電卓団体	第1位
		電卓個人	第1位(西 永人) 第2位(西 正人) 第3位(岡本 景太) 第4位(松浦 祐哉)
11月28日	第14回全日本電卓競技大会西日本大会	高等学校 の部団体	第2位(西 永人・西 正人・岡本 景太・ 松浦 直哉・井上 莉沙・衣奈 由満)
		一般の部団体	第5位(西 正人・西 永人・岡本 景太)
		一般の部個人	第6位(西 正人)
1月16日	第14回全日本電卓競技大会	高等学校 の部団体	(西 永人・西 正人・岡本 景太・ 岩見 侑香・酒井 智加・東 祐也)

日 程	大 会 名	種 目	成 績
<b>平成21(2009)年度</b>			
6月7日	第56回全国高等学校珠算競技大会和歌山県予選	珠算団体	第1位
		珠算個人	第1位(谷口 奈央) 第2位(西 永人) 第4位(臼井 円香) 第5位(西 正人)
		電卓個人	第1位(須佐 祥光)
7月30日	第56回全国高等学校珠算競技大会	珠算	(臼井 円香・谷口 奈央・ 西 永人・西 正人)
		電卓個人	(須佐 祥光)
8月19日	第55回全国高等学校珠算競技大会小野大会	珠算	(臼井 円香・谷口 奈央・西 永人・ 西 正人・立花 嵩之・須佐 祥光)
10月12日	全日本通信珠算競技大会和歌山県支部北部大会兼和歌山県珠算選手権大会	高等学校の部団体	第3位
11月20日	第59回和歌山県高校生珠算・電卓競技大会	珠算団体	第1位
		珠算個人	第1位(谷口 奈央) 第3位(西 永人)
		電卓団体	第1位
		電卓個人	第1位(西 永人) 第2位(西 正人) 第3位(岡本 景太)
11月29日	第13回全日本電卓競技大会西日本大会	高等学校の部団体	第4位(西 永人・ 西 正人・岡本 景太)
<b>平成20(2008)年度</b>			
6月1日	第55回全国高等学校珠算競技大会和歌山県予選	珠算団体	第1位
		珠算個人	第1位(臼井 円香) 第2位(谷口 奈央) 第3位(立花 嵩之) 第4位(田中 幸)
		電卓個人	第2位(須佐 祥光) 第2位(村田 謙汰)
8月1日	第55回全国高等学校珠算競技大会	珠算	(臼井 円香・谷口 奈央・ 立花 嵩之・須佐 祥光)
8月10日	第54回全国高等学校珠算競技大会小野大会	珠算	(臼井 円香・谷口 奈央・ 立花 嵩之・須佐 祥光)
10月13日	全日本通信珠算競技大会和歌山県支部北部大会兼和歌山県珠算選手権大会	高等学校の部団体	第3位
11月16日	第58回和歌山県高校生珠算・電卓競技大会	珠算団体	第1位
		珠算個人	第1位(谷口 奈央) 第3位(臼井 円香)
		電卓団体	第2位
		電卓個人	第2位(立花 嵩之) 第6位(臼井 円香) 第8位(須佐 祥光)
11月30日	第12回全日本電卓競技大会西日本大会	高等学校の部団体	第3位(立花 嵩之・須佐 祥光・村田 謙汰)
<b>平成19(2007)年度</b>			
6月3日	第54回全国高等学校珠算競技大会和歌山県予選	珠算団体	第1位
		珠算個人	第1位(臼井 円香) 第2位(田中 幸) 第3位(立花 嵩之)
		電卓個人	第1位(相坂 恵)
7月27日	第54回全国高等学校珠算競技大会	珠算	(臼井 円香・田中 幸・立花 嵩之)
		電卓個人	相坂 恵
8月10日	第53回全国高等学校珠算競技大会小野大会	珠算	(田中 幸・立花 嵩之・相坂 恵)

日程	大会名	種目	成績
10月14日	全日本通信珠算競技大会和歌山県支部北部大会兼和歌山県珠算選手権大会	高等学校の部団体	第3位
11月22日	第57回和歌山県高校生珠算・電卓競技大会	珠算団体	第1位
		珠算個人	第2位(臼井 円香)
		電卓団体	第2位
		電卓個人	第2位(立花 嵩之) 第5位(臼井 円香) 第7位(村田 謙汰)
11月25日	第11回全日本電卓競技大会西日本大会	高等学校の部団体	第3位 (田中 幸・立花 嵩之・相坂 恵)
<b>平成18(2006)年度</b>			
6月4日	第53回全国高等学校珠算競技大会和歌山県予選	珠算団体	第1位
		珠算個人	第1位(西 春香) 第2位(幡井 敬子) 第3位(河野 有希) 第4位(永田 紘士) 第5位(磯野まゆみ)
8月1日	第53回全国高等学校珠算競技大会		(西 春香・幡井 敬子・河野 有希・永田 紘士・磯野 まゆみ)
8月17日	第52回全国高等学校珠算競技大会小野大会	珠算	(西 春香・幡井 敬子・河野 有希・永田 紘士・磯野 まゆみ)
11月23日	第56回和歌山県高校生珠算・電卓競技大会	珠算団体	第1位
		珠算個人	第3位(河野 有希) 第4位(磯野 まゆみ)
		電卓団体	第1位
		電卓個人	第5位(河野 有希)
<b>平成17(2005)年度</b>			
6月5日	第52回全国高等学校珠算競技大会和歌山県予選	珠算団体	第1位
		珠算個人	第1位(河野 有希) 第4位(西 春香) 第5位(幡井 敬子)
7月31日	第52回全国高等学校珠算競技大会	珠算	(河野 有希・西 春香・幡井 敬子)
8月17日	第51回全国高等学校珠算競技大会小野大会	珠算	(西 春香・幡井 敬子・永田 紘士・磯野まゆみ)
11月23日	第55回和歌山県高校生珠算・電卓競技大会	電卓団体	第1位
		電卓個人	第2位(西 春香) 第3位(永田 紘士) 第5位(河野 有希)
<b>平成16(2004)年度</b>			
6月6日	第51回全国高等学校珠算競技大会和歌山県予選	珠算団体	第1位
		珠算個人	第1位(濱田 尚吾) 第4位(永田 真也) 第5位(幡井 啓子)
7月30日	第51回全国高等学校珠算競技大会		(濱田 尚吾・永田 真也・幡井 啓子)
8月18日	第50回全国高等学校珠算競技大会小野大会	珠算	(濱田 尚吾・永田 真也・永田 紘士・幡井 啓子・西 春香・磯野まゆみ)
11月19日	第54回和歌山県高校生珠算・電卓競技大会	電卓団体	第1位
		電卓個人	第2位(永田 真也) 第3位(濱田 尚吾)

日 程	大 会 名	種 目	成 績
<b>⑨簿記部</b>			
<b>平成25(2013)年度</b>			
6月13日	第30回和歌山県高等学校簿記コンクール兼 第29回全国高等学校簿記コンクール和歌山県予選	団体の部	3位(今出 智哉・角 和季・寺尾 圭司・ 上岡 要)
		個人の部	1位(角 和季)
7月21日	第29回全国高等学校簿記コンクール	個人の部	出場(角 和季・上岡 要)
2月11日	第9回高等学校簿記・電卓対抗戦 ～関西中央本大会～		簿記2級の部・簿記3級の部B出場
<b>平成24(2012)年度</b>			
6月15日	第29回和歌山県高等学校簿記コンクール兼 第28回全国高等学校簿記コンクール和歌山県予選	団体の部	3位(堂脇 聡洋・松本 春葵・米澤 綺・ 西崎 亮太・加藤 謙一・田中 翔馬・ 大畑 和輝)
7月16日	全国簿記電卓競技大会近畿地方大会		出場
7月21日	第28回全国高等学校簿記コンクール	団体の部	85位(堂脇 聡洋・松本 春葵・米澤 綺)
2月11日	第8回高等学校簿記・電卓対抗戦	団体の部	簿記3級の部B団体3位(田村 友・丸畑 若水・吉川 楓連)
		個人の部	7位(田村 友)、個人9位(吉川 楓連)
<b>平成23(2011)年度</b>			
6月17日	第28回和歌山県高等学校簿記コンクール兼 第27回全国高等学校簿記コンクール和歌山県予選	団体の部	3位(西 永人・刀祢 奈々・西崎 亮太・ 加藤 謙一・田中 翔馬)
		個人の部	個人4位(西 永人) 個人6位(刀祢 奈々)
7月18日	第27回全国高等学校簿記コンクール	個人の部	出場(西 永人・刀祢 奈々)
2月11日	第7回高等学校簿記・電卓対抗戦		出場
<b>平成22(2010)年度</b>			
6月17日	第27回和歌山県高等学校簿記コンクール兼 第26回全国高等学校簿記コンクール和歌山県予選	団体の部	3位(野崎 匠・東 祐也・池田 新・ 中尾 雅也・金森 志乃・広瀬 義真)
		個人の部	6位(中尾 雅也)・個人8位(東 祐也)
7月18日	第26回全国高等学校簿記コンクール	個人の部	出場(中尾 雅也・東 祐也)
2月11日	第6回高等学校簿記・電卓対抗戦		出場
<b>平成21(2009)年度</b>			
6月18日	第26回和歌山県高等学校簿記コンクール兼 第25回全国高等学校簿記コンクール和歌山県予選	団体の部	3位(藤田 達也・東 浦啓介・土井 良泰・ 藪部 安沙穂・上野山 彩加)
		個人の部	8位(土井 良泰)
7月19日	第25回全国高等学校簿記コンクール	個人の部	出場(土井 良泰)
2月11日	第5回高等学校簿記・電卓対抗戦		出場
<b>平成20(2008)年度</b>			
6月13日	第25回和歌山県高等学校簿記コンクール兼 第24回全国高等学校簿記コンクール和歌山県予選	団体の部	1位
		個人の部	1位(下村 有紀子)
7月20日	第24回全国高等学校簿記コンクール	団体の部	出場(井戸 玲奈・下村 有紀子・ 土井 良泰・藤田 達也)

日 程	大 会 名	種 目	成 績
<b>平成19(2007)年度</b>			
6月15日	第24回和歌山県高等学校簿記コンクール兼 第23回全国高等学校簿記コンクール和歌山県予選	団体の部	2位
		個人の部	1位(下村 有紀子)
7月15日	I T・簿記選手権大会	団体の部	2位
		個人の部	6位(下村 有紀子) 8位(井戸 玲奈)
7月22日	第23回全国高等学校簿記コンクール	団体の部	出場
2月11日	簿記・電卓・暗算対抗戦	個人の部	簿記2級の部5位(下村 有紀子)
<b>平成18(2006)年度</b>			
6月14日	第23回和歌山県高等学校簿記コンクール兼 第22回全国高等学校簿記コンクール和歌山県予選	団体の部	1位
		個人の部	個人1位(武藤 正記) 個人2位(池谷 友里)
7月23日	第22回全国高等学校簿記コンクール	団体の部	出場
<b>平成17(2005)年度</b>			
6月17日	第22回和歌山県高等学校簿記コンクール兼 第21回全国高等学校簿記コンクール和歌山県予選	団体の部	2位
		個人の部	個人3位(武藤 正記)
7月17日	簿記選手権大会西近畿大会		本大会・新人戦出場
7月24日	第21回全国高等学校簿記コンクール	団体の部	出場
<b>平成16(2004)年度</b>			
	第21回和歌山県高等学校簿記コンクール兼 第20回全国高等学校簿記コンクール和歌山県予選		
7月18日	簿記選手権大会西近畿大会	団体の部	2位
		個人の部 (新人戦)	2位(武藤 正記) 8位(松下 拓真)

### ⑩ E S S 部

#### 平成25(2013)年度

10月25日	第30回全商英検英語スピーチコンテスト 和歌山県大会	スピーチ部門	優勝 南方 優 (県代表)
		レシテーション部門	優勝 ㇑木 いぶき (県代表)
1月12日	第30回記念全国商業高等学校英語スピーチ コンテスト(全国大会出場)	スピーチ部門	奨励賞 南方 優 (全国第3位)
1月12日	第30回記念全国商業高等学校英語スピーチ コンテスト(全国大会出場)	レシテーション部門	優秀賞 ㇑木 いぶき (全国第2位)

#### 平成24(2012)年度

10月25日	第29回全商英検英語スピーチコンテスト 和歌山県大会	レシテーション部門	優勝 松下 雄哉 (県代表)
			第3位 ㇑木 いぶき
		スピーチ部門	奨励賞 土田 早紀
1月13日	第29回全国商業高等学校英語スピーチ コンテスト(全国大会出場)	レシテーション部門	予選敗退 松下 雄哉

日 程	大 会 名	種 目	成 績
<b>平成23(2011)年度</b>			
10月25日	第28回全商英検英語スピーチコンテスト 和歌山県大会	レシテーション部門	優 勝 南方 優 (県代表)
			第2位 中崎 萌
			奨励賞 松下 雄哉
			奨励賞 山本 理子
1月8日	第28回全国商業高等学校英語スピーチコンテスト(全国大会出場)	レシテーション部門	奨励賞 南方 優 (全国第3位)
<b>平成22(2010)年度</b>			
10月30日	第27回全商英検英語スピーチコンテスト 和歌山県大会	レシテーション部門	優 勝 南方 優 (県代表)
1月	第27回全国商業高等学校英語スピーチコンテスト(全国大会出場)	レシテーション部門	決勝進出 南方 優 (全国12位)
<b>平成21(2009)年度</b>			
10月30日	第26回全商英検英語スピーチコンテスト 和歌山県大会	レシテーション部門	奨励賞 今西 淳子
		レシテーション部門	奨励賞 高杉 巴香
<b>平成20(2008)年度</b>			
10月30日	第25回全商英検英語スピーチコンテスト 和歌山県大会	スピーチ部門	奨励賞 郡 亮太郎
		レシテーション部門	奨励賞 中井 勇介
		レシテーション部門	奨励賞 今西 淳子
<b>平成19(2007)年度</b>			
11月1日	第24回全商英検英語スピーチコンテスト 和歌山県大会	スピーチ部門	第2位 郡 亮太郎
		レシテーション部門	奨励賞 濱口 祐未
		レシテーション部門	奨励賞 中尾 明日香
<b>平成18(2006)年度</b>			
11月9日	第23回全商英検英語スピーチコンテスト 和歌山県大会	スピーチ部門	奨励賞 家嶋 由季
		レシテーション部門	優 勝 堀田 礼菜 (県代表)
		レシテーション部門	奨励賞 村越 洋美
1月14日	第23回全国商業高等学校英語スピーチコンテスト(全国大会出場)	レシテーション部門	決勝進出 堀田 礼菜 (全国12位)
<b>平成17(2005)年度</b>			
11月2日	第22回全商英検英語スピーチコンテスト 和歌山県大会	スピーチ部門	第3位 田伏 直
			奨励賞 前田 真味
			奨励賞 松広 美香
		レシテーション部門	優 勝 堀田 礼菜 (県代表)
			奨励賞 村越 洋美
			奨励賞 濱口 祐未
1月8日	第22回全国商業高等学校英語スピーチコンテスト(全国大会出場)	レシテーション部門	奨励賞 堀田 礼菜 (全国第3位)

日 程	大 会 名	種 目	成 績
<b>平成16(2004)年度</b>			
11月2日	第21回全商英検英語スピーチコンテスト 和歌山県大会	スピーチ部門	優 勝 田伏 直 (県代表)
		スピーチ部門	奨励賞 前田 真味
		スピーチ部門	奨励賞 西野 舞
		スピーチ部門	奨励賞 吉信 智子
		レシテーション部門	優勝 村越 洋美 (県代表)
		レシテーション部門	第3位 堀田 礼菜
1月9日	第21回全国商業高等学校英語スピーチ コンテスト(全国大会出場)	スピーチ部門	予選敗退 田伏 直
		レシテーション部門	予選敗退 村越 洋美

### ⑪家庭部

#### 平成25(2013)年度

5月23日	むつみ保育園園児とクッキー作り(交流)		
10月3日	文化祭(手づくりクッキーの販売)		
12月14日	ふれあい祭(手づくりクッキーの販売)		

#### 平成24(2012)年度

5月23日	むつみ保育園園児とクッキー作り(交流)		
10月3日	文化祭(手づくりクッキーの販売)		
11月23日	ふれあい祭(手づくりクッキーの販売)		

#### 平成23(2011)年度

5月20日	むつみ保育園園児とクッキー作り(交流)		
10月6日	文化祭(手づくりクッキーの販売)		
11月23日	ふれあい祭(手づくりクッキーの販売)		

### ⑫茶道部

#### 平成25(2013)年度

8月8日	岡公園生徒研修茶会		
10月3日 ~10月4日	文化祭(お茶席)		
12月15日	県高校総合文化祭(お茶席)		

#### 平成24(2012)年度

9月25日	台湾国立嘉義高級商業職業学校の高校生との国際交流		
10月3日	文化祭(お茶席)		

#### 平成23(2011)年度

10月27日	文化祭(お茶席)		
--------	----------	--	--

日 程	大 会 名	種 目	成 績
<b>平成22(2010)年度</b>			
<b>平成21(2009)年度</b>			
10月27日	文化祭(お茶席)		
<b>平成20(2008)年度</b>			
5月28日	国立草屯高級商工職業学校との交流会		
10月28日	文化祭(お茶席)		
11月8日	県立医大茶道部との合同研修会		
<b>平成19(2007)年度</b>			
10月4日	文化祭(お茶席)		
<b>平成18(2005)年度</b>			
10月12日	文化祭(お茶席)		
<b>平成17(2005)年度</b>			
10月12日	文化祭(お茶席)		
<b>平成16(2004)年度</b>			
11月21日	百周年行事お茶席		

<b>⑬華道部</b>			
<b>平成25(2013)年度</b>			
10月3日 ～10月4日	文化祭	作品展示	
<b>平成24(2012)年度</b>			
10月3日	文化祭	作品展示	
<b>平成23(2011)年度</b>			
10月6日 ～10月7日	文化祭	作品展示	
<b>平成22(2010)年度</b>			
10月7日 ～10月8日	文化祭	作品展示	
<b>平成21(2009)年度</b>			
10月27日 ～10月28日	文化祭	作品展示	
<b>平成20(2008)年度</b>			
10月28日 ～10月29日	文化祭	作品展示	
<b>平成19(2007)年度</b>			
10月4日 ～10月5日	文化祭	作品展示	
<b>平成18(2006)年度</b>			
10月12日 ～10月13日	文化祭	作品展示	
<b>平成17(2005)年度</b>			
10月12日 ～10月13日	文化祭	作品展示	

日 程	大 会 名	種 目	成 績
<b>平成16(2004)年度</b>			
10月13日 ～10月14日	文化祭	作品展示	

<b>⑭放送部</b>			
<b>平成25(2013)年度</b>			
9月26日	本校体育祭		選手の呼び出し、開会式・閉会式の司会進行
<b>平成24(2012)年度</b>			
9月1日	和歌山県高等学校文化連盟邦楽部会和歌山大会		司会進行
9月27日	本校体育祭		選手の呼び出し、開会式・閉会式の司会進行
12月12日	本校生徒会役員選挙立ち会い演説会		司会進行
12月	本校表彰伝達式		入賞者氏名読み上げ
<b>平成23(2011)年度</b>			
9月	本校体育祭		選手の呼び出し、開会式・閉会式の司会進行
10月6日 ～10月7日	本校文化祭		校内呼び出し放送
10月29日	商業教育フェスタ和歌山県高等学校生徒商業研究発表大会		司会進行
<b>平成22(2010)年度</b>			
9月	本校体育祭		選手の呼び出し、開会式・閉会式の司会進行
10月	本校文化祭		校内呼び出し放送
<b>平成21(2009)年度</b>			
9月	本校体育祭		選手の呼び出し、開会式・閉会式の司会進行
10月	本校文化祭		校内呼び出し放送
<b>平成20(2008)年度</b>			
9月	本校体育祭		選手の呼び出し、開会式・閉会式の司会進行
10月	本校文化祭		校内呼び出し放送
<b>平成19(2007)年度</b>			
7月21日 ～7月22日	ハンドボール近畿大会		大会の進行・司会
<b>平成18(2006)年度</b>			
7月24日 ～8月16日	全国高等学校総合体育大会(相撲・ヨット)		補助役員として参加
11月9日	和歌山県高等学校総合文化祭		
<b>平成17(2005)年度</b>			
<b>平成16(2004)年度</b>			

<b>⑮図書部</b>			
<b>平成25(2013)年度</b>			
6月14日	生徒図書充実委員会 第2ブロック会		

日 程	大 会 名	種 目	成 績
10月3日	文化祭（図書館DE異文化理解）		
11月1日	校内POPコンテスト	大賞 優秀賞	石本 七星 納屋 圭佑
11月15日	生徒図書充実委員会 第2ブロック交流会		
<b>平成24(2012)年度</b>			
10月3日	文化祭（POP展示）		
11月1日	校内POPコンテスト		
11月13日	生徒図書充実委員会 第2ブロック交流会		
<b>平成23(2011)年度</b>			
6月13日	生徒図書充実委員会 第2ブロック会 （本校第2ブロック事務局担当）		
	・イラストレーター榎本よしたか氏による講演会		
	・図書部活動発表		
7月8日	高校生よみかたりボランティア養成講座		
10月6日	文化祭（本をテーマにしたオブジェの展示）		
11月15日	生徒図書充実委員会 第2ブロック交流会 （本校第2ブロック事務局担当）		
	・講義「歌舞伎の中の和歌山」		
	・参加生徒によるPOP紹介		
<b>平成22(2010)年度</b>			
5月28日	生徒図書充実委員会 第2ブロック会		
7月13日	図書部新聞「としよぶらりー」発行		
7月15日	高校生よみかたりボランティア養成講座		
9月上旬	新潮文庫感動大賞（エッセイコンクール）に作品応募		
9月中旬	大阪府立図書館主催「あなたにおすすめするPOPの 広場」に作品応募		
10月7日	文化祭（図書館クイズ、POP展示）		
10月26日	生徒図書充実委員会 第2ブロック交流会		
11月18日	絵本よみかたりボランティア （砂山小学校1・2年生対象）		
11月20日	京都文化探訪（南禅寺・永観堂の見学）		
<b>平成21(2009)年度</b>			
4月27日	ラジオ収録「おじゃまします プールから」		
6月15日	生徒図書充実委員会 第2ブロック会		
7月14日	図書部新聞「としよぶらりー」発行		
10月29日	文化祭（部員の本棚写真展）		
11月18日	生徒図書充実委員会 第2ブロック交流会		
11月21日	京都文化探訪（京都国際マンガミュージアム）		

日 程	大 会 名	種 目	成 績
<b>平成20(2008)年度</b>			
5月2日	図書部新聞「としょぶらりー」発行		
6月17日	生徒図書充実委員会 第2ブロック会		
7月30日	京都文化探訪（八坂神社・円山公園）		
11月18日	生徒図書充実委員会 第2ブロック交流会		
<b>平成19(2007)年度</b>			
6月21日	生徒図書充実委員会 第2ブロック会		
8月31日	京都文化探訪（嵐山）		
9月	「友だちに薦める私の一冊100選」に応募	入賞	小嶋 彩乃
11月22日	生徒図書充実委員会 第2ブロック交流会		
2月4日	図書部新聞「としょぶらりー」発行		
<b>平成18(2006)年度</b>			
6月8日	生徒図書充実委員会 第2ブロック会		
8月20日	京都文化探訪		
11月21日	生徒図書充実委員会 第2ブロック交流会		
<b>平成17(2005)年度</b>			
6月9日	生徒図書充実委員会 第2ブロック会		
11月16日	生徒図書充実委員会 第2ブロック交流会		
<b>平成16(2004)年度</b>			

<b>⑩邦楽部</b>			
<b>平成25(2013)年度</b>			
8月31日	第49回県高文連邦楽部門発表会 (県民文化会館小ホール)		
<b>平成24(2012)年度</b>			
9月1日	第48回県高文連邦楽部門発表会 (紀南文化会館)		
<b>平成23(2011)年度</b>			
9月2日	第47回県高文連邦楽部門発表会 (粉川ふるさとセンター)		
<b>平成22(2010)年度</b>			
9月2日	第46回県高文連邦楽部門発表会 (県民文化会館小ホール)		
<b>平成21(2009)年度</b>			
9月5日	第45回県高文連邦楽部門発表会 (県民文化会館小ホール)		
<b>平成20(2008)年度</b>			
8月30日	第44回県高文連邦楽部門発表会 (県民文化会館小ホール)		4位入賞
<b>平成19(2007)年度</b>			
9月1日	第43回県高文連邦楽部門発表会 (県民文化会館小ホール)		4位入賞

日 程	大 会 名	種 目	成 績
<b>平成18(2006)年度</b>			
9月2日	第42回県高文連邦楽部門発表会 (県民文化会館小ホール)		3位入賞
<b>平成17(2005)年度</b>			
9月3日	第41回県高文連邦楽部門発表会 (県民文化会館小ホール)		
<b>平成16(2004)年度</b>			
9月5日	第40回県高文連邦楽部門発表会 (県民文化会館小ホール)		

<b>⑰コンピュータ部</b>			
<b>平成25(2013)年度</b>			
6月15日	第25回全国高等学校情報処理競技大会 和歌山県大会	団体	第1位
		個人	第2位(角 和季) 第4位(奥野 睦稀)
7月25日	第33回全国高等学校IT・簿記選手権大会 (IT部門)	団体	優秀賞
7月28日	第25回全国高等学校情報処理競技大会	団体	7出場
8月11日	第27回全国パソコン技能競技大会 (情報処理技能競技)	個人	出 場(角 和季)
10月27日	全商会計実務検定試験合格(角 和季)		全商9種目合格 (県内初)
2月2日	全商商業経済検定「経法・国ビ」合格		全科目1級合格 (角 和季)
<b>平成24(2012)年度</b>			
6月16日	第24回全国高等学校情報処理競技大会 和歌山県大会	団体	第2位
		個人	第4位(山下 佳大) 第9位(川端 李奈)
7月26日	第32回全国高等学校IT・簿記選手権大会 (IT部門)	団体	出 場
7月29日	第24回全国高等学校情報処理競技大会	個人	出 場(川端 李奈)
8月2日	第4回全国高等学校情報処理選手権	団体	出 場
<b>平成23(2011)年度</b>			
6月18日	第23回全国高等学校情報処理競技大会 和歌山県大会	団体	第3位
		個人	第5位(堀田 朱音) 第6位(北山 綾己) 第7位(上田 朱音)
7月31日	第23回全国高等学校情報処理競技大会	個人	出 場(堀田 朱音)
<b>平成22(2010)年度</b>			
6月19日	第22回全国高等学校情報処理競技大会 和歌山県大会	団体	第1位
		個人	第1位(川口 涼) 第2位(藪脇 光一) 第5位(入江 麻衣) 第8位(北崎 真梨)
7月22日	第30回全国高等学校IT・簿記選手権大会 (IT部門)	団体	出 場
7月24日	第22回全国高等学校情報処理競技大会	団体	出 場
<b>平成21(2009)年度</b>			
6月20日	第21回全国高等学校情報処理競技大会 和歌山県大会	団体	第1位

日 程	大 会 名	種 目	成 績
6月20日	第21回全国高等学校情報処理競技大会 和歌山県大会	個人	第1位(仲村 志音) 第3位(湯場 真代) 第4位(吉中 未来) 第6位(坂田 有美) 第7位(川口 涼)
7月23日	第29回全国高等学校 I T ・簿記選手権大会 ( I T 部門)	団体	出 場
7月26日	第21回全国高等学校情報処理競技大会	団体	出 場
<b>平成20(2008)年度</b>			
6月21日	第20回全国高等学校情報処理競技大会 和歌山県大会	団体	第1位
		個人	第3位(仲村 志音) 第5位(前西 佑亮) 第7位(湯場 真代)
7月24日	第28回全国高等学校 I T ・簿記選手権大会 ( I T 部門)	団体	出 場
7月27日	第20回全国高等学校情報処理競技大会	団体	出 場
<b>平成19(2007)年度</b>			
6月16日	第19回全国高等学校情報処理競技大会 和歌山県大会	団体	第2位
		個人	第1位(松下 将大)
7月15日	第27回全国高等学校 I T ・簿記選手権大会 ( I T 部門)	団体	第3位(新人戦 西近畿地区大会)
7月29日	第19回全国高等学校情報処理競技大会	個人	出場(松下 将大)
<b>平成18(2006)年度</b>			
6月18日	第18回全国高等学校情報処理競技大会 和歌山県大会	団体	第3位
		個人	第7位(上田 崇志)
7月16日	第26回全国高等学校 I T ・簿記選手権大会 ( I T 部門)	団体	第5位(新人戦 西近畿地区大会)
7月30日	第18回全国高等学校情報処理競技大会	個人	出 場(森 大地)
<b>平成17(2005)年度</b>			
6月18日	第17回全国高等学校情報処理競技大会 和歌山県大会	団体	第2位
		個人	第2位(湯川 正洋)
7月31日	第17回全国高等学校情報処理競技大会	個人	出 場(湯川 正洋)
<b>平成16(2004)年度</b>			
6月5日	第16回全国高等学校情報処理競技大会 和歌山県大会	団体	第1位
		個人	第1位(小山 真一郎)
8月1日	第17回全国高等学校情報処理競技大会	個人	出 場(湯川 正洋)

#### ⑱商業研究部

##### 平成25(2013)年度

10月24日	和歌山県生徒商業研究発表大会		優秀賞
--------	----------------	--	-----

##### 平成24(2012)年度

10月25日	和歌山県生徒商業研究発表大会		優秀賞
--------	----------------	--	-----

日 程	大 会 名	種 目	成 績
<b>平成23(2011)年度</b>			
10月31日	和歌山県生徒商業研究発表大会		優秀賞
<b>平成22(2010)年度</b>			
9月17日	全国高等学校商業研究発表大会近畿地区大会		優良賞
10月31日	和歌山県生徒商業研究発表大会		優良賞
<b>平成21(2009)年度</b>			
10月31日	和歌山県生徒商業研究発表大会		最優秀賞
<b>平成20(2008)年度</b>			
10月31日	和歌山県生徒商業研究発表大会		6位入賞
<b>平成19(2007)年度</b>			
12月14日	和歌山県生徒商業研究発表大会		優秀賞
<b>平成18(2006)年度</b>			
11月10日	和歌山県生徒商業研究発表大会		優秀賞
<b>平成17(2005)年度</b>			
1月14日	和歌山県生徒商業研究発表大会		優秀賞
<b>平成16(2004)年度</b>			
1月14日	和歌山県生徒商業研究発表大会		優秀賞

## 編集後記

創立100周年(平成16年)から10年が経ちました。ここを節目とし、この10年間の記録をまとめた「和商創立110周年記念誌『紀鷹110』」の発行に際し、原稿・写真・資料等を快く提供して下さった多くの方々には感謝の言葉もありません。

さて、この度編集作業に携わり改めて感じたことは、同窓会ははじめPTA、旧職員、地域の方々から愛され、支えられた伝統校としての「強み」です。そんな本校に勤務できる喜びを胸に、これからも諸先輩方が築いた伝統をさらに発展させる教育活動に邁進して参りますので、何卒よろしくお祈りいたします。

最後に、坂中俊之前教頭先生と笠井正治前事務長から寄稿いただきましたが、『紀鷹110』発行前にご逝去されました。ここにお二人の長年にわたる本校の教育に対する情熱に感謝するとともに、安らかなご冥福をお祈りいたします。

平成27年 2月

### 「紀鷹110」編集委員会

伊藤 誠悟、岩井 美紀、真珠 雅之、田中 清子、田村 泰造、  
碓 美歩、橋本 成二郎、松本 透、吉川 好司、笠松 勝美(教頭)

平成27年 3月発行

和商創立110周年記念誌 「紀鷹110」

編 集 「紀鷹110」編集委員会

発 行 和歌山県立和歌山商業高等学校

〒640-8272 和歌山市砂山南3丁目3番94号

TEL 073(424)2442 FAX 073(425)3795

ホームページアドレス <http://www.wakayama-ch.wakayama-c.ed.jp/>

印 刷 ティープランナー

〒640-8404 和歌山市湊5丁目8番3号

TEL 073(454)1822 FAX 073(454)1833